

本製品を正しくご使用いただくために、必ず本書をお読みください。本書は、使用開始後も大切に保管しておいてください。

製品ページのご案内

本紙は本製品のセットアップや設置方法について説明しています。
詳細な設定は「ユーザーズマニュアル (PDF)」をご確認ください。
また、製品ページでは本製品の仕様やファームウェアの更新情報、オプション品などの情報をご確認いただけます。

EHB-SQ2B08F-PL：

https://www.elecom.co.jp/r/n754



パッケージ内容

☐ 製品本体	1 台
☐ 専用 AC ケーブル (約 1.8m)	1 個
☐ 3 ピン -2 ピン変換アダプター	1 個
☐ AC ケーブル抜け防止バンド	1 個
☐ 19 インチラック取付金具	2 個
☐ 19 インチラック取付金具ネジ	8 本
☐ ゴム足	4 個
☐ シリアルナンバーラベル	1 シート
☒ クイックセットアップガイド (本紙)	1 枚
☐ 安全にお使いいただくために	1 枚

主な工場出荷時の設定値

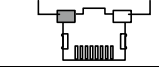
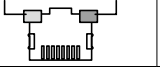
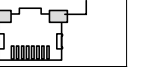
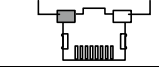
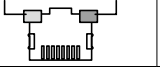
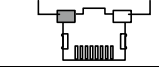
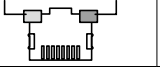
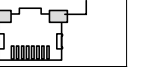
IP アドレス	192.168.3.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
管理 VLAN ID	1
DHCP クライアントモード	有効
管理者ユーザー名	admin
管理者パスワード	admin

■ 管理者パスワードについて

初期値の管理者ユーザー名 / 管理者パスワードで初回ログイン後、必ず管理者パスワードを任意の値に変更する必要があります。詳細は裏面のセットアップ手順をご確認ください。

外観図・各部の名称とはたらき

① LAN ポート	パソコンなど他のネットワーク機器と接続します。ストレート / クロスケーブルを自動判別する「Auto MDI/MDI-X」機能を搭載しています。			
② 前面パネル LED	PWR	緑色	点灯	電源が ON の状態です。
			消灯	電源が OFF の状態、または電源系統の異常です。
	SYS	緑色	点灯	正常な状態です。
			点滅	システムが起動すると、1 秒間隔で約 90 秒間点滅した後、点灯状態になります。
		赤色	点灯	システムの異常が発生した場合に赤点灯します。 LED が赤点灯した場合は専用 AC ケーブルを抜き、しばらく経ってから電源を入れなおしてください。
			点滅	ループが発生している場合に 1 秒間隔で点滅します。
	FAN	赤色	点灯	本体内部のファンに異常が発生した場合に赤点灯します。 LED が赤点灯した場合は電源ケーブルを抜き、しばらく経ってから電源を入れなおしてください。
	PoE Max	赤色	点灯	供給電力が最大供給電力の 90% 以上です。
			消灯	供給電力が最大供給電力の 90% 未満です。
	PoE	緑色	点灯	PoE 供給中（接続機器との通信中）です。 ※ システム起動直後、約 30 秒間緑点灯します。
			消灯	PoE が供給されていません。
③ RESET	このボタンを先の細いもので長押しすると再起動、または工場出荷状態に戻ります。 1 秒以上～ 10 秒未満：再起動 10 秒以上：工場出荷状態に初期化			
④ SFP ポート※ ¹	SFP/SFP+ モジュールを取り付けるためのポートです。			
⑤ SFP LED	緑色	点灯または点滅	10G リンクアップ時に緑色で点灯または点滅します。	
	黄色	点灯または点滅	1G リンクアップ時に黄色で点灯または点滅します。	

⑥ LINK/ACT LED	各 LED の点灯状態の組み合わせにより、該当の LAN ポートのリンク状態を確認できます。 ループ発生中は、遮断されているポートの LED (左のみ) が 1 秒間隔で点滅します。									
	■ 点灯例	<table><tr><td>2.5G</td><td>1G</td><td>100M</td></tr><tr><td>緑点灯 消灯</td><td>黄点灯 緑点灯</td><td>黄点灯 黄点灯</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	2.5G	1G	100M	緑点灯 消灯	黄点灯 緑点灯	黄点灯 黄点灯		
2.5G	1G	100M								
緑点灯 消灯	黄点灯 緑点灯	黄点灯 黄点灯								
										
⑦ 電源コネクター	付属の専用 AC ケーブルを、本製品の電源コネクターと AC コンセントに接続します。									
⑧ AC ケーブル 抜け防止バンド 取付穴	付属の AC ケーブル抜け防止バンドを使用して、専用 AC ケーブルを製品本体に固定します。 ① AC ケーブル抜け防止バンドを取り付けます。 ② 専用 AC ケーブルを固定します。									
⑨ FG 端子	アース線を接続するための端子です。(ネジ径：M4 × 8mm) ※ アース線は別途ご用意ください。									
⑩ 盗難防止機構	盗難防止用ワイヤーの取付穴です。									
⑪ マグネット取付部※ ²	オプションの専用マグネット (EHB-EX-MG4) を取り付けることができます。									
⑫ ゴム足取付部	水平設置、マグネット設置、壁面設置の場合はこの部分に付属のゴム足を取り付けてください。									
⑬ 19 インチラック 取付金具※ ³	19 インチラックで使用する場合、付属の金具を本製品に取り付けてご使用ください。 本製品は EIA 規格準拠となります。									

※ 1 SFP ポートは、エレコム製のモジュールのみサポートします。 https://www.elecom.co.jp/support/list/network/hub/sfp/
※ 2 オプション型番：EHB-EX-MG4 (4 個入り) https://www.elecom.co.jp/products/EHB-EX-MG4.html
※ 3 19 インチラックに固定するネジは付属していません。別途ご用意ください。 推奨ネジ：M5 または M6 ケージナット

設置について

いずれの設置方法でも、アースへ正しく接続されていることを確認してください。通気スペースとして周囲を 5cm 以上確保し、本体の通風孔をふさがないように設置してください。
また、本製品を 2 台以上積み重ねて使用しないでください。

水平設置

マグネット設置

本製品底面のゴム足取付部 (4 ヶ所) に、付属のゴム足を取り付けてください。 本製品底面のマグネット取付部に、オプションの専用マグネットを取り付けてご使用ください。また、付属のゴム足も必ず取り付けてご使用ください。

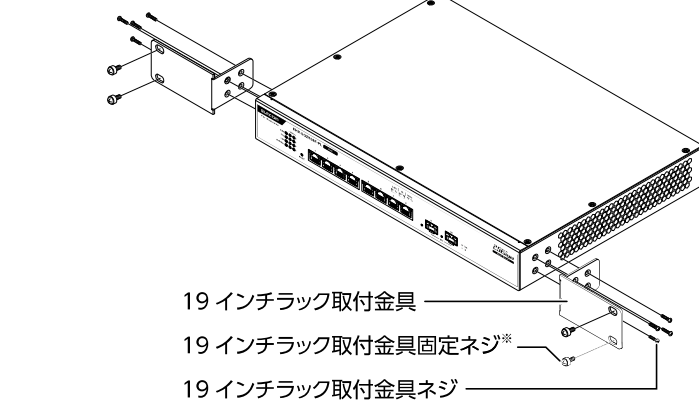
!

- 水平設置は平らで安定した場所に設置してください。
- マグネットを使用して本製品を高所・天井面に設置しないでください。
- マグネットで金属面へ設置する場合は衝撃などを与えると落下する恐れがあります。必ず落下防止対策を行ってください。
- マグネットはすべての金属面への取り付けを保証するものではありません。金属面の表面加工の状態によっては十分に固定できない場合があります。

19 インチラック取付の場合

壁面設置

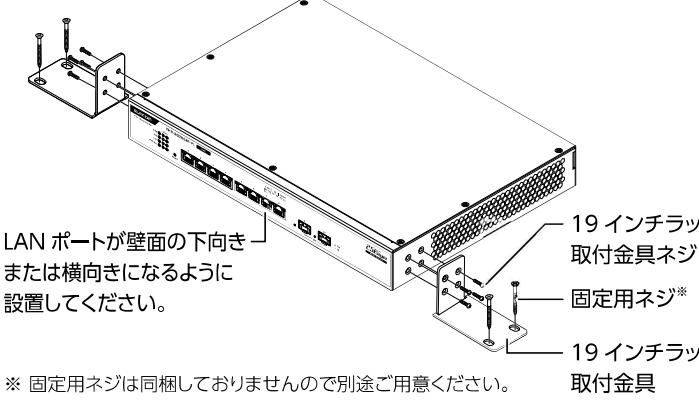
本製品側面に、付属の 19 インチラック取付金具、金具固定用ネジを使用し
て取り付けてください。 付属の 19 インチラック取付金具を使用することで、壁面に設置することが可能です。



19 インチラック取付金具

19 インチラック取付金具固定ネジ*

19 インチラック取付金具ネジ



LAN ポートが壁面の下向き
または横向きになるように
設置してください。

19 インチラック
取付金具ネジ

固定用ネジ*

19 インチラック
取付金具

※ 19 インチラック取付金具固定ネジは同梱しておりませんので別途ご用意ください。
固定ネジ径：M5 または M6 に対応

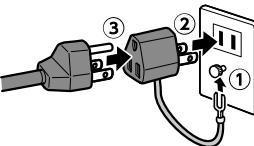
!

- ラック内の温度は多くの機器が動作することで室温より高くなることが想定されます。
ラック環境の温度が動作温度範囲内であることを確認してください。
- 本製品は EIA 規格準拠となります。

※ 固定用ネジは同梱しておりませんので別途ご用意ください。
固定ネジ径：M5 または M6 に対応

!

- 壁面に取り付ける際は、適切なネジで確実に固定してください。
固定強度が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生する恐れがあります。必ず落下防止対策を行ってください。
- 付属の 19 インチラック取付金具を使用して本製品を高所・天井面に設置しないでください。
- 直射日光が当たる壁面、水がかかる恐れのある壁面、ほこりが多い壁面は避けてください。



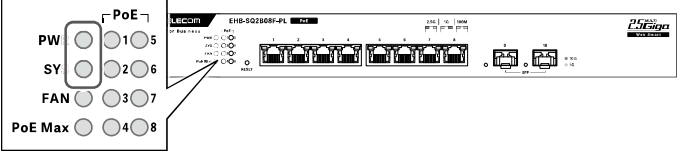
③ ② ①

AC コンセントが 2 ピンの場合

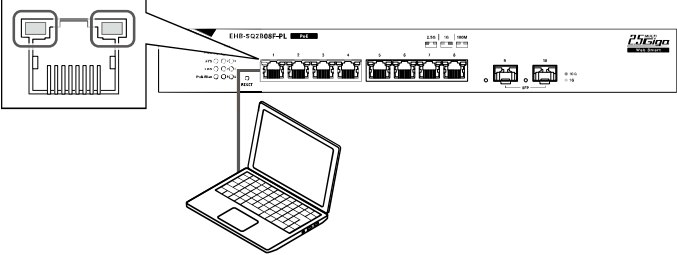
付属の 3 ピン -2 ピン変換アダプターでコンセントに接続してください。
感電防止及び安定動作のため、必ずアースを接地してください。
アース線は電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてからはずしてください。
順序を守らないと故障・感電・火災の原因となります。アース線がコンセントや他の電極に接触しないようにしてください。

セットアップ手順

1 専用の AC ケーブルを接続します。
一定時間経過後システムが稼働し、PWR、SYS LED が緑点灯します。



2 LAN ケーブルで PC と本製品を接続します。
LINK/ACT LED が点灯、または点滅することを確認します。



3 設定する端末の IP アドレスを「192.168.3.2」、サブネットマスクを「255.255.255.0」に固定します。

① [スタート] – [設定] をクリックします。



② [ネットワークとインターネット] をクリックします。



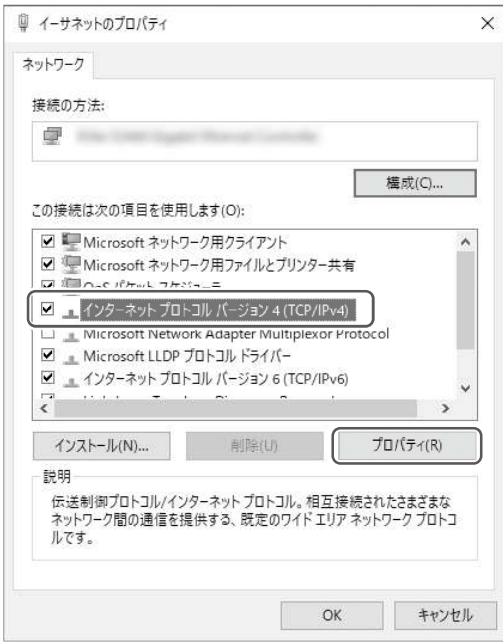
③ [状態] 画面の [アダプターのオプションを変更する] をクリックします。



④ [イーサネット] を選択し、右クリックして [プロパティ] をクリックします。



⑤ [イーサネットのプロパティ] 画面で [インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択し [プロパティ] をクリックします。



⑥ [インターネット プロトコル バージョン (TCP/IPv4)] 画面で [次の IP アドレスを使う] を選択し、IP アドレスに「192.168.3.2」、サブネットマスクに「255.255.255.0」入力して [OK] をクリックします。



4 Web ブラウザ (Google Chrome など) を起動し、アドレスバーに「192.168.3.1」と入力します。



5 ユーザー名とパスワードに「admin」を入力し、[ログイン] をクリックします。

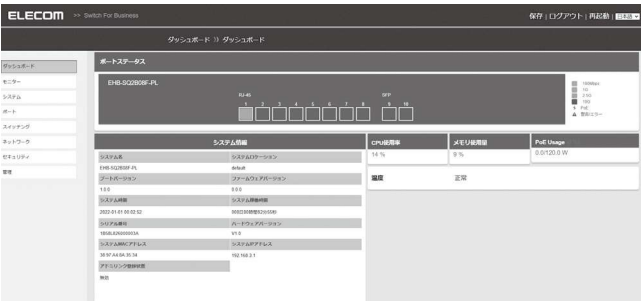


6 初回ログイン後、任意のパスワードを設定します。



文字数	8 文字以上 32 文字以内
使用可能文字	「?」(クエスチョンマーク)と「"」(ダブルクォーテーション)を除く半角英数記号のみ

7 Web ブラウザインターフェースが表示されます。



※ 当社ホームページで公開しているユーザーズマニュアルには、VLAN 設定など各種設定方法が記載されています。本製品の設定を行う前にお読みください。

以上でセットアップは完了です。

アドミリンク登録のご案内（無料）

機器運用の時間・コストを大幅削減 リモート管理サービス

アドミリンクは、インターネットを経由して遠隔地に設置した機器と管理者 (Administrator) をつなぐ (Link)、リモート管理サービスです。遠隔地からの機器の監視、メンテナンス用の簡易操作が可能となることで機器の保守・管理の手間を削減し、機器管理者の負担を大きく軽減します。

稼働状況の把握
機器の状態を常に監視、エラーを通知
稼働状況の共有
保守・管理に関わる人、みんなで危機管理
遠隔簡易操作
メンテナンス用の簡易操作ならば、現場作業が不要
設定情報の保存※
機器の設定を「アドミリンク」に自動保存

※ WindowsNASは非対応です。



ご利用は無料です。詳しくは Web でご確認ください。

<https://www.elecom.co.jp/solution/service/adminlink/>



この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

ご注意

- すべてのネットワーク機器の通信を保証するものではありません。
- 仕様及び外観等は製品改良の為、予告無く変更する場合があります。
- 本書に記載されている会社名・製品名は一般に各社の商標または登録商標です。
- 日本国内での使用を想定して設計されております。
- 製品保証は、日本国内においてのみ有効です。
- This warranty is valid only in Japan
- This product is for domestic use only.
- We provide support only for the Japanese OS.
- No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

User's Manual

ユーザーズマニュアル

第4版 2026/5/20

■ レイヤー2 マルチギガ対応 Webスマートスイッチ

EHB-SX2B08F (10G 対応モデル)

EHB-SQ2B08 (2.5G 対応モデル)

対象ファームウェア：Ver.1.0.0以降

■ レイヤー2 マルチギガ対応 PoE Webスマートスイッチ

EHB-SX2B08F-PH (10G 対応モデル)

EHB-SQ2B08F-PL (2.5G 対応モデル)

対象ファームウェア：Ver.2.0.3以降

この度は、エレコムのギガビットスイッチングハブをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
このマニュアルには本製品を使用するにあたっての詳細な設定方法が説明されています。
また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。詳細な設定を行う場合は、必ずこのマニュアルをお読みになってください。

※今後のファームウェア更新により、本マニュアルの記載内容が変更される場合があります。

- 本製品の基本的な導入手順については、付属の「クイックセットアップガイド」などをお読みください。

導入編	8
用語	9
このマニュアルで使われている用語	9
このマニュアルで使われている記号	9
このマニュアルをお読みになる前に	10
「クイックセットアップガイド」の主な内容	10
設定リファレンス編	11
管理画面(設定画面)を表示する	18
各メニューについて	19
ダッシュボード	19
モニター	19
システム	20
ポート	22
設定の保存と再起動	31
ダッシュボード	32
モニター	34
ARPテーブル	34
IPアドレステーブル	35
MACアドレステーブル	36
ポートステータス	38
ポートステータス	38
DDMI	41
ポート使用率	43
システム情報	44
システムログ	45
システム	46
一般設定	46
インターフェース設定	48

IP アドレス設定	50
IP アドレスステータス	50
IP アドレス設定	51
【IPv6】ステータス	53
【IPv6】グローバル設定	56
【IPv6】インターフェース設定	57
【IPv6】アドレス設定	59
IPv6 リンクローカルアドレス設定	59
IPv6 グローバルアドレス設定	61
【IPv6】DHCPv6 クライアント設定	63
ユーザーアカウント	65
Administrator	65
ユーザーアカウント編集	66
SNMP	67
SNMP	67
SNMP ユーザー	69
SNMP トラップグループ	72
SNMP トラップポート	73
スイッチ設定	74
Syslog 設定	75
タイムスケジュール	77
【アドミリンク】基本設定	79
【アドミリンク】詳細設定	80
ポート	82
Green Ethernet	82
リンクアグリゲーション	83
リンクアグリゲーションステータス	83
リンクアグリゲーション設定	85
リンクアグリゲーション制御プロトコル	87
LLDP	89
LLDP ローカルステータス	89

LLDPリモートステータス	92
LLDP 設定	97
Basic TLV Setting	99
Org-specific TLV Setting	100
PoE 設定	101
PoE ステータス	101
PoE 設定	102
PoE スケジュール設定	103
ポート設定	105
スイッチング	108
ループ防止	108
ミラーリング	109
【マルチキャスト】IPv4 マルチキャスト	110
IPv4 マルチキャストステータス	110
IGMP snooping	111
IGMP snooping VLAN	114
【マルチキャスト】IPv6 マルチキャスト	116
IPv6 マルチキャストステータス	116
MLD snooping プロキシ	117
VLAN	118
ポートロール設定	121
【マルチキャスト】静的マルチキャスト転送	123
【Qos】Diffserv	125
Diffserv	125
DSCP 設定	126
【Qos】キューイング方式	127
【Qos】キュー優先度	129
【Qos】帯域幅制御	130
【スパニングツリー】ステータス	131
【スパニングツリー】設定	137
【スパニングツリー】RSTP	139

【スパンニングツリー】MSTP	142
MSTP	142
MSTP ポート設定	145
静的MACフィルタリング	146
静的MAC転送	148
【VLAN】VLANステータス	150
【VLAN】VLAN設定	152
静的VLAN	152
VLANポート設定	154
【VLAN】Voice VLAN設定	156
VLANアイソレーション	158
VLANマッピング	160
VLANマッピング	160
VLANマッピング設定	161
ネットワーク	163
【ARP設定】ARPラーニング	163
【ARP設定】静的ARP	164
セキュリティ	166
【AAA】RADIUSサーバー設定	166
【AAA】AAA設定	168
【ACL】Classifier	170
Classifierステータス	170
Classifier設定	171
Classifierグローバル設定	175
【ACL】Policy Rule	176
アンチARPスキャン	180
ステータス	180
ホストステータス	181
設定	182
信頼ホスト	183
BPDUガード	185

ステータス	185
設定	186
ストームコントロール	187
Dos 攻撃防止	188
Errdisable	190
【IPv4 ソースガード】IPv4 ソースガード	191
IP ソースガード	191
静的バインディング	192
【IPv4 ソースガード】DHCP snooping	195
ステータス	195
設定	198
ポート設定	200
VLAN 設定	201
VLAN ポート設定	202
【IPv4 ソースガード】DHCP Option82 プロファイル	204
【IPv4 ソースガード】ARP インспекション	206
ステータス	206
VLAN ステータス	207
ログステータス	208
設定	209
ポート設定	211
VLAN 設定	212
【IPv6 ソースガード】IPv6 静的バインディング	213
IPv6 送信元バインディング状態	213
IPv6 静的バインディング	215
【IPv6 ソースガード】IPv6 ソースガード	217
ポリシー	217
ポート設定	219
【IPv6 ソースガード】IPv6 snooping	220
ポリシー設定	220
VLAN 設定	222
【IPv6 ソースガード】DHCPv6 信頼設定	224

ポート認証	226
ポートセキュリティ	228
管理	230
【設定】設定の復元	230
TFTP で更新する場合	230
HTTP で更新する場合	231
【設定】設定のバックアップ	232
TFTP でバックアップする場合	232
HTTP でバックアップする場合	233
【設定】実行設定の消去	235
【設定】設定の保存	236
診断	237
ファームウェア更新	240
ファームウェア更新	240
新しいファームウェアをアップロードする	241
ファームウェア自動更新	243
再起動	244

付録編 245

安全上のご注意	246
使用上のご注意	249
このマニュアルについて	250
製品の保証について	251
製品の保証とサービス	251
サポートサービスについて	252

導入編

用語	9
このマニュアルで使われている用語	9
このマニュアルで使われている記号	9
このマニュアルをお読みになる前に	10
「クイックセットアップガイド」の主な内容	10

このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
本製品	本マニュアルの表紙に記載された製品を称して「本製品」と表記しています。

このマニュアルで使われている記号

記号	意味
重要	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、故障の原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

このマニュアルをお読みになる前に

本製品には、印刷物で「クイックセットアップガイド」が付属しています。
クイックセットアップガイドには、以下の内容が記載されています。

該当する内容がありましたら、そちらをお読みください。

※ マニュアルの改訂により、内容の一部が変更される場合があります。

「クイックセットアップガイド」の主な内容

- 主な工場出荷時の設定値
- 外観図・各部の名称とはたらき
- 設置について
- セットアップ手順

MEMO

印刷物のマニュアルが見当たらない場合には

エレコム・ホームページより、最新のPDF版をダウンロードすることができます。
各製品ページの「マニュアル」ボタンからご確認ください。

● EHB-SX2B08F

<https://www.elecom.co.jp/r/s729>

● EHB-SX2B08F-PH

<https://www.elecom.co.jp/r/s753>

● EHB-SQ2B08

<https://www.elecom.co.jp/r/n730>

● EHB-SQ2B08F-PL

<https://www.elecom.co.jp/r/n754>

設定リファレンス編

管理画面 (設定画面) を表示する	18
各メニューについて	19
スイッチング	23
ネットワーク	25
セキュリティ	25
管理	29
設定の保存と再起動	31
ダッシュボード	32
ポートステータス	32
システム構成	32
CPU使用率	33
メモリ使用量	33
温度	33
モニター	34
ARP テーブル	34
IP アドレステーブル	35
MAC アドレステーブル	36
ポートステータス	38
ポート詳細画面	39
DDMI 詳細画面	42
システム情報	44
システム情報	44
メモリ使用率	44
システムログ	45
システム	46
一般設定	46

インターフェース設定	48
インターフェース追加／編集	49
IPアドレス設定	50
DNSサーバー	50
IPインターフェース	50
IPアドレス設定	51
IPインターフェース	52
【IPv6】ステータス	53
DNSサーバー	53
IPv6テーブル	53
IPv6 インターフェース詳細	54
【IPv6】グローバル設定	56
【IPv6】インターフェース設定	57
インターフェース編集画面	58
【IPv6】アドレス設定	59
IPv6リンクローカルアドレスの編集	60
IPv6 DNSサーバー	61
IPv6グローバルアドレス設定	61
IPv6グローバルアドレスの追加／編集	62
【IPv6】DHCPv6クライアント設定	63
DHCPv6クライアント編集画面	64
ユーザーアカウント	65
SNMP	67
一般設定	67
トラップの宛先	68
SNMPユーザーの追加／編集	70
スイッチ設定	74

Syslog 設定	75
Syslog 設定	75
Syslog サーバー 設定	76
Syslog サーバーの追加／編集	76
タイムスケジュール	77
タイムスケジュールの追加／編集	78
【アドミリンク】基本設定	79
【アドミリンク】詳細設定	80
ポート	82
Green Ethernet	82
表	82
リンクアグリゲーション	83
LLDP	89
Basic TLV	89
LLDP Port Information	90
LLDP Local Port Status Detail 画面	90
LLDP リモートポートステータス詳細画面	93
PoE 設定	101
PoE スケジュール設定の追加／編集	104
ポート設定	105
スイッチング	108
ループ防止	108
ミラーリング	109
【マルチキャスト】IPv4 マルチキャスト	110
IGMP snooping VLAN	114
VLAN	115

IGMP snooping VLAN の追加／編集	115
【マルチキャスト】IPv6 マルチキャスト	116
MLD snooping プロキシ VLAN の追加／編集	119
【マルチキャスト】静的マルチキャスト転送	123
静的マルチキャスト MAC アドレスルールの追加／編集	124
【Qos】Diffserv	125
【Qos】キューイング方式	127
【Qos】キュー優先度	129
【Qos】帯域幅制御	130
【スパニングツリー】ステータス	131
RSTP 設定時	131
RSTP 設定時	133
【スパニングツリー】設定	137
スパニングツリーモード	137
【スパニングツリー】RSTP	139
【スパニングツリー】MSTP	142
ブリッジ	142
インスタンス	143
マルチプルスパニングツリーの追加／編集	144
静的 MAC フィルタリング	146
静的 MAC フィルタリングの追加／編集	147
静的 MAC 転送	148
静的 MAC 転送ルールの追加／編集	149
【VLAN】VLAN ステータス	150
VLAN 詳細画面	151
【VLAN】VLAN 設定	152
静的 VLAN の追加／編集	153

【VLAN】Voice VLAN 設定	156
Voice VLAN グローバル 設定	156
Voice VLAN OUI 設定	157
Voice VLAN の追加／編集	157
VLAN アイソレーション	158
VLAN アイソレーション ルールの追加／編集	159
VLAN マッピング	160
VLAN マッピング の追加／編集	162
ネットワーク	163
【ARP 設定】ARP ラーニング	163
【ARP 設定】静的 ARP	164
静的 ARP の追加／編集	165
セキュリティ	166
【AAA】RADIUS サーバー 設定	166
認証 サーバー	166
アカウントング サーバー	167
属性	167
【AAA】AAA 設定	168
サーバー キー 暗号化	168
認証	168
権限 付与	169
アカウントング	169
【ACL】Classifier	170
Classifier の追加／編集	172
【ACL】Policy Rule	176
ポリシー ルールの追加／編集	177

アンチARP スキャン	180
フィルタリングされたホストをクリア	181
フィルタリングされたホスト	181
信頼ホストの追加／編集	184
BPDUGuard	185
ストームコントロール	187
Dos 攻撃防止	188
Errdisable	190
【IPv4 ソースガード】IPv4 ソースガード	191
ARP フリーズ	192
静的バインディング	193
IPv4 ソースガード静的バインディングの追加／編集	194
【IPv4 ソースガード】DHCP snooping	195
データベースステータス	195
データベース詳細	196
DHCP snooping 設定	198
データベース	198
DHCP snooping VLAN ポートの追加／編集	203
【IPv4 ソースガード】DHCP Option82 プロファイル	204
DHCP Option82 プロファイルの追加／編集	205
【IPv4 ソースガード】ARP インスペクション	206
ARP インスペクション設定	210
フィルターエージングタイム	210
ログプロファイル	210
【IPv6 ソースガード】IPv6 静的バインディング	213
IPv6 静的バインディングの追加／編集	216
【IPv6 ソースガード】IPv6 ソースガード	217

IPv6ソースガードポリシーの追加／編集	218
【IPv6ソースガード】IPv6 snooping	220
IPv6 snooping ポリシーの追加／編集	221
IPv6 snooping VLANの追加／編集	223
【IPv6ソースガード】DHCPv6信頼設定	224
Trust setting	224
ポート設定	224
ポート認証	226
ポートセキュリティ	228
MAC フリース	228
ポートセキュリティ	228
管理	230
【設定】設定の復元	230
【設定】設定のバックアップ	232
【設定】実行設定の消去	235
【設定】設定の保存	236
診断	237
Pingテスト	237
Trace Route テスト	238
ケーブル診断	238
ファームウェア更新	240
ファームウェア更新	240
起動ファームウェア	240
「更新方法」に「TFTP」を選択した場合	241
「更新方法」に「HTTP」を選択した場合	242
ファームウェア自動更新	243
再起動	244

管理画面(設定画面)を表示する

本製品の各種設定をするために、Web ブラウザーから利用できる設定画面があります。各ボタンの詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。

1 本製品の設定に使用するパソコンのネットワークを設定します。

IPアドレス: 192.168.3.xxx

xxxは、2 ～ 254までの任意の数字にします。

2 本製品に接続しているパソコンのWebブラウザを開き、以下のWebページを表示します。

認証画面が表示された場合は、ユーザー名とパスワードに「admin」を入力し、「ログイン」をクリックします。

<http://192.168.3.1/>



管理画面が表示されます。



●ご利用のWebブラウザー（Google Chromeなど）のバージョンによっては「保護されていない」などの警告が表示される場合がありますが、セキュリティ上問題ありません。そのまま操作を続けてください。

重要

設定を変更した場合は、必ず各ページの「適用」をクリックして設定を保存してください。

「適用」をクリックせずに他の画面に移動すると、設定が変更されません。
また、各種設定を終了する前に必ず設定画面右上の「保存」をクリックして、
設定を保存してください。

各メニューについて

ダッシュボード

本製品のハードウェア情報やIPアドレスなどのシステム情報が表示されます。

→ [32ページ](#)

モニター

メニュー項目	内容
ARP テーブル	アドレス解決プロトコル (ARP) の設定をします。 → 34 ページ
IP アドレステーブル	本製品のポート間でパケットがどのように転送またはフィルタリングされるかが表示されます。 → 35 ページ
MAC アドレステーブル	本製品のポート間でフレームがどのように転送またはフィルタリングされるか設定します。 → 36 ページ
ポートステータス	●ポートステータス 個々のポートの統計情報が表示されます。 → 38 ページ ●DDMI DDMI (Digital Diagnostics Monitoring Interface) 機能の設定をします。 → 41 ページ ●ポート使用率 ポートで実際に送信または受信されたフレームのリンク速度に対するパーセンテージが表示されます。 → 43 ページ
システム情報	システム情報とハードウェアステータスが表示されます。 → 44 ページ
システムログ	システムログが表示されます。 → 45 ページ

システム

メニュー項目	内容
一般設定	システム名や時刻などの一般的な設定をおこないます。 → 46 ページ
インターフェース設定	IPv6 の VLAN インタフェース設定をします。 → 48 ページ
IP アドレス設定	● IP アドレスステータス IP インタフェースおよび DNS サーバ設定が表示されます。 → 50 ページ ● IP アドレス設定 IP アドレスの設定をします。 → 51 ページ
IPv6	
ステータス	IPv6 テーブルと DNS サーバー情報が表示されます。 → 53 ページ
グローバル設定	グローバル IPv6 を 設定します。 → 56 ページ
インターフェース設定	IPv6 インタフェースの設定をします。 → 57 ページ
アドレス設定	● IPv6 リンクローカルアドレス設定 IPv6 のリンクローカルアドレスの設定をします。 → 59 ページ ● IPv6 グローバルアドレス設定 IPv6 のグローバルアドレスの設定をします。 → 61 ページ
DHCPv6 クライアント設定	本製品が DHCPv6 クライアントとして動作する際の DHCP 設定をします。 → 63 ページ
ユーザーアカウント	管理者のパスワードを変更したり、ユーザーを編集／追加します。 → 65 ページ

メニュー項目	内容
SNMP	● SNMP SNMP の設定をします。 → 67 ページ ● SNMP ユーザー SNMP ユーザーを編集／追加します。 → 69 ページ ● SNMP トラップグループ 各 SNMP マネージャに送信する SNMP トラップのタイプを指定します。 → 72 ページ ● SNMP トラップポート ポートで受信したトラップを SNMP マネージャに送信するかどうかを設定します。 → 73 ページ
スイッチ設定	スイッチに関する設定をします。 → 74 ページ
Syslog 設定	Syslog サーバーに関する設定をします。 → 75 ページ
タイムスケジュール	タイムスケジュールの追加／編集を行います。 → 77 ページ
アドミリンク	
基本設定	アドミリンクの基本設定をします。 → 79 ページ
詳細設定	アドミリンクの詳細設定をします。 → 80 ページ

ポート

メニュー項目	内容
Green Ethernet	省電力設定をします。 → 82 ページ
リンクアグリゲーション	●リンクアグリゲーションステータス トランクグループに設定したポートや、トランクグループ内の 1 つの論理リンクとして現在データを送信しているポートなどが表示されます。 → 83 ページ ●リンクアグリゲーション設定 スタティックリンクアグリゲーションの設定をします。 → 85 ページ ●リンクアグリゲーション制御プロトコル リンクアグリゲーション制御プロトコル (LACP) の設定をします。 → 87 ページ
LLDP	● LLDP ローカルステータス LLDP ステータスの状態が表示されます。 → 89 ページ ● LLDP リモートステータス 隣接するスイッチングハブとの LLDP 接続ごとに LLDP ステータスの状態が表示されます。 → 92 ページ ● LLDP 設定 グローバル LLDP の設定をします。 → 97 ページ ● Basic TLV Setting TLV の基本設定をします。 → 99 ページ ● Org-specific TLV Setting 組織固有の TLV 設定をします。 → 100 ページ
PoE 設定	● PoE ステータス PoE(Power over Ethernet) のステータスを表示します。 → 101 ページ ● PoE 設定 PoE の設定を行います。 → 102 ページ ● PoE スケジュール設定 PoE 機能の動作スケジュールを設定します。 → 103 ページ

メニュー項目	内容
ポート設定	ポートの設定をします。 → 105 ページ

■ スイッチング

メニュー項目	内容
ループ防止	ポートごとにループ防止機能の設定をします。 → 108 ページ
ミラーリング	ポートミラーリング機能の設定をします。 → 109 ページ

マルチキャスト

IPv4 マルチキャスト	● IPv4 マルチキャスト ステータス IPv4 マルチキャストグループ情報が表示されます。 → 110 ページ ● IGMP snooping IGMP snooping の設定をします。 → 111 ページ ● IGMP snooping VLAN VLAN で IGMP snooping を実行します。 → 114 ページ
IPv6 マルチキャスト	● IPv6 マルチキャスト ステータス IPv6 マルチキャストグループ情報が表示されます。 → 116 ページ ● MLD snooping プロキシ MLD snooping プロキシの設定をします。 → 117 ページ ● VLAN MLD snooping プロキシ VLAN の設定をします。 → 118 ページ ● ポートロール設定 ポートの MLD snooping プロキシの設定をします。 → 121 ページ
静的マルチキャスト転送	マルチキャストストリームを受信するポートの静的マルチキャスト MAC アドレスを表示および設定します。 → 123 ページ

QoS	
Diffserv	● Diffserv マーキングルールまたは IEEE802.1p プライオリティマッピングを適用します。 → 125 ページ ● DSCP 設定 DiffServ to IEEE 802.1p マッピングテーブルに従って、本製品が受信 DSCP 値に基づいてすべてのトラフィックを優先順位付けできるように、DSCP to IEEE 802.1p マッピングを設定できます。 → 126 ページ
キューイング方式	キューの優先度の設定をします。 → 127 ページ
キュー優先度	優先度レベルから物理キューへのマッピングの設定をします。 → 129 ページ
帯域幅制御	最大帯域幅の設定をします。 → 130 ページ
スパニングツリー	
ステータス	RSTP または MSTP の STP ステータスが表示されます。 → 131 ページ
設定	スパニングツリーモードの設定をします。 → 137 ページ
RSTP	RSTP (ラピッドスパニングツリープロトコル) の設定をします。 → 139 ページ
MSTP	● MSTP MSTP (マルチプルラピッドスパニングツリープロトコル) の設定をします。 → 142 ページ ● MSTP ポート設定 MSTP ポートの設定をします。 → 145 ページ
静的 MAC フィルタリング	静的 MAC アドレスフィルタの設定をします。 → 146 ページ
静的 MAC 転送	静的な MAC アドレス転送ルールを設定をします。 → 148 ページ
VLAN	
VLAN ステータス	静的 VLAN グループを表示および検索します。 → 150 ページ

VLAN 設定	●静的 VLAN 静的 VLAN の設定をします。 → 152 ページ ●VLAN ポート設定 ポートの静的 VLAN (IEEE 802.1Q) 設定をします。 → 154 ページ
Voice VLAN 設定	Voice VLAN の設定をします。 → 156 ページ
VLAN アイソレーション	VLAN 内のポート間で通信を行わないように設定します。 → 158 ページ
VLAN マッピング	● VLAN マッピング VLAN マッピングの有効／無効の設定をします。 → 160 ページ ● VLAN マッピング設定 VLAN マッピングルールを表示および設定します。 → 161 ページ

■ ネットワーク

メニュー項目	内容
ARP 設定	● ARP ラーニング 各ポートの ARP 学習モードを設定します。 → 163 ページ ●静的 ARP エージアウトしない静的 ARP エントリを表示および構成します。 → 164 ページ

■ セキュリティ

メニュー項目	内容
AAA	
RADIUS サーバー設定	RADIUS サーバーの設定をします。 → 166 ページ
AAA 設定	認証、権限、アカウントिंगの設定をします。 → 168 ページ

ACL	
Classifier	● Classifier ステータス 作成済みの Classifier の状態を確認します。 → 170 ページ ● Classifier 設定 Classifier の設定をします。 → 171 ページ ● Classifier グローバル設定 Classifier のグローバル設定をします。 → 175 ページ
アンチ ARP スキャン	● ステータス どのポートが信頼され、トラフィックを転送しているか、または無効になっているかを確認します。 → 180 ページ ● ホストステータス ブロックされたホストを表示し、特定のポートに接続されているホストのブロックを解除します。 → 181 ページ ● 設定 アンチ Arp スキャンを有効にしたり、ポートとホストのしきい値を設定し、信頼または信頼しないポートを設定します。 → 182 ページ ● 信頼ホスト IP アドレスとサブネットマスクで識別される信頼できるホストを作成または削除します。 → 183 ページ
BPDU ガード	● ステータス BPDU ガードが有効になっているかどうか、およびポートのステータスが表示されます。 → 185 ページ ● 設定 BPDU ガード機能の有効／無効を設定します。 → 186 ページ
ストームコントロール	ポートで 1 秒間に受信するブロードキャスト、マルチキャストおよび DLF (Destination LookupFailure) パケット数を制限します。 → 187 ページ
Dos 攻撃防止	Dos 攻撃防止の設定をします。 → 188 ページ
Errdisable	エラー復旧の設定をします。 → 190 ページ

IPv4 ソースガード	
IP ソースガード	● IP ソースガード DHCP snooping と ARP インспекションの現在のバインディングが表示されます。 → 191 ページ ● 静的バインディング DHCP snooping と ARP インспекションの静的バインディングを管理します。 → 192 ページ
DHCP snooping	● ステータス DHCP snooping データベースに関するさまざまな統計情報が表示されます。 → 195 ページ ● 設定 DHCP snooping を有効化し、デフォルトの DHCP サーバがある VLAN を指定し、DHCP snooping データベースの設定をします。 → 198 ページ ● ポート設定 ポートを DHCP snooping の信頼済みポートにするか、非信頼ポートにするかを指定します。 → 200 ページ ● VLAN 設定 各 VLAN で DHCP snooping を有効にし、本製品が各 VLAN の DHCP サーバに中継する DHCP 要求に DHCP リレーエージェントオプション 82 情報を追加するかどうかを指定します。 → 201 ページ ● VLAN ポート設定 特定のポートに異なる DHCP オプション 82 プロファイルを適用します。 → 202 ページ
DHCP Option82 プロファイル	→ 204 ページ

ARP インспекション	●ステータス 不正な ARP パケットを識別したために作成された MAC アドレスフィルタの現在のリストが表示されます。 → 206 ページ ●VLAN ステータス 各 VLAN の ARP パケットに関するさまざまな統計情報が表示されます。 → 207 ページ ●ログステータス ARP パケットによって生成され、まだ syslog サーバーに送信されていないログメッセージが表示されます。 → 208 ページ ●設定 ARP インспекション機能の有効／無効を設定します。 また、廃棄した ARP パケットの記録を保存する期間や ARP 検査ログのグローバル設定を行うことができます。 → 209 ページ ●ポート設定 ポートを ARP インспекションの信頼されたポートにするか、信頼されていないポートにするかを指定します。 また、各信頼対象外ポートで本製品が ARP パケットを受信する最大レート指定できます。 → 211 ページ ●VLAN 設定 各 VLAN で ARP 検査を有効にし、各 VLAN からの ARP パケット受信時にログメッセージを生成するタイミングを指定します。 → 211 ページ
IPv6 ソースガード	
IPv6 静的バインディング	● IPv6 送信元バインディング状態 現在の IPv6 動的バインディングと静的バインディングを確認し、IPv6 アドレスや IPv6 プレフィックスに基づいて動的バインディングを削除します。 → 213 ページ ● IPv6 静的バインディング IPv6 ソースガードバインディングテーブルエントリを表示または構成し、IPv6 静的バインディングを管理します。 → 215 ページ

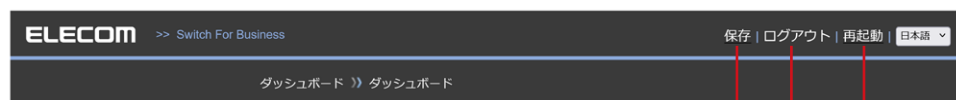
IPv6 ソースガード	●ポリシー IPv6 ソースガードにバインディングテーブルに保存されている有効な IPv6 アドレスや IPv6 プレフィックスを転送させ、すべてのリンクローカルアドレスからのデータトラフィックを許可またはブロックします。 → 217 ページ ●ポート設定 設定した IPv6 ソースガード ポリシーを指定したポートに適用します。 → 219 ページ
IPv6 snooping	●ポリシー設定 DHCPv6 snooping を有効に設定します。 → 220 ページ ●VLAN 設定 特定の VLAN インタフェースで DHCPv6 snooping ポリシーを有効にします。 → 222 ページ
DHCPv6 信頼設定	DHCPv6 snooping で信頼するポートを指定します。 → 224 ページ
ポート認証	ポートごとに 802.1X 認証 (RADIUS 連携) の動作の設定をします。 → 226 ページ
ポートセキュリティ	ポートセキュリティの設定をします。 → 228 ページ

■ 管理

メニュー項目	内容
設定	
設定の復元	本製品の設定をバックアップしたファイルから復元します。 → 230 ページ
設定のバックアップ	本製品の設定をファイルにバックアップします。 → 232 ページ
実行設定の消去	実行設定 (ユーザ名、パスワード、システムログ、メモリログ、ボーレート、SSH サービス) を削除します。 → 235 ページ
設定の保存	現在の設定内容を本製品に保存します。 → 236 ページ
診断	IP アドレスの ping、tracerout、ポートテストの実行をします。 → 237 ページ

ファームウェア更新	●ファームウェア更新 本製品のファームウェアを更新します。 → 240 ページ ●ファームウェア自動更新 ファームウェア自動更新機能の設定をします。 → 243 ページ
再起動	本製品を再起動します。 → 244 ページ

設定の保存と再起動



保存

設定を変更した場合、「保存」ボタンを押して設定を保存します。

ログアウト

管理画面からログアウトします。

再起動

本製品を再起動します。設定を変更した場合は「保存」ボタンを押してから再起動してください。

重要

設定を変更した場合は、必ず各ページの「適用」をクリックして設定を保存してください。

「適用」をクリックせずに他の画面に移動すると、設定が変更されません。

また、各種設定を終了する前に必ず設定画面右上の「保存」をクリックして、設定を保存してください。

「保存」をクリックせずに本製品を再起動すると、設定した内容が最後に「保存」したときの状態に戻ります。

ダッシュボード

本製品のハードウェア情報や IP アドレスなどのシステム情報が表示されます。



■ ポートステータス

LANポートの使用状況が表示されます。使用中のポートは緑で点灯します。ポートをクリックすると、ポートのステータスパネルが開き、ポートの有効／無効の切り替えや、PoEポートのパワーサイクルなどの基本情報が表示されます。

■ システム構成

項目	内容
システム名	本製品に設定されている名称が表示されます。
システムロケーション	本製品に設定されている場所の名称が表示されます。
ブートバージョン	本製品に搭載されているブートモジュールのバージョン番号が表示されます。
ファームウェアバージョン	本製品のファームウェアのバージョンが表示されます。
システム時間	現在の日付と時刻が表示されます。 フォーマットは mm/dd/yyyy hh:mm:ss です。
システム稼働時間	本製品の最終再起動または電源投入からの稼働時間が表示されます。
シリアル番号	本製品のシリアル番号が表示されます。 シリアル番号はデバイスの追跡と制御に使用されます。
ハードウェアバージョン	本製品のハードウェアバージョンが表示されます。
システム MAC アドレス	本製品の MAC アドレスが表示されます。

項目	内容
システム IP アドレス	本製品の IP アドレスが表示されます。
アドミリンク登録状態	アドミリンクの登録状態が表示されます。

■ CPU 使用率

現在の CPU 使用率が表示されます。

■ メモリ使用量

現在のメモリ使用量が表示されます。

■ 温度

本製品の温度レベルが表示されます。

本製品には温度センサがあり、温度が閾値以上に上昇した場合に検知してお知らせします。

ARP テーブル

IP アドレスとMAC アドレスのマッピングが表示されます。

MEMO

アドレス解決プロトコル（ARP）とは、IP アドレスを、LAN 上の物理的な MAC アドレスにマッピングするためのプロトコルです。

ARP テーブルは、各 MAC アドレスと対応する IP アドレスの関連付けを維持します。



項目	内容
条件	条件を指定して「リフレッシュ」をクリックすると、指定した条件のARP エントリを削除します。
	すべて すべてのエントリを削除します。
	IP アドレス 指定した IP アドレスのエントリを削除します。
	ポート 指定したポートのエントリを削除します。 複数のポートを（スペースなし）カンマ（,）またはハイフン（-）で区切って範囲を入力できます。 たとえば、ポート「3、4、5」を指定するときは「3-5」と入力します。 ポート「3、5、7」を指定するときは、「3,5,7」と入力します。

IPアドレステーブル

本製品のポート間でパケットがどのように転送またはフィルタリングされるかが表示されます。本製品のポートに転送されるパケットをデバイス（VLANグループに属する場合もあります）が送信すると、デバイスのIPアドレスが本製品のIPアドレステーブル画面に表示されます。また、この画面にはIPアドレスが動的か静的かも表示されます。

ELECOM >> Switch For Business 保存 ログアウト 再起動 日本語 ▾					
モニター >> IPアドレステーブル					
ダッシュボード モニター ARPテーブル IPアドレステーブル MACアドレステーブル ポートステータス システム情報 システムログ システム ポート スイッチング ネットワーク セキュリティ 管理	IPアドレステーブル				
	インデックス	IPアドレス	VID	ポート	タイプ
	1	192.168.3.1	1	CPU	静的
	2	192.168.3.100	1	1	動的

MACアドレステーブル

本製品のポート間でフレームがどのように転送またはフィルタリングされるかが表示されます。どのデバイスのMACアドレスがどのポートに転送され、どのVLANグループに属しているか、MACアドレスが動的か静的かが表示されます。

特定のMACアドレスを検索するには、MACテーブル画面を使用します。

また、この画面を使用して、MACテーブルから静的MAC転送テーブル、またはMACフィルタリングテーブルに動的MACアドレスを直接追加することもできます。

インデックス	MACアドレス	VID	ポート	タイプ
1	38:97:A4:8A:30:F9	1	CPU	静的
2	CC:30:80:12:9C:97	1	1	動的

項目	内容	
条件	条件を指定して「検索」をクリックすると、指定した条件に一致する MAC アドレスのみが表示されます。	
	すべて	すべてのエントリが表示されます。
	静的	手動で設定された MAC アドレスのみが表示されます。
	MAC アドレス	指定した MAC アドレスのみが表示されます。
	VID	指定した VLAN に属する MAC アドレスのみが表示されます。
	ポート	指定したポートに転送される MAC アドレスのみが表示されます。
	トランク	トランクグループの ID を入力すると、トランクグループ内のポートから学習されたすべての MAC アドレスが表示されます。
ソート	指定した順番で表示を並び替えます。	

項目	内容	
転送タイプ	Dynamic to MAC forwarding	選択して「適用」をクリックすると、サマリーテーブルの動的に学習された MAC アドレスエントリがすべて静的エントリに変更されます。
	Dynamic to MAC filtering	選択して「適用」をクリックすると、サマリーテーブルにあるすべての動的に学習された MAC アドレスエントリが MAC フィルタリングエントリに変更されます。

ポートステータス

ポートステータス

本製品のポートステータスが表示されます。

ELECOM >> Switch For Business 保存 ログアウト 再起動 日本語										
モニター >> ポートステータス										
ポートステータス DDM ポート使用率										
ポート	ポート名	リンク	状態	LACP	送信パケット数	受信パケット数	エラー	Tx kB/s	Rx kB/s	稼働時間
1		10G-F	転送	無効	2061	1422	0	0.205	0.751	0:09:56
2		DOWN	停止	無効	0	0	0	0.0	0.0	0:00:00
3		DOWN	停止	無効	0	0	0	0.0	0.0	0:00:00
4		DOWN	停止	無効	0	0	0	0.0	0.0	0:00:00
5		DOWN	停止	無効	0	0	0	0.0	0.0	0:00:00
6		DOWN	停止	無効	0	0	0	0.0	0.0	0:00:00
7		DOWN	停止	無効	0	0	0	0.0	0.0	0:00:00
8		DOWN	停止	無効	0	0	0	0.0	0.0	0:00:00
9		DOWN	停止	無効	0	0	0	0.0	0.0	0:00:00
10		DOWN	停止	無効	0	0	0	0.0	0.0	0:00:00

項目	内容
ポート	ポート番号をクリックすると、ポート詳細画面が表示されます。(→ 39 ページ)
ポート名	このポートに割り当てられた名称が表示されます。
リンク	速度が表示されます。 10Mbps は 10M、100Mbps は 100M、1Gbps は 1G、2.5Gbps は 2.5G、5Gbps は 5G、10Gbps は 10G と表示されます。 また、全二重は「F」、半二重は「H」と表示されます。 ポートがどのデバイスにも接続されていない場合は、「Down」と表示されます。 ※ 10Gbps/5Gbps は、EHB-SX シリーズのみ対応。
状態	STP(Spanning Tree Protocol)が有効な場合、ポートの STP 状態が表示されます。 STP が無効の場合、リンクがアップしていれば「転送」と表示され、そうでなければ「停止」と表示されます。 LACP(Link Aggregation Control Protocol)と STP がブロッキング状態の場合は、「ブロッキング」と表示されます。
LACP	LACP (リンクアグリゲーションコントロールプロトコル) がポートで有効になっているかどうかが表示されます。
送信パケット数	このポートの送信パケット数が表示されます。
受信パケット数	このポートの受信パケット数が表示されます。
エラー	このポートの受信エラー数が表示されます。
Tx kB/s	このポートで送信された 1 秒あたりのキロバイト数が表示されます。

項目	内容
Rx kB/s	このポートで受信された毎秒のキロバイト数が表示されます。
稼働時間	ポートが稼働している合計時間（時、分、秒）が表示されます。

■ ポート詳細画面

各ポートのステータスと詳細なパフォーマンスデータが表示されます。

ポートステータス > ポート詳細	
ポート情報	
ポート番号	1
ポート名	
リンク	1G/F
状態	FORWARDING
LACP	無効
送信/パケット数	7047
受信/パケット数	3979
エラー	0
送信 kB/s	0.654
送信使用率 %	0.0
受信 kB/s	1.659
受信使用率 %	0.0
稼働時間	2:40:11
TX Packet	
Unicast	6006
Multicast	426
Broadcast	615
Pause	0
RX Packet	
Unicast	3808
Multicast	145
Broadcast	26
Pause	0
TX Collision	
Single	0
Multiple	0
Excessive	0
Late	0
Error Packet	
RX CRC	0
Length	0
Runt	0
Distribution	
64	4059
65 - 127	275
128 - 255	290
256 - 511	1597
512 - 1023	465
1024 - 1518	4340
Giant	0

項目	内容
ポート情報	ポートの詳細情報が表示されます。
Distribution	受信したパケット（不良パケットを含む）の数が表示されます。
	64 長さが 64 オクテットのパケット数
	65-127 長さが 65 ～ 127 オクテットのパケット数
	128-255 長さが 128 ～ 255 オクテットのパケット数
	256-511 長さが 256 ～ 511 オクテットのパケット数
	512-1023 長さが 512 ～ 1023 オクテットのパケット数
	1024-1518 長さが 1024 ～ 1518 オクテットのパケット数
	Giant 1519 から最大フレームサイズまでのパケット数

項目	内容	
TX Packet	Unicast	良好なユニキャストパケットの送信数が表示されます。
	Multicast	良好なマルチキャストパケットの送信数が表示されます。
	Broadcast	良好なブロードキャストパケットの送信数が表示されます。
	Pause	送信された 802.3x ポーズパケット数が表示されます。
RX Packet	Unicast	良好なユニキャストパケットの受信数が表示されます。
	Multicast	良好なマルチキャストパケットの受信数が表示されます。
	Broadcast	良好なブロードキャストパケットの受信数が表示されます。
	Pause	受信された 802.3x ポーズパケット数が表示されます。
Tx Collision	Single	1 つの衝突によって送信が障害された、正常に送信されたパケットの数が表示されます。
	Multiple	複数の衝突によって送信が障害された、正常に送信されたパケットの数が表示されます。
	Excessive	再送上限に達して送信失敗したパケットの数が表示されます。
	Late	フレーム先頭 512 bit を超えてから検出された衝突の回数が表示されます。
Error Packet	RX CRC	CRC (Cyclic Redundant Check) エラーで受信したパケット数が表示されます。
	Length	範囲外の長さで受信したパケット数が表示されます。
	Runt	CRC エラーを含む、短すぎる (64 オクテットより短い) パケットを受信した数が表示されます。

DDMI

本製品のSFPトランシーバの DDMI ステータスが表示されます。

MEMO

DDMI (Digital Diagnostics Monitoring Interface)機能をサポートする光SFPトランシーバーでは、トランシーバーのパラメーターを監視して、コンポーネントの監視、障害切り分け、障害予測タスクを実行できます。これにより、予防的なネットワーク・メンテナンスが可能になり、サービスの継続性が確保されます。

ポート	Vendor	Part Number	シリアル番号	リビジョン	Date Code	Transceiver	アクション
32	Elecom	EHB-EX-SFPGLX	51L49720042		2015-01-09	1000BASE-LX	Reset

項目	内容
ポート	SFP トランシーバーを使用しているポート番号が表示されます。 ポート番号をクリックすると、DDMI 詳細画面 (42 ページ) が表示されます。
Vender	光トランシーバーのベンダー名が表示されます。
Part Number	光トランシーバーの部品番号が表示されます。
シリアル番号	光トランシーバーのシリアル番号が表示されます。
リビジョン	光トランシーバーのリビジョン番号が表示されます。
Date Code	光トランシーバーが製造された日付が表示されます。
Transceiver	SFP スロットに取り付けられているトランシーバーのタイプが表示されます。

項目	内容
アクション	SFP ポートで接続エラー（受信はできるがデータを送信できない場合など）が発生した場合は、「Reset」をクリックします。 これにより、エラー状態にあるファイバー SFP トランシーバを抜き差しすることなく再起動できます。 SFP ポート再起動後、「モニター」→「ポートステータス」→「ポートステータス」で SFP ポートの状態を確認してください。 また、本製品のポート LED を確認し、接続が回復したかどうかを確認することもできます。 注意 光トランシーバが SFP ポートに正しく挿入されていることを確認してください。

■ DDMI 詳細画面

SFP (Small Form Factor Pluggable) トランシーバー情報と SFP ポートの動作パラメータがリアルタイムで表示されます。

パラメータには、送受信電力やモジュール温度などが含まれます。

現在のトランシーバーのステータスを表示するには、DDMI 画面のポート列のインデックスをクリックします。

The screenshot shows the ELECOM web interface for monitoring port status. The main content area is titled 'Port Status' and 'DDMI Port Utilization'. It displays 'Transceiver Information' and 'DDMI Information'.

Transceiver Information

Port No	10
Connector Type	SFP
Vendor	ELECOM
Part Number	E10S-SX-SFPGLX
Serial Number	S1L49720042
Revision	2015.01.09
Optic Code	
Transceiver	1000BASE-LX

DDMI Information

Type	Current	High Alarm Threshold	High Warn Threshold	Low Warn Threshold	Low Alarm Threshold
Temperature(C)	-	-	-	-	-
Voltage(V)	-	-	-	-	-
TX Bias(mA)	-	-	-	-	-
TX Power(dBm)	-	-	-	-	-
RX Power(dBm)	-	-	-	-	-

ポート使用率

ポートで実際に送信または受信されたフレームのリンク速度に対するパーセンテージが表示されます。

ELECOM

>> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

モニター >> ポートステータス

ダッシュボード

モニター

ARPテーブル

IPアドレステーブル

MACアドレステーブル

ポートステータス

システム情報

システムログ

システム

ポート

スイッチング

ポートステータス

DDMI

ポート使用率

ポート	リンク	送信 kB/s	送信使用率 %	受信 kB/s	受信使用率 %
1	1G/F	28.294	0.0	1.149	0.0
2	DOWN	0.0	0.0	0.0	0.0
3	DOWN	0.0	0.0	0.0	0.0
4	DOWN	0.0	0.0	0.0	0.0
5	DOWN	0.0	0.0	0.0	0.0
6	DOWN	0.0	0.0	0.0	0.0
7	DOWN	0.0	0.0	0.0	0.0
8	DOWN	0.0	0.0	0.0	0.0
9	DOWN	0.0	0.0	0.0	0.0
10	DOWN	0.0	0.0	0.0	0.0

項目	内容
ポート	SFP ポートを識別します。
リンク	速度 (10Mbps は 10M、100Mbps は 100M、1Gbps は 1G、2.5Gbps は 2.5G、5Gbps は 5G、10Gbps は 10G) とデュプレックス (全二重は F、半二重は H) です。ポートがどのデバイスにも接続されていない場合は、「DOWN」と表示されます。 ※ 10Gbps/5Gbps は、EHB-SX シリーズのみ対応。
送信 KB/s	このポートで送信されるデータの伝送速度 (キロバイト/秒) が表示されます。
送信使用率 %	このポートで実際に送信されたフレームの Link 速度に対する割合が表示されます。
受信 KB/s	このポートで受信したデータの伝送速度 (キロバイト/秒) が表示されます。
受信使用率 %	このポートで実際に受信したフレームのリンク速度に対する割合が表示されます。

システム情報

本製品の一般的なシステム情報とハードウェアステータスが表示されます。

The screenshot shows the ELECOM system information page. The left sidebar contains navigation links: ダッシュボード, モニター (selected), ARPテーブル, IPアドレステーブル, MACアドレステーブル, ポートステータス, システム情報 (selected), システムログ, システム, ポート, スイッチング, ネットワーク. The main content area is titled 'システム情報' and displays the following information:

- システム名: EH19-SX2B08F
- 型番: EH19-SX2B08F
- ファームウェアバージョン: 1.0.0
- MACアドレス: 38:97:A4:8A:30:F0
- CPU使用率 (%): 2.98

Below this is a 'メモリ使用率 (%)' table:

名前	合計 (byte)	使用済み (byte)	使用率 (%)
一般	83207424	3728976	4

■ システム情報

項目	内容
システム名	本製品を識別するための記述名が表示されます。
型番	本製品の製品モデルが表示されます。ファームウェアのアップグレードを検索する際や、Web サイトでその他のサポート情報を検索する際に使用します。
ファームウェアバージョン	本製品の現在のファームウェアのバージョン番号が表示されます。
MAC アドレス	本製品の MAC アドレスが表示されます。
CPU 使用率 (%)	現在の CPU 使用率が表示されます。

■ メモリ使用率

使用可能なDRAMメモリの量と使用中のメモリが表示されます。
また、現在のメモリ使用率も表示されます。

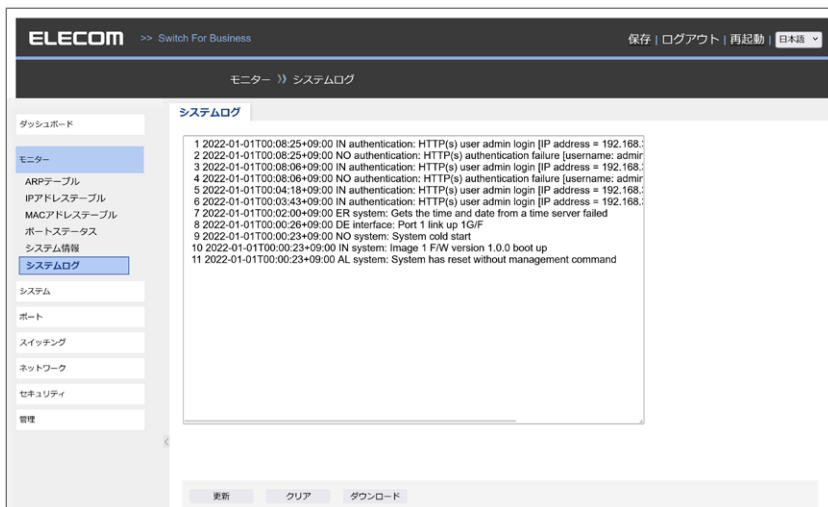
項目	内容
名前	メモリプールの名前が表示されます。
合計 (byte)	メモリプールの合計バイト数が表示されます。
使用済み (byte)	このメモリプールで使用されているバイト数が表示されます。
使用率 (%)	このメモリプールで使用されているメモリの割合 (%) が表示されます。

システムログ

ログメッセージが記録された時間とログメッセージが生成された理由が表示されます。
ログメッセージはテキストデータとして保存することができます。

注意

ログがログ・メッセージの最大数に達すると、新しいログ・メッセージが既存のログ・メッセージを自動的に上書きし、既存のログ・メッセージのうちもっとも古いものから順に上書きされます。



項目	内容
更新	表示内容を最新のものに更新します。
クリア	ログ全体をクリアします。
ダウンロード	ログをテキストデータとしてパソコンに保存します。

一般設定

システム名や時刻などの一般的な設定をおこないます。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

システム >> 一般設定

ダッシュボード
モニター
システム
一般設定
インターフェース設定
IPアドレス設定
IPv6
ユーザアカウント
SNMP
スイッチ設定
Syslog設定
タイムスケジュール
アドミニク
ポート
スイッチング
ネットワーク
セキュリティ
管理

一般設定

システム名
ロケーション
担当者名
時刻同期フォーマット
タイムサーバー1
タイムサーバー2
タイムサーバー3
時刻同期間隔
現在時刻
新しい時刻 (hh:mm:ss)
日付
新しい日付 (yyyy-mm-dd)
タイムゾーン
サマータイム
開始日
終了日

EHB-SX2B08F

default

NTP(RFC-1305)

0.pool.ntp.org

1.pool.ntp.org

time.google.com

1440 分

01 : 30 : 41 UTC+09:00

01 : 30 : 41

2022 - 01 - 01

2022 - 01 - 01

UTC+09:00

OFF

第1 日曜日 1月 0:00

第1 日曜日 1月 0:00

適用 キャンセル

項目	内容
システム名	本製品に設定する名前を入力します。 (最大 64 文字まで。? (クエスチョンマーク) (パイプ) ' (クォーテーション) " (ダブルクォーテーション) , (コンマ) は使用不可)
ロケーション	本製品の設置場所を入力します。 (最大 128 文字まで。? (クエスチョンマーク) (パイプ) ' (クォーテーション) " (ダブルクォーテーション) は使用不可。初期値: default)
担当者	本製品の担当者名を入力してください。スペースは使用可能です。 (最大 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) (パイプ) ' (クォーテーション) " (ダブルクォーテーション) , (コンマ) は使用不可)

項目	内容	
時刻同期フォーマット	タイムサーバが使用するタイムサービスプロトコルを選択します。 (初期値：NTP(RFC-1305))	
	Daytime(RFC-867)	タイムゾーン調整なしで日、月、年、時刻を表示します。 このフォーマットを使用する場合は、地理的なタイムゾーン内で Daytime タイムサーバを使用することを推奨します。
	Time(RFC-868)	1970/1/1 の 0:0:0 からの合計秒数を 4 バイトの整数で表示します。
	NTP(RFC-1305)	Time(RFC-868) に似ています。
タイムサーバ 1	タイムサーバの IPv4/IPv6 アドレスまたはドメイン名を入力します。 本製品は 3 つのタイムサーバを、1、2、3 の順番でそれぞれ約 60 秒間検索します。	
タイムサーバ 2		
タイムサーバ 3		
時刻同期間隔	タイムサーバの同期間隔を分単位で入力します。 本製品は同期間隔ごとにタイムサーバを確認します。 (初期値：1440 分)	
現在時刻	この画面を開いた（または画面を更新した）時刻が表示されます。	
新しい時刻 (hh:mm:ss)	新しい時刻を時、分、秒の形式で入力し、「適用」をクリックすると、新しい時刻が「現在時刻」に設定されます。	
日付	この画面を開いた日付が表示されます。	
新しい日付 (yyyy-mm-dd)	新しい時刻を年、月、日の形式で入力し、「適用」をクリックすると、新しい日時日付が設定されます。	
タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。 (初期値：UTC+9（日本）)	
サマータイム	サマータイムの有効／無効を切り替えます。 (初期値：無効)	
開始日	サマータイムを有効にした場合の開始日を設定します。	
終了日	サマータイムを有効にした場合の終了日を設定します。	

インターフェース設定

IPv6のVLANインタフェースを設定します。

システム >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▾

システム >> インターフェース設定

インターフェース設定

	インデックス	インターフェースタイプ	インターフェースID	インターフェース
☐	1	VLAN	1	VLAN1

追加/編集 削除

インターフェースを追加したり、選択した
インターフェースを編集します。

→ [49ページ](#)

選択したインターフェースを削除します。

項目	内容
インデックス	エントリのインデックス番号が表示されます。
インターフェースタイプ	インターフェースのタイプが表示されます。
インターフェース ID	インターフェースの識別番号が表示されます。
インターフェース	自動的に生成するインタフェースの記述名が表示されます。 インタフェース種別と ID 番号を組み合わせた名前です。

■ インターフェース追加／編集

インターフェースタイプ

VLAN ▾

インターフェースID

適用

クリア

キャンセル

項目	内容
インターフェースタイプ	設定する IPv6 インタフェースのタイプを選択します。 本製品は IPv6 の VLAN インタフェースタイプをサポートしています。
インターフェース ID	インタフェースに固有の識別番号（1 ～ 4094）を指定します。 IPv6 を正しく機能させるためには、同じ ID 番号のスタティック VLAN を設定する必要があります。 → 「スイッチング」 — 「VLAN 設定」 — 「静的 VLAN」 (222 ページ)
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

IP アドレス設定

IP アドレスステータス

本製品の現在のIP インタフェースおよびDNS サーバを設定します。

The screenshot shows the ELECOM web interface. The top navigation bar includes 'ELECOM', '>> Switch For Business', and user options like '保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語'. The main header indicates the current path: 'システム >> IPアドレス設定'.

On the left is a sidebar menu with the following items:

- ダッシュボード
- モニター
- システム
 - 一般設定
 - インターフェース設定
 - IPアドレス設定** (highlighted)
 - IPv6
 - ユーザーアカウント
 - SNMP
 - スイッチ設定
 - Syslog設定
 - タイムスケジュール
 - アドミリンク
- ポート
- スイッチング
- ネットワーク
- セキュリティ
- 管理

The main content area is titled 'IPアドレスステータス' and 'IPアドレス設定'. It contains two sections:

DNSサーバー

DNSサーバー		ソース

IPインターフェース

インデックス	IPアドレス	サブネットマスク	VID	タイプ	アクション
1	0.0.0.0	0.0.0.0	1	DHCP	更新 リリース
2	192.168.3.1	255.255.255.0	1	静的	

■ DNS サーバー

項目	内容
DNS サーバー	DNS サーバーの IP アドレスが表示されます。
ソース	DNS サーバーのアドレスが手動で設定されたもの（静的）か、DHCPv4 を使って自動的に取得されたものかが表示されます。

■ IP インターフェース

項目	内容
インデックス	インターフェースのインデックス番号が表示されます。クリックすると、インターフェースの詳細が表示されます。
IP アドレス	IP ドメイン内の本製品の IP アドレスが表示されます。
サブネットマスク	IP ドメイン内の本製品のサブネットマスクが表示されます。
VID	IP ドメイン内の本製品の VLAN 識別番号が表示されます。

項目	内容	
タイプ	この IP アドレスが DHCP サーバから動的に割り当てられているか (DHCP)、手で割り当てられているか (静的) が表示されます。	
アクション	更新	動的 IP アドレスを更新します。
	リリース	動的 IP アドレスを解放します。

IP アドレス設定

デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーの設定や IP ドメインの追加／編集をします。

■ IP アドレス設定

項目	内容
デフォルトゲートウェイ	デフォルトの送信ゲートウェイの IP アドレスを、192.168.1.254 のようにドット付き 10 進表記で入力します。
DNS サーバー 1	IP アドレスの代わりにドメイン名を使用できるように、ドメインネームサーバーの IP v4 アドレスを入力します。
DNS サーバー 2	
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

■ IPインターフェース

項目	内容
インデックス	インターフェースのインデックス番号が表示されます。 クリックすると、インターフェースの詳細が表示されます。
IP アドレス	IP ドメイン内の本製品の IP アドレスが表示されます。
IP サブネットマスク	IP ドメイン内の本製品のサブネットマスクが表示されます。
VID	IP ドメイン内の本製品の VLAN 識別番号が表示されます。
タイプ	IP アドレスステータスのタイプです。「静的」または「DHCP」と表示されます。

[IPv6] ステータス

IPv6 テーブルとDNS サーバー情報が表示されます。

The screenshot shows the ELECOM network management interface. The top navigation bar includes 'ELECOM', a language switcher '日本語', and buttons for '保存' (Save), 'ログアウト' (Logout), and '再起動' (Restart). The breadcrumb trail is 'システム >> IPv6 >> ステータス'. The left sidebar lists various configuration options under 'システム' and 'IPv6'. The main content area, titled 'IPv6ステータス', displays two tables:

DNSサーバー		
DNSサーバー	ソース	

IPv6テーブル		
インデックス	インターフェース	有効
1	VLAN1	ON

■ DNSサーバー

項目	内容
DNS サーバー	DNS サーバーの IP アドレスが表示されます。
ソース	DNS サーバーのアドレスが手動で設定されたもの（静的）か、DHCPv6 を使って自動的に取得されたものかが表示されます。

■ IPv6 テーブル

項目	内容
インデックス	インターフェースのインデックス番号が表示されます。 クリックすると、インターフェースの詳細が表示されます。
インターフェース	作成した IPv6 インターフェースの名称が表示されます。
有効	IPv6 インターフェースの有効／無効が表示されます。

■ IPv6 インターフェース詳細

ELECOM
>> Switch For Business
保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

システム >> IPv6 >> ステータス

ダッシュボード
モニター
システム
一般設定
インターフェース設定
IPアドレス設定
IPv6
ステータス
グローバル設定
インターフェース設定
アドレス設定
DHCPv6クライアント設定
ユーザアカウント
SNMP
スイッチ設定
Syslog設定
タイムスケジュール

IPv6ステータス

IPv6ステータス > IPv6-インターフェース詳細

インターフェース: VLAN1

静的IPv6有効	ON	DHCPv6クライアント有効	ON
MTUサイズ	1500	識別子関連付け	
ICMPv6レート制限/パケットサイズ	100	IAタイプ	IA-NA
ICMPv6レート制限エラー間隔	1000	IAID	11
ND DAD有効	ON	T1	0
DAD試行回数	1	T2	0
NS間隔 (ミリ秒)	1000	状態	
ND到達可能時間 (ミリ秒)	30000	SID	
リンクローカルアドレス	fe80::3a97:a4f:fe8a:3005/64 [preferred]	アドレス	
グローバルユニキャストアドレス		優先生存期間	0
参加グループアドレス	FE02::2 FE02::1 FE02::1::FE8a:3000	有効生存期間	0
		DNS	
		ドメインリスト	

項目	内容
静的 IPv6 有効	IPv6 インターフェースの有効／無効が表示されます。
MTU サイズ	IPv6 パケットの最大伝送単位 (MTU) サイズが表示されます。
ICMPv6 レート制限 パケットサイズ	与えられた時間間隔で送信を許可される ICMPv6 エラーメッセージの最大数が表示されます。 パケットが一杯になると、それ以降のエラーメッセージは抑制されます。
ICMPv6 レート制限 エラー間隔	パケットサイズまでの ICMPv6 エラーメッセージを送信できる時間 (ミリ秒) です。 0 は制限なしを意味します。
ND DAD 有効	Neighbor Discovery (ND) Duplicate Address Detection (DAD) の有効／無効が表示されます。
DAD 試行回数	本製品がこのインタフェースに対して連続して送信するネイバー勧誘の回数が表示されます。
NS 間隔 (ミリ秒)	このインタフェースに対してネイバー勧誘を再送する時間間隔 (ミリ秒) が表示されます。
ND 到達可能時間 (ミリ秒)	このインタフェースに対してネイバーが到達可能とみなされる時間 (ミリ秒単位) が表示されます。
リンクローカルアド レス	本製品のリンクローカル IP アドレスとインタフェースが生成したプレフィックスが表示されます。また、その IP アドレスが有効なアドレスであり、送信者アドレスまたは受信者アドレスとして使用できることを意味する「preferred」かどうか也表示されます。

項目	内容																		
参加グループアドレス	本製品のインタフェースが参加しているグループの IPv6 マルチキャストアドレスが表示されます。																		
DHCPv6 クライアント有効	本製品が DHCPv6 クライアントとして動作し、DHCPv6 サーバから IPv6 アドレスを取得するかどうかが表示されます。																		
識別子関連付け	<table border="1"> <tr> <td>IA タイプ</td><td>IA 内のアドレスのタイプが表示されます。 各 IA は 1 つのタイプのアドレスを保持します。 「IA_NA」は非一時的アドレスの ID アソシエーションを意味し、「IA_TA」は一時的アドレスの ID アソシエーションを意味します。</td></tr> <tr> <td>IAID</td><td>各 IA は、一意の IAID と関連する IP 情報から構成されます。</td></tr> <tr> <td>T1</td><td>DHCPv6 の T1 タイマーです。T1 の後、本製品は DHCPv6 サーバに Renew メッセージを送信します。 IA_NA オプションには T1 と T2 のフィールドが含まれていますが、IA_TA オプションには含まれていません。 DHCPv6 サーバは T1 と T2 を用いて、クライアントが IA_NA に含まれるアドレスのライフタイムが切れる前にサーバとコンタクトしてライフタイムを延長する時間を制御します。</td></tr> <tr> <td>T2</td><td>DHCPv6 の T2 タイマーです。T2 に達してもサーバからの応答がない場合、本製品は利用可能なサーバに Rebind メッセージを送信します。</td></tr> <tr> <td>状態</td><td>TA の状態が表示されます。 Active：本製品が DHCPv6 サーバからアドレスを取得し、TA が生成されます。 Renew：TA のアドレス有効期間が終了し、本製品が Renew メッセージを送信したときに表示されます。 Rebind：元の DHCPv6 サーバからの応答がなく、別の DHCPv6 サーバに Rebind メッセージを送出します。</td></tr> <tr> <td>SID</td><td>DHCPv6 サーバ固有の ID が表示されます。</td></tr> <tr> <td>アドレス</td><td>DHCPv6 サーバが割り当てる本製品のグローバルアドレスが表示されます。</td></tr> <tr> <td>優先生存期間</td><td>グローバルアドレスが優先され続ける時間 (秒) が表示されます。</td></tr> <tr> <td>有効生存期間</td><td>グローバルアドレスが有効である時間 (秒) が表示されます。</td></tr> </table>	IA タイプ	IA 内のアドレスのタイプが表示されます。 各 IA は 1 つのタイプのアドレスを保持します。 「IA_NA」は非一時的アドレスの ID アソシエーションを意味し、「IA_TA」は一時的アドレスの ID アソシエーションを意味します。	IAID	各 IA は、一意の IAID と関連する IP 情報から構成されます。	T1	DHCPv6 の T1 タイマーです。T1 の後、本製品は DHCPv6 サーバに Renew メッセージを送信します。 IA_NA オプションには T1 と T2 のフィールドが含まれていますが、IA_TA オプションには含まれていません。 DHCPv6 サーバは T1 と T2 を用いて、クライアントが IA_NA に含まれるアドレスのライフタイムが切れる前にサーバとコンタクトしてライフタイムを延長する時間を制御します。	T2	DHCPv6 の T2 タイマーです。T2 に達してもサーバからの応答がない場合、本製品は利用可能なサーバに Rebind メッセージを送信します。	状態	TA の状態が表示されます。 Active：本製品が DHCPv6 サーバからアドレスを取得し、TA が生成されます。 Renew：TA のアドレス有効期間が終了し、本製品が Renew メッセージを送信したときに表示されます。 Rebind：元の DHCPv6 サーバからの応答がなく、別の DHCPv6 サーバに Rebind メッセージを送出します。	SID	DHCPv6 サーバ固有の ID が表示されます。	アドレス	DHCPv6 サーバが割り当てる本製品のグローバルアドレスが表示されます。	優先生存期間	グローバルアドレスが優先され続ける時間 (秒) が表示されます。	有効生存期間	グローバルアドレスが有効である時間 (秒) が表示されます。
IA タイプ	IA 内のアドレスのタイプが表示されます。 各 IA は 1 つのタイプのアドレスを保持します。 「IA_NA」は非一時的アドレスの ID アソシエーションを意味し、「IA_TA」は一時的アドレスの ID アソシエーションを意味します。																		
IAID	各 IA は、一意の IAID と関連する IP 情報から構成されます。																		
T1	DHCPv6 の T1 タイマーです。T1 の後、本製品は DHCPv6 サーバに Renew メッセージを送信します。 IA_NA オプションには T1 と T2 のフィールドが含まれていますが、IA_TA オプションには含まれていません。 DHCPv6 サーバは T1 と T2 を用いて、クライアントが IA_NA に含まれるアドレスのライフタイムが切れる前にサーバとコンタクトしてライフタイムを延長する時間を制御します。																		
T2	DHCPv6 の T2 タイマーです。T2 に達してもサーバからの応答がない場合、本製品は利用可能なサーバに Rebind メッセージを送信します。																		
状態	TA の状態が表示されます。 Active：本製品が DHCPv6 サーバからアドレスを取得し、TA が生成されます。 Renew：TA のアドレス有効期間が終了し、本製品が Renew メッセージを送信したときに表示されます。 Rebind：元の DHCPv6 サーバからの応答がなく、別の DHCPv6 サーバに Rebind メッセージを送出します。																		
SID	DHCPv6 サーバ固有の ID が表示されます。																		
アドレス	DHCPv6 サーバが割り当てる本製品のグローバルアドレスが表示されます。																		
優先生存期間	グローバルアドレスが優先され続ける時間 (秒) が表示されます。																		
有効生存期間	グローバルアドレスが有効である時間 (秒) が表示されます。																		
DNS	DHCPv6 サーバによって割り当てられた DNS サーバアドレスが表示されます。																		
ドメインリスト	本製品が DNS サーバにドメイン名の解決を問い合わせる際のアドレスレコードが表示されます。																		
DHCPv6 クライアントの再起動	「再起動」をクリックすると、DHCPv6 サーバに新しい DHCP 要求が送信され、このインタフェースの IPv6 アドレスと DNS 情報が更新されます。																		

【IPv6】グローバル設定

ELECOM
Switch For Business
保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

システム >> IPv6 >> グローバル設定

システムボード
モニター
システム
一般設定
インターフェース設定
IPアドレス設定
IPv6
ステータス
グローバル設定
インターフェース設定
アドレス設定
DHCPv6クライアント設定
ユーザーアカウント
SNMP
スイッチ設定
Syslog設定
タイムスケジュール
アドミニク
ポート
スリーピング

IPv6 グローバル設定

IPv6 ホップ制限
ICMPv6 レート制限/パケット サイズ
ICMPv6 レート制限エラー 閾値
64
100
1000
ミリ秒

通電
キャンセル
クリア

項目	内容
IPv6 ホップ制限	ルーター広告の最大ホップ数（1 ～ 255）を指定します。 これは IPv6 パケットが IPv6 ルーターに破棄されるまでに送信を許可される最大ホップ数で、IPv4 の TTL フィールドに似ています。
ICMPv6 レート制限 パケットサイズ	一定時間内に送信できる ICMPv6 エラーメッセージの最大数（1 ～ 200）を指定します。 パケットが一杯になると、それ以降のエラーメッセージは抑制されます。
ICMPv6 レート制限 エラー間隔	パケットサイズまでの ICMPv6 エラーメッセージを送信できる時間（0 ～ 2147483647 ミリ秒）を指定します。0 は制限なしを意味します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

【IPv6】インターフェース設定

作成したIPv6 インタフェースの表示および設定します

The screenshot shows the ELECOM web interface for IPv6 Interface Settings. The breadcrumb trail is システム >> IPv6 >> インターフェース設定. The left sidebar contains a menu with options like ダッシュボード, モニター, システム, 一般設定, インターフェース設定, IPアドレス設定, IPv6, ステータス, グローバル設定, インターフェース設定 (highlighted), アドレス設定, DHCPv6クライアント設定, ユーザーアカウント, and SNMP. The main content area is titled IPv6 インターフェース設定 and contains a table with the following data:

	インデックス	インターフェース	有効	編集
☐	1	VLAN1	ON	

選択したインターフェースを編集します。

→ [58ページ](#)

項目	内容
インデックス	インターフェースのインデックス番号が表示されます。
インターフェース	作成した IPv6 インターフェースの名前が表示されます。
有効	IPv6 インターフェースが有効かどうかが表示されます。

■ インターフェース編集画面

インターフェース

VLAN1 ▾

有効

ON ☒

適用

クリア

キャンセル

項目	内容
インターフェース	設定する IPv6 インタフェースを選択します。
有効	インターフェイスの有効／無効を切り替えます。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

【IPv6】アドレス設定

IPv6 リンクローカルアドレス設定

IPv6 のリンクローカルアドレスを設定します。

選択したリンクローカルアドレス
を編集します。

→ [60 ページ](#)

項目	内容
インデックス	インターフェースのインデックス番号が表示されます。
インターフェース	作成した IPv6 インターフェースの名前が表示されます。
IPv6 リンクローカルアドレス	インターフェイスの静的 IPv6 リンクローカルアドレスが表示されます。
IPv6 ゲートウェイ	インターフェースのデフォルトゲートウェイ IPv6 アドレスが表示されます。

■ IPv6 リンクローカルアドレスの編集

インターフェース	VLAN1 ▼
リンクローカルアドレス	
デフォルトゲートウェイ	
適用 クリア キャンセル	

項目	内容
インターフェースタイプ	設定する IPv6 インタフェースのタイプを選択します。
リンクローカルアドレス	インターフェースの静的 IPv6 リンクローカルアドレスを手動で設定します。
デフォルトゲートウェイ	インターフェースのデフォルトゲートウェイ IPv6 アドレスを設定します。インターフェイスがフレームの宛先のルーティング情報を見つけれない場合、デフォルトゲートウェイにパケットを転送します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

IPv6 グローバルアドレス設定

IPv6 のグローバルアドレスを設定します。

IPv6 グローバルアドレスを追加したり、選択した IPv6 グローバルアドレスを編集します。

→ [62 ページ](#)

選択した IPv6 グローバルアドレスを削除します。

■ IPv6 DNS サーバー

項目	内容
DNS サーバー 1	IP アドレスの代わりにドメイン名を使用できるように、ドメインネームサーバーの IPv6 アドレスを入力します。
DNS サーバー 2	
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

■ IPv6 グローバルアドレス設定

項目	内容
インデックス	インターフェースのインデックス番号が表示されます。
インターフェース	作成した IPv6 インターフェースの名前が表示されます。
IPv6 グローバルアドレス/プレフィックス長	インターフェイスの IPv6 グローバルアドレスとプレフィックス長が表示されます。
EUI-64	グローバルアドレスのインタフェース ID が EUI-64 形式で生成されているかどうかが表示されます。

■ IPv6 グローバルアドレスの追加／編集

インターフェース	VLAN1 ▾	
IPv6 グローバルアドレス		☐ EUI-64
プレフィックス長		
適用 クリア キャンセル		

項目	内容
インターフェース	設定する IPv6 インタフェースを選択します。
IPv6 グローバルアドレス	インターフェースの静的 IPv6 グローバルアドレスを手動で設定します。
プレフィックス長	ネットワークアドレスを構成するアドレスの最上位ビット数（左から）を指定する IPv6 プレフィックス長を指定します。
EUI-64	EUI-64 形式を使用してインターフェイス ID を自動生成するときはチェックを入れます。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

[IPv6] DHCPv6 クライアント設定

本製品が DHCPv6 クライアントとして動作する際の DHCP 設定をします。

選択した DHCPv6 クライアントを編集します。

→ [64 ページ](#)

項目	内容
インデックス	インターフェースのインデックス番号が表示されます。
インターフェース	作成した IPv6 インターフェースの名前が表示されます。
IA-NA	DHCPv6 サーバから一時的でない IP アドレスを取得しているときは「ON」と表示されます。
Rapid-Commit	Rapid Commit オプションの ON / OFF が表示されます。
DNS	DHCPv6 サーバから DNS サーバ IPv6 アドレスを取得するかどうかが表示されます。
ドメインリスト	DHCP サーバからドメイン名のリストを取得するかどうかが表示されます。
情報更新期間（最小値）	DHCPv6 サーバとその他の設定情報を再度交換する時間間隔（秒）が表示されます。

■ DHCPv6 クライアント編集画面

インターフェース	VLAN1 ▾
IAタイプ	☒ IA-NA ☐ Rapid-Commit
オプション	☐ DNS ☐ ドメインリスト
情報更新期間(最小値)	86400 秒
適用 クリア キャンセル	

項目	内容	
インターフェース	設定する IPv6 インタフェースを選択します。	
IA タイプ	IA-NA	選択すると、本製品はこのインタフェースに対して DHCPv6 サーバから一時的でない IP アドレスを取得します。
	Rapid-Commit	選択すると、DHCPv6 Solicit メッセージに Rapid Commit オプションを付けて送信し、DHCPv6 サーバから 2 メッセージの高速交換で情報を取得できます。本製品は Rapid Commit オプションを含まない Reply メッセージを破棄します。DHCPv6 サーバも Rapid Commit オプションをサポートしている必要があります。
オプション	DNS	選択すると、DNS サーバから IPv6 アドレスを取得します。
	ドメインリスト	選択すると、DHCP サーバからドメイン名のリストを取得します。
情報更新期間（最小値）	DHCPv6 サーバと他のコンフィグレーション情報を再度交換する時間間隔（600 ～ 4294967295 秒）を指定します。（初期値：86400 秒）	
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。	

ユーザーアカウント

管理者のパスワードを変更したり、ユーザーを編集／追加します。

The screenshot shows the ELECOM web interface. The top navigation bar includes 'ELECOM', '>> Switch For Business', and a language dropdown set to '日本語'. The breadcrumb trail is 'システム >> ユーザーアカウント'. The left sidebar lists various system settings, with 'ユーザーアカウント' highlighted. The main content area is titled 'ユーザーアカウント' and contains an 'Administrator' section with fields for '古いパスワード' (Old Password), '新しいパスワード' (New Password), and '新しいパスワード(確認用)' (New Password for Confirmation). A red warning message states: 'パスワードを変更する際は、必ず新しいパスワードを記録してください。パスワードを忘れると、システムにログインできなくなります。' (When changing the password, please be sure to record the new password. If you forget the password, you will not be able to log in to the system.). Below this is a 'ユーザーアカウント編集' (Edit User Account) table with 8 rows, each containing input fields for 'ログイン' (Login), 'ユーザー名' (Username), 'パスワード' (Password), '新しいパスワード(確認用)' (New Password for Confirmation), and '権限レベル' (Permission Level).

Administrator

管理者のパスワードを設定します。

項目	内容
古いパスワード	現在のパスワードを入力します。 デフォルトの管理者パスワードは装置ラベルに記載されています。
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。
新しいパスワード (確認用)	(8 文字以上 32 文字以内。? (クエスチョンマーク) と " (ダブルクォーテーション) を除く半角英数記号のみ)

ユーザーアカウント編集

ユーザーアカウントを作成・編集します。

これらのユーザーは、読み取り専用アクセス権を持つことができます。

項目	内容
ログイン	ユーザーアカウントのインデックス番号です。
ユーザー名	ユーザー名を設定します。 (最大 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) (パイプ) " (ダブルクォーテーション) , (コンマ) は使用不可)
パスワード	パスワードを入力します。
新しいパスワード (確認用)	(8 文字以上 32 文字以内。? (クエスチョンマーク) (パイプ) ' (クォーテーション) " (ダブルクォーテーション) (スペース) , (コンマ) : (コロン) は使用不可)
権限レベル	このユーザーの特権レベル以下のいずれかから設定入力します。
	0 基本的なシステム情報を表示します。
	3 構成またはステータスを表示します。
	13 ログインアカウント、SNMP ユーザーアカウント、認証方法シーケンスおよび認証設定、複数ログイン、管理者および有効パスワード、構成情報表示を除く機能を構成します。
	14 ログインアカウント、SNMP ユーザーアカウント、認証方法シーケンスおよび認証設定、複数ログイン、管理者および有効パスワードの設定、および構成情報の表示を行います。

SNMP

SNMP

SNMP の設定をします。

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

システム > SNMP

SNMP SNMPユーザー SNMPトラップグループ SNMPトラップポート

一般設定

有効 ☐ OFF ☒ ON

SNMPバージョン v2c

コミュニティ取得 public

コミュニティ設定 public

トラップコミュニティ public

トラップの宛先

インデックス	SNMPバージョン	IPアドレス	ポート	ユーザー名
1	v2c	0.0.0.0	162	
2	v2c	0.0.0.0	162	
3	v2c	0.0.0.0	162	
4	v2c	0.0.0.0	162	

適用 キャンセル

■ 一般設定

項目	内容
有効	SNMP 機能の有効／無効を切り替えます。
SNMP バージョン	SNMP バージョンを選択します。 本製品の SNMP バージョンは SNMP マネージャのバージョンと一致している必要があります。 SNMP バージョン 2c(v2c)、SNMP バージョン 2c(v2c)、SNMP バージョン 3(v3)、またはその両方 (v3v2c) を選択してください。 SNMP バージョン 2c は、SNMP バージョン 1 と下位互換性があります。
コミュニティ取得	管理ステーションからの Get- および GetNext- 要求を受信する際のパスワードを入力します。 コミュニティ取得文字列は、SNMP バージョン 2c 以下を使用する SNMP マネージャのみが使用します。

項目	内容
コミュニティ設定	管理ステーションから Set- リクエストを受信する際のパスワードを入力します。 コミュニティ設定文字列は、SNMP バージョン 2c 以下を使用する SNMP マネージャーによってのみ使用されます。
トラップコミュニティ	SNMP マネージャーへの各トラップと共に送信されるパスワードを入力します。 トラップコミュニティ文字列は、SNMP バージョン 2c 以下を使用する SNMP マネージャーによってのみ使用されます。

■ トラップの宛先

項目	内容
インデックス	トラップ送信先のインデックス番号が表示されます。
SNMP バージョン	SNMP トラップメッセージのバージョンを指定します。
IP アドレス	SNMP トラップを送信する最大 4 つのマネージャーの IP アドレスを入力します。
ポート	マネージャーが SNMP トラップをリッスンするポート番号を入力します。
ユーザー名	SNMP v3 トラップと共に SNMP マネージャーに送信するユーザ名を入力します。 このユーザ名は、既存の SNMP ユーザーと一致している必要があります。 → 「SNMP ユーザー」 (69 ページ)

SNMP ユーザー

SNMP v3を使用するマネージャとの認証用にSNMP ユーザを作成し、SNMPグループに関連付けます。



選択したSNMP ユーザーを編集したり、SNMP ユーザーを追加します。

→ [70ページ](#)

選択したSNMP ユーザーを削除します。

項目	内容
インデックス	ログインアカウントを識別する読み取り専用の番号が表示されます。
ユーザー名	ログインアカウントのユーザ名が表示されます。
セキュリティレベル	このユーザとの SNMP 通信に認証または暗号化を使用するかどうかが表示されます。
認証	このユーザとの SNMP 通信に使用する認証アルゴリズムが表示されます。
暗号化	このユーザーとの SNMP 通信に使用する暗号化方法が表示されます。
グループ	このユーザーが属する SNMP グループが表示されます。

■ SNMP ユーザーの追加／編集

ユーザー名			
セキュリティレベル	認証なし ▾		
認証	MD5 ▾	パスワード	
暗号化	DES ▾	パスワード	
グループ	管理者 ▾		
適用 クリア キャンセル			

項目	内容						
ユーザー名	ログインアカウントのユーザ名を入力します。 (最大半角 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) (パイプ) ' (クォーテーション) " (ダブルクォーテーション) (スペース) は使用不可)						
セキュリティレベル	SNMP 通信に認証または暗号化を実装するかどうかを選択します。 SNMP ユーザーのセキュリティレベルは、本製品のセキュリティレベル以上に設定する必要があります。 <table> <tr> <td>認証なし</td><td>SNMP マネージャに送信するパスワード文字列としてユーザー名を使用します。これは、SNMP v2c の Get、Set、Trap Community に相当します。最も低いセキュリティレベルとなります。</td></tr> <tr> <td>認証あり</td><td>SNMP メッセージに認証アルゴリズムを実装します。</td></tr> <tr> <td>プライベート</td><td>認証と暗号化を使用します。最も高いセキュリティレベルです。</td></tr> </table>	認証なし	SNMP マネージャに送信するパスワード文字列としてユーザー名を使用します。これは、SNMP v2c の Get、Set、Trap Community に相当します。最も低いセキュリティレベルとなります。	認証あり	SNMP メッセージに認証アルゴリズムを実装します。	プライベート	認証と暗号化を使用します。最も高いセキュリティレベルです。
認証なし	SNMP マネージャに送信するパスワード文字列としてユーザー名を使用します。これは、SNMP v2c の Get、Set、Trap Community に相当します。最も低いセキュリティレベルとなります。						
認証あり	SNMP メッセージに認証アルゴリズムを実装します。						
プライベート	認証と暗号化を使用します。最も高いセキュリティレベルです。						
認証	認証アルゴリズムを選択します。SHA 認証は一般的に MD5 認証よりも強力ですが、認証速度が遅くなります。						
暗号化	SNMP 通信の暗号化方法を指定します。 <table> <tr> <td>DES</td><td>広く使用されているデータ暗号化方式です。 各 64 ビットのデータブロックに 56 ビットのキーを適用します。</td></tr> <tr> <td>AES</td><td>秘密鍵を使用するデータ暗号化方式です。 128 ビットのデータブロックに 128 ビットの鍵を適用します。</td></tr> </table>	DES	広く使用されているデータ暗号化方式です。 各 64 ビットのデータブロックに 56 ビットのキーを適用します。	AES	秘密鍵を使用するデータ暗号化方式です。 128 ビットのデータブロックに 128 ビットの鍵を適用します。		
DES	広く使用されているデータ暗号化方式です。 各 64 ビットのデータブロックに 56 ビットのキーを適用します。						
AES	秘密鍵を使用するデータ暗号化方式です。 128 ビットのデータブロックに 128 ビットの鍵を適用します。						
パスワード	SNMP ユーザー認証用のパスワードを入力します。 (最大 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) (パイプ) ' (クォーテーション) " (ダブルクォーテーション) , (コンマ) (スペース) は使用不可)						

項目	内容	
グループ	ユーザーが属するグループを指定します。	
	管理者	管理者アカウントの管理を含め、あらゆる種類のシステム構成を実行できます。
	読み書き可能	読み書きできる権限を持ち、ユーザアカウントとAAA コンフィグレーションを除く本製品の MIB を作成および編集できます。
	読み取り専用	読み取り権限のみを持ち、本製品から情報を収集できます。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。	

SNMPトラップグループ

各SNMP マネージャに送信するSNMPトラップのタイプを指定します。

項目	内容
トラップ宛先 IP アドレス	設定したトラップ宛先 IP アドレスのいずれかを選択します。 最初に、トラップ宛先 IP アドレスを構成する必要があります。 → 「SNMP」 (67 ページ)
オプション	本製品が SNMP ステーションに送信する個々の SNMP トラップを選択します。 トラップはカテゴリ別にグループ化されています。 カテゴリを選択すると、そのカテゴリのすべてのトラップが自動的に選択されます。 SNMP ステーションに送信したくないトラップは、個別にチェックボックスを外してください。 カテゴリのチェックボックスを外すと、そのカテゴリのトラップのチェックボックスがすべて自動的にクリアされます。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

SNMPトラップポート

ポートで受信したトラップをSNMPマネージャに送信するかどうかを設定します。

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▼

システム >> SNMP

システム

一般設定
インターフェース設定
IPアドレス設定
IPv6
ステータス
グローバル設定
インターフェース設定
アドレス設定
DHCPクライアント設定
ユーザアカウント
SNMP
スイッチ設定
Syslog設定
タイムスケジュール
アドミニク

ポート
スイッチング

SNMP SNMPユーザー SNMPトラップグループ **SNMPトラップポート**

オプション リンクアップ ▼

ポート	有効
*	☐
1	☒
2	☒
3	☒
4	☒
5	☒
6	☒
7	☒
8	☒
9	☒
10	☒

適用 キャンセル

項目	内容
オプション	ここで設定したいトラップタイプを選択します。
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。
有効	チェックを入れると、そのポートで受信した関連トラップをSNMPマネージャに送信します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

スイッチ設定

VLAN (Virtual Local Area Network) のタイプ、スイッチングプロトコルの有効化、MAC 学習エージング時間の設定などをします。

項目	内容
VLAN タイプ	VLAN タイプを選択します。
ブリッジプロトコル透過	「ON」にすると、ブリッジング制御プロトコル（STP など）を処理できるようにします。 「ポート」 — 「ポート設定」 (105 ページ) で BPDU 制御を設定する必要があります。
MAC アドレス学習エージングタイム	動的に学習された MAC アドレスがエージアウトするまでの時間（MAC アドレステーブルに残る時間）を設定します。 (設定範囲：10 秒～ 1000000 秒) (初期値：300 秒)
ARP エージングタイム	動的に学習された ARP エントリがエージアウトするまでの時間（ARP テーブルに残る時間）を設定します。 (設定範囲：60 秒～ 1000000 秒) (初期値：300 秒) ここでの設定は、[適用] をクリックした後に ARP テーブルに新しく追加される ARP エントリに適用されます。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

Syslog 設定

Syslog の設定をします。

Syslog サーバーを追加したり、選択した Syslog サーバーを編集します。

→ [76 ページ](#)

選択した Syslog サーバーを削除します。

■ Syslog 設定

項目	内容
有効	Syslog 設定の有効／無効を切り替えます。
カテゴリ	生成できるログのカテゴリ名が表示されます。
有効	Syslog を生成するカテゴリにチェックを入れます。
ファシリティ	ログ機能を使用すると、Syslog サーバーのさまざまなファイルにログを送信できます。詳細については、Syslog プログラムのドキュメントを参照してください。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

■ Syslog サーバー設定

項目	内容
インデックス	Syslog サーバーエントリーのインデックス番号が表示されます。
有効	Syslog 設定の有効／無効が表示されます。
IP アドレス	Syslog サーバーの IP アドレスが表示されます。
UDP ポート	Syslog サーバーのポートが表示されます。
ログレベル	ログの重大度レベルが表示されます。

■ Syslog サーバーの追加／編集

有効 ☐ OFF

サーバーアドレス

UDPポート

ログレベル

項目	内容
有効	この syslog サーバーにログを送信する設定にするときは「ON」にします。「OFF」にすると、エントリーのみ作成し、ログは送信しません。
サーバーアドレス	Syslog サーバーの IPv4 または IPv6 アドレスを入力します。
UDP ポート	Syslog のサーバーポートを設定します。 (初期値：514)
ログレベル	この syslog サーバーに送信するログの重大度レベルを選択します。数字が小さいほど、ログの重要度が高くなります。 (初期値：レベル 0)
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

タイムスケジュール

タイムスケジュールの追加／編集を行います。

※ タイムスケジュールは、EHB-SX2B08F-PHおよびEHB-SQ2B08F-PLのみ使用可能です。

タイムスケジュールを追加したり、選択したタイムスケジュールを編集します。

→ [78ページ](#)

選択したタイムスケジュールを削除します。

項目	内容
インデックス	タイムスケジュールを識別する読み取り専用の番号が表示されます。
タイムスケジュール名	タイムスケジュール名が表示されます。
種類	タイムスケジュールの種別が表示されます。
タイムスケジュール	タイムスケジュールの設定内容が表示されます。

■ タイムスケジュールの追加／編集

タイムスケジュール名

種類

☒ 一回のみ

開始

2022
01
01
00
00

:

00

終了

2022
01
01
00
00

:

00

☐ 繰り返し

☒ 月曜日
00
00
~
月曜日
00
00

☐ 月曜日
☐ 火曜日
☐ 水曜日
☐ 木曜日
☐ 金曜日
☐ 土曜日
☐ 日曜日
☐ 平日
☐ 週末
☐ 毎日

☐
00
00
~
00
00

適用
クリア
キャンセル

項目	内容				
タイムスケジュール名	タイムスケジュール名を入力します。 (最大 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) (パイプ) ' (クォーテーション) " (ダブルクォーテーション), (コンマ) は使用不可)				
種類	<table> <tr> <td>一回のみ</td><td>開始日時と終了日時を設定します。</td></tr> <tr> <td>繰り返し</td><td>決まった周期で開始・終了を繰り返すタイムスケジュールを設定します。</td></tr> </table>	一回のみ	開始日時と終了日時を設定します。	繰り返し	決まった周期で開始・終了を繰り返すタイムスケジュールを設定します。
一回のみ	開始日時と終了日時を設定します。				
繰り返し	決まった周期で開始・終了を繰り返すタイムスケジュールを設定します。				
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。				
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。				

【アドミリンク】基本設定

アドミリンク機能の基本設定をします。

MEMO

アドミリンク機能を利用する場合、本体の日時設定にNTPサーバーを使用してください。
(→ [46ページ](#))

The screenshot shows the 'ELECOM' web interface. The top navigation bar includes 'Switch For Business', '保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語', and a breadcrumb trail 'システム >> アドミリンク >> 基本設定'. The left sidebar lists settings categories: 'ダッシュボード', 'モニター', 'システム' (selected), '一般設定', 'インターフェース設定', 'IPアドレス設定', 'IPv6', 'ユーザーアカウント', 'SNMP', 'スイッチ設定', 'Syslog設定', 'タイムスケジュール', 'アドミリンク', '基本設定' (selected), '詳細設定', 'ポート', 'スイッチング', and 'ネットワーク'. The main content area is titled 'アドミリンク基本設定' and contains two sections. The first section, 'アドミリンク機能', has a toggle switch set to '有効' (Effective) and a '登録状況' (Registration Status) button. The second section, 'デバイス登録コードの発行' (Device Registration Code Issuance), has a '発行' (Issue) button. Both sections include detailed notes and conditions for use.

項目	内容				
アドミリンク 基本設定	<table border="1"> <tr> <td>アドミリンク機能</td><td>アドミリンク機能の「有効」または「無効」を設定します。 (初期値：無効)</td></tr> <tr> <td>登録状態</td><td>アドミリンクサービスへの製品登録状態が表示されます。</td></tr> </table>	アドミリンク機能	アドミリンク機能の「有効」または「無効」を設定します。 (初期値：無効)	登録状態	アドミリンクサービスへの製品登録状態が表示されます。
アドミリンク機能	アドミリンク機能の「有効」または「無効」を設定します。 (初期値：無効)				
登録状態	アドミリンクサービスへの製品登録状態が表示されます。				
デバイス登録 コードの発行	ボタンをクリックするとデバイス登録コードが発行されます。 表示されたデバイス登録コードをコピーして、アドミリンクサーバーのデバイスグループに登録を行います。 (デバイスの登録方法はアドミリンク ユーザーズマニュアルを参照してください)				

※ アドミリンクの詳細やユーザーズマニュアルについては下記URLからご確認ください。

<https://www.elecom.co.jp/r/s349>

【アドミリンク】詳細設定

アドミリンク機能の詳細設定をします。

ELECOM
>> Switch For Business
保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

システム
アドミリンク
詳細設定

ダッシュボード
モニター
システム
一般設定
インターフェース設定
IPアドレス設定
IPv6
ユーザーアカウント
SNMP
スイッチ設定
Syslog設定
タイムスケジュール
アドミリンク
基本設定
詳細設定
ポート
スライディング
ネットワーク
セキュリティ
管理

アドミリンク詳細設定

詳細設定

アドミリンク接続用プロキシ設定

プロキシサーバー

○ 使用する

● 使用しない

アドレス

ポート

ユーザー名

パスワード

遠隔操作許可

設定ファイルアップロード許可

ログファイルアップロード許可

接続クライアントファイルアップロード許可

接続クライアントファイル自動アップロード間隔

○ 有効

● 無効

○ 有効

● 無効

○ 有効

● 無効

○ 有効

● 無効

0分

適用

項目	内容	
アドミリンク接続用 プロキシ設定	プロキシサーバー	アドミリンクサービスへの接続にプロキシサーバーを使用するか設定します。 プロキシ経由でアドミリンクサービスへ接続する必要がある場合、「使用する」を選択してください。 (初期値：使用しない)
	アドレス	プロキシサーバーのアドレスを入力します。
	ポート	プロキシサーバーのポート番号を入力します。
	ユーザー名	必要な場合、ユーザー名を入力します。 (最大 64 文字まで。記号は使用不可)
	パスワード	必要な場合、パスワードを入力します。 (最大 64 文字まで。記号は使用不可)

80

項目	内容	
遠隔操作設定	遠隔操作許可	アドミリンクサーバーから遠隔操作を許可するか設定します。(初期値：無効)
	設定ファイルアップロード許可	設定ファイルのアップロードを許可するか設定します。(初期値：無効)
	ログファイルアップロード許可	ログファイルのアップロードを許可するか設定します。(初期値：無効)
	接続クライアントファイルアップロード許可	持続クライアントファイルのアップロードを許可するか設定します。(初期値：無効)
	接続クライアントファイル自動アップロード間隔	接続クライアントファイルを自動的にアップロードする間隔を設定します。 (設定範囲：1 時間 / 3 時間 / 6 時間 / なし) (初期値：6 時間)

Green Ethernet

消費電力削減の設定をします。

ELECOM

>> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

ポート >> Green Ethernet

ダッシュボード

モニター

システム

ポート

Green Ethernet

リンクアグリゲーション

LLDP

PoE設定

ポート設定

スイッチング

ネットワーク

セキュリティ

管理

Green Ethernet

IEEE802.3az ☐ OFF

Auto Power Down ☐ OFF

ポート	IEEE802.3az	Auto Power Down
*	☐	☐
1	☐	☐
2	☐	☐
3	☐	☐
4	☐	☐
5	☐	☐
6	☐	☐
7	☐	☐
8	☐	☐
9	☐	☐
10	☐	☐

適用 キャンセル

項目	内容
IEEE802.3az	EEE(Energy Efficient Ethernet) の有効／無効を切り替えます。 (初期値：OFF)
Auto Power Down	「ON」にすると、リンクがダウンしているときにポートの物理層機能のほとんどすべての機能をオフにするため、ポートはリンクパートナーからのリンクアップパルスをチェックするためだけに電力を使用します。 リンクアップパルスが検出されると、ポートはオートパワーダウンから復帰し、通常通り動作します。 (初期値：OFF)

■ 表

項目	内容
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。
IEEE802.3az	チェックを入れたら、そのポートに対して省電力機能が有効になります。
Auto Power Down	
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

リンクアグリゲーション

リンクアグリゲーションステータス

トランクグループに設定したポートや、トランクグループ内の 1 つの論理リンクとして現在データを送信しているポートなどが表示されます。

ELECOM

>> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

ポート >> リンクアグリゲーション

ダッシュボード

モニター

システム

ポート

Green Ethernet

リンクアグリゲーション

LLDP

PoE設定

ポート設定

リンクアグリゲーションステータス

リンクアグリゲーション設定

リンクアグリゲーション制御プロトコル

グループID	有効ポート	同期ポート	Aggregator ID	Criteria	ステータス
T1	-	-	-	src-dst-mac	-
T2	-	-	-	src-dst-mac	-
T3	-	-	-	src-dst-mac	-
T4	-	-	-	src-dst-mac	-
T5	-	-	-	src-dst-mac	-
T6	-	-	-	src-dst-mac	-
T7	-	-	-	src-dst-mac	-
T8	-	-	-	src-dst-mac	-

項目	内容
グループ ID	複数のポートを含む 1 つの論理リンクを識別するためのグループ ID です。
有効ポート	リンクアグリゲーション設定画面でトランクグループに設定したポートです。 ポート番号は、このトランクグループが有効化されており、このグループに属するポートが存在する場合のみ表示されます。
同期ポート	このトランクグループ内で現在 1 つの論理リンクとしてデータを伝送しているポートです。
Aggregator ID	リンクアグリゲータ ID は、システム優先度、MAC アドレス、キー、ポート優先度、ポート番号から構成されます。 この ID は、このトランクグループに属するポートがあり、このグループに対して LACP も有効になっている場合にのみ表示されます。

項目	内容	
Criteria	このトランクグループで使用する発信トラフィック分配アルゴリズムが表示されます。同じソースおよび / または同じ宛先からのパケットは、トランク内の同じリンクで送信されます。	
	src-mac	パケットの送信元 MAC アドレスに基づいてトラフィックを分配します。
	dst-mac	パケットの宛先 MAC アドレスに基づいてトラフィックを分配します。
	src-dst-mac	パケットの送信元 MAC アドレスと宛先 MAC アドレスの組み合わせに基づいてトラフィックを分配します。
	src-ip	パケットの送信元 IP アドレスに基づいてトラフィックを分配します。
	dst-ip	パケットの宛先 IP アドレスに基づいてトラフィックを分配します。
	src-dst-ip	送信元 IP アドレスと宛先 IP アドレスの組み合わせに基づいてトラフィックを分配します。
ステータス	ポートがどのようにトランクグループに追加されたかが表示されます。	
	Static	ポートがトランクグループのスタティックメンバーとして設定されている場合に表示されます。
	LACP	ポートが LACP 経由でトランクグループに参加するように設定されている場合に表示されます。

リンクアグリゲーション設定

スタティックリンクアグリゲーションを設定します。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

ポート >> リンクアグリゲーション

リンクアグリゲーションステータス **リンクアグリゲーション設定** リンクアグリゲーション制御プロトコル

ダッシュボード
モニター
システム
ポート
Green Ethernet
リンクアグリゲーション
LLDP
PoE設定
ポート設定
スライシング
ネットワーク
セキュリティ
管理

グループID	有効	Criteria
T1	☐	src-dst-mac
T2	☐	src-dst-mac
T3	☐	src-dst-mac
T4	☐	src-dst-mac
T5	☐	src-dst-mac
T6	☐	src-dst-mac
T7	☐	src-dst-mac
T8	☐	src-dst-mac

ポート	グループ
1	なし
2	なし
3	なし
4	なし
5	なし
6	なし
7	なし
8	なし
9	なし
10	なし

適用 キャンセル

項目	内容
グループ ID	リンクアグリゲーショングループ(複数のポートを含む 1 つの論理リンク)を識別します。
有効	チェックすると、トランググループを有効にします。

85

項目	内容												
Criteria	発信トラフィック分配タイプを選択します。 同じ送信元および / または同じ宛先からのパケットは、トランク内の同じリンクを介して送信されます。デフォルトでは、本製品は src-dst-mac ディストリビューションタイプを使用します。 本製品がルータの背後にある場合、パケットの宛先または送信元 MAC アドレスは変更されます。この場合、ポートランキングが正常に動作するように、IP アドレスに基づいてトラフィックを分配するように設定してください。												
	<table><tr><td>src-mac</td><td>パケットの送信元 MAC アドレスに基づいてトラフィックを分配します。</td></tr><tr><td>dst-mac</td><td>宛先 MAC アドレスに基づいてトラフィックを分配します。</td></tr><tr><td>src-dst-mac</td><td>パケットの送信元 MAC アドレスと宛先 MAC アドレスの組み合わせに基づいてトラフィックを分配します。</td></tr><tr><td>src-ip</td><td>パケットの送信元 IP アドレスに基づいてトラフィックを分配します。</td></tr><tr><td>dst-ip</td><td>パケットの宛先 IP アドレスに基づいてトラフィックを分配します。</td></tr><tr><td>src-dst-ip</td><td>パケットの送信元 IP アドレスと宛先 IP アドレスの組み合わせに基づいてトラフィックを分配します。</td></tr></table>	src-mac	パケットの送信元 MAC アドレスに基づいてトラフィックを分配します。	dst-mac	宛先 MAC アドレスに基づいてトラフィックを分配します。	src-dst-mac	パケットの送信元 MAC アドレスと宛先 MAC アドレスの組み合わせに基づいてトラフィックを分配します。	src-ip	パケットの送信元 IP アドレスに基づいてトラフィックを分配します。	dst-ip	パケットの宛先 IP アドレスに基づいてトラフィックを分配します。	src-dst-ip	パケットの送信元 IP アドレスと宛先 IP アドレスの組み合わせに基づいてトラフィックを分配します。
	src-mac	パケットの送信元 MAC アドレスに基づいてトラフィックを分配します。											
	dst-mac	宛先 MAC アドレスに基づいてトラフィックを分配します。											
	src-dst-mac	パケットの送信元 MAC アドレスと宛先 MAC アドレスの組み合わせに基づいてトラフィックを分配します。											
	src-ip	パケットの送信元 IP アドレスに基づいてトラフィックを分配します。											
	dst-ip	パケットの宛先 IP アドレスに基づいてトラフィックを分配します。											
src-dst-ip	パケットの送信元 IP アドレスと宛先 IP アドレスの組み合わせに基づいてトラフィックを分配します。												
ポート	ポート番号が表示されます。												
グループ	ポートが属するトランクグループを選択します。												
	注意 本製品でポートセキュリティ機能を有効にし、ポートに対してポートセキュリティ設定を行った場合、そのポートをアクティブなトランクグループに含めることはできません。												
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。												

リンクアグリゲーション制御プロトコル

Link Aggregation Control Protocol (LACP)を有効にします。

重要

ダイナミックリンクアグリゲーションを有効するときのみ、この画面で設定してください。

ELECOM
Switch For Business
保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

ポート >> リンクアグリゲーション

リンクアグリゲーションステータス
リンクアグリゲーション設定
リンクアグリゲーション制御プロトコル

リンクアグリゲーションステータス
リンクアグリゲーション設定
リンクアグリゲーション制御プロトコル

有効
システム優先度
65535

グループID	LACP Active
T1	☐
T2	☐
T3	☐
T4	☐
T5	☐
T6	☐
T7	☐
T8	☐

ポート	LACP タイムアウト
*	30 > 30
1	30 > 30
2	30 > 30
3	30 > 30
4	30 > 30
5	30 > 30
6	30 > 30
7	30 > 30
8	30 > 30
9	30 > 30
10	30 > 30

項目	内容
有効	リンクアグリゲーション制御プロトコル（LACP）の有効／無効を切り替えます。
システム優先度	LACP（Link Aggregation Control Protocol）を使用するアクティブポートの優先度を設定する番号を入力します。 数値が小さいほど優先度が高くなります。 LACP のシステムプライオリティは 1 ～ 65,535 の数値です。 システム・プライオリティが最も低いスイッチ（システム・プライオリティが同じ場合はポート番号も最も低い）が LACP「サーバ」になります。LACP「サーバ」は LACP 設定の動作を制御します。 （初期値：65535）

87

項目	内容
グループ ID	リンクアグリゲーショングループの ID が表示されます。
LACP Active	トランクの LACP を有効にする場合に選択します。
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。
LACP タイムアウト	トランクグループ内の相手ポートがまだアップしているかどうかを確認するために、個々のポートが LACP パケットを交換する間の時間間隔を設定します。 3 回試みても応答がない場合、ポートは「ダウン」とみなされ、トランクから削除されます。 ビジー状態のトランクリンクには短いタイムアウト（1 秒）を設定し、無効になったポートができるだけ早くトランクグループから削除されるようにします。 (初期設定：30 秒) (設定範囲：1 ～ 30 秒)

LLDP

LLDP ローカルステータス

LLDP ステータスの概要が表示されます。

The screenshot shows the ELECOM web interface with the following content:

Basic TLV

Chassis ID TLV	System Name TLV
Chassis ID Subtype: MACアドレス	System Name: EHB-SX2B08F
Chassis ID: 38:97:A4:8A:30:F0	System Description TLV
	System Description: 1.0.0
System Capabilities TLV	管理アドレス TLV
System Capabilities Supported: ブリッジ	管理アドレス サブタイプ: ipv4 / all-802
System Capabilities Enabled: ブリッジ	インターフェース番号 サブタイプ: unknown
	インターフェース番号: 0
	Object Identifier: 0

LLDP Port Information

ローカルポート	ポートID サブタイプ	ポートID	ポート説明
1	ローカル割り当て	1	
2	ローカル割り当て	2	
3	ローカル割り当て	3	
4	ローカル割り当て	4	
5	ローカル割り当て	5	
6	ローカル割り当て	6	
7	ローカル割り当て	7	
8	ローカル割り当て	8	
9	ローカル割り当て	9	
10	ローカル割り当て	10	

■ Basic TLV

項目	内容
Chassis ID TLV	ローカルスイッチのシャーシ ID です。 シャーシ ID は、シャーシ ID サブタイプによって識別されます。
	Chassis ID Subtype 本製品のシャーシを識別する方法が表示されます。
	Chassis ID ローカルスイッチのシャーシ ID が表示されます。
System Capabilities TLV	サポートされているシステム機能と有効になっているシステム機能が表示されます。
System Name TLV	本製品のホスト名が表示されます。
System Description TLV	本製品のファームウェアバージョンが表示されます。

項目	内容
管理アドレス TLV	ローカル LLDP エージェントに関連するアドレスを識別します。 この TLV には、この管理アドレスに関連するシステムインタフェース番号とオブジェクト識別子 (OID) も含まれます。

■ LLDP Port Information

項目	内容
ローカルポート	リモート機器から LLDPDU を受信する本製品のポート番号です。 ポート番号をクリックすると、LLDP Local Port Status Detail 画面が表示されます。(90 ページ)
ポート ID サブタイプ	ポート ID フィールドの識別方法が表示されます。
ポート ID	この LLDPDU が送信されたポートの識別子を含む英数字の文字列が表示されます。
ポート説明	本製品がこのポートからアドバタイズするポートの説明を示します。

■ LLDP Local Port Status Detail 画面

The screenshot shows the ELECOM web interface for LLDP configuration. The top navigation bar includes 'ELECOM', a language switcher (日本語), and user options (保存, ログアウト, 再起動). The main menu on the left lists various settings, with 'LLDP' selected. The central panel displays 'LLDP Local Port Status Details' for 'Local Port: 1'. The 'Basic TLV' section shows 'Port ID TLV' with a value of 1 and 'Port Description TLV' with the description 'Port Description'. The '802.1 TLV' section shows 'Port VLAN ID TLV' with a value of 1. The '802.3 TLV' section is divided into two columns: 'MAC PHY Configuration & Status TLV' and 'Link Aggregation TLV'. The first column lists various capabilities (AN Supported, AN Enabled, AN Advertised Capability, Oper MAU Type) with their respective values. The second column lists 'Aggregation Capability' (はい), 'Aggregation Status' (No), and 'Aggregated Port ID' (0). A 'Max Frame Size TLV' section at the bottom shows a 'Max Frame Size' of 1518.

項目	内容
ローカルポート	本製品のポート番号が表示されます。

● Basic TLV

項目	内容
ポート ID TLV	LLDP フレームを送信した特定のポートを識別します。
Port Description TLV	ローカルポートの説明が表示されます。
Port VLAN ID TLV	IEEE 802.1 Port VLAN ID TLV によって送信される VLAN ID が表示されます。

● 802.1 TLV

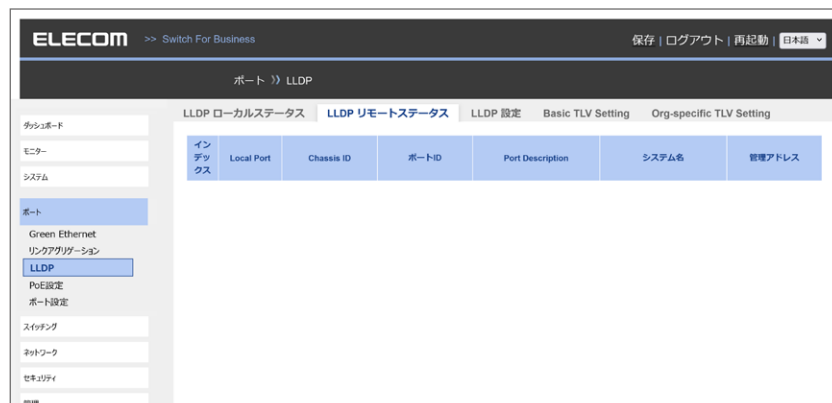
項目	内容
Port VLAN ID TLV	IEEE 802.1 Port VLAN ID TLV によって送信される VLAN ID が表示されます。

● 802.3 TLV

項目	内容	
MAC PHY Configuration & Status TLV	送信側 802.3 ノードのビットレートとデュプレックス能力をアドバタイズします。また、送信ノードの現在のデュプレックスとビットレートをアドバタイズします。最後に、これらの設定がリンク開始時のオートネゴシエーションの結果であるか、手動オーバーライドの結果であるかをアドバタイズします。	
	AN Supported	ポートがオートネゴシエーションをサポートしているかどうかが表示されます。
	AN Enabled	ポートの現在のオートネゴシエーションステータスが表示されます。
	AN Advertised Capability	ポートの自動ネゴシエーション能力が表示されます。
	Oper MAU Type	ポートの現在の MAU (Medium Attachment Unit) タイプが表示されます。
リンクアグリゲーション TLV	リンクアグリゲーション可能かどうか、リンクが現在アグリゲーション中かどうか、アグリゲーション中の場合はアグリゲーションのポート識別が表示されます。	
	Aggregation Capability	ポートの現在のアグリゲーション能力が表示されます。
	Aggregation Status	ポートの現在のアグリゲーションステータスが表示されます。
	Aggregated Port ID	現在のポートのアグリゲーション ID が表示されます。
Max Frame Size TLV	サポートされる最大フレームサイズがオクテット単位で表示されます。	

LLDPリモートステータス

隣接するスイッチングハブとのLLDP 接続ごとにLLDP ステータスの状態が表示されます。



項目	内容
インデックス	本製品に接続されているリモート機器の台数を示しています。 インデックス番号をクリックすると、「LLDP リモートポートステータス詳細」画面が表示されます。(93 ページ)
Local Port	リモート機器から LLDPDU を受信した本製品のポート番号です。
Chassis ID	送信元の LLDP エージェントに関連付けられたリモート機器のシャーシ ID が表示されます。 シャーシ ID は、リモート デバイスの MAC アドレスなど、シャーシ ID サブタイプによって識別されます。
ポート ID	この LLDPDU が送信されたポートの固有識別子を含む英数字の文字列です。 ポート ID はポート ID サブタイプによって識別されます。
Port Description	この LLDPDU が送信されたポートの説明が表示されます。
システム名	リモートデバイスのシステム名が表示されます。
管理アドレス	リモートデバイスの管理アドレスが表示されます。 IP アドレスのハイパーリンクはクリックすることができます。

■ LLDPリモートポートステータス詳細画面

リモート機器のLLDPステータスの詳細が表示されます。

ELECOM

>> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 目次

ポート > LLDP

LLDP ローカルステータスLLDP リモートステータスLLDP 設定Basic TLV SettingOrg-specific TLV Setting

LLDP リモートステータス > LLDP Remote Port Status Details

ローカルポート: 1

Basic TLV

Chassis ID TLV	ポート ID TLV
Chassis ID SubtypeMACアドレス	ポート ID サブタイプMACアドレス
Chassis IDCC:30 80 32 C5 CF	ポート IDCC:30 80 32 C5 CF
Time To Live TLV	Port Description TLV
Time To Live3601	Port Description
システム名 TLV	System Description TLV
システム名	System Description
	System Capabilities TLV
	System Capabilities Supported
	System Capabilities Enabled

802.1 TLV

Port VLAN ID TLV	VLAN ID TLV
Port VLAN ID	VLAN ID
	VLAN ID
Protocol Identity TLV	Port-Protocol VLAN ID TLV
Protocol ID	Port-Protocol VLAN ID
	Port-Protocol VLAN ID Supported
	Port-Protocol VLAN ID Enabled

802.3 TLV

MAC PHY Configuration & Status TLV	Max Frame Size TLV
AN Supported	Max Frame Size
AN Enabled	Max Frame Size
AN Advertised Capability	Link Aggregation TLV
Oper MAU type	Aggregation Status
	Aggregated Port ID

Power Via MDI TLV

Port Class	
MDI Supported	
MDI Enabled	
Pair Controllable	
PSE Power Pairs	
Power Class	

MED TLV

Capabilities TLV	Device Type TLV
Network Policy	Device Type
Location	Endpoint Class I
Extend Power via MDI PSE	
Extend Power via MDI PD	Location Identification TLV
Inventory Management	Coordinate base LCI
	CNIC LCI
	ELAN
Extended Power via MDI TLV	Network Policy TLV
Power Type	Voice
Power Source	Voice-Signaling
Power Priority	Guest-Voice
Power Value	Guest-Voice-Signaling
	Softphone-Voice
	Video-Conferencing
	Streaming-Video
	Video-Signaling

Inventory TLV

Hardware Revision	
Software Revision	
Firmware Revision	
Model Name	
Manufacturer	
Serial Number	
Asset ID	

項目	内容
ローカルポート	リモート機器が接続されている本装置のポート番号が表示されます。

● Basic TLV

項目	内容
Chassis ID TLV	Chassis ID Subtype リモートデバイスのシャーシを識別する方法が表示されます。
	Chassis ID リモートデバイスのシャーシ ID が表示されます。 シャーシ ID は、シャーシ ID サブタイプによって識別されます
ポート ID TLV	ポート ID サブタイプ リモートデバイスのポートの識別方法が表示されます。
	ポート ID リモートデバイスのポート ID が表示されます。 ポート ID はポート ID サブタイプによって識別されます。
Time To Live TLV	LLDP フレームの TTL 倍率が表示されます。 近隣機器の機器情報は、対応する TTL が満了するとエージングされ、破棄されます。TTL 値は、TTL 倍率に LLDP フレームの送信間隔を乗じた値です。
Port Description TLV	リモートポートの説明が表示されます。
システム名 TLV	リモートデバイスのシステム名が表示されます。
System Description TLV	リモートデバイスのシステム説明が表示されます。
System Capabilities TLV	リモートデバイスでシステム機能が有効でサポートされているかどうかが表示されます。

● 802.1 TLV

項目	内容	
MAC PHY Configuration & Status TVL	MAC/PHY Configuration/Status TLV は、送信 802.3 ノードのビットレートとデュプレックス能力をアドバタイズします。 また、送信ノードの現在のデュプレックスとビットレートをアドバタイズします。 最後に、これらの設定がリンク開始時のオートネゴシエーションの結果であるか手動によるオーバーライドの結果であるかをアドバタイズします。	
	AN Supported	ポートがオートネゴシエーションをサポートしているかどうかが表示されます。
	AN Enabled	ポートの現在のオートネゴシエーションステータスが表示されます。
	AN Advertised Capability	ポートのオートネゴシエーション機能が表示されます。
	Oper MAU Type	ポートの現在の MAU (Medium Attachment Unit) タイプが表示されます。
Max Frame Size TLV	サポートされる最大フレームサイズ (オクテット単位) が表示されます。	
Link Aggregation TLV	リンクアグリゲーション TLV は、リンクがアグリゲーション可能かどうか、リンクが現在アグリゲーション中かどうか、アグリゲーション中の場合はアグリゲーションのポート識別が表示されます。	
	Aggregation Capability	ポートの現在のアグリゲーション能力が表示されます。
	Aggregation Status	ポートの現在のアグリゲーションステータスが表示されます。
	Aggregation Port ID	現在のポートのアグリゲーション ID が表示されます。
Power Via MDI TLV	ネットワーク管理がリモートデバイス上の送信ポートの MDI 電源サポート機能をアドバタイズし、発見することを可能にします。	

● MED TLV

LLDP Media Endpoint Discovery (MED) は、LLDP の拡張機能で、メディアエンドポイントデバイスをサポートするための追加機能を提供します。MED は、ネットワークポリシーのアドバタイズとディスカバリ、ロケーション データベースを作成するためのデバイスのロケーションディスカバリ、トラブルシューティングのための情報を提供します。

項目	内容
Capabilities TLV	リモートポートがサポートする MED 機能が表示されます。
Device Type TLV	LLDP-MED デバイスクラスが表示されます。

項目	内容	
Location Identification TLV	発呼側の位置情報が表示されます。	
	Coordinate-base LCI	位置構成情報（LCI）の緯度と経度の座標が表示されます。
	Civic LCI	IETF Geopriv Civic Address ベースの位置構成情報が表示されます。
	ELIN	緊急ロケーション識別子番号が表示されます。
Extended Power via MDI TLV	IP 電話やスイッチなどのネットワーク接続デバイスなどのメディア・エンドポイントによって、詳細な電力情報がアダプタイズされることを可能にします。	
	Power Type	現在一次電源で動作しているか、バックアップ電源で動作しているか（バックアップ電源は、エンドポイントデバイスに省電力モードに移行すべきことを示す場合がある）が表示されます。
	Power Source	エンドポイントが現在、外部電源で動作しているかどうかが表示されます。
	Power Priority	エンドポイント・デバイスの電力優先度が表示されます。（ネットワーク接続デバイスは、電力不足時にどのデバイスがサービスを維持するかを優先するために使用場合があります）
	Power Value	現在の構成における電力要件（ワット単位）が表示されます。
Network Policy TLV	指定されたアプリケーションのネットワークポリシーが表示されます。	
Inventory TLV	IP 電話の大半は SNMP などの管理プロトコルをサポートしていないため、LLDP-MED インベントリ TLV を使用してインベントリ情報を本装置などのネットワーク接続機器に提供します。 インベントリ TLV には、以下の情報が含まれます。 ・ハードウェアのリビジョン ・ソフトウェアのリビジョン ・ファームウェアのリビジョン ・モデル名 ・製造元 ・シリアル番号 ・アセット ID	

LLDP 設定

本製品のグローバル LLDP 設定をします。

項目	内容
有効	LLDP 設定の有効／無効を切り替えます。(初期値：ON)
送信間隔	LLDP パケットを送信するまでに待機する秒数を設定します。(初期値：30 秒)
送信ホールド	LLDP フレームの TTL 倍率を設定します。 近隣機器の機器情報は、対応する TTL が満了するとエージングアウトして破棄されます。TTL 値は、TTL 倍率に LLDP パケットの送信間隔を乗じた値です。 (初期値：4 回)
送信遅延	MIB の値やステータスが変化した場合に、LLDPDU を連続して送信するまでの遅延時間（秒）を設定します。(初期値：2 秒)
再初期化遅延	ポートで LLDP が初期化されるまでの待機秒数を設定します。(初期値：2 秒)
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

項目	内容								
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。								
Admin Status	このポートで LLDP の送受信を許可するかどうかを選択します。 <table><tr><td>Disable</td><td>許可しない</td></tr><tr><td>Tx-Only</td><td>送信のみ</td></tr><tr><td>Rx-Only</td><td>受信のみ</td></tr><tr><td>Tx-Rx</td><td>送信と受信</td></tr></table>	Disable	許可しない	Tx-Only	送信のみ	Rx-Only	受信のみ	Tx-Rx	送信と受信
Disable	許可しない								
Tx-Only	送信のみ								
Rx-Only	受信のみ								
Tx-Rx	送信と受信								
通知	このポートで LLDP 通知を有効にするかどうかを選択します。								
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。								

Basic TLV Setting

基本TLVの設定をします。

ポート	管理アドレス	Port Description	System Capabilities	System Description	システム名
*	☐	☐	☐	☐	☐
1	☒	☒	☒	☒	☒
2	☒	☒	☒	☒	☒
3	☒	☒	☒	☒	☒
4	☒	☒	☒	☒	☒
5	☒	☒	☒	☒	☒
6	☒	☒	☒	☒	☒
7	☒	☒	☒	☒	☒
8	☒	☒	☒	☒	☒
9	☒	☒	☒	☒	☒
10	☒	☒	☒	☒	☒

項目	内容
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。
管理アドレス	ポートの管理アドレス TLV の送信を有効にするか無効にするか設定します。
Port Description	ポートの説明 TLV の送信を有効にするか無効にするか設定します。
System Capabilities	ポートの System CapabilitiesTLV の送信を有効にするか無効にするか設定します。
System Description	ポートのシステム説明 TLV の送信を有効にするか無効にするか設定します。
システム名	ポート上のシステム名 TLV の送信を有効にするか無効にするか設定します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

Org-specific TLV Setting

組織固有の TLV 設定を構成します。

ポート	802.1 TLV		802.3 TLV		
	Port VLAN ID		リンクアグリゲーション	MAC/PHY	Max Frame Size
*	☐		☐	☐	☐
1	☒		☐	☒	☐
2	☒		☐	☒	☐
3	☒		☐	☒	☐
4	☒		☐	☒	☐
5	☒		☐	☒	☐
6	☒		☐	☒	☐
7	☒		☐	☒	☐
8	☒		☐	☒	☐
9	☒		☐	☒	☐
10	☒		☐	☒	☐

適用 キャンセル

項目	内容	
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。	
802.1 TLV	Port VLAN ID	ポート上の IEEE 802.1 Port VLAN ID TLV の送信を有効にするか無効にするか設定します。 この欄のチェックボックスはすべてデフォルトで有効になっています。
802.3 TLV	リンクアグリゲーション	ポート上の IEEE 802.3 Link Aggregation TLV の送信を有効にするか無効にするか設定します。
	MAC/PHY	ポート上の IEEE 802.3 MAC/PHY Configuration/Status TLV の送信を有効にするか無効にするか設定します。 この欄のチェックボックスはすべてデフォルトで有効になっています。
	Max Frame Size	ポート上の IEEE 802.3 Max Frame Size TLV の送信を有効にするか無効にするか設定します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。	

PoE 設定

PoE ステータス

PoE(Power over Ethernet) のステータスを表示します。

ELECOM >> Switch For Business 保存 ログアウト 再起動 日本語					
ポート >> PoE 設定					
システム モニター システム ポート Green Ethernet リンクアグリゲーション LLDP PoE 設定 ポート設定 スイッチング ネットワーク セキュリティ 管理	PoE ステータス PoE 設定 PoE スケジュール設定				
	最大供給可能電力 (W) 210.0 PoE 使用率 (%) 0				
	ポート	状態	PoE クラス	PoE 規格	消費電力 (W)
	1	有効	0	802.3bt Type 4	0.0
	2	有効	0	802.3bt Type 4	0.0
	3	有効	0	802.3bt Type 4	0.0
	4	有効	0	802.3bt Type 4	0.0
	5	有効	0	802.3bt Type 4	0.0
	6	有効	0	802.3bt Type 4	0.0
	7	有効	0	802.3bt Type 4	0.0
	8	有効	0	802.3bt Type 4	0.0
	スケジュールステータス				

項目	内容
最大供給可能電力 (W)	最大供給可能電力が表示されます。
PoE 使用率 (%)	PoE 使用率が表示されます。
ポート	ポート番号が表示されます。
状態	ポートの状態が表示されます。
PoE クラス	ポートの PoE クラスが表示されます。
PoE 規格	ポートの PoE 規格が表示されます。
消費電力 (W)	ポートの消費電力が表示されます。
スケジュールステータス	スケジュール設定が表示されます。

PoE 設定

PoE の設定を行います。

The screenshot shows the ELECOM web interface for PoE configuration. The top navigation bar includes the ELECOM logo, a link to 'Switch For Business', and buttons for '保存' (Save), 'ログアウト' (Logout), '再起動' (Restart), and a language dropdown set to '日本語'. The breadcrumb trail indicates 'ポート >> PoE設定'.

The left sidebar contains a menu with the following items: 'ダッシュボード', 'モニター', 'システム', 'ポート', 'Green Ethernet', 'リンクアグリゲーション', 'LLDP', 'PoE設定' (highlighted), 'ポート設定', 'スウィッチング', 'ネットワーク', 'セキュリティ', and '管理'.

The main content area has three tabs: 'PoEステータス', 'PoE設定' (active), and 'PoEスケジュール設定'. Below the tabs is a table with two columns: 'ポート' (Port) and '有効' (Enabled).

ポート	有効
*	☐
1	☒
2	☒
3	☒
4	☒
5	☒
6	☒
7	☒
8	☒

At the bottom of the main area, there are two buttons: '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel).

項目	内容
ポート	ポート番号が表示されます。
有効	PoE 設定の有効／無効を切り替えます。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

PoE スケジュール設定

PoE 機能の動作スケジュールを設定します。

The screenshot shows the ELECOM web interface for PoE settings. The breadcrumb trail is 'ポート >> PoE設定'. The main content area has tabs for 'PoEステータス', 'PoE設定', and 'PoEスケジュール設定'. The 'PoEスケジュール設定' tab is active, displaying a table with 8 rows representing ports 1 to 8. Each row has a checkbox and a 'タイムスケジュール' (Time Schedule) column. A red line points from the text 'PoE スケジュール設定を追加したり、選択したPoE スケジュール設定を編集します。' to the '追加/編集' (Add/Edit) button in the top right of the table. Another red line points from the text '選択したPoE スケジュール設定を削除します。' to the '削除' (Delete) button in the top right of the table.

PoE スケジュール設定を追加したり、選択したPoE スケジュール設定を編集します。

→ [104ページ](#)

選択したPoE スケジュール設定を削除します。

項目	内容
ポート	ポート番号が表示されます。
タイムスケジュール	ポートに設定されているタイムスケジュールが表示されます。

■ PoE スケジュール設定の追加／編集

ポート

タイムスケジュール

schedule1

適用

クリア

キャンセル

項目	内容
ポート	設定するポートのポート番号を入力します。
タイムスケジュール	「タイムスケジュール」で作成したプロファイルから選択します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

ポート設定

スイッチのポート設定を構成します。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

ポート >> ポート設定

ダッシュボード

モニター

システム

ポート

Green Ethernet

リンクアグリゲーション

LLDP

PoE設定

ポート設定

スイッチング

ネットワーク

セキュリティ

管理

ポート設定

ポート	有効	名前	速度/伝搬方式	フローコントロール	802.1pプライオリティ	BPDU制御	メディアタイプ
*	☐		自動	無効	0	ピア	SFP
1	☒		自動	無効	0	ピア	-
2	☒		自動	無効	0	ピア	-
3	☒		自動	無効	0	ピア	-
4	☒		自動	無効	0	ピア	-
5	☒		自動	無効	0	ピア	-
6	☒		自動	無効	0	ピア	-
7	☒		自動	無効	0	ピア	-
8	☒		自動	無効	0	ピア	-
9	☒		自動	無効	0	ピア	SFP
10	☒		自動	無効	0	ピア	SFP

適用 キャンセル

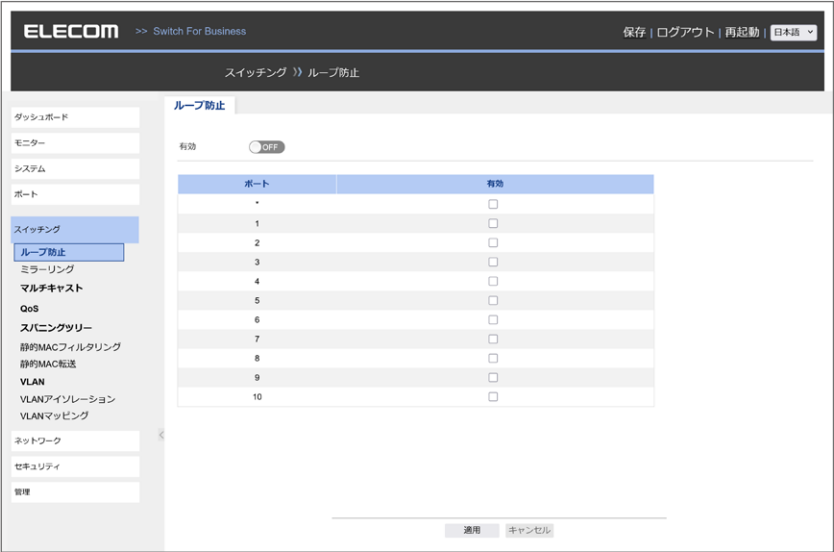
項目	内容
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。
有効	ポートの有効／無効を切り替えます。すべてのポートの工場出荷時のデフォルトは有効です。データ転送を行うには、ポートを有効にする必要があります。
名前	このポートを識別する説明的な名前を入力します。 (最大 128 文字まで。? (クエスチョンマーク) (パイプ) ' (クォーテーション) " (ダブルクォーテーション) は使用不可) スペースの制限により、設定画面ではポート名が切り捨てられることがあります。

項目	内容								
速度／通信方式	このポートのイーサネット接続の速度とデュプレックスモードを以下から選択します。 (自動、自動 -1G、自動 -100M、100M / 全二重、1G / 全二重、2.5G / 全二重、5G / 全二重、10G / 全二重 (ギガビット接続のみ)) (初期値：自動) 「自動 -1G」または「自動」を選択すると、1つのポートがピアポートと自動的にネゴシエーションし、両端がサポートする接続速度とデュプレックスモードを取得します。 ※ 10Gbps/5Gbps は、EHB-SX シリーズのみ対応。 オートネゴシエーションがオンの場合 本製品のポートは相手ポートと自動的にネゴシエーションを行い、接続速度とデュプレックスモードを決定します。相手ポートがオートネゴシエーションをサポートしていないか、この機能をオフにしている場合、本製品はケーブルの信号を検出して半二重モードを使用して接続速度を決定します。 オートネゴシエーションがオフの場合 ポートは接続時にあらかじめ設定された速度とデュプレックスモードを使用するため、接続するには相手ポートの設定が同じであることを確認する必要があります。								
フローコントロール	フロー制御の方法を選択します。(初期値：無効) ポートにトラフィックが集中すると、ポートの帯域幅が低下し、バッファメモリがオーバーフローしてパケットの破棄やフレームロスが発生します。 フロー制御は、受信ポートの帯域幅に合わせて信号の送信を調整するために使用されます。 本製品は、全二重モードでは IEEE 802.3x フロー制御を使用し、半二重モードでは背圧フロー制御を使用します。 IEEE 802.3x フロー制御は、全二重モードで使用され、送信ポートに一時停止信号を送信し、受信ポートのメモリバッファがいっぱいになると、一時的に信号の送信を停止させます。 バックプレッシャーフロー制御は、通常、半二重モードで使用され、送信ポートに「衝突」信号を送信し (パケット衝突の状態を模倣)、送信ポートに信号の送信を一時的に停止させ、後で再送信させます。 <table border="1"> <tr> <td>無効</td><td>フロー制御しません。</td></tr> <tr> <td>送受信</td><td>本製品のポートから接続機器にポーズ信号が送信され、接続機器から本製品にポーズ信号が送信されます。本製品はポーズ信号を受信すると、信号の送信を一時的に停止します。</td></tr> <tr> <td>送信</td><td>本製品のポートから接続機器へポーズ信号が送信されます。</td></tr> <tr> <td>受信</td><td>接続機器から本製品にポーズ信号が送信されます。本製品は一時的に信号の送信を停止します。</td></tr> </table>	無効	フロー制御しません。	送受信	本製品のポートから接続機器にポーズ信号が送信され、接続機器から本製品にポーズ信号が送信されます。本製品はポーズ信号を受信すると、信号の送信を一時的に停止します。	送信	本製品のポートから接続機器へポーズ信号が送信されます。	受信	接続機器から本製品にポーズ信号が送信されます。本製品は一時的に信号の送信を停止します。
無効	フロー制御しません。								
送受信	本製品のポートから接続機器にポーズ信号が送信され、接続機器から本製品にポーズ信号が送信されます。本製品はポーズ信号を受信すると、信号の送信を一時的に停止します。								
送信	本製品のポートから接続機器へポーズ信号が送信されます。								
受信	接続機器から本製品にポーズ信号が送信されます。本製品は一時的に信号の送信を停止します。								
802.1p プライオリティ	このプライオリティ値は、(802.1p) タグのない受信フレームに追加されます。								

項目	内容								
BPDU 制御	このポートで受信した BPDU (Bridge Protocol Data Units) の処理方法を設定します。(初期値：ピア) 設定の前に「システム」－「スイッチ設定」(74 ページ) で「ブリッジプロトコル透過」を「有効」に設定する必要があります。								
	<table><tr><td>ピア</td><td>このポートで受信したすべての BPDU を処理します。</td></tr><tr><td>トンネル</td><td>このポートで受信した BPDU を転送します。</td></tr><tr><td>破棄</td><td>このポートで受信した BPDU を廃棄します。</td></tr><tr><td>ネットワーク</td><td>VLAN タグのない BPDU を処理し、タグ付き BPDU を転送します。</td></tr></table>	ピア	このポートで受信したすべての BPDU を処理します。	トンネル	このポートで受信した BPDU を転送します。	破棄	このポートで受信した BPDU を廃棄します。	ネットワーク	VLAN タグのない BPDU を処理し、タグ付き BPDU を転送します。
	ピア	このポートで受信したすべての BPDU を処理します。							
	トンネル	このポートで受信した BPDU を転送します。							
	破棄	このポートで受信した BPDU を廃棄します。							
ネットワーク	VLAN タグのない BPDU を処理し、タグ付き BPDU を転送します。								
メディアタイプ	10 ギガビット・インタフェースに接続する SFP+ モジュールのメディア・タイプ (SFP+ または DAC10G) を選択します。(初期値：SFP)								
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。								

ループ防止

ポートごとにループ防止機能の設定をします。



項目	内容
有効	「ON」にすると、本製品でループ防止が有効になります。 本製品は、ループ防止機能によりポートをシャットダウンした場合、syslog、内部ログメッセージ、SNMPトラップを生成します。
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。
有効	このポートのループ防止機能を有効にする場合にチェックを入れます。 本製品は、本ポートからプロンプトパケットを送信し、接続先の本製品がループ状態にあるかどうかを確認します。本ポートが接続されている本製品がループ状態の場合、本製品は本ポートをシャットダウンします。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

ミラーリング

ポートミラーリング機能の設定をします。

ポートミラーリングを使用すると、トラフィックフローをモニターポート（トラフィックをコピーしたポート）にコピーして、干渉を受けずにモニターポートからのトラフィックを調べることができます。

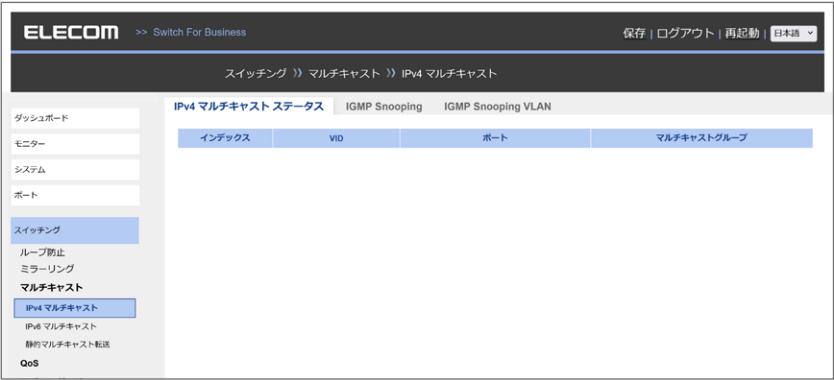
ポート	ミラー有効	データ方向
*	☐	入力ポート
1	☐	入力ポート
2	☐	入力ポート
3	☐	入力ポート
4	☐	入力ポート
5	☐	入力ポート
6	☐	入力ポート
7	☐	入力ポート
8	☐	入力ポート
9	☐	入力ポート
10	☐	入力ポート

項目	内容
有効	「ON」にすると、本製品でポートミラーリングが有効になります。
モニターポート	モニターポートのポート番号を入力します。 モニターポートは、元のポートのトラフィックフローを妨げることなく、トラフィックをより詳細に調べるために、トラフィックをコピーするポートです。
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。
ミラー有効	チェックすると、ポートのトラフィックをミラーリングします。
データ方向	ミラーリングするトラフィックの方向を選択します。 (入力ポート／出力ポート／入出力ポート) (初期値：入力ポート)
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

【マルチキャスト】IPv4 マルチキャスト

IPv4 マルチキャストステータス

IPv6 マルチキャストグループ情報が表示されます。



項目	内容
インデックス	エントリーのインデックス番号が表示されます。
VID	マルチキャスト VLAN ID が表示されます。
ポート	マルチキャストグループに属するポート番号が表示されます。
マルチキャストグループ	IP マルチキャストグループアドレスが表示されます。

IGMP snooping

グループマルチキャストトラフィックをそのグループのメンバーであるポートにのみ転送します。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

スイッチング >> マルチキャスト >> IPv4 マルチキャスト

IPv4 マルチキャストステータスIGMP SnoopingIGMP Snooping VLAN

ダッシュボード

モニター

システム

ポート

スイッチング

ループ防止

ミラーリング

マルチキャスト

IPv4 マルチキャスト

IPv6 マルチキャスト

静的マルチキャスト転送

QoS

スパンニングツリー

静的MACフィルタリング

静的MAC転送

VLAN

VLANアイソレーション

VLANマッピング

ネットワーク

セキュリティ

管理

有効

クエリア

Report Proxy

Host Timeout

802.1pプライオリティ

不明なマルチキャストフレーム

予約済 マルチキャストグループ

ON

☐

☒

260

秒

変更なし

フラッディング

フラッディング

☐ 破壊

☐ 破壊

ポート	Normal Leave	Fast Leave	IGMP クエリアモード
*	☒	☐	Auto
1	☒	☐	Auto
2	☒	☐	Auto
3	☒	☐	Auto
4	☒	☐	Auto
5	☒	☐	Auto
6	☒	☐	Auto
7	☒	☐	Auto
8	☒	☐	Auto
9	☒	☐	Auto
10	☒	☐	Auto

適用

キャンセル

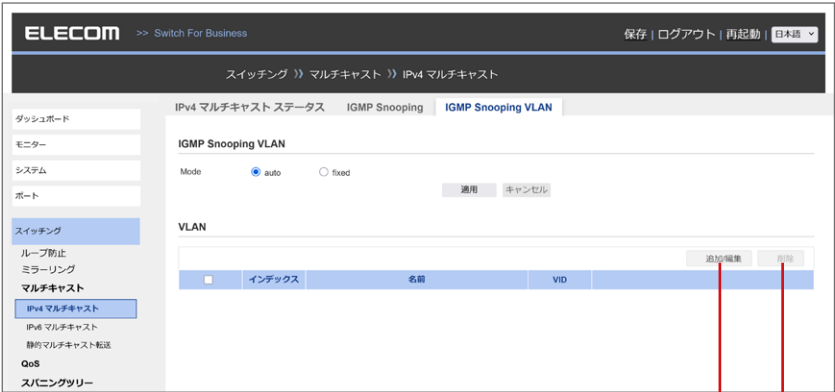
項目	内容
有効	「ON」 にすると、本製品で IGMP snooping が有効になります。(初期値：OFF)
クエリア	マルチキャストホストが接続されているVLANに対して IGMP General Queryメッセージを送信する場合に選択します。(初期値：無効)

項目	内容				
Report Proxy	本製品を IGMP レポートプロキシおよびリーブプロキシとして動作させる場合に選択します。選択すると、接続されているマルチキャストルータにグループの変更を報告します。(初期値:有効) 本製品はマルチキャストルータまたはスイッチとマルチキャストホスト間の IGMP パケットをチェックしてマルチキャストグループメンバーシップを知るだけでなく、IGMP v1/v2 レポートの送信元 MAC アドレスを自身の MAC アドレスに置き換えてからマルチキャストルータまたはスイッチに転送します。 本製品は、同じマルチキャストグループへの参加を要求する複数の IGMP v1/v2 ジョインレポートを受信した場合、自分の MAC アドレスを持つ新しいジョインレポートだけを送信します。これにより、マルチキャストルータまたはスイッチに渡されるマルチキャスト参加レポートの数を減らすことができます。 本製品は、マルチキャストグループの最後のホストからリーブメッセージを受信したときだけ、マルチキャストルータまたはスイッチに MAC アドレス付きのリーブメッセージを送信します。				
Host Timeout	本製品がポートから報告メッセージを受信しない場合に、IGMP グループメンバーシップエントリを削除するまでの時間 (1 ~ 16711450) を秒単位で指定します。(初期値: 260 秒)				
802.1p プライオリティ	本製品が送信する IGMP コントロールパケットの優先度を変更する優先度レベル (0 ~ 7) を選択します。 それ以外の場合は、「変更なし」を選択してプライオリティを変更しません。(初期値: 変更なし)				
不明なマルチキャストフレーム	本製品が不明なマルチキャストフレームを受信したときの動作を設定します。(初期値:フラッディング) <table border="1"> <tr> <td>フラッディング</td><td>すべてのポートにフレームを送信します。</td></tr> <tr> <td>破棄</td><td>フレームを廃棄します。</td></tr> </table>	フラッディング	すべてのポートにフレームを送信します。	破棄	フレームを廃棄します。
フラッディング	すべてのポートにフレームを送信します。				
破棄	フレームを廃棄します。				
予約済マルチキャストグループ	本製品が予約マルチキャストアドレスを持つフレームを受信したときの動作を指定します。(初期値:フラッディング) <table border="1"> <tr> <td>フラッディング</td><td>すべてのポートにフレームを送信します。</td></tr> <tr> <td>破棄</td><td>フレームを廃棄します。</td></tr> </table>	フラッディング	すべてのポートにフレームを送信します。	破棄	フレームを廃棄します。
フラッディング	すべてのポートにフレームを送信します。				
破棄	フレームを廃棄します。				
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。				

項目	内容	
Normal Leave	本製品がこのタイムアウトを使用してポートのフォワーディングテーブルを更新する場合に選択します。(初期値：無効) Normal Leave モードでは、本製品があるポートでホストから IGMP leave メッセージを受信した場合、マルチキャストルータが IGMP Group-Specific Query (GSQ) メッセージを送信してから IGMP レポートを待ち、ポートに接続されている他のホストが特定のマルチキャストグループに残るかどうかを判断します。 このポートでホストから IGMP leave メッセージを受信した場合、本製品が IGMP snooping のメンバシップエントリを削除するまでに IGMP レポートを何秒待つかを定義します。	
Fast Leave	本製品がこのタイムアウトを使用してポートのフォワーディングテーブルを更新するときに選択します。(初期値：有効) Fast Leave モードでは、ポート上のホストから IGMP リーブメッセージを受信した直後に、本製品は IGMP Group-Specific Query (GSQ) メッセージを送信し、ポートに接続されている他のホストが特定のマルチキャストグループに留まるべきかどうかを判断します。これにより、離脱処理を高速化することができます。	
IGMP クエリアモード	本製品は IGMP クエリポートを IGMP マルチキャストルータ（またはサーバ）に接続されているものとして扱います。 本製品は IGMP join または leave パケットを IGMP クエリポートに転送します。	
	Auto (初期値)	ポートが IGMP クエリパケットを受信した場合、IGMP クエリポートとして使用します。
	Fixed	本製品がポートを常に IGMP クエリポートとして使用します。ポートに IGMP マルチキャストサーバを接続する場合に選択します。
	Edge	ポートを IGMP クエリポートとして使用しないようにするときに選択します。本製品はこのポートに IGMP ルータを接続した記録を残しません。また、IGMP の参加パケットおよび離脱パケットをこのポートに転送しません。

IGMP snooping VLAN

VLANでIGMP snoopingを実行します。



IGMP snooping VLANを追加したり、選択したIGMP snooping VLANを編集します。

→ [115ページ](#)

選択したIGMP snooping VLANを削除します。

■ IGMP snooping VLAN

項目	内容				
Mode	本製品は最大 16 個の VLAN（MVR 画面で設定した最大 5 個の VLAN を含む）を学習できます。 例えば、MVR 画面でマルチキャスト VLAN を 1 つ設定した場合、本画面で指定できる VLAN は 15 個までです。 本製品はこの 16 個の VLAN に属さない IGMP 制御メッセージをドロップします。 設定の前に「スイッチング」－「マルチキャスト」－「IPv4 マルチキャスト」－「IGMP snooping」 (111 ページ) で「IGMP snooping」を「有効」に設定する必要があります。				
	<table><tr><td>auto (初期値)</td><td>本製品が任意の VLAN のマルチキャストグループメンバーシップ情報を自動的に学習します。</td></tr><tr><td>fixed</td><td>以下で指定した VLAN のマルチキャストグループメンバーシップ情報のみを学習します。</td></tr></table>	auto (初期値)	本製品が任意の VLAN のマルチキャストグループメンバーシップ情報を自動的に学習します。	fixed	以下で指定した VLAN のマルチキャストグループメンバーシップ情報のみを学習します。
	auto (初期値)	本製品が任意の VLAN のマルチキャストグループメンバーシップ情報を自動的に学習します。			
fixed	以下で指定した VLAN のマルチキャストグループメンバーシップ情報のみを学習します。				
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。				

■ VLAN

項目	内容
インデックス	テーブル内の IGMP snooping VLAN エントリの番号が表示されます。
名前	この VLAN グループの説明的な名前が表示されます。
VID	VLAN グループの ID 番号です。

■ IGMP snooping VLAN の追加／編集

名前

VID

適用

クリア

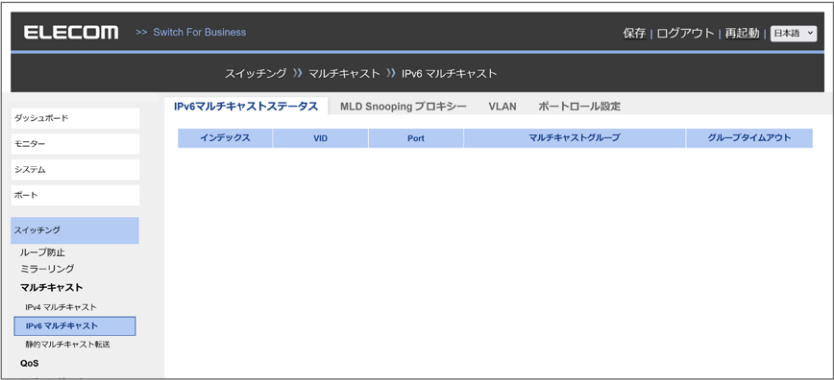
キャンセル

項目	内容
名前	識別のために VLAN の説明的な名前を入力します。 (最大 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) (パイプ) ' (クォーテーション) " (ダブルクォーテーション) , (コンマ) は使用不可)
VID	スタティック VLAN の ID を入力します。有効範囲は 1 ～ 4094 です。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

【マルチキャスト】IPv6 マルチキャスト

IPv6 マルチキャストステータス

IPv6 マルチキャストグループ情報が表示されます。



項目	内容
インデックス	エントリーのインデックス番号が表示されます。
VID	マルチキャスト VLAN ID が表示されます。
Port	マルチキャストグループに属するポート番号が表示されます。
マルチキャストグループ	IP マルチキャストグループアドレスが表示されます。
グループタイムアウト	ポートからレポートメッセージを受信しない場合に、本製品が MLD グループメンバーシップエントリを削除するまでの経過時間（秒）が表示されます。

MLD snoopingプロキシ

MLD snooping-proxy を設定します。



項目	内容
有効	MLD snooping-proxy の有効／無効を切り替えます。(初期値：無効)
802.1p 優先	MLD メッセージの優先度 (0-7) を選択します。(初期値：0)
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

VLAN

MLD snooping プロキシ VLAN を設定します。



MLD snooping プロキシ VLANを追加したり、選択した
MLD snooping プロキシ VLANを編集します。

→ [119ページ](#)

選択したMLD snooping プロキシ VLANを削除します。

項目	内容
インデックス	MLD snooping プロキシ VLAN エントリのインデックス番号が表示されます。
VID	VLAN グループの ID 番号が表示されます。

■ MLD snooping プロキシ VLAN の追加／編集

VID	
アップストリーム	
クエリ間隔	125000 ミリ秒
最大応答遅延	10000 ミリ秒
Robustness Variable	2
最終メンバークエリ間隔	1000 ミリ秒
ダウンストリーム	
クエリ間隔	125000 ミリ秒
最大応答遅延	10000 ミリ秒
適用 クリア キャンセル	

項目	内容		
VID	VLAN の ID 番号を入力します。		
アップストリーム	この値は、接続されているマルチキャストルータで設定されている値とまったく同じにする必要があります。 この値は、MLD snooping のメンバシップエントリ（アップストリームポートでのみ学習）がフォワーディングテーブルに残る時間を計算するために使用されます。		
	<table><tr><td>クエリ間隔</td><td>アップストリームポートに接続されているルーターから送信される一般的なクエリメッセージ間の時間（ミリ秒）を入力します。 (初期値：12500 ミリ秒) MLD Report メッセージを受信すると、本製品はエントリのタイムアウト時間を $T = (QI * RV) + MRD *$ に設定します。</td></tr></table>	クエリ間隔	アップストリームポートに接続されているルーターから送信される一般的なクエリメッセージ間の時間（ミリ秒）を入力します。 (初期値：12500 ミリ秒) MLD Report メッセージを受信すると、本製品はエントリのタイムアウト時間を $T = (QI * RV) + MRD *$ に設定します。
	クエリ間隔	アップストリームポートに接続されているルーターから送信される一般的なクエリメッセージ間の時間（ミリ秒）を入力します。 (初期値：12500 ミリ秒) MLD Report メッセージを受信すると、本製品はエントリのタイムアウト時間を $T = (QI * RV) + MRD *$ に設定します。	
<table><tr><td>最大応答遅延</td><td>アップストリームポートに接続されているルーターが、MLD 一般クエリメッセージに対する応答を待機する時間（ミリ秒）を入力します。(初期値：10000 ミリ秒) MLD Report メッセージを受信した場合、本製品エントリのタイムアウト時間を $T = (QI * RV) + MRD *$ に設定します。 MLD Done メッセージを受信すると、本製品はエントリの有効期間を Last Member Query Interval と Robustness Variable の積に設定します。</td></tr></table>	最大応答遅延	アップストリームポートに接続されているルーターが、MLD 一般クエリメッセージに対する応答を待機する時間（ミリ秒）を入力します。(初期値：10000 ミリ秒) MLD Report メッセージを受信した場合、本製品エントリのタイムアウト時間を $T = (QI * RV) + MRD *$ に設定します。 MLD Done メッセージを受信すると、本製品はエントリの有効期間を Last Member Query Interval と Robustness Variable の積に設定します。	
最大応答遅延	アップストリームポートに接続されているルーターが、MLD 一般クエリメッセージに対する応答を待機する時間（ミリ秒）を入力します。(初期値：10000 ミリ秒) MLD Report メッセージを受信した場合、本製品エントリのタイムアウト時間を $T = (QI * RV) + MRD *$ に設定します。 MLD Done メッセージを受信すると、本製品はエントリの有効期間を Last Member Query Interval と Robustness Variable の積に設定します。		
※ T = Timeout、QI = Query Interval、RV = Robustness Variable、MRD = Maximum Response Delay			

項目	内容	
アップストリーム	Robustness Variable	クエリ回数を入力します。(初期値: 2) アップストリームポートに接続されたルータから送信されたクエリに対して、設定したクエリ数以上の応答がない場合に、マルチキャストアドレスエントリ (snooping によってアップストリームポートだけで学習したもの) をフォワーディングテーブルから削除します。
	最終メンバークエリ間隔	MLD Done メッセージを受信したときにアップストリームポートが送信する MLD グループ固有クエリー間の時間 (ミリ秒) を入力します。(初期値: 1000) MLD Done メッセージを受信すると、本製品はエントリの有効期間を Last Member Query Interval と Robustness Variable の積に設定します。
ダウンストリーム	クエリ間隔	ダウンストリームポートから送信される一般クエリメッセージ間の時間 (ミリ秒) を入力します。(初期値: 125000)
	最大応答遅延	本製品がダウンストリームポートから送信された一般クエリメッセージに対する応答を待機する最大時間 (ミリ秒) を入力します。(初期値: 10000)
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。	
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。	

ポートロール設定

ポートのMLD snooping-proxy 設定をします。

ELECOM
>> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

スイッチング >> マルチキャスト >> IPv6 マルチキャスト

IPv6マルチキャストステータス
MLD Snooping プロキシ
VLAN
ポートロール設定

ダッシュボード
モニター
システム
ポート
スイッチング
ループ防止
ミラーリング
マルチキャスト
IPv4 マルチキャスト
IPv6 マルチキャスト
静的マルチキャスト転送
QoS
スパンニングツリー
静的MACフィルタリング
静的MAC転送
VLAN
VLANアイソレーション
VLANマッピング
ネットワーク
セキュリティ
管理

MLD Snooping プロキシ ポートロール設定

MLD Snooping プロキシ-VLAN ID

▼

ポート	ポートロール	Leave Mode	Leave Timeout	Fast Leave Timeout
*	なし	即時		
1	なし	即時	4300	200
2	なし	即時	4300	200
3	なし	即時	4300	200
4	なし	即時	4300	200
5	なし	即時	4300	200
6	なし	即時	4300	200
7	なし	即時	4300	200
8	なし	即時	4300	200
9	なし	即時	4300	200
10	なし	即時	4300	200

適用 キャンセル

項目	内容
MLD snooping プロキシ VLAN ID	ポートの MLD snooping-proxy 設定を行う VLAN ID を選択します。
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。
ポートロール	ポートの役割を選択します。 (なし/アップストリーム/ダウンストリーム) (初期値: なし) 本製品のポートは、MLD のダウンストリームポートにもアップストリームポートにもなります。ダウンストリームポートは、MLD ホストに接続し、マルチキャストルータとして動作し、MLD クエリを送信し、MLD ホストの Report および Done メッセージをリッスンします。 アップストリームポートは、マルチキャストルータに接続し、マルチキャストルータからクエリを受信するときに Report メッセージまたは Done メッセージを送信するホストとして動作します。 その他、ポートがマルチキャストグループに参加していない、またはこの VLAN に所属していない場合は「なし」を選択します。

項目	内容
Leave Mode	この VLAN で指定したダウンストリームポートのリーブモードを選択します。 本ポートでホストから MLD leave メッセージを受信した場合、MLD snooping のメンバシップエントリ（ダウンストリームポートで学習）を即座に削除するか（即時）、leave timeout 前に MLD report を待つか（通常）、leave timeout を早くするか（高速）を指定します。 （初期値：即時）
Leave Timeout	ダウンストリームポートのフォワーディングテーブルの更新に使用する MLD snooping normal leave timeout (ミリ秒) を入力します。（初期値：4000 ミリ秒） これは、ホストから MLD Done メッセージを受信した場合、本製品が（ダウンストリームポートで学習した）MLD snooping のメンバシップエントリを削除するまでの MLD レポート待ち時間を何秒にするかを定義します。
Fast Leave Timeout	指定したダウンストリームポートの Fast Leave Timeout（ミリ秒）を入力します。（初期値：200 ミリ秒） これは、ホストからこのポートで MLD Done メッセージを受信した場合、（ダウンストリームポートで学習した）MLDsnooping メンバシップエントリを削除する前に、本製品が MLD レポートを待機する秒数を定義します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

【マルチキャスト】静的マルチキャスト転送

マルチキャストストリームを受信するポートの静的マルチキャストMACアドレスを表示したり、設定します。



静的マルチキャストMACアドレスルールを追加したり、選択した静的マルチキャストMACアドレスルールを編集します。

→ [124ページ](#)

選択した静的マルチキャストMACアドレスルールを削除します。

項目	内容
インデックス	静的マルチキャスト MAC アドレスルールのインデックス番号が表示されます。
有効	静的マルチキャスト MAC アドレス転送ルールが有効になっているかが表示されます。 ルールは一時的に無効化することができます。
名前	静的マルチキャスト MAC アドレス転送ルールの識別のための記述名が表示されます。
MAC アドレス	マルチキャストグループを識別するマルチキャスト MAC アドレスが表示されます。
VID	指定したマルチキャスト MAC アドレスを含むフレームを転送する VLAN グループの ID 番号が表示されます。
ポート	指定されたマルチキャスト MAC アドレスを含むフレームを転送する特定 VLAN グループ内のポートが表示されます。

■ 静的マルチキャストMACアドレスルールの追加／編集

有効

☐ OFF

名前

MACアドレス

VID

ポート

適用

クリア

キャンセル

項目	内容
有効	このルールの有効／無効を切り替えます。 無効にすると、ルールを削除せずに一時的に非アクティブにすることができます。
名前	この静的マルチキャストMAC アドレス転送ルールの名前を入力します。 (最大 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) (パイプ) ' (クォーテーション) " (ダブルクォーテーション) , (コンマ) は使用不可)
MAC アドレス	マルチキャストグループを識別するマルチキャストMAC アドレスを入力します。 マルチキャストMAC アドレスの最初のオクテットペアの最後のバイナリビットは、1 でなければなりません。 例えば、最初のオクテットペア 00000001 は 16 進数で 01 なので、01:00:5e:00:00:0A と 01:00:5e:00:00:27 が有効なマルチキャストMAC アドレスです。
VID	宛先のマルチキャストMAC アドレスが一致するフレームをVLAN グループ内のポートに転送できます。 ここにVLAN グループを識別するIDを入力します。特定のVLANを指定しない場合は、「1」を入力してください。
ポート	上記のエントリと一致した宛先マルチキャストMAC アドレスのフレームを転送するポートを入力します。 複数のポートをカンマ (,) またはハイフン (-) で区切って入力できます。 たとえば、ポート 3、4、5 には「3-5」と入力します。ポート 3、5、7 には「3,5,7」と入力します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

[Qos] Diffserv

Diffserv

マーキングルールまたはIEEE 802.1p プライオリティマッピングを適用します。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

スイッチング >> QoS >> Diffserv

ダッシュボード

モニター

システム

ポート

スイッチング

ループ防止

ミラーリング

マルチキャスト

QoS

Diffserv

キューイング方式

キュー優先度

帯域編割部

スパンニングツリー

静的MACフィルタリング

静的MAC転送

VLAN

VLANアイソレーション

VLANマッピング

ネットワーク

セキュリティ

Diffserv

DSCP設定

有効 ☐ OFF

ポート	有効
*	☐
1	☐
2	☐
3	☐
4	☐
5	☐
6	☐
7	☐
8	☐
9	☐
10	☐

適用 キャンセル

項目	内容
有効	Diffserv 機能の有効／無効を切り替えます。
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。
有効	各ポートにおける Diffserv 機能の有効／無効を設定します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

DSCP 設定

本製品が受信した IP パケットの DSCP 値を、VLAN タグの優先度（IEEE 802.1p/PCP）にマッピングします。

項目	内容
0 ～ 63	DSCP 分類識別番号です。 プルダウンメニューから、IEEE 802.1p のプライオリティレベル（0 ～ 7）を割り当てます。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

【QoS】キューイング方式

キューに優先度を設定します。

ELECOM
>> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

スイッチング >> QoS >> キューイング方式

ダッシュボード

モニター

システム

ポート

スイッチング

ループ防止

ミラーリング

マルチキャスト

QoS

Diffserv

キューイング方式

キュー優先度

帯域幅制御

スパンニングツリー

静的MACフィルタリング

静的MAC転送

VLAN

VLANアイソレーション

VLANマッピング

ネットワーク

セキュリティ

キューイング方式

ポート	方式	ウェイト								Hybrid-SPQ Lowest-Queue
		Q0	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	
*	SPQ									なし
1	SPQ	1	2	3	4	5	6	7	8	なし
2	SPQ	1	2	3	4	5	6	7	8	なし
3	SPQ	1	2	3	4	5	6	7	8	なし
4	SPQ	1	2	3	4	5	6	7	8	なし
5	SPQ	1	2	3	4	5	6	7	8	なし
6	SPQ	1	2	3	4	5	6	7	8	なし
7	SPQ	1	2	3	4	5	6	7	8	なし
8	SPQ	1	2	3	4	5	6	7	8	なし
9	SPQ	1	2	3	4	5	6	7	8	なし
10	SPQ	1	2	3	4	5	6	7	8	なし

適用 キャンセル

項目	内容						
ポート	ポート番号が表示されます。						
方式	キューの方式を選択します。(初期値：SPQ) <table> <tr> <td>SPQ</td><td>優先度のみに基づいてキューをサービスします。 最も優先度の高いキューが空になると、次に優先度の高いキューのトラフィックが開始されます。Q7 が最も優先度が高く、Q0 が最も低くなります。</td></tr> <tr> <td>WFQ</td><td>各キューの帯域幅部分（「ウェイト」に設定された数値）に基づいて、各キューの最低帯域幅を保証するために使用されます。 より大きな重みを持つキューは、より小さな重みを持つキューよりも多くの帯域幅を保証されます。</td></tr> <tr> <td>WRR</td><td>キューの重み（「ウェイト」に設定された数値）に基づいて、キューをローテーションでサービスします。より大きな重みを持つキューは、より小さな重みを持つキューよりも多くのサービスを得ます。</td></tr> </table>	SPQ	優先度のみに基づいてキューをサービスします。 最も優先度の高いキューが空になると、次に優先度の高いキューのトラフィックが開始されます。Q7 が最も優先度が高く、Q0 が最も低くなります。	WFQ	各キューの帯域幅部分（「ウェイト」に設定された数値）に基づいて、各キューの最低帯域幅を保証するために使用されます。 より大きな重みを持つキューは、より小さな重みを持つキューよりも多くの帯域幅を保証されます。	WRR	キューの重み（「ウェイト」に設定された数値）に基づいて、キューをローテーションでサービスします。より大きな重みを持つキューは、より小さな重みを持つキューよりも多くのサービスを得ます。
SPQ	優先度のみに基づいてキューをサービスします。 最も優先度の高いキューが空になると、次に優先度の高いキューのトラフィックが開始されます。Q7 が最も優先度が高く、Q0 が最も低くなります。						
WFQ	各キューの帯域幅部分（「ウェイト」に設定された数値）に基づいて、各キューの最低帯域幅を保証するために使用されます。 より大きな重みを持つキューは、より小さな重みを持つキューよりも多くの帯域幅を保証されます。						
WRR	キューの重み（「ウェイト」に設定された数値）に基づいて、キューをローテーションでサービスします。より大きな重みを持つキューは、より小さな重みを持つキューよりも多くのサービスを得ます。						
ウェイト	WFQ または WRR を選択した場合、キューウェイトをここに入力します。 帯域幅は、それぞれの重みに従って、異なるトラフィックキューに分割されます。						

127

項目	内容
Hybrid-SPQ Lowest-Queue	この設定は、「方式」に「WFQ」または「WRR」を選択した場合のみ適用されます。キュー（Q0 ～ Q7）を選択し、ギガビットポートの指定キュー以降のキューに SPQ を使用します。 例えば、Q5 を選択した場合、Q5, Q6, Q7 のトラフィックに対して SPQ を使用します。 ギガビットポートに常に WFQ または WRR を使用する場合は、「なし」を選択します。

【QoS】キュー優先度

優先度レベルから物理キューへのマッピングを設定します

ELECOM
>> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

スイッチング
ループ防止
ミラーリング
マルチキャスト
QoS
Diffserv
キューイング方式
キュー優先度
帯域幅制御
スパンニングツリー
静的MACフィルタリング
静的MAC転送
VLAN
VLANアイソレーション
VLANマッピング
ネットワーク
セキュリティ

スイッチング
>> QoS
>> キュー優先度

キュー優先度

キュー優先度 割り当て

優先度7
7

優先度6
6

優先度5
5

優先度4
4

優先度3
3

優先度2
1

優先度1
0

優先度0
2

適用

キャンセル

項目	内容
優先度 7	通常、ルーター設定メッセージなどのネットワーク制御トラフィックに使用されます。
優先度 6	通常、ジッター（遅延の変動）に特に敏感な音声トラフィックに使用されます。
優先度 5	通常、高い帯域幅を消費し、ジッターの影響を受けやすいビデオに使用されます。
優先度 4	通常、SNA (Systems Network Architecture) トランザクションなど、負荷が制御され、遅延に敏感なトラフィックに使用されます。
優先度 3	通常、「エクセレント・エフォート」またはベスト・エフォートよりも優れたトラフィックに使用され、多少の遅延を許容できる重要なビジネス・トラフィックが含まれます。
優先度 2	「予備の帯域幅」用です。
優先度 1	通常、バルク転送のようなクリティカルでない「バックグラウンド」トラフィックに使用されます。
優先度 0	通常、ベストエフォート・トラフィックに使用されます。

129

【QoS】帯域幅制御

最大帯域幅を設定します。

ELECOM
>> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

スイッチング
QoS
帯域幅制御

ダッシュボード
モニター
システム
ポート
スイッチング
ループ防止
ミラーリング
マルチキャスト
QoS
DiffServ
キューイング方式
キュー優先度
帯域幅制御
スパンニングツリー
静的MACフィルタリング
静的MAC転送
VLAN
VLANアイソレーション
VLANマッピング
ネットワーク
セキュリティ

帯域幅制御

有効

OFF

ポート	有効	入力レート	有効	出力レート
*	☐	kbps	☐	kbps
1	☐	64 kbps	☐	64 kbps
2	☐	64 kbps	☐	64 kbps
3	☐	64 kbps	☐	64 kbps
4	☐	64 kbps	☐	64 kbps
5	☐	64 kbps	☐	64 kbps
6	☐	64 kbps	☐	64 kbps
7	☐	64 kbps	☐	64 kbps
8	☐	64 kbps	☐	64 kbps
9	☐	64 kbps	☐	64 kbps
10	☐	64 kbps	☐	64 kbps

適用 キャンセル

項目	内容
有効	帯域幅制御機能の有効／無効を設定します。(初期設定：無効)
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。
有効	入力レート制限を有効にする場合は、チェックを入れます。
入力レート	ポートの受信トラフィックフローに許容される最大帯域幅をキロビット / 秒 (kbps) で指定します。(初期設定：64kbps) 入力レート帯域幅制御は、レイヤー 2 トラフィックにのみ適用されます。
有効	出力レート制限を有効にする場合は、チェックを入れます。
出力レート	ポートの送信トラフィックフローに許可される最大帯域幅をキロビット / 秒 (kbps) で指定します。(初期設定：64kbps)
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

130

この画面は、STPモードの設定によって異なります。

■ RSTP 設定時

ELECOM
Switch For Business

保存
ログアウト
再起動
日本語

スウィッチング
>>
スパンニングツリー
>>
ステータス

ダッシュボード
モニター
システム
ポート
スウィッチング
ループ防止
ミラーリング
マルチキャスト
QoS
スパンニングツリー
ステータス
設定
RSTP
MSTP
静的MACフィルタリング
静的MAC転送
VLAN
VLANアイソレーション

スパンニングツリーステータス

RSTP

	ルートブリッジ	自ブリッジ
ブリッジID	0000-000000000000	0000-000000000000
ハロタイム (秒)	0	0
最大経過時間 (秒)	0	0
転送遅延 (秒)	0	0
ブリッジコスト	0	
ポートID	0x0000	
トポロジ変更カウンタ	0	
前回変更からの経過時間	0:00:00	

項目	内容
ブリッジ ID	ブリッジ・プライオリティと MAC アドレスからなる、このブリッジに固有の識別子が表示されます。 この ID は、本製品がルートスイッチの場合、ルートブリッジと自ブリッジで同じになります。
ハロータイム (秒)	ルートスイッチがコンフィグレーションメッセージを送信する時間間隔 (秒) が表示されます。 ルートブリッジは、ハロータイム、最大経過時間、転送遅延を決定します。
最大経過時間 (秒)	本製品がコンフィグレーションメッセージを受信せずに再コンフィグレーションを試行できる最大時間 (秒) が表示されます。
転送遅延 (秒)	ルートスイッチが状態を変更するまでの時間 (秒) が表示されます。
ブリッジコスト	本製品のルートポートからルートスイッチまでのパスコストが表示されます。
ポート ID	本製品がスパンニングツリーのルートと通信するためのポートの優先度と番号が表示されます。

項目	内容										
トポロジ変更回数	スパニングツリーの再設定回数が表示されます。										
前回変更からの時間	スパニングツリーを最後に再設定してからの時間が表示されます。										
ポート	本製品のポート番号が表示されます。										
ポート状態	STP におけるポートの状態が表示されます。 <table> <tr> <td>DISCARDING</td><td>ポートは受信したフレームの転送や処理、MAC アドレスの学習は行いませんが、BPDU のリッスンを行います。</td></tr> <tr> <td>LEARNING</td><td>ポートは MAC アドレスを学習し、BPDU を処理しますが、まだフレームを転送しません。</td></tr> <tr> <td>FORWARDING</td><td>ポートは正常に動作しています。MAC アドレスを学習し、BPDU を処理し、受信したフレームを転送します。</td></tr> </table>	DISCARDING	ポートは受信したフレームの転送や処理、MAC アドレスの学習は行いませんが、BPDU のリッスンを行います。	LEARNING	ポートは MAC アドレスを学習し、BPDU を処理しますが、まだフレームを転送しません。	FORWARDING	ポートは正常に動作しています。MAC アドレスを学習し、BPDU を処理し、受信したフレームを転送します。				
DISCARDING	ポートは受信したフレームの転送や処理、MAC アドレスの学習は行いませんが、BPDU のリッスンを行います。										
LEARNING	ポートは MAC アドレスを学習し、BPDU を処理しますが、まだフレームを転送しません。										
FORWARDING	ポートは正常に動作しています。MAC アドレスを学習し、BPDU を処理し、受信したフレームを転送します。										
ポートロール	STP におけるポートの役割が表示されます。 <table> <tr> <td>Root</td><td>非ルートブリッジ上のフォワーディングポートで、パスコストが最も低く、非ルートブリッジからルートブリッジへの最良のポートです。ルートブリッジはルートポートを持ちません。</td></tr> <tr> <td>Designated</td><td>接続されている各 LAN セグメントの指定ブリッジの転送ポートです。指定ブリッジは、LAN セグメントに接続されているブリッジの中で、ルートブリッジまでのパスコストが最も低くなります。ルートブリッジ（ルートスイッチ）上のポートはすべて指定ポートです。</td></tr> <tr> <td>Alternate</td><td>ルートブリッジへの最良の代替パスを持つブロックポートです。この経路は、ルート・ポートを使用するのとは異なります。LAN セグメントの指定ポートに障害が発生すると、このポートはフォワーディング状態に移行します。</td></tr> <tr> <td>Backup</td><td>スイッチが同じ LAN セグメントへのリンクを 2 つ持っている場合、指定ポートがすでに接続されている LAN セグメントへのバックアップまたは冗長パスを持つブロックされたポートです。</td></tr> <tr> <td>Disabled</td><td>厳密には STP の一部ではありません。ポートは手動で無効にできます。</td></tr> </table>	Root	非ルートブリッジ上のフォワーディングポートで、パスコストが最も低く、非ルートブリッジからルートブリッジへの最良のポートです。ルートブリッジはルートポートを持ちません。	Designated	接続されている各 LAN セグメントの指定ブリッジの転送ポートです。指定ブリッジは、LAN セグメントに接続されているブリッジの中で、ルートブリッジまでのパスコストが最も低くなります。ルートブリッジ（ルートスイッチ）上のポートはすべて指定ポートです。	Alternate	ルートブリッジへの最良の代替パスを持つブロックポートです。この経路は、ルート・ポートを使用するのとは異なります。LAN セグメントの指定ポートに障害が発生すると、このポートはフォワーディング状態に移行します。	Backup	スイッチが同じ LAN セグメントへのリンクを 2 つ持っている場合、指定ポートがすでに接続されている LAN セグメントへのバックアップまたは冗長パスを持つブロックされたポートです。	Disabled	厳密には STP の一部ではありません。ポートは手動で無効にできます。
Root	非ルートブリッジ上のフォワーディングポートで、パスコストが最も低く、非ルートブリッジからルートブリッジへの最良のポートです。ルートブリッジはルートポートを持ちません。										
Designated	接続されている各 LAN セグメントの指定ブリッジの転送ポートです。指定ブリッジは、LAN セグメントに接続されているブリッジの中で、ルートブリッジまでのパスコストが最も低くなります。ルートブリッジ（ルートスイッチ）上のポートはすべて指定ポートです。										
Alternate	ルートブリッジへの最良の代替パスを持つブロックポートです。この経路は、ルート・ポートを使用するのとは異なります。LAN セグメントの指定ポートに障害が発生すると、このポートはフォワーディング状態に移行します。										
Backup	スイッチが同じ LAN セグメントへのリンクを 2 つ持っている場合、指定ポートがすでに接続されている LAN セグメントへのバックアップまたは冗長パスを持つブロックされたポートです。										
Disabled	厳密には STP の一部ではありません。ポートは手動で無効にできます。										
指定ブリッジ ID	ポートが指定ポートの場合、このポートが属する指定ブリッジの識別子が表示されます。 それ以外の場合は、このポートが接続されている LAN セグメントの指定ブリッジの識別子が表示されます。										
指定ポート ID	指定ブリッジが蓄積されたコンフィギュレーションメッセージを送信する（指定ブリッジ上の）ブリッジポートの優先度と番号が表示されます。										

項目	内容				
指定コスト	ポートが指定ポートの場合、ポートが接続されている LAN セグメントまでのパスコストが表示されます。それ以外の場合は、このポートが接続されている LAN セグメントの指定ポートからルートブリッジまでのパスコストが表示されます。				
ルートガード状態	ルートガードが有効になっているポートの状態が表示されます。 <table border="1"> <tr> <td>Root-inconsistent</td><td>ポートで上位 BPDU を受信し、ポートをブロックします。</td></tr> <tr> <td>Forwarding</td><td>ブロックを解除し、ポートが再びフレームを転送できるようにします。</td></tr> </table>	Root-inconsistent	ポートで上位 BPDU を受信し、ポートをブロックします。	Forwarding	ブロックを解除し、ポートが再びフレームを転送できるようにします。
Root-inconsistent	ポートで上位 BPDU を受信し、ポートをブロックします。				
Forwarding	ブロックを解除し、ポートが再びフレームを転送できるようにします。				

■ RSTP 設定時

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

スイッチング >> スパンニングツリー >> ステータス

ダッシュボード

モニター

システム

ポート

スイッチング

ループ防止

ミラーリング

マルチキャスト

QoS

スパンニングツリー

ステータス

設定

RSTP

MSTP

静的MACフィルタリング

静的MAC転送

VLAN

VLANアイソレーション

VLANマッピング

ネットワーク

セキュリティ

管理

スパンニングツリーステータス

MSTP

CST

	ルートブリッジ	自ブリッジ
ブリッジID	0000-000000000000	0000-000000000000
ハロータイム (秒)	0	0
最大経路時間 (秒)	0	0
転送遅延 (秒)	0	0
ブリッジコスト	0	0
ポートID	0x0000	0x0000
設定名	3897a46a5080	
リビジョン番号	0	
設定ダイジェスト	0	
トポロジ変更回数	0	
前回変更からの時間	0:00:00	

インスタンス

インスタンス	VLAN
0	1-4094

MSTI 0

	リージョナルルート	自ブリッジ
ブリッジID	0000-000000000000	0000-000000000000
内部コスト	0	0
ポートID	0x0000	0x0000

ポート	ポート状態	ポートロール	指定ブリッジID	指定ポートID	指定コスト	ルートガード状態
-----	-------	--------	----------	---------	-------	----------

● CST

項目	内容
ブリッジ ID	ブリッジ・プライオリティと MAC アドレスからなる、このブリッジに固有の識別子が表示されます。 この ID は、本製品がルートスイッチの場合、ルートブリッジと自ブリッジで同じになります。
ハロータイム (秒)	ルートスイッチがコンフィグレーションメッセージを送信する時間間隔 (秒) が表示されます。 ルートブリッジは、ハロータイム、最大経過時間、転送遅延を決定します。
最大経過時間 (秒)	本製品がコンフィグレーションメッセージを受信せずに再コンフィグレーションを試行できる最大時間 (秒) が表示されます。
転送遅延 (秒)	ルートスイッチが状態を変更するまでの時間 (秒) が表示されます。
ブリッジコスト	本製品のルートポートからルートスイッチまでのパスコストが表示されます。
ポート ID	本製品がスパニングツリーのルートと通信するためのポートの優先度と番号が表示されます。
設定名	この MST リージョンの設定名が表示されます。
リビジョン番号	この MST リージョンのリビジョン番号が表示されます。
設定ダイジェスト	VLAN-MSTI マッピング情報から生成されます。 これは MSTP BPDU に含まれる 16 オクテットの署名です。 また、システムで MSTP がアクティブになったときのダイジェストです。
トポロジ変更回数	スパニングツリーの再設定回数が表示されます。
前回変更からの時間	スパニングツリーを最後に再設定してからの時間が表示されます。

● インスタンス

各スパニングツリーインスタンスにおいて、どの VLAN が動作しているかが表示されます。

項目	内容
インスタンス	MSTI ID が表示されます。
VLAN	どの VLAN が MSTI にマッピングされているかが表示されます。

● MSTI

項目	内容
MSTI	表示する MST インスタンス設定を選択します。
ブリッジ ID	ブリッジプライオリティ+ MAC アドレスで構成されます。このブリッジに固有の識別子です。本製品がルートスイッチの場合、この ID はルートと自ブリッジで同じになります。
内部コスト	MST インスタンスのルートポートからリージョナルルートスイッチまでのパスコストです。

項目	内容
ポート ID	本製品が MST インスタンスのルートと通信する必要がある本製品のポートの優先度と番号です。

●テーブル

項目	内容										
ポート	本製品のポート番号が表示されます。										
ポート状態	STP におけるポートの状態が表示されます。 <table border="1"> <tr> <td>DISCARDING</td><td>ポートは受信したフレームの転送や処理、MAC アドレスの学習は行いませんが、BPDU のリスンは行います。</td></tr> <tr> <td>LEARNING</td><td>ポートは MAC アドレスを学習し、BPDU を処理しますが、まだフレームを転送しません。</td></tr> <tr> <td>FORWARDING</td><td>ポートは正常に動作しています。MAC アドレスを学習し、BPDU を処理し、受信したフレームを転送します。</td></tr> </table>	DISCARDING	ポートは受信したフレームの転送や処理、MAC アドレスの学習は行いませんが、BPDU のリスンは行います。	LEARNING	ポートは MAC アドレスを学習し、BPDU を処理しますが、まだフレームを転送しません。	FORWARDING	ポートは正常に動作しています。MAC アドレスを学習し、BPDU を処理し、受信したフレームを転送します。				
DISCARDING	ポートは受信したフレームの転送や処理、MAC アドレスの学習は行いませんが、BPDU のリスンは行います。										
LEARNING	ポートは MAC アドレスを学習し、BPDU を処理しますが、まだフレームを転送しません。										
FORWARDING	ポートは正常に動作しています。MAC アドレスを学習し、BPDU を処理し、受信したフレームを転送します。										
ポートロール	STP におけるポートの役割が表示されます。 <table border="1"> <tr> <td>Root</td><td>非ルートブリッジ上のフォワーディングポートで、パスコストが最も低く、非ルートブリッジからルートブリッジへの最良のポートです。ルートブリッジはルートポートを持ちません。</td></tr> <tr> <td>Designated</td><td>接続されている各 LAN セグメントの指定ブリッジの転送ポートです。指定ブリッジは、LAN セグメントに接続されているブリッジの中で、ルートブリッジまでのパスコストが最も低くなります。ルートブリッジ（ルートスイッチ）上のポートはすべて指定ポートです。</td></tr> <tr> <td>Alternate</td><td>ルートブリッジへの最良の代替パスを持つブロックポートです。この経路は、ルート・ポートを使用するのとは異なります。LAN セグメントの指定ポートに障害が発生すると、このポートはフォワーディング状態に移行します。</td></tr> <tr> <td>Backup</td><td>スイッチが同じ LAN セグメントへのリンクを 2 つ持っている場合、指定ポートがすでに接続されている LAN セグメントへのバックアップまたは冗長パスを持つブロックされたポートです。</td></tr> <tr> <td>Disabled</td><td>厳密には STP の一部ではありません。ポートは手動で無効にできます。</td></tr> </table>	Root	非ルートブリッジ上のフォワーディングポートで、パスコストが最も低く、非ルートブリッジからルートブリッジへの最良のポートです。ルートブリッジはルートポートを持ちません。	Designated	接続されている各 LAN セグメントの指定ブリッジの転送ポートです。指定ブリッジは、LAN セグメントに接続されているブリッジの中で、ルートブリッジまでのパスコストが最も低くなります。ルートブリッジ（ルートスイッチ）上のポートはすべて指定ポートです。	Alternate	ルートブリッジへの最良の代替パスを持つブロックポートです。この経路は、ルート・ポートを使用するのとは異なります。LAN セグメントの指定ポートに障害が発生すると、このポートはフォワーディング状態に移行します。	Backup	スイッチが同じ LAN セグメントへのリンクを 2 つ持っている場合、指定ポートがすでに接続されている LAN セグメントへのバックアップまたは冗長パスを持つブロックされたポートです。	Disabled	厳密には STP の一部ではありません。ポートは手動で無効にできます。
Root	非ルートブリッジ上のフォワーディングポートで、パスコストが最も低く、非ルートブリッジからルートブリッジへの最良のポートです。ルートブリッジはルートポートを持ちません。										
Designated	接続されている各 LAN セグメントの指定ブリッジの転送ポートです。指定ブリッジは、LAN セグメントに接続されているブリッジの中で、ルートブリッジまでのパスコストが最も低くなります。ルートブリッジ（ルートスイッチ）上のポートはすべて指定ポートです。										
Alternate	ルートブリッジへの最良の代替パスを持つブロックポートです。この経路は、ルート・ポートを使用するのとは異なります。LAN セグメントの指定ポートに障害が発生すると、このポートはフォワーディング状態に移行します。										
Backup	スイッチが同じ LAN セグメントへのリンクを 2 つ持っている場合、指定ポートがすでに接続されている LAN セグメントへのバックアップまたは冗長パスを持つブロックされたポートです。										
Disabled	厳密には STP の一部ではありません。ポートは手動で無効にできます。										
指定ブリッジ ID	ポートが指定ポートの場合、このポートが属する指定ブリッジの識別子が表示されます。それ以外の場合は、このポートが接続されている LAN セグメントの指定ブリッジの識別子が表示されます。										
指定ポート ID	指定ブリッジが蓄積されたコンフィギュレーションメッセージを送信する（指定ブリッジ上の）ブリッジポートの優先度と番号が表示されます。										

項目	内容	
指定コスト	ポートが指定ポートの場合、ポートが接続されている LAN セグメントまでのパスコストが表示されます。それ以外の場合は、このポートが接続されている LAN セグメントの指定ポートからルートブリッジまでのパスコストが表示されます。	
ルートガード状態	ルートガードが有効になっているポートの状態が表示されます。	
	Root-inconsistent	ポートで上位 BPDU を受信し、ポートをブロックします。
	Forwarding	ブロックを解除し、ポートが再びフレームを転送できるようにします。

【スパニングツリー】設定

STPモードの設定をします。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

スイッチング >> スパニングツリー >> 設定

ダッシュボード

モニター

システム

ポート

スイッチング

ループ防止

ミラーリング

マルチキャスト

QoS

スパニングツリー

ステータス

設定

RSTP

MSTP

静的MACフィルタリング

静的MAC転送

VLAN

VLANアイソレーション

VLANマッピング

ネットワーク

セキュリティ

スパニングツリー設定

スパニングツリーモード

☒ ラビッドスパニングツリー (RSTP)

☐ マルチプルスパニングツリー (MSTP)

自動バスクコストモード

☐ Short

☒ Long

☐ ユーザー定義 :

10M 2000000

100M 200000

1G 20000

2.5G 8000

5G 4000

10G 2000

適用

キャンセル

■ スパニングツリーモード

項目	内容
スパニングツリーモード	STP モードを選択します。

項目	内容						
自動パスコストモード	リンク速度に応じて各ポートのパスコストを自動的に設定します。 本製品はパスコストを使用して、スパニングツリーのルートブリッジへの最良のパスを決定します。(初期設定: Long)						
	<table><tr><td>Short</td><td>本製品が定義する 16 ビットのオートパスコスト値を使用する場合に選択します。</td></tr><tr><td>Long</td><td>本製品が定義する 32 ビットのオートパスコスト値を使用する場合に選択します。Long を選択した場合、ネットワーク内のすべてのスイッチも Long パスコスト方式を使用する必要があります。そうしないと、スパニングツリーが正しく収束しない可能性があります。</td></tr><tr><td>ユーザー定義</td><td>手動で設定します。</td></tr></table>	Short	本製品が定義する 16 ビットのオートパスコスト値を使用する場合に選択します。	Long	本製品が定義する 32 ビットのオートパスコスト値を使用する場合に選択します。Long を選択した場合、ネットワーク内のすべてのスイッチも Long パスコスト方式を使用する必要があります。そうしないと、スパニングツリーが正しく収束しない可能性があります。	ユーザー定義	手動で設定します。
	Short	本製品が定義する 16 ビットのオートパスコスト値を使用する場合に選択します。					
	Long	本製品が定義する 32 ビットのオートパスコスト値を使用する場合に選択します。Long を選択した場合、ネットワーク内のすべてのスイッチも Long パスコスト方式を使用する必要があります。そうしないと、スパニングツリーが正しく収束しない可能性があります。					
	ユーザー定義	手動で設定します。					
スパニングツリーネットワークシステム内のすべてのスイッチで、同じオートパスコストモードを使用することを推奨します。 自動パスコスト機能を使用するには、ポートのパスコストを「0」に設定します。 「RSTP」(139 ページ) または「MSTP」(142 ページ) 本製品はポートのパスコストを、選択した自動パスコストモード定義された自動パスコスト値に自動的に設定します。							
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。						

【スパニングツリー】RSTP

高速スパニングツリープロトコルの設定をします。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

スイッチング >> スパニングツリー >> RSTP

ダッシュボード

モニター

システム

ポート

スイッチング

ループ防止

ミラーリング

マルチキャスト

QoS

スパニングツリー

ステータス

設定

RSTP

MSTP

静的MACフィルタリング

静的MAC転送

VLAN

VLANアイソレーション

VLANマッピング

ネットワーク

セキュリティ

RSTP

有効 ☐ ON ☒ OFF

ブリッジ優先度

ハロータイム 秒

最大経過時間 秒

転送遅延 秒

ポート	有効	エッジ	ルートガード	優先度	パスコスト
*	☐	☐	☐		
1	☐	☐	☐	128	2
2	☐	☐	☐	128	2
3	☐	☐	☐	128	2
4	☐	☐	☐	128	2
5	☐	☐	☐	128	2
6	☐	☐	☐	128	2
7	☐	☐	☐	128	2
8	☐	☐	☐	128	2
9	☐	☐	☐	128	2
10	☐	☐	☐	128	2

適用 キャンセル

項目	内容
有効	「ON」にすると、本製品で RSTP が有効になります。 RSTP を有効にするには、「スイッチング」－「スパニングツリー」－「設定」(137 ページ)の「スパニングツリーモード」で「ラピッドスパニングツリー (RSTP)」を選択している必要があります。
ブリッジ優先度	ブリッジ優先度を選択します。(初期値: 32768) 数値が低いほど、このブリッジのプライオリティは高くなります。 ブリッジ優先度は、ルート・スイッチ、ルート・ポート、および指定ポートの決定に使用されます。プライオリティが最も高い(数値が最も小さい)スイッチが STP ルートスイッチになります。 すべてのスイッチのプライオリティが同じ場合は、MAC アドレスが最小のスイッチがルート・スイッチになります。 ブリッジ優先度はルート・ブリッジを決定し、それによってハロータイム、最大経過時間、および転送遅延が決定されます。
ハロータイム	ルートスイッチが BPDU (ブリッジプロトコルデータユニット) コンフィギュレーションメッセージを生成するまでの時間間隔 (秒) です。(設定範囲: 1 ～ 10 秒) (初期値: 2 秒)

139

項目	内容
最大経過時間	再コンフィグレーションを試みる前に、スイッチが BPDU を受信せずに待機できる最大時間 (秒) です。すべてのスイッチポート (指定ポートを除く) は、一定間隔で BPDU を受信する必要があります。 STP 情報 (最後の BPDU で提供される) をエージングアウトしたポートは、アタッチされた LAN の指定ポートになります。ルートポートの場合は、ネットワークに接続されているスイッチポートの中から新しいルートポートが選択されます。 (設定範囲: 6 ~ 40 秒) (初期値: 20 秒)
転送遅延	スイッチが状態を変更するまでの最大時間 (秒) を設定します。 (初期値: 15 秒) 各スイッチはフレームの転送を開始する前に、トポロジーの変更に関する情報を受信する必要があります。この遅延が必要です。 さらに、各ポートは、ブロッキング状態に戻るような競合情報をリッスンする時間が必要です。そうしないと、一時的なデータループが発生する可能性があります。 一般的なルールとして以下となるように設定します。 $(\text{転送遅延時間} - 1) \geq \text{最大経過時間} \geq 2 * (\text{ハロータイム} + 1)$
ポート	ポート番号が表示されます。 [*] の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。
有効	このポートの RSTP を有効にする場合にチェックを入れます。
エッジ	コンピュータに直接接続されているポートをエッジポートとして設定するときにチェックを入れます。 エッジポートは、ポートがエッジポートとして設定された直後やリンクステータスが変わったときに、リスニング状態や学習状態を経ることなく、STP ポートの初期状態をブロッキング状態からフォワーディング状態に即座に変更します。また、エッジポートは、ブリッジプロトコルデータユニット (BPDU) を受信するとすぐに非エッジポートになります。
ルートガード	チェックを入れると、ポートに接続されているスイッチがルートブリッジになるのを防ぐために、このポートでルートガードが有効になります。 ルートガードを有効にすると、本製品がそのポートで上位 BPDU を受信した場合、ポートはブロックされます。本製品は、ポートに接続されたスイッチが上位 BPDU の送信を停止すると、このポートのトラフィックを再び通過させます。
優先度	各ポートのプライオリティを設定します。 プライオリティは、スイッチ内で複数のポートがループを形成している場合に、どのポートを無効にするかを決定します。優先順位の数値が高いポートから順に無効化されます。 (設定範囲: 0 ~ 255) (初期値: 128)
パスコスト	パスコストは、そのポートを経由して LAN にフレームを送信する際のコストです。 ブリッジの速度に応じてこの値を割り当てることをお勧めします。 メディアの速度が遅いほど、コストは高くなります。 デフォルトのパスコスト値は、選択したデフォルトのパスコスト方法によって異なります。

項目	内容
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

【スパニングツリー】MSTP

MSTP

マルチプルスパニングツリープロトコルの設定をします。

マルチスパニングツリーを追加したり、選択したマルチスパニングツリーを編集します。

→ [144ページ](#)

選択したマルチスパニングツリーを削除します。

■ ブリッジ

項目	内容
有効	「ON」にすると、本製品で MSTP が有効になります。 MSTP を有効にするには、「スイッチング」－「スパニングツリー」－「設定」(137 ページ)の「スパニングツリーモード」で「マルチプルスパニングツリー (MSTP)」を選択している必要があります。
ハロータイム	ルートスイッチが BPDU (ブリッジプロトコルデータユニット) コンフィグレーションメッセージを生成するまでの時間間隔 (秒) です。(設定範囲: 1 ～ 10 秒) (初期値: 2 秒)

項目	内容
最大経過時間	再コンフィグレーションを試みる前に、スイッチが BPDU を受信せずに待機できる最大時間（秒）です。すべてのスイッチポート（指定ポートを除く）は、一定間隔で BPDU を受信する必要があります。 STP 情報（最後の BPDU で提供される）をエージングアウトしたポートは、アタッチされた LAN の指定ポートになります。ルートポートの場合は、ネットワークに接続されているスイッチポートの中から新しいルートポートが選択されます。 （設定範囲：6 ～ 40 秒）（初期値：20 秒）
転送遅延	スイッチが状態を変更するまでの最大時間（秒）を設定します。（初期値：15 秒） 各スイッチはフレームの転送を開始する前に、トポロジの変更に関する情報を受信する必要があるため、この遅延が必要です。 さらに、各ポートは、ブロッキング状態に戻るような競合情報をリッスンする時間が必要です。そうしないと、一時的なデュータループが発生する可能性があります。 一般的なルールとして以下のように設定します。 $(\text{転送遅延時間} - 1) \geq \text{最大経過時間} \geq 2 * (\text{ハロータイム} + 1)$
最大ホップ数	BPDU が破棄され、ポート情報がエージングされるまでの MSTP リージョン内のホップ数（1 ～ 255）を入力します。（初期値：20）
設定名	MST リージョンの説明的な名前（最大 32 文字）を入力します。
リビジョン番号	リージョンのコンフィギュレーションを識別するための番号を入力します。同じリージョンに属するデバイスは、同じリビジョン番号でなければなりません。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

■ インスタンス

項目	内容
インスタンス	MST インスタンスの ID が表示されます。
VLAN	MST インスタンスがマッピングされる VID（または VID 範囲）が表示されます。
有効ポート	MST インスタンスに参加するように構成されたポートが表示されます。

■ マルチプルスパニングツリーの追加／編集

インスタンス

ブリッジ優先度

32768 ▾

VLANリスト

ポート	有効	優先度	パスコスト
*	☐		
1	☐	128	2
2	☐	128	2
3	☐	128	2
4	☐	128	2
5	☐	128	2
6	☐	128	2
7	☐	128	2
8	☐	128	2
9	☐	128	2
10	☐	128	2

適用

クリア

キャンセル

項目	内容
インスタンス	本製品でこの MST インスタンスを識別するために使用する番号を入力します。 (設定範囲: 0 ~ 16)
ブリッジ優先度	特定のスパニングツリーインスタンスに対する本製品の優先度を設定します。 数値が低いほど、本製品がスパニングツリーインスタンス内のルートブリッジとして選択される可能性が高くなります。 (設定範囲: 0 ~ 61440 の間で 4096 刻み。4096 / 8192 / 12288 / 16384 / 20480 / 24576 / 28672 / 32768 / 36864 / 40960 / 45056 / 49152 / 53248 / 57344 / 61440) (初期値: 32768)
VLAN リスト	VLAN ID の範囲を入力します。複数の VLANID 範囲を (スペースなし) カンマ (,) またはハイフン ("-") で区切って指定できます。 例えば、VLAN1,3,5,6,7 の場合は「1,3,5-7」と入力します。
ポート	ポート番号が表示されます。 [*] の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。
有効	チェックを入れると、このポートを MST インスタンスに追加します。
優先度	各ポートのプライオリティを設定します。 優先度は、複数のポートが本製品内でループを形成している場合に、どのポートを無効にするかを決定します。優先度の数値が高いポートが最初に無効になります。 (設定範囲: 0 ~ 255) (初期値: 128)
パスコスト	そのポートを経由して LAN にフレームを送信する際のコストです。 ブリッジの速度に応じてこの値を割り当てることをお勧めします。 メディアの速度が遅いほど、コストは高くなります。

MSTP ポート設定

マルチプルスパンニングツリープロトコルのポート設定をします。



項目	内容
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。
エッジ	コンピュータに直接接続されているポートをエッジポートとして設定するときにチェックを入れます。 エッジポートは、ポートがエッジポートとして設定された直後やリンクステータスの変更されたときに、リスニング状態や学習状態を経ることなく、STP ポートの初期状態をブロッキング状態からフォワーディング状態に即座に変更します。また、エッジポートは、ブリッジプロトコルデータユニット（BPDU）を受信するとすぐに非エッジポートになります。
ルートガード	チェックを入れると、ポートに接続されているスイッチがルートブリッジになるのを防ぐために、このポートでルートガードが有効になります。 ルートガードを有効にすると、本製品がそのポートで上位 BPDU を受信した場合、ポートはブロックされます。本製品は、ポートに接続されたスイッチが上位 BPDU の送信を停止すると、このポートのトラフィックを再び通過させます。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

静的MACフィルタリング

MACフィルタリングの設定をします。



静的MACフィルタリングルールを追加したり、選択した
静的MACフィルタリングルールを編集します。

→ [147ページ](#)

選択した静的MACフィルタリングルールを削除します。

項目	内容
インデックス	静的 MAC フィルタリングルールのインデックス番号が表示されます。
有効	静的 MAC フィルタリングルールが有効かどうかが表示されます。 ルールは一時的に無効化できます。
名前	静的 MAC フィルタリングルールの識別のための名称が表示されます。
MAC アドレス	フィルタリング数 MAC アドレスが表示されます。
VID	VLAN グループの ID 番号が表示されます。
動作	フィルタリング時の動作が表示されます。

■ 静的MACフィルタリングの追加／編集

有効	☐ OFF
名前	
動作	☐ 送信元を破棄 ☐ 宛先を破棄
MAC	
VID	
適用 クリア キャンセル	

項目	内容				
有効	静的 MAC フィルタリングルールの有効／無効を切り替えます。 無効にすると、ルールを削除せずに一時的に非アクティブにすることができます。				
名前	この静的 MAC フィルタリングルールの名前を入力します。 (最大 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) (パイプ) ' (クォーテーション) " (ダブルクォーテーション) , (コンマ) は使用不可)				
動作	フィルタリングしたときの動作を選択します。 <table> <tr> <td>送信元を破棄</td><td>受信フレームの送信元 MAC アドレスが設定した MAC アドレスと一致したら、破棄します。</td></tr> <tr> <td>宛先を破棄</td><td>受信フレームの宛先 MAC アドレスが設定した MAC アドレスと一致したら、破棄します。</td></tr> </table>	送信元を破棄	受信フレームの送信元 MAC アドレスが設定した MAC アドレスと一致したら、破棄します。	宛先を破棄	受信フレームの宛先 MAC アドレスが設定した MAC アドレスと一致したら、破棄します。
送信元を破棄	受信フレームの送信元 MAC アドレスが設定した MAC アドレスと一致したら、破棄します。				
宛先を破棄	受信フレームの宛先 MAC アドレスが設定した MAC アドレスと一致したら、破棄します。				
MAC	フィルタリングを実行する MAC アドレスを有効な MAC アドレス形式 (16 進数 6 文字のペア) で入力します。 静的 MAC アドレスはエージアウトしません。				
VID	VLAN 識別番号を入力します。				
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。				
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。				

静的MAC転送

ポートに静的MACアドレスを割り当てます。



静的MAC転送ルールを追加したり、選択した静的MAC転送ルールを編集します。

→ [149ページ](#)

選択した静的MAC転送ルールを削除します。

項目	内容
インデックス	静的MACアドレスルールのインデックス番号が表示されます。
有効	静的MACアドレス転送ルールがアクティブかどうかが表示されます。ルールは一時的に無効化できます。
名前	静的MACアドレス転送ルールの識別のための記述名が表示されます。
MACアドレス	転送されるMACアドレスと、そのMACアドレスが属するVLAN識別番号が表示されます。
VID	VLANグループのID番号が表示されます。
ポート	MACアドレスが転送されるポートが表示されます。

■ 静的MAC転送ルールの追加／編集

有効

☐ OFF

名前

MACアドレス

VID

ポート

適用

クリア

キャンセル

項目	内容
有効	ルールの有効／無効を切り替えます。 無効にすると、ルールを削除せずに一時的に非アクティブにすることができます。
名前	この静的 MAC アドレス転送ルールの名前を入力します。 (最大 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) (パイプ) ' (クォーテーション) " (ダブルクォーテーション) , (コンマ) は使用不可)
MAC アドレス	MAC アドレスを有効な MAC アドレス形式(16 進数 6 文字のペア)で入力します。 静的 MAC アドレスはエイジアウトしません。
VID	VLAN 識別番号を入力します。
ポート	MAC アドレスが自動的に転送されるポートを入力します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

[VLAN]VLANステータス

静的 VLAN グループを表示および検索します。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

スイッチング >> VLAN >> VLAN ステータス

VLAN ステータス

VIDによるVLAN検索

検索

VLAN数:1

インデックス

VID

名前

タグ付きポート

タグなしポート

経過時間

状態

1

1

1

1-10

0:13:39

静的

項目	内容				
VID による VLAN 検索	既存の VLAN ID 番号（個々の VLAN を区切るにはカンマ（,）を、VLAN の範囲を示すにはダッシュ（-）を使用）を入力し、[検索] をクリックすると、下のリストに指定した VLAN だけが表示されます。 例えば、「3,4」または「3-9」などを入力し、[検索] をクリックすると、指定した VLAN だけが下のリストに表示されます。 空欄のまま [検索] をクリックすると、本製品に設定されているすべての VLAN が表示されます。				
VLAN 数	本製品に設定されている VLAN の数が表示されます。				
インデックス	VLAN のインデックス番号です。インデックス番号をクリックすると VLAN の詳細が表示されます。(151 ページ)				
VID	VLAN の識別番号が表示されます。				
名前	VLAN の名称が表示されます。				
タグ付きポート	VLAN に参加しているタグ付きポートが表示されます。				
タグなしポート	VLAN に参加しているタグなしポートが表示されます。				
経過時間	通常 VLAN の登録または静的 VLAN の設定からの経過時間が表示されます。				
状態	この VLAN がどのように本製品に追加されたかが表示されます。 <table> <tr> <td>Dynamic</td><td>GVRP を使用</td></tr> <tr> <td>静的</td><td>恒久的なエンドリリーとして追加</td></tr> </table>	Dynamic	GVRP を使用	静的	恒久的なエンドリリーとして追加
Dynamic	GVRP を使用				
静的	恒久的なエンドリリーとして追加				

150

■ VLAN詳細画面

静的 VLAN グループの詳細なポート設定とステータスが表示されます。

ELECOM

>> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

スイッチング >> VLAN >> VLAN ステータス

ダッシュボード

モニター

システム

ポート

スイッチング

ループ防止

ミラーリング

マルチキャスト

QoS

スパンニングツリー

静的MACフィルタリング

静的MAC転送

VLAN

VLAN ステータス

VLAN 設定

VLAN ステータス

VLAN ステータス > VLAN ステータス詳細

VID1
経過時間8:57:30
状態静的

ポート番号

U:タグなしT:タグ付き

2	4	6	8	10
1	3	5	7	9
U	U	U	U	U
U	U	U	U	U

項目	内容
ポート番号	VLAN に参加しているポートが表示されます。
	Tタグ付きポート
	Uタグなしポート
	-VLAN に参加していないポート

151

[VLAN] VLAN 設定

静的 VLAN

静的 VLAN の設定をします。

The screenshot shows the ELECOM web interface for VLAN configuration. The breadcrumb trail is 'スイッチング > VLAN > VLAN 設定'. The left sidebar contains navigation links: ダッシュボード, モニター, システム, ポート, スイッチング (selected), ループ防止, ミラーリング, マルチキャスト, QoS, スパニングツリー, 静的MACフィルタリング, 静的MAC転送, VLAN, VLAN ステータス, and VLAN 設定 (highlighted). The main content area has two tabs: '静的VLAN' (selected) and 'VLANポート設定'. Under '静的VLAN', the 'VLAN学習方式' (VLAN Learning Method) is set to 'R/L' (Static). A '適用' (Apply) button is present. Below is a table with columns for selection, VID, effective status, and name. One entry is shown: VID 1, effective status 'ON', and name '1'. '追加/編集' (Add/Edit) and '削除' (Delete) buttons are at the bottom right of the table.

項目	内容
VLAN 学習方式	VLAN の学習方式を選択します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
VID	VLAN グループの ID 番号が表示されます。
有効	VLAN 設定の有効／無効が表示されます。
名前	VLAN グループの名称が表示されます。

■ 静的 VLAN の追加／編集

有効 ☒

名前

VLANグループID

ポート	制御	タグ付き
*	通常	☒ 送信タグ付き
1	☒ 通常 ☐ Fixed ☐ Forbidden	☒ 送信タグ付き
2	☒ 通常 ☐ Fixed ☐ Forbidden	☒ 送信タグ付き
3	☒ 通常 ☐ Fixed ☐ Forbidden	☒ 送信タグ付き
4	☒ 通常 ☐ Fixed ☐ Forbidden	☒ 送信タグ付き
5	☒ 通常 ☐ Fixed ☐ Forbidden	☒ 送信タグ付き
6	☒ 通常 ☐ Fixed ☐ Forbidden	☒ 送信タグ付き
7	☒ 通常 ☐ Fixed ☐ Forbidden	☒ 送信タグ付き
8	☒ 通常 ☐ Fixed ☐ Forbidden	☒ 送信タグ付き
9	☒ 通常 ☐ Fixed ☐ Forbidden	☒ 送信タグ付き
10	☒ 通常 ☐ Fixed ☐ Forbidden	☒ 送信タグ付き

適用

クリア

キャンセル

項目	内容						
有効	静的 VLAN の有効／無効を切り替えます。						
名前	VLAN グループの名前を入力します。 (最大 64 文字まで。？ (クエスチョンマーク) (パイプ) ' (クォーテーション) " (ダブルクォーテーション) , (コンマ) は使用不可)						
VLAN グループ ID	この静的 VLAN の ID を入力します。有効範囲は 1 ～ 4094 です。 [Voice VLAN 設定] (156 ページ) で使用した VLAN ID を追加しないでください。						
ポート	ポート番号が表示されます。 [*] の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。						
制御	<table><tr><td>通常 (初期値)</td><td>ポートが GVRP を使用してこの VLAN グループに動的に参加する場合に選択します。</td></tr><tr><td>Fixed</td><td>ポートをこの VLAN グループのパーマnentメンバーにする場合に選択します。</td></tr><tr><td>Forbidden</td><td>この VLAN グループへのポートの参加を禁止する場合に選択します。</td></tr></table>	通常 (初期値)	ポートが GVRP を使用してこの VLAN グループに動的に参加する場合に選択します。	Fixed	ポートをこの VLAN グループのパーマnentメンバーにする場合に選択します。	Forbidden	この VLAN グループへのポートの参加を禁止する場合に選択します。
通常 (初期値)	ポートが GVRP を使用してこの VLAN グループに動的に参加する場合に選択します。						
Fixed	ポートをこの VLAN グループのパーマnentメンバーにする場合に選択します。						
Forbidden	この VLAN グループへのポートの参加を禁止する場合に選択します。						
タグ付き	この VLAN グループ ID で送信されるすべての送信フレームにタグを付ける場合は、チェックを入れます。						

VLAN ポート設定

ポートの静的 VLAN (IEEE 802.1Q) 設定をします。

ELECOM
>> Switch For Business
保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

スイッチング >> VLAN >> VLAN 設定

ダッシュボード
モニター
システム
ポート
スイッチング
ループ防止
ミラーリング
マルチキャスト
QoS
スパンニングツリー
静的MACフィルタリング
静的MAC転送
VLAN
VLAN ステータス
VLAN 設定
Voice VLAN設定
VLANアイソレーション
VLANマッピング

静的VLAN
VLANポート設定

ポート	入力フィルタリング	PVID	許可フレームタイプ	VLAN トランキング	分類
*	☐		すべて	☐	☐
1	☐	1	すべて	☐	☐
2	☐	1	すべて	☐	☐
3	☐	1	すべて	☐	☐
4	☐	1	すべて	☐	☐
5	☐	1	すべて	☐	☐
6	☐	1	すべて	☐	☐
7	☐	1	すべて	☐	☐
8	☐	1	すべて	☐	☐
9	☐	1	すべて	☐	☐
10	☐	1	すべて	☐	☐

適用
キャンセル

項目	内容						
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。						
入力フィルタリング	チェックを入れると、本製品はこのポートがメンバーセットに含まれていない VLAN の受信フレームを破棄します。 チェックボックスをオフにすると、入力フィルタリングは無効になります。						
PVID	Port VLAN ID (PVID) は、ポートで受信したタグなしフレームを、タグが定義する VLAN グループに転送するために本製品が付加するタグです。 ポート VLAN ID として 1 ~ 4094 の数値を入力します。						
許可フレームタイプ	ポートで許可されるフレームのタイプを指定します。 (すべて／タグ付きのみ／タグなしのみ) (初期値：すべて) <table> <tr> <td>すべて</td><td>このポートですべてのタグなしまたはタグ付きフレームを受け入れます。</td></tr> <tr> <td>タグ付きのみ</td><td>このポートではタグ付きフレームのみを受け付けます。</td></tr> <tr> <td>タグなしのみ</td><td>このポートではタグなしフレームのみを受け付けます。 タグ付きフレームはすべて廃棄されます。</td></tr> </table>	すべて	このポートですべてのタグなしまたはタグ付きフレームを受け入れます。	タグ付きのみ	このポートではタグ付きフレームのみを受け付けます。	タグなしのみ	このポートではタグなしフレームのみを受け付けます。 タグ付きフレームはすべて廃棄されます。
すべて	このポートですべてのタグなしまたはタグ付きフレームを受け入れます。						
タグ付きのみ	このポートではタグ付きフレームのみを受け付けます。						
タグなしのみ	このポートではタグなしフレームのみを受け付けます。 タグ付きフレームはすべて廃棄されます。						
VLAN トランキング	他のスイッチやルータに接続されているポート（エンドユーザに直接接続されているポートは不可）で VLAN トランキングを有効にし、未知の VLAN グループに属するフレームを通過させます。						

項目	内容
分離	このポートを CPU 管理ポートおよびアイソレーション機能が有効になっていないポートとのみ通信できるようにします。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

[VLAN]Voice VLAN設定

Voice VLANに優先レベルを設定し、OUI（Organizationally Unique Identifiers）からIDを使用して特定のメーカーのIP電話のMACアドレスを追加します。

Voice VLANを追加したり、選択したVoice VLANを編集します。

→ [156ページ](#)

選択したVoice VLANを削除します。

■ Voice VLANグローバル設定

項目	内容
Voice VLAN	Voice VLAN 機能を有効にする場合は、2 番目のラジオボタンを選択し、Voice VLAN に関連付けられた VLAN ID 番号を入力します。 Voice VLAN 機能を有効にしない場合は、「無効」を選択します。
優先度	音声トラフィックの優先度を 0 ～ 7 から選択します。 数値が高いほど、この音声トラフィックの優先度は高くなります。 (初期値：5)
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

■ Voice VLAN OUI設定

項目	内容
インデックス	Voice VLAN のインデックス番号が表示されます。
OUI アドレス	Voice VLAN の OUI アドレスが表示されます。
OUI マスク	Voice VLAN の OUI マスクアドレスが表示されます。
説明	OUI アドレスを持つ音声 VLAN の説明が表示されます。

■ Voice VLANの追加／編集

OUIアドレス	
OUIマスク	
説明	
適用 クリア キャンセル	

項目	内容
OUI アドレス	IP 電話メーカーの OUI MAC アドレスを入力します。 最初の 3 バイトは製造者識別子で、最後の 3 バイトは一意のステーション ID です。
OUI マスク	指定した IP 電話メーカーの OUI（ベンダ識別子）MAC アドレスに対するマスクを入力し、パケットの MAC アドレスのどのビットを一致させるかを決めます。 一致させたいビットには、指定した MAC アドレスの各ビットに「f」を入力します。 任意の値（どの 16 進数でも可）でよいビットには「0」を入力します。 例：MAC アドレスを 00:13:49:00:00:00、マスクを ff:ff:ff:00:00:00 に設定した場合、 MAC アドレスが 00:13:49:12:34:56 のパケットはこの条件に一致します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

VLANアイソレーション

VLAN内のポート間で通信を行わないように設定します。



VLANアイソレーションルールを追加したり、選択した
VLANアイソレーションルールを編集します。

→ [156ページ](#)

選択したVLANアイソレーションルールを削除します。

項目	内容
インデックス	このルールのインデックス番号が表示されます。
有効	このルールが有効かどうかが表示されます。
名前	このルールの説明的な名前が表示されます。
VLAN ID	このルールが適用される VLAN が表示されます。
混合ポート	同じ VLAN 内のどのポートとも通信できるポートが表示されます。

■ VLANアイソレーションルールの追加／編集

有効	☐ OFF
名前	
VLAN ID	
混合ポート	
適用 クリア キャンセル	

項目	内容
有効	この VLAN アイソレーションルールの有効／無効を切り替えます。
名前	識別のために名称を入力します。 (最大 32 文字まで。?(クエスチョンマーク) (パイプ)'(クォーテーション)"(ダブルクォーテーション)，(コンマ) は使用不可)
VLAN VID	1 ～ 4094 の VLAN ID を入力します。これは、このルールが適用される VLAN です。
混合ポート	この VLAN に属するすべてのポートと通信できるポートを指定します。 1 ～ 10 のポート番号を入力します。 この VLAN に属するポートはここで指定したポートとのみ送受信が可能となります。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

VLAN マッピング

VLAN マッピング

本製品およびポートで VLAN マッピングを有効にします。

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語 ▾

スイッチング >> VLANマッピング

VLANマッピング VLANマッピング設定

有効 ☐ OFF

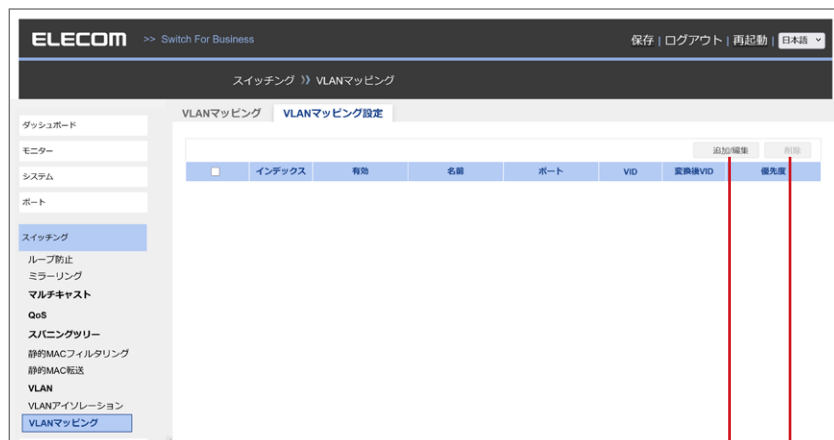
ポート	有効
*	☐
1	☐
2	☐
3	☐
4	☐
5	☐
6	☐
7	☐
8	☐
9	☐
10	☐

適用 キャンセル

項目	内容
有効	「ON」にすると、本製品で VLAN マッピングが有効になります。
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。
有効	チェックを入れると、このポートの VLAN マッピング機能が有効になります。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

VLAN マッピング設定

VLAN マッピングルールを表示および設定します。



VLAN マッピングを追加したり、選択した VLAN マッピングを編集します。

→ [162 ページ](#)

選択した VLAN マッピングを削除します。

項目	内容
インデックス	テーブル内の VLAN マッピングエントリ番号が表示されます。
有効	このエントリの有効／無効が表示されます。
名前	このルールの説明的な名前が表示されます。
ポート	このルールが適用されるポート番号が表示されます。
VID	受信パケットのカスタマー VLAN ID が表示されます。
変換後 VID	タグ付きパケットの顧客 VLAN ID に代わる VLAN ID です。
優先度	タグ付きパケットでカスタマーの優先度レベルを置き換える優先度レベルが表示されます。

■ VLAN マッピングの追加／編集

有効

☐ OFF

名前

ポート

VID

変換後VID

優先度

0 ▾

適用

クリア

キャンセル

項目	内容
有効	このマッピングルールの有効／無効を切り替えます。
名前	このマッピングルールの名前を入力します。 (最大 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) (パイプ) ' (フォーテーション) " (ダブルフォーテーション) , (コンマ) は使用不可)
ポート	このルールに含めるポートを入力します。
VID	1 から 4094 までの VLAN ID を入力します。 これはパケットで運ばれる VLAN タグで、変換後 VID フィールドで指定した VID に変換されます。
変換後 VID	パケットに含まれるカスタマー VID が変換される VLAN ID (1 ～ 4094) を入力します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

【ARP 設定】ARP ラーニング

各ポートの ARP 学習モードを設定します。



項目	内容	
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。	
ARP ラーニングモード	本製品がポートで使用する ARP 学習モードを選択します。(初期値：ARP 応答)	
	ARP 応答	本製品が送信した ARP リクエストに対する ARP リプライのみで ARP テーブルを更新します。
	Gratuitous-ARP	ARP リプライまたは無償 ARP リクエストで ARP テーブルを更新します。
	ARP 要求	ARP リプライ、無償 ARP リクエスト、ARP リクエストの両方で ARP テーブルを更新します。

【ARP 設定】静的 ARP

エージアウトしない静的 ARP エントリを表示および構成します。



静的 ARP を追加したり、選択した
静的 ARP を編集します。

→ [165 ページ](#)

選択した静的 ARP を削除します。

項目	内容
インデックス	エントリーのインデックス番号が表示されます。
有効	このエントリーが有効かどうかが表示されます。
名前	このエントリーの説明的な名前が表示されます。
IP アドレス	本製品のポートに接続されているデバイスの IP アドレスが表示されます。
MAC アドレス	IP アドレスに対応するデバイスの MAC アドレスが表示されます。
VID	デバイスが属する VLAN が表示されます。
ポート	デバイスが接続するポートが表示されます。

■ 静的ARPの追加／編集

有効

☐ OFF

名前

IPアドレス

MACアドレス

VID

ポート

適用

クリア

キャンセル

項目	内容
有効	このルールの有効／無効を切り替えます。 無効にすると、ルールを削除せずに一時的に非アクティブにすることができます。
名前	このルールの名前を入力します。 (最大 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) (パイプ) ' (クォーテーション) " (ダブルクォーテーション) , (コンマ) は使用不可)
IP アドレス	本製品のポートに接続されている機器の IP アドレスを入力します。
MAC アドレス	上記 IP アドレスに対応する機器の MAC アドレスを入力します。
VID	機器が属する VLAN の ID 番号を入力します。
ポート	接続先のポート番号を入力します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

[AAA]RADIUSサーバー設定

RADIUS サーバーの設定をします。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

セキュリティ >> AAA >> RADIUSサーバー設定

ダッシュボード

モニター

システム

ポート

スイッチング

ネットワーク

セキュリティ

AAA

RADIUSサーバー設定

AAA設定

ACL

アンチARPスキャン

BPDUGuard

ストームコントロール

DoS攻撃防止

Errdisable

IPv4ソースガード

IPv6ソースガード

ポート認証

ポートセキュリティ

管理

RADIUSサーバー設定

認証サーバー

モードインデックス優先
タイムアウト30秒

用路	インデックス	IPアドレス	UDPポート	共有鍵	暗号化共有鍵
☐	1		1812		
☐	2		1812		

アカウントingサーバー

タイムアウト30秒

用路	インデックス	IPアドレス	UDPポート	共有鍵	暗号化共有鍵
☐	1		1813		
☐	2		1813		

属性

NAS-IPアドレス0.0.0.0

適用 キャンセル

■ 認証サーバー

項目	内容	
モード	インデックス優先 (初期値)	最初に設定された RADIUS サーバーで認証。 最初の RADIUS サーバーが応答しない場合、スイッチは 2 番目の RADIUS サーバーを試みます。
	ラウンドロビン	認証要求を送信する RADIUS サーバ間を交互に切り替えます。
タイムアウト	スイッチが RADIUS サーバからの認証要求応答を待つ時間 (秒) です。 (初期値 : 30 秒) 2 台の RADIUS サーバを使用する場合、タイムアウトは 2 台の RADIUS サーバ間で分割されます。	

項目	内容
削除	既存の RADIUS サーバエントリを本製品から削除する場合にチェックします。 このエントリは「適用」をクリックすると削除されます。
インデックス	RADIUS サーバエントリを表す番号が表示されます。
IP アドレス	RADIUS サーバの IP アドレスを入力します。
UDP ポート	RADIUS サーバの認証用ポートを入力します。(初期値: 1812)
共有鍵	RADIUS サーバとスイッチ間で共有するパスワードを入力します。
暗号化共有鍵	「AAA 設定ページ」(168 ページ) で「サーバーキー暗号化」を有効にした場合に、暗号化された共有シークレットを「*」形式で表示します。 「サーバーキー暗号化」を有効にすると、シークレットは暗号化され続けます。

■ アカウンティングサーバー

項目	内容
タイムアウト	本製品が RADIUS アカウンティングサーバからのアカウンティング要求応答を待つ時間 (単位: 秒) です。(初期値: 30 秒)
削除	既存の RADIUS サーバエントリを本製品から削除する場合にチェックします。 このエントリは「適用」をクリックすると削除されます。
インデックス	RADIUS サーバエントリを表す番号が表示されます。
IP アドレス	RADIUS サーバの IP アドレスを入力します。
UDP ポート	RADIUS サーバの認証用ポートを入力します。(初期値: 1813)
共有鍵	RADIUS サーバとスイッチ間で共有するパスワードを入力します。
暗号化共有鍵	「AAA 設定ページ」(168 ページ) で「サーバーキー暗号化」を有効にした場合に、暗号化された共有シークレットを「*」形式で表示します。 「サーバーキー暗号化」を有効にすると、シークレットは暗号化され続けます。

■ 属性

項目	内容
NAS-IP アドレス	ネットワーク・アクセス・サーバの IP アドレスを入力します。

[AAA] AAA 設定

AAA の設定をします。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

セキュリティ >> AAA >> AAA設定

ダッシュボード

モニター

システム

ポート

スイッチング

ネットワーク

セキュリティ

AAA

RADIUSサーバー設定

AAA設定

ACL

アンチARPスキャン

BPDUガード

ストームコントロール

DOS攻撃防止

Errdisable

IPv6ソースガード

IPv6ソースガード

ポート認証

ポートセキュリティ

管理

AAA設定

サーバーキー暗号化

有効 ☐

認証

タイプ	方式 1	方式 2
ログイン	ローカル	

権限付与

タイプ	有効	方式
Dot1x	☐	RADIUS

アカウントिंग

更新間隔 1 分

タイプ	有効	ブロードキャスト	モード	方式
システム	☐	☐	-	RADIUS
Dot1x	☐	☐	start-stop	RADIUS

適用 キャンセル

■ サーバーキー暗号化

項目	内容
有効	RADIUS サーバーのサーバー鍵（共有秘密）暗号化を有効／無効にします。

■ 認証

項目	内容
タイプ	管理者アカウントの認証に使用するデータベースを指定します。
方式 1	ローカル「システム」 — 「ユーザーアカウント」画面で設定した管理者アカウントを確認します。
方式 2	RADIUS RADIUS Server で設定した管理者アカウントを確認します。

■ 権限付与

項目	内容
タイプ	IEEE 802.1x クライアントに、外部サーバーを介して異なる帯域制限または VLAN ID を割り当てることを許可します。
有効	有効を「ON」にすると、802.1X 認証に成功した後に RADIUS が返す属性を本製品に適用します。「OFF」にすると、属性は無視し、認証だけ通してデフォルト設定で接続します。
方式	認証に RADIUS を使用します。

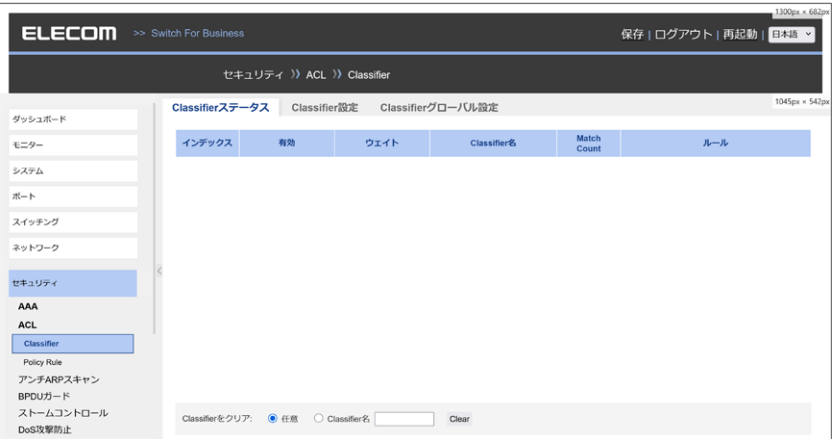
■ アカウンティング

項目	内容				
更新期間	本製品がアカウンティングサーバーにアップデートを送信する時間を設定します。「start-stop」モード選択時のみ有効です。(初期値: 1 分)				
タイプ	<table border="1"> <tr> <td>システム</td><td>次のシステムイベントが発生したときに情報を送信するように本製品を設定します。 システムのブートアップ、システムのシャットダウン、システムアカウンティングが有効、システムアカウンティングが無効。</td></tr> <tr> <td>Dot1x</td><td>IEEE 802.1x クライアントがセッションを開始（本製品経由で認証）したとき、セッションを終了したとき、およびセッションの中間更新が発生したときに情報を送信するように設定します。</td></tr> </table>	システム	次のシステムイベントが発生したときに情報を送信するように本製品を設定します。 システムのブートアップ、システムのシャットダウン、システムアカウンティングが有効、システムアカウンティングが無効。	Dot1x	IEEE 802.1x クライアントがセッションを開始（本製品経由で認証）したとき、セッションを終了したとき、およびセッションの中間更新が発生したときに情報を送信するように設定します。
システム	次のシステムイベントが発生したときに情報を送信するように本製品を設定します。 システムのブートアップ、システムのシャットダウン、システムアカウンティングが有効、システムアカウンティングが無効。				
Dot1x	IEEE 802.1x クライアントがセッションを開始（本製品経由で認証）したとき、セッションを終了したとき、およびセッションの中間更新が発生したときに情報を送信するように設定します。				
有効	指定されたイベントタイプに対してアカウンティングを有効にするか無効にするか設定します。				
ブロードキャスト	チェックを入れると、設定されているすべてのアカウンティングサーバに同時にアカウンティング情報を送信します。				
モード	RADIUS アカウンティングで送信するメッセージ種別のモードを選択します。(Dot1x のみ) (初期値: start-stop) <table border="1"> <tr> <td>start-stop</td><td>以下のタイミングで送信します。 ・ユーザーがセッションを開始したとき ・ユーザーのセッション中（更新期間を過ぎたとき） ・ユーザーがセッションを終了したとき</td></tr> <tr> <td>stop-only</td><td>ユーザーがセッションを終了したときのみを送信します。</td></tr> </table>	start-stop	以下のタイミングで送信します。 ・ユーザーがセッションを開始したとき ・ユーザーのセッション中（更新期間を過ぎたとき） ・ユーザーがセッションを終了したとき	stop-only	ユーザーがセッションを終了したときのみを送信します。
start-stop	以下のタイミングで送信します。 ・ユーザーがセッションを開始したとき ・ユーザーのセッション中（更新期間を過ぎたとき） ・ユーザーがセッションを終了したとき				
stop-only	ユーザーがセッションを終了したときのみを送信します。				
方式	アカウンティングに RADISU を使用します。(変更不可)				
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。				

[ACL] Classifier

Classifier ステータス

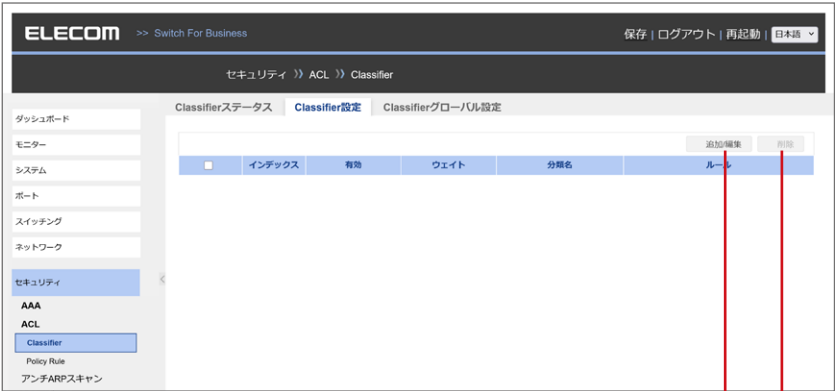
作成済みの Classifier の状態を確認します。



項目	内容				
インデックス	ルールのインデックス番号が表示されます。				
有効	ルールが有効かどうかが表示されます。				
ウェイト	「Classifier グローバル設定」(175 ページ) で、「マッチ順序」が「手動」に設定されている場合に、ルールの優先順位を示します。				
Classifier 名	このルールの識別のための名称が表示されます。				
Match Count	ルールが適用された回数が表示されます。 ルールがカウントを有効にしていない場合、「-」と表示されます。				
ルール	分類ルールの概要が表示されます。				
Classifier をクリア	<table><tr><td>任意</td><td>選択して「Clear」をクリックすると、すべてのルールのマッチカウントをクリアします。</td></tr><tr><td>Classifier 名</td><td>マッチカウントをクリアする Classifier 名を入力し、「Clear」をクリックすると、その Classifier のマッチカウントをクリアします。</td></tr></table>	任意	選択して「Clear」をクリックすると、すべてのルールのマッチカウントをクリアします。	Classifier 名	マッチカウントをクリアする Classifier 名を入力し、「Clear」をクリックすると、その Classifier のマッチカウントをクリアします。
任意	選択して「Clear」をクリックすると、すべてのルールのマッチカウントをクリアします。				
Classifier 名	マッチカウントをクリアする Classifier 名を入力し、「Clear」をクリックすると、その Classifier のマッチカウントをクリアします。				

Classifier 設定

Classifier の設定をします。



Classifier を追加したり、選択した Classifier を編集します。

→ [172 ページ](#)

選択した Classifier を削除します。

項目	内容
インデックス	ルールのインデックス番号が表示されます。
有効	ルールが有効かどうかが表示されます。
ウェイト	一致順序が手動モードの場合のルールの優先度が表示されます。ウェイトが高いほど優先度が高くなります。
分類名	このルールの識別のための名称が表示されます。
ルール	分類ルールの概要が表示されます。

■ Classifierの追加／編集

有効

☒ 有効

分類名

ウェイト

32767

ログ記録

☐

カウント

☐

Time Range

なし

入力ポート

☒ 任意

Port

トランク

☒ 任意

トランク

レイヤー2

☒ 任意

VLAN

優先度

☒ 任意

優先度

0

EtherType

☒ 任意

その他

(16進)

送信元MACアドレス

☒ 任意

MACマスク

/

宛先MACアドレス

☒ 任意

MACマスク

/

レイヤー3

☒ 任意

IPv4 DSCP

IPv6 DSCP

優先順位

☒ 任意

優先順位

ToS

☒ 任意

ToS

IPプロトコル

☒ 任意

確立のみ

☐

その他

(10進)

IPv6 Next Header

☒ 任意

確立のみ

☐

その他

(10進)

送信元IPアドレスプレフィックス

/

宛先IPアドレスプレフィックス

/

レイヤー4

☒ 任意

送信元ソケット番号

~

宛先ソケット番号

~

適用

クリア

キャンセル

項目	内容
有効	このルールの有効／無効を切り替えます。
分類名	このルールの名前を入力します。 (最大 32 文字まで。？(クエスチョンマーク) (パイプ) ' (クォーテーション) " (ダブルクォーテーション) , (コンマ) は使用不可)
ウェイト	ルールの重みを指定します。(設定範囲: 0 ~ 65535) (初期値: 32767) 「Classifier グローバル設定画面」(175 ページ) の「マッチ順序」で「手動」の場合、ウェイトが高いほど優先度が高くなります。
ログ記録	チェックを入れると、ルール適用時にログメッセージを作成し、特定の時間間隔でマッチしたパケット数を記録します。 「Classifier グローバル設定画面」(175 ページ) でも「ログ記録」を有効にしてください。
カウント	チェックを入れると、ルールの適用回数をカウントします。
Time Range	ルールに適用する設定済みのスケジュール名を選択します。

● 入力ポート

項目	内容
Port	ルールを適用するポート番号を入力します。 すべてのポートに「None」を選択できます。 複数のポートを（スペースなし）カンマ (,) またはハイフン (-) で区切って入力できます。 たとえば、ポート 3、4、5 には「3-5」と入力します。ポート 3、5、7 には「3,5,7」と入力します。
トランク	すべてのトランクグループにルールを適用する場合は「任意」を選択し、複数のトランクにルールを適用する場合はトランクグループ ID を入力します。 複数のトランクを入力する場合は、(t) または (T) の後に、トランクグループ ID をスペースなしのカンマ (,) またはハイフン (-) で区切って入力します。 例えば、トランク 3、4、5 には「t3-t5」と入力します。トランク 3、5、7 には「T3,T5,T7」と入力してください。

● レイヤー 2

項目	内容
VLAN	任意の VLAN からのトラフィックを分類するときは、「任意」を選択します ポートを指定する場合は、2 番目のラジオボタンを選択し、入力欄にソース VLAN ID を入力します。
優先度	任意の優先度レベルからのトラフィックを分類するときは、「任意」を選択します。 優先度を指定するときは、2 番目のラジオボタンを選択し、優先度を選択します。
Ether Type	EtherType からトラフィックを分類するときは、プルダウンメニューから選択します。 その他の Ether Type を指定するときは、2 番目のラジオボタンを選択し、16 進法で指定します。
送信元 MAC アドレス	すべての送信 MAC アドレスにルールを適用するときは、「任意」を選択します。 範囲を選択するときは、2 番目のラジオボタンを選択し、MAC アドレスとビットマスクを入力します。
宛先 MAC アドレス	すべての宛先 MAC アドレスにルールを適用するときは、「任意」を選択します。 範囲を選択するときは、2 番目のラジオボタンを選択し、MAC アドレスとビットマスクを入力します。

● レイヤー 3

項目	内容
IPv4 DSCP	すべての DSCP からトラフィックを分類するには、「任意」を選択します。 DSCP を指定する場合は、2 番目のラジオボタンを選択し、0 ～ 63 の DSCP (DiffServ Code Point) 番号を指定します。
IPv6 DSCP	

項目	内容
優先順位	すべての優先順位からトラフィックを分類するには、「任意」を選択します。 優先順位を指定する場合は、2 番目のラジオボタンを選択し、0 ～ 7 の IP 優先順位 (8 ビット ToS フィールドの最初の 3 ビット) 値を指定します。
ToS	すべての ToS からトラフィックを分類するには、「任意」を選択します。 ToS を指定する場合は、2 番目のラジオボタンを選択し、0 ～ 255 の Type of Service (8 ビット ToS フィールドの最後の 5 ビット) 値を指定します。
IP プロトコル	IPv4 プロトコルタイプを選択するか、「その他」を選択してプロトコル番号を 10 進数で入力します。 確立のみ TCP コネクションを確立するために送信されるパケットを選択します。
IPv6 Next Header	IPv6 プロトコルタイプを選択するか、「その他」を選択して IPv6 パケットの 8 ビットのネクストヘッダーを入力します。 IPv6 プロトコル番号の範囲は 1 ～ 255 です。 確立のみ TCP コネクションを確立するために送信されるパケットを選択します。
送信元 IP アドレス / プレフィックス	ドット付き 10 進数表記で送信元 IP アドレスを入力します。
宛先 IP アドレス / プレフィックス	ドット付き 10 進数表記で宛先 IP アドレスを入力します。

● レイヤー 4

項目	内容
送信元ソケット番号	すべての TCP/UDP プロトコルポート番号にルールを適用するには、「任意」を選択します。 送信元ソケット番号を指定する場合は、2 番目のラジオボタンを選択して TCP/UDP プロトコルポート番号を入力します。
宛先ソケット番号	すべての TCP/UDP プロトコルポート番号にルールを適用するには、「任意」を選択します。 宛先ソケット番号を指定する場合は、2 番目のラジオボタンを選択して TCP/UDP プロトコルポート番号を入力します。

項目	内容
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

Classifierグローバル設定

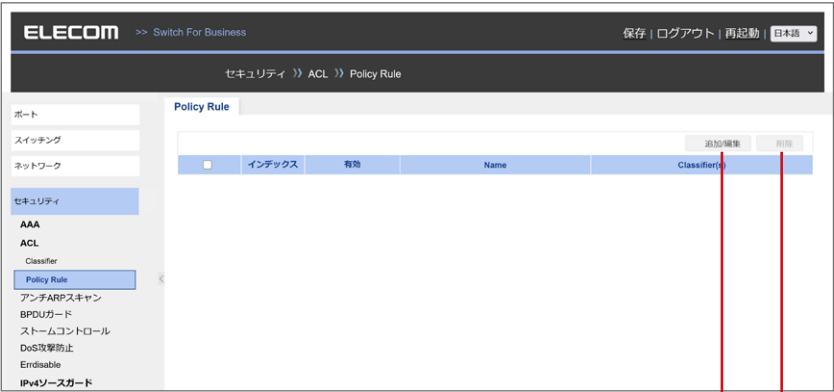
Classifierのグローバル設定をします。



項目	内容				
マッチ順序	ルールに設定された項目のレイヤに従って分類ルールが適用されるようにするには、「自動」を選択します。(初期設定: 自動) レイヤ 4 のアイテムの優先度が最も高く、レイヤ 2 のアイテムの優先度が最も低くなります。 トラフィックフローは 1 つの分類子にのみ分類できます。トラフィックフローが複数の分類ルールに一致する場合、本製品はマッチ順序に基づいてトラフィックを分類します。 「Classifier 設定」(171 ページ) で設定した各ルールの重みに従って分類ルールが適用されるようにするには、「手動」を選択します。				
ログ記録	<table><tr><td>有効</td><td>定義した時間間隔で、パケットがクラシファイアルールに一致した場合に、本製品がログを作成することを許可します。</td></tr><tr><td>間隔</td><td>クラシファイアルールに一致したパケットをカウントする時間 (秒) を設定します。 0 ～ 65535 の整数を入力します。0 に設定すると、ログを記録しません。</td></tr></table>	有効	定義した時間間隔で、パケットがクラシファイアルールに一致した場合に、本製品がログを作成することを許可します。	間隔	クラシファイアルールに一致したパケットをカウントする時間 (秒) を設定します。 0 ～ 65535 の整数を入力します。0 に設定すると、ログを記録しません。
有効	定義した時間間隔で、パケットがクラシファイアルールに一致した場合に、本製品がログを作成することを許可します。				
間隔	クラシファイアルールに一致したパケットをカウントする時間 (秒) を設定します。 0 ～ 65535 の整数を入力します。0 に設定すると、ログを記録しません。				

[ACL] Policy Rule

ACLのポリシールールを設定します。



ポリシールールを追加したり、選択した
ポリシールールを編集します。

→ [177 ページ](#)

選択したポリシールールを削除します。

項目	内容
インデックス	このポリシーのインデックス番号が表示されます。
有効	このポリシーが有効かどうかが表示されます。
Name	このポリシーの説明的な名前が表示されます。
Classifier	このポリシーが適用される分類子の名前が表示されます。

■ ポリシールールを追加／編集

Source & Destination

有効

OFF

Name

Classifier(s)

General Parameters

VLAN ID

1

出力ポート

1

優先度

0

▼

DSCP

ToS

0

▼

Metering Parameters

帯域幅

0

Kbps

Out of Profile DSCP

アクション

転送

☒ 変更なし

☐ パケットを破壊

優先度

☒ 変更なし

☐ 802.1p優先度を設定

☐ 802.1p優先度を内部802.1p優先度で置換

Diffserv

☒ 変更なし

☐ ToSフィールドを設定

☐ Diffservコードポイントを設定

Outgoing

☐ パケットをミラーポートに送信

☐ パケットを出力ポートに送信

☐ VLAN IDを変更

Metering

有効

OFF

Out of profile アクション

☐ パケットを破壊

☐ DSCP値を変更

適用

クリア

キャンセル

● Source & Destination

項目	内容
有効	このポリシールールの有効／無効を切り替えます。
Name	識別のために名称を入力します。 (最大 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) (パイプ) " (ダブルクォーテーション) , (コンマ) は使用不可)
Classifier(S)	このフィールドには、「Classifier 設定」(171 ページ) で設定したアクティブなクラシファイアが表示されます。 このポリシールールが適用される分類子を選択します。複数のクラシファイアを選択するには、SHIFT キーを押しながら同時に選択します。

● General Parameters

項目	内容
VLAN ID	1 ～ 4094 の VLAN ID を入力します。
出力ポート	送信ポートの番号を入力します。
優先度	優先レベルを選択します。

項目	内容
DSCP	DSCP (DiffServ Code Point) 番号を 0 ～ 63 の間で指定します。
ToS	TOS (Type Of Service) の優先度を選択します。

● Metering Parameters

項目	内容
帯域幅	帯域幅をキロビット / 秒 (kbps) で指定します。 (設定範囲: 1 ～ 1000000kbps)
Out of Profile DSCP	アウトオブプロファイルトラフィックの DSCP 番号を置き換える、または変更する場合は、新しい DSCP 番号 (0 ～ 63) を指定します。

● アクション

項目	内容
転送	変更なし パケットを転送します。
	パケットを破棄 パケットを破棄します。
優先度	変更なし 優先度設定を維持します。
	802.1p 優先度を設定 パケットの 802.1p 優先度フィールドを、「優先度」で設定した値で置き換え、パケットを指定されたキューに入れます。
	802.1p 優先度を設定 内部 802.1p 優先度 に置換 802.1p 優先度フィールドを内部の 802.1p 優先度の値に置き換えます。
Diffserv	変更なし パケットの ToS/DSCP フィールドを維持します。
	ToS フィールドを設定 IPv4 の DS フィールド 8 ビット全体を「Tos」設定した値で置き換えます。
	Diffserv コードポイントを設定 DSCP6 ビットだけを、DSCP で設定した値で置き換えます。
Outgoing	パケットをミラーポートに送信 パケットをミラーポートに送信します。
	パケットを出力ポートに送信 パケットをイグレスポートに送信します。
	VLAN ID を変更 パケットの VLAN ID を設定します。

項目	内容	
Metering	トラフィックフローの帯域幅制限を有効にしてから、プロファイル外のパケットに対して実行するアクションを設定します。	
	パケットを破棄	プロファイル外のトラフィックを破棄します。
	DSCP 値を変更	DSCP フィールドをプロファイル外 DSCP フィールドで指定された値で置き換えます。

項目	内容
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

アンチ ARP スキャン

ステータス

どのポートが信頼され、トラフィックを転送しているか、または無効になっているかを確認することができます。



項目	内容
アンチ ARP スキャン	本製品でアンチ ARP スキャンが有効か無効かを示します。
ポート	ポート番号が表示されます。
信頼済	ポートが信頼済かどうかを示します。信頼済みのポートでは Anti-ARP スキャンは実行されません。
状態	ポートが正常にトラフィックを転送できる状態(転送中)か、無効な状態(Err-Disable)かを示します。

ホストステータス

ブロックされたホストを表示し、特定のポートに接続されているホストのブロックを解除することができます。



■ フィルタリングされたホストをクリア

項目	内容
ポートリスト	ポート番号またはカンマとスペースで区切られた一連のポート番号を入力し、「クリア」をクリックすると、これらのポートに接続されているすべてのホストのブロックを解除します。

■ フィルタリングされたホスト

項目	内容
インデックス	ブロックされている IP アドレス（ホスト）のインデックス番号が表示されます。
ホスト IP	ブロックされたホストの IP アドレスが表示されます。
MAC アドレス	ブロックされたホストの MAC アドレスが表示されます。
VLAN	ブロックされたホストがどの VLAN にあるかを示す VLAN ID が表示されます。
ポート	ブロックされたホストが接続されているポート番号が表示されます。
状態	このホストからの ARP リクエストレートがしきい値を超えている場合、Err-Disable と表示されます。転送中のホストは表示されません。

設定

アンチ ARP スキャン機能の有効化および設定をおこないます。



項目	内容
有効	アンチ ARP スキャン機能の有効／無効を切り替えます。
ポートしきい値	ポートがブロックされるまでに許容される 1 秒あたりの最大パケット数を入力します。 (設定範囲：2 ～ 255) (初期値：100pps) 受信パケット数がしきい値を超えると、ポートは Err-Disable 状態になります。
ホストしきい値	ホストがブロックされる前に許可される ARP 要求パケットの最大数を入力します。 (設定範囲：2 ～ 100) (初期値：10pps) ポートのしきい値は、ホストのしきい値よりも大きく設定する必要があります。 ホストのしきい値は、全ホストに対するグローバル閾値レートです。ホストのレートがしきい値を超えている場合、そのホストは MAC アドレスフィルタを使用してブロックされます。ブロックされたホストは、MAC エージング時間が経過すると自動的に解除されます。
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。
信頼状態	ポートの「Untrusted」または「Trusted」を選択します。アンチ ARP スキャンは Trusted ホストでは実行されません。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

信頼ホスト

信頼できるホストを作成または削除します。



信頼ホストを追加したり、選択した信頼ホストを編集します。

→ [184 ページ](#)

選択した信頼ホストを削除します。

項目	内容
インデックス	エントリーのインデックス番号が表示されます。
名前	このエントリーの説明的な名前が表示されます。
ホスト IP	信頼済みホストの IP アドレスが表示されます。
マスク	信頼済みホストのサブネットマスクが表示されます。

■ 信頼ホストの追加／編集

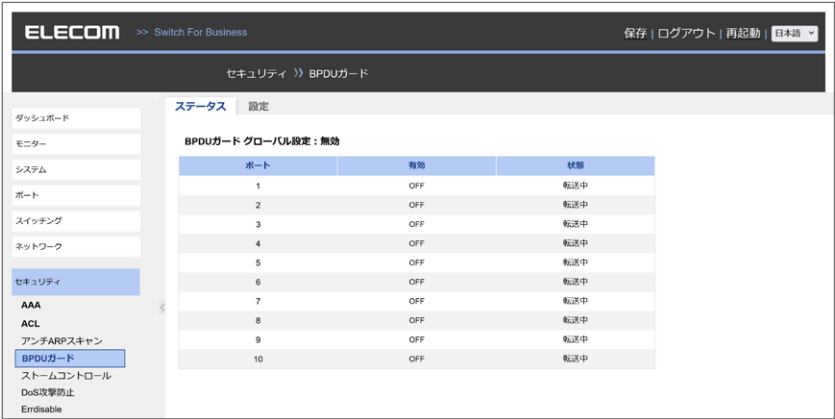
名前	
ホストIP	
マスク	
適用 クリア キャンセル	

項目	内容
名前	この信頼ホストの名前を入力します。 (最大 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) (パイプ) ' (クォーテーション) " (ダブルクォーテーション) , (コンマ) は使用不可)
ホスト IP	ホストの IP アドレスを入力します。
マスク	信頼できるホストは、IP アドレスのサブネットで構成されている場合があります。 サブネットマスクを入力して、単一のホストまたはホストのサブネットを作成します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

BPDUGuard

Status

This product displays whether BPDUGuard is enabled or not, and the status of the port.



項目	内容
BPDUGuard グローバル設定	本製品で BPDUGuard が有効か無効かを示します。
ポート	ポート番号が表示されます。
有効	ポートが BPDUGuard が有効かどうかを示します。
状態	ポートがシャットダウン (Err-disable) か、パケット送信可能 (転送中) かが表示されます。

設定

BPDU 機能の有効化および設定をおこないます。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

セキュリティ > BPDUGuard

ダッシュボード
モニター
システム
ポート
スイッチング
ネットワーク
セキュリティ
AAA
ACL
アンチARPスキャン
BPDUGuard
ストームコントロール
DoS攻撃防止
Errdisable
IPv4ソースガード
IPv6ソースガード
ポート認証
ポートセキュリティ

ステータス 設定

有効 ☒

ポート	有効
*	☐
1	☐
2	☐
3	☐
4	☐
5	☐
6	☐
7	☐
8	☐
9	☐
10	☐

適用 キャンセル

項目	内容
有効	BPDU 機能の有効／無効を切り替えます。
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。
有効	チェックを入れると、このポートで BPDU ガード機能が有効になります。 本製品は、ポートで BPDU フレームを受信した場合、このポートをシャットダウンします。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

ストームコントロール

ポートが 1 秒間に受信するブロードキャストパケット、マルチキャストパケット、宛先検索失敗 (DLF) パケットの数に制限をかけます。



項目	内容
有効	トラフィックストーム制御機能の有効／無効を切り替えます。
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。
ブロードキャスト (パケット / 秒)	ポートが 1 秒間に受信できるブロードキャスト・パケット数を指定します。 チェックを入れると有効になります。
マルチキャスト (パケット / 秒)	ポートが 1 秒間に受信できるマルチキャストパケット数を指定します。 チェックを入れると有効になります。
DLF (パケット / 秒)	ポートが 1 秒間に受信できる宛先検索失敗 (DLF) パケット数を指定します。 チェックを入れると有効になります。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

Dos 攻撃防止

Dos 攻撃防止の設定をします。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

セキュリティ >> DoS攻撃防止

ダッシュボード

モニター

システム

ポート

スイッチング

ネットワーク

セキュリティ

AAA

ACL

アンチARPスキャン

BPDUGuard

ストームコントロール

DoS攻撃防止

Errisable

IPv4ソースガード

IPv6ソースガード

ポート認証

ポートセキュリティ

管理

DoS攻撃防止

DoS攻撃防止	有効	パラメータ
*	☐	
DMAC == SMAC	☐	
Ping of Death Attack	☐	
Land Attack	☐	
ICMP Fragment Packets	☐	
UDP Blat Attack	☐	
TCP Blat Attack	☐	
TCP SYN (SPORT < 1024)	☐	
TCP Null Scan Attack	☐	
TCP Xmas Scan Attack	☐	
TCP SYN-FIN Attack	☐	
TCP SYN-RST Attack	☐	
TCP Fragment (Offset == 1)	☐	
TCP Min Header Length	☐	20 バイト (0~31, デフォルト 20)
Smurf Attack	☐	0 ネットマスク長 (0~32, デフォルト0)
IPv6最小フラグメントサイズ	☐	1240 バイト (0~65535, デフォルト1240)
Ping最大パケットサイズ	☐ ICMPv4 ☐ ICMPv6	512 バイト (0~65535, デフォルト512)

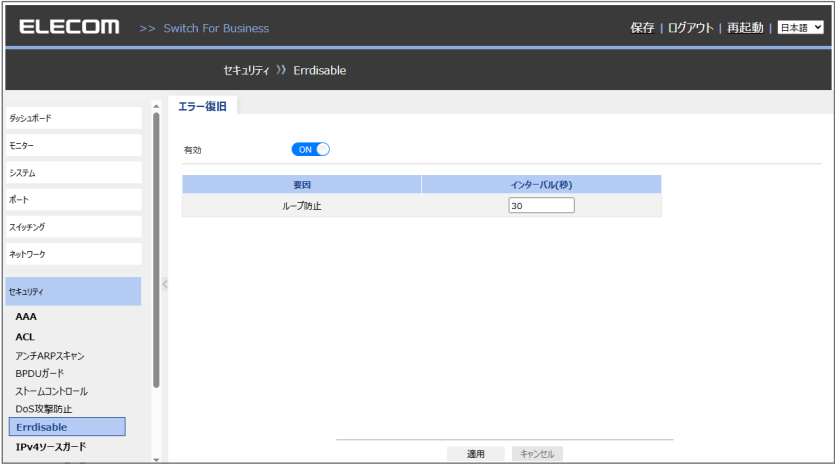
適用 キャンセル

項目	内容
*	すべてのオプションを一括して有効／無効にします。
DMAC == SMAC	宛先 MAC =送信元 MAC というフレームを破棄します。
Ping of Death Attack	再組立てで巨大化する過大 ICMP を拒否します。
Land Attack	送信元 IP =宛先 IP (+同一ポート) の不正 SYN 等を拒否します。
ICMP Fragment Packets	断片化 ICMP を拒否します。
UDP Blat Attack	高レート の UDP 連打を検知して遮断します。
TCP Blat Attack	高レート の TCP 連打を遮断します。
TCP SYN (SPORT < 1024)	送信元ポート <1024 の SYN を不正とみなし拒否します。
TCP Null Scan Attack	フラグ無し (NULL) スキャンのパケットを拒否します。
TCP Xmas Scan Attack	FIN+URG+PSH 等の Xmas ツリースキャンを拒否します。
TCP SYN-FIN Attack	SYN と FIN 同時の不正フラグを拒否します。

項目	内容
TCP SYN-RST Attack	SYN と RST 同時の不正フラグを拒否します。
TCP Fragment (Offset == 1)	フラグメントオフセット=1 を拒否します。
TCP Min Header Length	TCP ヘッダの最小長を指定値未満なら拒否します。 (設定範囲: 0 ~ 31) (初期値: 20)
Smurf Attack	ブロードキャスト ICMP (送信元スプーフ) 対策として、ネットマスク長でブロードキャスト範囲を判定します。 (設定範囲: 0 ~ 32) (初期値: 0)
IPv6 最小フラグメントサイズ	IPv6 の極小フラグメントを拒否します。 (設定範囲: 0 ~ 65535) (初期値: 1240)
Ping 最大パケットサイズ	Echo 要求の上限サイズを超えるものを拒否します。 (設定範囲: 0 ~ 65535) (初期値: 512)
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

Errdisable

自動復旧機能の設定をします。



項目	内容
有効	自動復旧機能の有効／無効を切り替えます。有効にすると「インターバル（秒）」で設定した時間経過後に、自動的に復旧を試みます。
要因	設定するエラーの要因が表示されます。
インターバル (秒)	エラーが出てから再有効化を試すまでの時間を入力します。（初期値：30 秒）
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

[IPv4 ソースガード] IPv4 ソースガード

IP ソースガード

DHCP snoopingとARP インспекションの現在のバインディングを確認します。



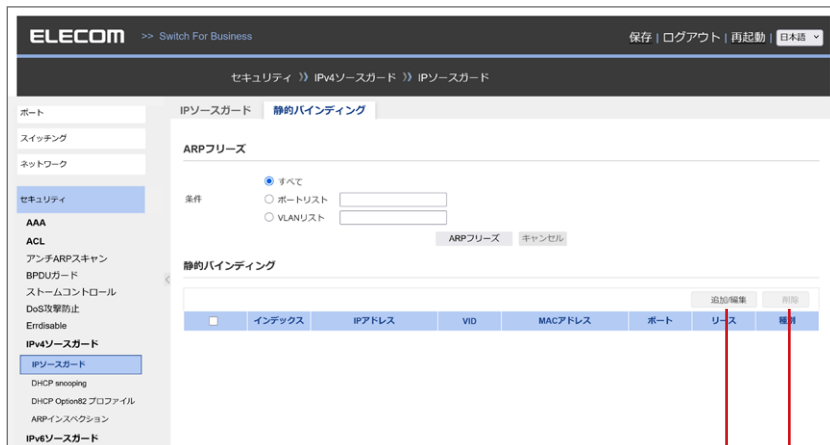
項目	内容				
インデックス	各バインディングの連番が表示されます。				
IP アドレス	バインディングの MAC アドレスに割り当てられた IP アドレスが表示されます。				
VID	バインディングのソース VLAN ID が表示されます。				
MAC アドレス	バインディングのソース MAC アドレスが表示されます。				
ポート	バインディングのポート番号が表示されます。 このフィールドが空白の場合、バインディングはすべてのポートに適用されます。				
リース	バインディングが何日、何時間、何分、何秒間有効かが表示されます。 例えば、2d3h4m5s は、バインディングが 2 日、3 時間、4 分、5 秒間有効であることを意味します。 バインディングが常に有効な場合（静的バインディングなど）は、無限大を示します。				
種別	本製品がバインディングをどのように学習したかが表示されます。 <table><tr><td>static</td><td>管理者が手動で提供した情報から学習されたバインディングです。</td></tr><tr><td>dhcp-snooping</td><td>DHCP パケットをスヌープすることで学習されたバインディングです。</td></tr></table>	static	管理者が手動で提供した情報から学習されたバインディングです。	dhcp-snooping	DHCP パケットをスヌープすることで学習されたバインディングです。
static	管理者が手動で提供した情報から学習されたバインディングです。				
dhcp-snooping	DHCP パケットをスヌープすることで学習されたバインディングです。				

静的バインディング

DHCP snoopingとARP インспекションの静的バインディングを管理します。

MEMO

静的バインディングは、MAC アドレスとVLAN IDによって一意に識別されます。各MACアドレスとVLAN IDは、1つのスタティックバインディングにのみ設定できます。既存の静的バインディングと同じMACアドレスとVLAN IDを持つ静的バインディングを作成しようとする、新しい静的バインディングが元の静的バインディングを置き換えます。



静的バインディングを追加したり、選択した静的バインディングを編集します。

→ [194 ページ](#)

選択した静的バインディングを削除します。

■ ARPフリーズ

ARP フリーズは、本製品のバインディングテーブルが一杯になるまで、現在のARP エントリ（動的に学習されたARP エントリまたは静的ARP エントリ）から静的バインディングを自動的に作成する機能です。

ARP フリーズ機能を使用する前に、「ネットワーク」－「ARP 設定」－「ARP ラーニング」（[163 ページ](#)）画面でARP ラーニングモードを「ARP 要求」に設定する必要があります。

項目	内容	
条件	すべて	これを選択して「ARP フリーズ」をクリックすると、本製品は現在のすべての ARP エントリを静的バインディングテーブルに自動的に追加します。
	ポートリスト	ポート番号をカンマ区切りで入力します。 複数のポートを（スペースなし）カンマ (,) またはハイフン (-) で区切って入力し、範囲を指定できます。例えば、ポート 3、4、5 には「3-5」と入力します。ポート 3、5、7 には「3,5,7」と入力します。 指定したポートで学習した ARP エントリは、「ARP フリーズ」をクリックした後、静的バインディングテーブルに追加されます。
	VLAN リスト	VLAN の ID 番号（カンマ区切り）を入力します。「ARP フリーズ」をクリックすると、指定した VLAN の ARP エントリが静的バインディングテーブルに追加されます。

■ 静的バインディング

項目	内容	
インデックス	各バインディングの連番が表示されます。	
IP アドレス	バインディングの MAC アドレスに割り当てられた IP アドレスが表示されます。	
VID	バインディングのソース VLAN ID が表示されます。	
MAC アドレス	バインディングのソース MAC アドレスが表示されます。	
ポート	バインディングのポート番号が表示されます。 このフィールドが空白の場合、バインディングはすべてのポートに適用されます。	
リース	バインディングが何日、何時間、何分、何秒間有効かが表示されます。 例えば、2d3h4m5s は、バインディングが 2 日、3 時間、4 分、5 秒間有効であることを意味します。 バインディングが常に有効な場合（静的バインディングなど）は、無限大を示します。	
種別	本製品がバインディングをどのように学習したかが表示されます。	
	static	管理者が手動で提供した情報から学習されたバインディングです。

■ IPv4 ソースガード静的バインディングの追加／編集

IPアドレス

VLAN

MACアドレス

☒ 任意

☐

ポート

☒ 任意

☐

適用

クリア

キャンセル

項目	内容
IP アドレス	バインディングの MAC アドレスに割り当てられた IP アドレスを入力します。
VLAN	バインディングのソース VLAN ID を入力します。
MAC アドレス	バインディングのソース MAC アドレスを入力します。 このバインディングがすべての MAC アドレスに適用される場合は、「任意」を選択します。
ポート	バインディングのポートを指定します。 このバインディングにポートが 1 つある場合は、下のラジオボタンを選択し、右側のフィールドにポート番号を入力します。 このバインディングがすべてのポートに適用される場合は、「任意」を選択します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

[IPv4 ソースガード] DHCP snooping

ステータス

DHCP snooping データベースに関するさまざまな統計情報を確認します。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

セキュリティ >> IPv4ソースガード >> DHCP snooping

ポート
スイッチング
ネットワーク
セキュリティ
AAA
ACL
アンチARPスキャン
BPDUガード
ストームコントロール
DoS攻撃防止
Ermisable
IPv4ソースガード
IPv4ソースガード
DHCP snooping
DHCP Option82 プロファイル
ARPインスパクション
IPv6ソースガード
ポート認証
ポートセキュリティ
管理

ステータス
設定
ポート設定
VLAN設定
VLANポート設定

DHCP snooping

データベースステータス

エージェントURL
書き込み遅延タイマー
中止タイマー
エージェント実行中
遅延タイマーの期限切れ
中止タイマーの期限切れ
最終成功時間
最終失敗理由
カウンタ
合計試行回数
起動失敗
成功した転送
失敗した転送
成功した読み取り
失敗した読み取り
書き込み成功
書き込み失敗

データベース詳細
最初のアクセス成功
最後に無視されたバインディングカウンタ
バインド衝突
無効なインターフェース
解析失敗
リース期限切れ
サポートされていない VLAN
最後に無視された時刻
無視されたバインディングの合計カウンタ
バインド衝突
無効なインターフェース
解析失敗
リース期限切れ
サポートされていない VLAN

■ データベースステータス

項目	内容
エージェント URL	DHCP snooping データベースの場所が表示されます。
書き込み遅延タイマー	本製品が DHCP snooping データベースの特定の更新を完了してからあきらめるまでの時間（秒）が表示されます。
中止タイマー	現在のバインディングが変更された後、本製品が DHCP snooping データベースの更新を待機する時間（秒）が表示されます。
エージェント実行中	現在の DHCP snooping データベースの更新またはアクセスの状態が表示されます。
遅延タイマーの期限切れ	本製品が現在の更新をあきらめるまでの時間（秒）が表示されます。 現在 DHCP snooping データベースを更新していない場合は「実行されていません」と表示されます。

項目	内容																
中止タイマーの期限切れ	本製品が DHCP snooping データベースを再度更新するタイミング（秒）が表示されます。 前回の更新から現在のバインディングに変更がない場合は、「実行されています」と表示されます。																
最終成功時間	本製品が最後に DHCP snooping データベースの更新に成功した時刻が表示されます。																
最終失敗時間	本製品が最後に DHCP snooping データベースの更新に失敗した時刻が表示されます。																
最終失敗理由	本製品が DHCP snooping データベースの更新に失敗した理由が表示されます。																
カウンター	<table border="1"> <tr> <td>合計試行回数</td><td>本製品が何らかの理由で DHCP snooping データベースへのアクセスを試行した回数が表示されます。</td></tr> <tr> <td>起動失敗</td><td>本製品の起動時または DHCP snooping データベースに新しい URL を設定したときに、DHCP snooping データベースの作成または読み出しに失敗した回数が表示されます。</td></tr> <tr> <td>成功した転送</td><td>本製品が DHCP snooping データベースのバインディングの読み込みまたは更新に成功した回数が表示されます。</td></tr> <tr> <td>失敗した転送</td><td>本製品が DHCP snooping データベースからバインディングを読み出せなかった回数、または DHCP snooping データベース内のバインディングを更新できなかった回数。</td></tr> <tr> <td>成功した読み取り</td><td>本製品が DHCP snooping データベースからバインディングの読み出しに成功した回数が表示されます。</td></tr> <tr> <td>失敗した読み取り</td><td>本製品が DHCP snooping データベースからバインディングを読み取れなかった回数が表示されます。</td></tr> <tr> <td>書き込み成功</td><td>本製品が DHCP snooping データベースのバインディングの更新に成功した回数が表示されます。</td></tr> <tr> <td>書き込み失敗</td><td>本製品が DHCP snooping データベースのバインディングを更新できなかった回数が表示されます。</td></tr> </table>	合計試行回数	本製品が何らかの理由で DHCP snooping データベースへのアクセスを試行した回数が表示されます。	起動失敗	本製品の起動時または DHCP snooping データベースに新しい URL を設定したときに、DHCP snooping データベースの作成または読み出しに失敗した回数が表示されます。	成功した転送	本製品が DHCP snooping データベースのバインディングの読み込みまたは更新に成功した回数が表示されます。	失敗した転送	本製品が DHCP snooping データベースからバインディングを読み出せなかった回数、または DHCP snooping データベース内のバインディングを更新できなかった回数。	成功した読み取り	本製品が DHCP snooping データベースからバインディングの読み出しに成功した回数が表示されます。	失敗した読み取り	本製品が DHCP snooping データベースからバインディングを読み取れなかった回数が表示されます。	書き込み成功	本製品が DHCP snooping データベースのバインディングの更新に成功した回数が表示されます。	書き込み失敗	本製品が DHCP snooping データベースのバインディングを更新できなかった回数が表示されます。
合計試行回数	本製品が何らかの理由で DHCP snooping データベースへのアクセスを試行した回数が表示されます。																
起動失敗	本製品の起動時または DHCP snooping データベースに新しい URL を設定したときに、DHCP snooping データベースの作成または読み出しに失敗した回数が表示されます。																
成功した転送	本製品が DHCP snooping データベースのバインディングの読み込みまたは更新に成功した回数が表示されます。																
失敗した転送	本製品が DHCP snooping データベースからバインディングを読み出せなかった回数、または DHCP snooping データベース内のバインディングを更新できなかった回数。																
成功した読み取り	本製品が DHCP snooping データベースからバインディングの読み出しに成功した回数が表示されます。																
失敗した読み取り	本製品が DHCP snooping データベースからバインディングを読み取れなかった回数が表示されます。																
書き込み成功	本製品が DHCP snooping データベースのバインディングの更新に成功した回数が表示されます。																
書き込み失敗	本製品が DHCP snooping データベースのバインディングを更新できなかった回数が表示されます。																

■ データベース詳細

項目	内容
最初のアクセス成功	本製品が DHCP snooping データベースに初めてアクセスした回数が表示されます。

項目	内容	
最後に無視されたバインディングカウンター	バインド衝突	同じ MAC アドレスおよび VLAN ID のバインディングがすでに存在するため、本製品がバインディングを無視した回数が表示されます。
	無効なインターフェース	ポート番号がトラステッドインタフェースであるか、または存在しないため、本製品が無視したバインディング数が表示されます。
	解析失敗	本製品が DHCP バインディングデータベースのバインディングを理解できなかったために無視したバインディングの数が表示されます。
	リース期限切れ	リース期間がすでに終了しているため、本製品が無視したバインディング数が表示されます。
	サポートされていない VLAN	VLAN ID が存在しないため、本製品が無視したバインディング数が表示されます。
	最後に無視された時刻	本製品が DHCP バインディングデータベースから何らかの理由でバインディングを無視した最後の時間が表示されます。
無視されたバインディングの合計カウンター	バインド衝突	本製品が同じ MAC アドレスおよび VLAN ID のバインディングをすでに持っていたために無視したバインディング数が表示されます。
	無効なインターフェース	ポート番号がトラステッドインタフェースであるか、または存在しないため、本製品が無視したバインディング数が表示されます。
	解析失敗	本製品が DHCP バインディングデータベースのバインディングを理解できなかったために無視したバインディングの数が表示されます。
	リース期限切れ	リース期間がすでに終了しているため、本製品が無視したバインディング数が表示されます。
	サポートされていない VLAN	VLAN ID が存在しないため、本製品が無視したバインディング数が表示されます。

設定

本製品でDHCP snoopingを有効化したり、DHCP snoopingデータベースを設定します

■ DHCP snooping設定

項目	内容
有効	DHCP snooping 機能の有効／無効を切り替えます。 特定の VLAN で DHCP snooping を有効にし、信頼できるポートを指定する必要があります。 DHCP が有効で、信頼できるポートがない場合、DHCP リクエストは成功しません。
DHCP VLAN	特定の VLAN 上の DHCP サーバに DHCP パケットを転送する場合は、VLAN ID を選択します。 「VLAN 設定」(222 ページ) で DHCP snooping を有効にする必要があります。 DHCP パケットを特定の VLAN に転送したくない場合は「無効」を選択します。

■ データベース

項目	内容
エージェント URL	DHCP snooping データベースの場所を以下の形式で入力します。 tftp://{ドメイン名または IP アドレス}/ディレクトリ(該当する場合)/ファイル名; (例) tftp:// 192.168.10.1/database.txt (? (クエスチョンマーク) (パイプ) " (ダブルクォーテーション), (コンマ) は使用不可)

項目	内容
タイムアウト時間	本製品が DHCP snooping データベースの特定の更新を完了させてからあきらめるまでの時間を入力します。 (設定範囲: 10 ~ 65535 秒) (初期値: 300 秒)
書き込み遅延間隔	DHCP snooping データベースの更新後、現在のバインディングが初めて変更された場合に、本製品がデータベースの更新を待機する時間を入力します。 (設定範囲: 10 ~ 65535 秒) (初期値: 300 秒) 次の更新がスケジュールされると、現在のバインディングの追加変更は自動的に次の更新に含まれます。
DHCP snooping URL 更新	DHCP snooping データベースの場所を入力し、本製品に読み込ませたい場合は「更新」をクリックします。 これを使用すると、「エージェント URL」指定したデータベースとは異なる DHCP snooping データベースからダイナミックバインディングをロードできます。 本製品は DHCP snooping データベースから動的バインディングをロードするとき、現在の動的バインディングを最初に破棄しません。 競合がある場合、本製品は動的バインディングを揮発性メモリに保持し、「DHCP snooping」[ステータス] 画面の「バインド衝突」カウンタを更新します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

ポート設定

ポートをDHCP snoopingの信頼済みポートにするか、非信頼ポートにするかを指定します。

注意

DHCP snoopingが有効になっていても、信頼できるポートがない場合、DHCP要求はDHCPサーバに届きません

項目	内容
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。
サーバー信頼状態	このポートが信頼できるポート (Trusted) か信頼できないポート (Untrusted) かを選択します。 Trusted ポートは DHCP サーバまたは他のスイッチに接続されており、本製品は DHCP パケットの到達率が高すぎる場合にのみ、Trusted ポートからの DHCP パケットを破棄します。 Untrusted ポートは加入者に接続されており、本製品は以下の場合に Untrusted ポートからの DHCP パケットを廃棄します。 ● パケットが DHCP サーバパケット（例えば、OFFER、ACK、または NACK）である。 ● パケットの送信元 MAC アドレスと送信元 IP アドレスが現在のバインディングのどれとも一致しない。 ● パケットが RELEASE または DECLINE パケットで、ソース MAC アドレスとソースポートが現在のバインディングのいずれとも一致しない。 ● DHCP パケットの到着レートが高すぎる。

項目	内容
レート (pps)	本製品が各ポートから毎秒受信する DHCP パケットの最大数を指定します。 (設定範囲: 1 ~ 2048) 本製品はそれ以上の DHCP パケットを破棄します。 この制限を無効にするには 0 を入力します。

VLAN 設定

各 VLAN で DHCP snooping を有効にし、本製品が各 VLAN の DHCP サーバに中継する DHCP 要求に DHCP リレーエージェントオプション 82 情報を追加するかどうかを指定します。

The screenshot shows the ELECOM web interface for configuring DHCP snooping. The main configuration area is titled "VLAN 設定" (VLAN Settings). It includes a search bar for "VIDでVLANを検索" (Search for VLAN by VID) and a table for configuring DHCP snooping for VLAN 1. The table has three columns: "VID", "有効/無効" (Valid/Invalid), and "DHCP Option82 プロファイル" (DHCP Option82 Profile). The table shows two rows: one for VID "*" with "無効" (Invalid) and a dropdown for the profile, and another for VID "1" with "無効" (Invalid) and a dropdown for the profile. The interface also includes navigation controls like "検索" (Search) and "適用" (Apply).

項目	内容
VID で VLAN を検索	管理する VLAN ID を入力し、「検索」をクリックすると、指定した範囲の VLAN が下のテーブルに表示されます。 個々の VLAN を区切るにはカンマ (,) を、VLAN の範囲を示すにはハイフン (-) を使用します。(例) 「3,4」 「3-9」
VLAN 数	VLAN の検索結果の数が表示されます。
VID	上記で指定した範囲の各 VLAN の VLAN ID です。VLAN を設定した場合、設定はすべての VLAN に適用されます。

項目	内容
有効／無効	VLAN で DHCP snooping を有効にする場合は、「有効」を選択します。 なお、本製品で DHCP snooping を有効にし、Trusted Port を指定する必要があります。 DHCP snooping を有効にしても、Trusted ポートがない場合、本製品はすべての DHCP リクエストをドロップします
DHCP Option32 プロファイル	本製品が指定された VLAN の全ポートに適用する定義済みの DHCP オプション 82 プロファイルを選択します。 本製品は、プロファイルで指定された情報（スロット番号、ポート番号、VLAN ID、システム名など）を DHCP VLAN (指定されている場合) または VLAN にブロードキャストする DHCP リクエストに追加します。 DHCP VLAN は、「セキュリティ」－「IPv4 ソースガード」－「DHCP snooping」－「設定」(198 ページ) 画面で指定します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

VLAN ポート設定

特定のポートに異なる DHCP オプション 82 プロファイルを適用します。



DHCP snooping VLAN ポートを追加したり、選択した DHCP snooping VLAN ポートを編集します。

→ [203 ページ](#)

選択した DHCP snooping VLAN ポートを削除します。

項目	内容
インデックス	エントリのインデックス番号が表示されます。
VID	ポートが属する VLAN が表示されます。
ポート	本製品が設定を適用するポートが表示されます。
プロファイル名	本製品がポートに適用する DHCP オプション 82 プロファイルが表示されます。

■ DHCP snooping VLAN ポートの追加／編集

VID

ポート

DHCP Option82 プロファイル

default1 ▼

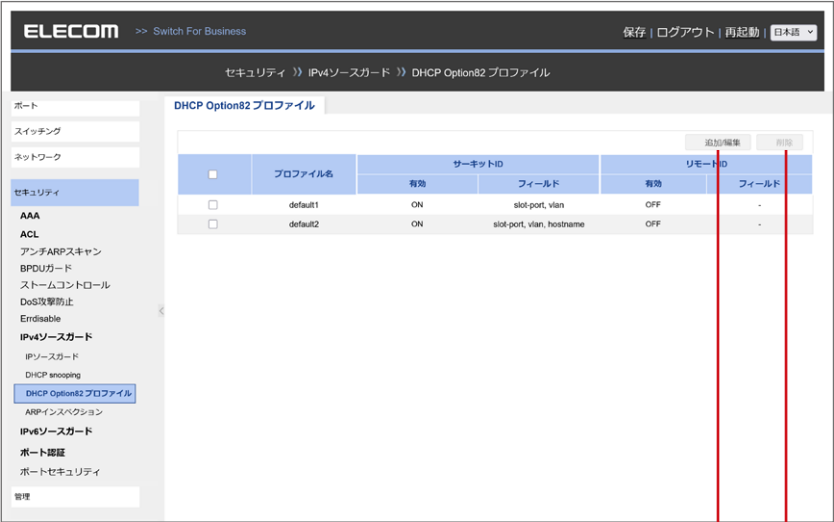
適用

クリア

キャンセル

項目	内容
VID	VLAN の ID 番号を入力します。
ポート	指定した DHCP オプション 82 プロファイルを適用するポートの数を入力します。 複数のポートをカンマ (,) またはハイフン (-) で区切って入力できます。 たとえば、ポート 3、4、5 には「3-5」と入力します。ポート 3、5、7 には「3,5,7」と入力します。
DHCP Option82 プロファイル	この VLAN 内の指定されたポートに本製品が適用する定義済みの DHCP オプション 82 プロファイルを選択します。 本製品は、プロファイルで指定された情報（スロット番号、ポート番号、VLAN ID、システム名など）を DHCP VLAN（指定されている場合）または VLAN にブロードキャストする DHCP リクエストに追加します。 DHCP VLAN は、「セキュリティ」－「IPv4 ソースガード」－「DHCP snooping」－「設定」(198 ページ) 画面で指定します。 注意：ここで選択したプロファイルは、「VLAN 設定」(201 ページ) 画面で選択したプロファイルよりも優先されます。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

[IPv4 ソースガード] DHCP Option82 プロファイル



DHCP Option82 プロファイルを追加したり、選択した DHCP Option82 プロファイルを編集します。

→ [205 ページ](#)

選択した DHCP Option82 プロファイルを削除します。

項目	内容
プロファイル名	プロファイルの名称が表示されます。
サーキット ID	スイッチ（リレーエージェント）固有の情報を含む、サーキット ID サブオプションが表示されます。
	有効 サーキット ID サブオプションがクライアントの DHCP リクエストに追加されているかどうかが表示されます。
	フィールド サーキット ID サブオプションに含まれる情報が表示されます。
リモート ID	スイッチ（リレーエージェント）を識別する情報を含む、リモート ID サブオプションが表示されます。
	有効 リモート ID サブオプションがクライアントの DHCP リクエストに追加されているかどうかが表示されます。
	フィールド リモート ID サブオプションに含まれる情報が表示されます。

■ DHCP Option82 プロファイルの追加／編集

プロファイル名

サーキットID

☐ 有効

☐ slot-port ☐ VLAN ☐ ホスト名

任意文字列

リモートID

☐ 有効

☐ MACアドレス

任意文字列

適用

クリア

キャンセル

項目	内容
プロファイル名	プロファイル名を入力します。 (最大 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) (パイプ) ' (クォーテーション) " (ダブルクォーテーション) , (コンマ) は使用不可)
サーキット ID	中継機能を持つスイッチ固有の情報が含まれるように、サーキット ID サブオプションを設定します。
	有効 選択すると、スイッチがサーキット ID サブオプションを、クライアントの DHCP リクエストに追加して DHCP サーバーへ中継します。
	slot-port 選択すると、DHCP クライアントが接続されているポート番号をスイッチが追加します。
	VLAN 選択すると、そのポートが所属する VLAN の ID をスイッチが追加します。
	ホスト名 選択すると、クライアント DHCP リクエストに、「システム」 — 「一般設定」で設定したシステム名が追加されます。
	任意文字列 スイッチがクライアント DHCP リクエストに追加する任意の文字列を、入力します。 (最大 64 文字まで。? (クエスチョンマーク) (パイプ) ' (クォーテーション) " (ダブルクォーテーション) , (コンマ) は使用不可)
リモート ID	中継機能を持つスイッチを識別できる情報が含まれるように、リモート ID サブオプションを設定します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

[IPv4 ソースガード] ARP インспекション

ステータス

本製品が不正な ARP パケットを識別したために作成された MAC アドレスフィルタの現在のリストを確認できます。



項目	内容
バインド数	本製品が不正な ARP パケットを識別したために作成された MAC アドレスフィルタの現在の数です。
インデックス	各 MAC アドレスフィルタの連番が表示されます。
MAC アドレス	MAC アドレスフィルタの送信元 MAC アドレスが表示されます。
VID	MAC アドレスフィルタのソース VLAN ID が表示されます。
ポート	廃棄された ARP パケットの送信元ポートが表示されます。
有効期限（秒）	MAC アドレスフィルタが本製品に残っている時間（秒）が表示されます。 手動でレコードを削除（Delete）することもできます。
削除	選択したエントリを削除します。

VLAN ステータス

各 VLAN の ARP パケットに関するさまざまな統計情報を確認できます。



項目	内容
VID で VLAN を検索	VLAN ID を入力し、「検索」をクリックすると、指定した範囲の VLAN が下のテーブルに表示されます。 個々の VLAN を区切るにはカンマ (,) を、VLAN の範囲を示すにはハイフン (-) を使用します。(例) 「3,4」 「3-9」
VLAN 数	VLAN の検索結果の数が表示されます。
VID	上記で指定した範囲の各 VLAN の VLAN ID です。
受信済	本製品が前回再起動してから、VLAN から受信した ARP パケットの総数が表示されます。
リクエスト	本製品が前回再起動してから VLAN から受信した ARP Request パケットの総数が表示されます。
応答	本製品が最後に再起動してから、VLAN から受信した ARP Reply パケットの総数が表示されます。
転送済	本製品が最後に再起動してから、VLAN に対して転送した ARP パケットの総数が表示されます。
ドロップ数	本製品が最後にリスタートしてから、VLAN に対して廃棄した ARP パケットの総数が表示されます。

ログステータス

ARP パケットによって生成され、まだ syslog サーバーに送信されていないログメッセージを確認します。



項目	内容
ログステータステーブルのクリア	「クリア」をクリックすると、ARP パケットによって生成され、まだ syslog サーバーに送信されていないすべてのログメッセージが削除されます。
バインド数	ARP パケットによって生成され、まだ syslog サーバーに送信されていないログメッセージの数が表示されます。 利用できないバッファのために 1 つ以上のログメッセージがドロップされた場合、現在のドロップされたログメッセージの数を持つ overflow というエントリがあります。
インデックス	各ログメッセージの連番が表示されます。
ポート	ARP パケットの送信元ポートが表示されます。
VID	ARP パケットの送信元 VLAN ID が表示されます。
送信元 MAC	ARP パケットの送信元 MAC アドレスが表示されます。
送信元 IP	ARP パケットの送信元 IP アドレスが表示されます。
パケット番号	このログメッセージに統合された ARP パケット数です。 本製品では、ログ連結間隔内の ARP パケットによって生成された同一のログメッセージを 1 つのログメッセージに連結します。この間隔は「設定」(209 ページ)画面で設定できます。

項目	内容	
理由	ログメッセージが生成された理由が表示されます。	
	dhcp deny	同じ MAC アドレスと VLAN ID を持つダイナミックバインディングに違反したため、ARP パケットが破棄されました。
	static deny	同じ MAC アドレスと VLAN ID のスタティックバインディングに違反したため、ARP パケットが破棄されました。
	deny	同じ MAC アドレスと VLAN ID を持つバインディングがなかったため、ARP パケットは破棄されました。
	dhcp permit	動的バインディングに一致したため、ARP パケットが転送されました。
	static permit	静的バインディングに一致したため、ARP パケットが転送されました。
	「設定」(209 ページ) 画面で、ARP パケットの VLAN ID に基づいて、ARP パケットが破棄または転送されたときにログメッセージを生成するように本製品を設定できます。	
時間	ログメッセージが生成された時刻が表示されます。	

設定

ARP インспекションを有効にしたり、本製品が廃棄した ARP パケットの記録を保存する期間や ARP インспекションログのグローバル設定を行うことができます。

ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

セキュリティ >> IPv4ソースガード >> ARPインспекション

ポート ステータス VLANステータス ログステータス **設定** ポート設定 VLAN設定

ARPインспекション設定

有効 ☒ ON

フィルターエージングタイム

フィルターエージングタイム 300 秒

ログプロファイル

ログバッファサイズ 32 エントリー

Syslogレート 5 エントリー

ログ間隔 1 秒

ポート
スイッチング
ネットワーク
セキュリティ
AAA
ACL
アンチARPスキャン
BPDUガード
ストームコントロール
DoS攻撃防止
Errdisable
IPv4ソースガード
IPソースガード
DHCP snooping
DHCP Option82 プロファイル
ARPインспекション
IPv6ソースガード

■ ARP インспекション設定

項目	内容
有効	ARP インспекション機能の有効／無効を切り替えます。

■ フィルターエージングタイム

項目	内容
フィルターエージングタイム	本製品が不正な ARP パケットを識別した後、MAC アドレスフィルタを本製品に残す時間を入力します。(設定範囲: 1 ~ 2147483647 秒) (初期設定: 300 秒) その後、本製品は自動的に MAC アドレスフィルタを削除します。 MAC アドレスフィルタを永続させたい場合は 0 を入力してください。 この設定は既存の MAC アドレスフィルタには影響しません。

■ ログプロファイル

項目	内容
ログバッファサイズ	ARP パケットによって生成され、まだ syslog サーバーに送信されていないログメッセージの最大数を入力します。 (設定範囲: 1 ~ 1024) (初期値: 32) このとき、「Syslog レート」と「ログ時間」で設定する値に対して適切な値にしてください。 本製品内のログ件数がこの値を超えると、新たなログの記録を停止し、バッファ不足で破棄されたエントリ数のカウントのみを行います。 ログを消去してこのカウンタをリセットするには、「ログステータス」(208 ページ)画面の「ログステータステーブルのクリア」をクリックします。
Syslog レート	本製品が 1 回のバッチで syslog サーバへ送信できる syslog メッセージの最大件数を入力します。(初期設定: 5) バッチの送信頻度は Log Interval で決まるため、この数値はレートとして扱われます。これを利用するには syslog サーバ側の設定が必要です。 ARP パケットで生成されたログを syslog サーバへ送らない場合は 0 を入力します。 Syslog Rate と Log Interval の関係 (例): 1 秒あたり不正 ARP が 4 件、Syslog レート=5、Log 時間=1: スイッチは毎秒 4 件送信。 1 秒あたり不正 ARP が 6 件、Syslog レート=5、Log 時間=2: スイッチは 2 秒ごとに 5 件送信。
ログ時間	本製品が syslog サーバに syslog メッセージを一括送信する頻度を入力します。 (設定範囲: 1 ~ 86400 秒) (初期設定: 1 秒) syslog メッセージを即時送信する場合は 0 を入力してください。 Syslog レートと Log 時間の関係例については、「Syslog レート」を参照してください。

ポート設定

ポートをARP インспекションの信頼されたポートにするか、信頼されていないポートにするかを指定します。また、各信頼対象外ポートで本製品がARP パケットを受信する最大レートを指定できます。

ポート	信頼状態	制限	
		レート(pps)	バースト間隔(秒)
*	Untrusted		
1	Untrusted	15	1
2	Untrusted	15	1
3	Untrusted	15	1
4	Untrusted	15	1
5	Untrusted	15	1
6	Untrusted	15	1
7	Untrusted	15	1
8	Untrusted	15	1
9	Untrusted	15	1
10	Untrusted	15	1

項目	内容
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。
信頼状態	このポートが信頼できるポート (Trusted) か、信頼できないポート (Untrusted) かを選択します。 本製品は、信頼できるポートの ARP パケットをいかなる理由でも廃棄しません。信頼できないポートでは、次の場合に ARP パケットを破棄します。 ● ARP パケット内の送信者情報が、現在のバインディング (IP-MAC-ポート) に一致しない。 ● ARP パケットの到着レートが高すぎる。(Untrusted ポートで許容する最大レートを指定できます)
レート (pps)	本製品が各ポートから ARP パケットを受信する最大レートを指定します。 (設定範囲: 1 ~ 2048pps) (初期設定: 15pps) 本製品はそれ以上の ARP パケットを破棄します。 この制限を無効にするには 0 を入力します。
バースト間隔 (秒)	バーストインターバルの長さを入力します。 (設定範囲: 1 ~ 15 秒) (初期設定: 1 秒) バースト間隔は、各ポートの ARP パケットのレートを監視する時間の長さです。 例えば、Rate が 15pps でバースト間隔が 1 秒の場合、本製品は 1 秒間隔で最大 15 個の ARP パケットを受け付けます。 バースト間隔が 5 秒の場合、5 秒間隔で最大 75 個の ARP パケットを受け付けます。

VLAN 設定

各 VLAN で ARP 検査を有効にし、各 VLAN からの ARP パケット受信時にログメッセージを生成するタイミングを指定します。



項目	内容								
VID で VLN を検索	管理する VLAN ID を入力し、「検索」をクリックすると、指定した範囲の VLAN が下のテーブルに表示されます。 個々の VLAN を区切るにはカンマ (,) を、VLAN の範囲を示すにはハイフン (-) を使用します。(例) 「3,4」 「3-9」								
VLAN 数	VLAN の検索結果の数が表示されます。								
VID	上記で指定した範囲の各 VLAN の VLAN ID です。VLAN を設定した場合、設定はすべての VLAN に適用されます。								
有効／無効	VLAN の ARP 検査を有効にするか無効にするかを選択します。								
ログ	VLAN からの ARP パケット受信時に本製品がログメッセージを生成するタイミングを指定します。 <table><tr><td>なし</td><td>VLAN から ARP パケットを受信してもログメッセージを生成しません。</td></tr><tr><td>許可</td><td>VLAN からの ARP パケットを転送したときにログメッセージを生成します。</td></tr><tr><td>拒否</td><td>VLAN からの ARP パケットを破棄したときにログメッセージを生成します。</td></tr><tr><td>すべて</td><td>VLAN から ARP パケットを受信するたびにログメッセージを生成します。</td></tr></table>	なし	VLAN から ARP パケットを受信してもログメッセージを生成しません。	許可	VLAN からの ARP パケットを転送したときにログメッセージを生成します。	拒否	VLAN からの ARP パケットを破棄したときにログメッセージを生成します。	すべて	VLAN から ARP パケットを受信するたびにログメッセージを生成します。
なし	VLAN から ARP パケットを受信してもログメッセージを生成しません。								
許可	VLAN からの ARP パケットを転送したときにログメッセージを生成します。								
拒否	VLAN からの ARP パケットを破棄したときにログメッセージを生成します。								
すべて	VLAN から ARP パケットを受信するたびにログメッセージを生成します。								
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。								

[IPv6 ソースガード] IPv6 静的バインディング

IPv6 送信元バインディング状態

現在のIPv6 動的バインディングと静的バインディングを確認し、IPv6 アドレスまたはIPv6 プレフィックスに基づいて動的バインディングを削除します。

MEMO

バインディングは、ネットワーク内で許可されたパケットと許可されていないパケットを区別するために使用されます。本製品は、DHCP パケットをスヌープすること (動的バインディング)、および管理者が手動で提供する情報 (静的バインディング) からバインディングを学習します。



項目	内容	
動的送信元 バインディング のクリア	「一括消去」をクリックしたときに、動的な IPv6 ソースバインディングエントリをどのように削除するかを指定します。	
	すべて	IPv6 ソースバインディングテーブルからすべての動的エントリを削除します。
	IPv6 アドレス	指定した IPv6 アドレスでスヌープされた動的エントリを削除します。
	IPv6 プレ フィックス	指定したプレフィックスでスヌープされた動的エントリを削除します。
インデックス	各バインディングの連番が表示されます。	

項目	内容				
送信元アドレス	バインディングのソース IP アドレスが表示されます。 空白の場合、このフィールドはバインディングではチェックされません。				
MAC アドレス	バインディングのソース MAC アドレスが表示されます。 空白の場合、このフィールドはバインディングでチェックされません。				
VLAN	バインディングのソース VLAN ID です。 空白の場合、このフィールドはバインディングでチェックされません。				
ポート	バインディングのポート番号が表示されます。 このフィールドが空白の場合、バインディングはすべてのポートに適用されます。				
リース	バインディングが何日、何時間、何分、何秒間有効かを示します。 例えば、2d3h4m5s は、バインディングが 2 日、3 時間、4 分、5 秒間有効であることを意味します。 バインディングが常に有効な場合（静的バインディングなど）は、無限大を示します。				
種別	本製品がバインディングをどのように学習したかを示します。 <table border="1"> <tr> <td>S</td><td>管理者が手動で入力した情報から学習した静的バインディングです。</td></tr> <tr> <td>DH</td><td>DHCP パケットを snooping して学習した DHCP-snooping バインディングです。</td></tr> </table>	S	管理者が手動で入力した情報から学習した静的バインディングです。	DH	DHCP パケットを snooping して学習した DHCP-snooping バインディングです。
S	管理者が手動で入力した情報から学習した静的バインディングです。				
DH	DHCP パケットを snooping して学習した DHCP-snooping バインディングです。				

IPv6 静的バインディング

IPv6 ソースガードバインディングテーブルエントリを表示または構成し、IPv6 静的バインディングを管理します。

MEMO

静的バインディングは、ソースIPv6 アドレス/プレフィックスによって一意に識別されます。各ソースIPv6 アドレス/プレフィックスは、1 つの静的バインディングにのみ存在できます。既存の静的バインディングと同じソースIPv6 アドレス/プレフィックスを持つ静的バインディングを作成しようとすると、新しい静的バインディングが元の静的バインディングを置き換えます。



IPv6 静的バインディングを追加したり、選択した IPv6 静的バインディングを編集します。

→ [216 ページ](#)

選択した IPv6 静的バインディングを削除します。

項目	内容
インデックス	各バインディングの連番が表示されます。
送信元アドレス	バインディングのソース IP アドレスが表示されます。 空白の場合、このフィールドはバインディングではチェックされません。
MAC アドレス	バインディングのソース MAC アドレスが表示されます。 空白の場合、このフィールドはバインディングでチェックされません。
VLAN	バインディングのソース VLAN ID です。 空白の場合、このフィールドはバインディングでチェックされません。

項目	内容
ポート	バインディングのポート番号が表示されます。 このフィールドが空白の場合、バインディングはすべてのポートに適用されます。

■ IPv6 静的バインディングの追加／編集

送信元アドレス

☒ IPv6アドレス

☐ IPv6プレフィックス /

MACアドレス

☐ 任意

VLAN

☒

☐ 任意

ポート

☒

☐ 任意

適用

クリア

キャンセル

項目	内容
送信元アドレス	バインディングの IPv6 アドレスまたは IPv6 プレフィックス+プレフィックス長を入力します。
MAC アドレス	バインディングの送信元 MAC アドレス を入力します。 この項目を照合対象にしない場合は「任意」を選択します。
VLAN	バインディングの送信元 VLAN ID を入力します。 この項目を照合対象にしない場合は「任意」を選択します。
ポート	バインディングのポートを指定します。1 ポートの場合は最初のラジオボタンを選び、右側の欄にポート番号を入力します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

※ MAC アドレス／VLAN／ポート の 3 項目すべてを「任意」にすることはできません。
少なくとも 1 項目は指定してください。

[IPv6 ソースガード] IPv6 ソースガード

ポリシー

IPv6 ソースガードにバインディングテーブルに保存されている有効な IPv6 アドレス、または IPv6 プレフィックスを転送させ、すべてのリンクローカルアドレスからのデータトラフィックを許可またはブロックさせます。



IPv6 ソースガードポリシーを追加したり、選択した IPv6 ソースガードポリシーを編集します。

→ [218 ページ](#)

選択した IPv6 ソースガードポリシーを削除します。

項目	内容
インデックス	各ポリシーの連番が表示されます。
名前	この IPv6 ソースガードポリシーの識別のための名称が表示されます。
アドレス検証	この IPv6 ソースガードポリシーの Validate Address ステータスが表示されます。
プレフィックス検証	この IPv6 ソースガードポリシーの Validate Prefix ステータスが表示されます。
リンクローカル	この IPv6 ソースガードポリシーの Link Local トラフィックステータスが表示されます。

■ IPv6 ソースガードポリシーの追加／編集

名前	
アドレス検証	☐ OFF
プレフィックス検証	☐ OFF
リンクローカル	Deny ▼
適用 クリア キャンセル	

項目	内容
名前	この IPv6 ソースガードポリシーの名前を入力します。 (最大 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) (パイプ) ' (フォーテーション) " (ダブルフォーテーション) は使用不可)
アドレス検証	「有効」にすると、バインドテーブルに保存されている有効なアドレスを IPv6 ソースガードに転送させます。
プレフィックス検証	「有効」にすると、バインドテーブルに保存されている有効なプレフィックスを IPv6 ソースガードに転送させます。
リンクローカル	すべてのリンクローカルアドレスからのデータトラフィックを許可するには「Permit」を選択します。 許可しない場合は設定を「Deny」のままにします。 リンクローカルアドレスとは、リンクローカルプレフィックス FE80::/10 と修正 EUI-64 形式のインターフェース識別子を用いて、任意のインターフェース上で自動設定される IPv6 ユニキャストアドレスのことです。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

ポート設定

設定したIPv6 ソースガードポリシーを指定したポートに適用します。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

セキュリティ >> IPv6ソースガード >> IPv6ソースガード

ポート

スイッチング

ネットワーク

セキュリティ

AAA

ACL

アンチARPスキャン

BPDUGuard

ストームコントロール

DoS攻撃防止

Errdisable

IPv6ソースガード

IPv6ソースガード

IPv6静的バインディング

IPv6ソースガード

IPv6 snooping

DHCPv6信頼設定

ポート認証

ポートセキュリティ

管理

ポリシー

ポート設定

ポート	ポリシー名
*	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

適用 キャンセル

項目	内容
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。
ポリシー名	このポートに適用するIPv6 ソースガードポリシーを選択します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

[IPv6 ソースガード] IPv6 snooping

ポリシー設定

DHCPv6 snoopingを有効にします。



IPv6 snooping ポリシーを追加したり、選択した IPv6 snooping ポリシーを編集します。

→ [221 ページ](#)

選択した IPv6 snooping ポリシーを削除します。

項目	内容
インデックス	各 IPv6 snooping ポリシーの連番が表示されます。
名前	この IPv6 snooping ポリシーの識別のための名称が表示されます。
プロトコル	DHCPv6 スニффイングパケットから学習したプロトコルが表示されます。
プレフィックス収集	DHCPv6 スニффイングパケットから学習した IPv6 プレフィックスが表示されます。
アドレス数制限	IPv6 snooping ポリシーを使って学習した IPv6 アドレスとプレフィックスの数が表示されます。

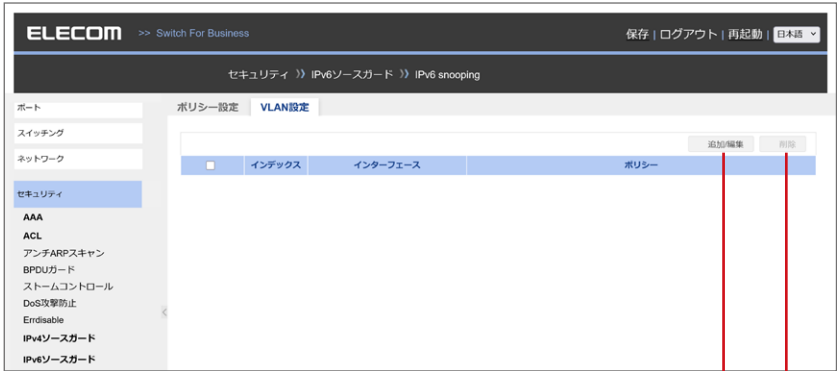
■ IPv6 snooping ポリシーの追加／編集

名前	
プロトコル	☐ DHCP
プレフィックス収集	☒ OFF
アドレス数制限	
適用 クリア キャンセル	

項目	内容
名前	この IPv6 snooping ポリシーの名前を入力します。 (最大 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) (パイプ) ' (クォーテーション) " (ダブルクォーテーション) , (コンマ) は使用不可)
プロトコル	DHCPv6 サーバから DHCPv6 クライアントへ送信される DHCPv6 パケットを本製品がスニッフする場合は、「DHCP」を選択します。
プレフィックス収集	「有効」にすると、DHCPv6 をスヌーピングしたパケットから IPv6 のプレフィックスとプレフィックス長を学習します。
アドレス数制限	IPv6 snooping ポリシーで学習される IPv6 アドレスとプレフィックスの上限数を入力します。 設定できる最大値は、IPv6 ソースガードのバインディングテーブルの最大サイズと同じです。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

VLAN 設定

特定の VLAN インタフェースで DHCPv6 snooping ポリシーを有効にします。



IPv6 snooping VLANを追加したり、選択した
IPv6 snooping VLANを編集します。

→ [223ページ](#)

選択したIPv6 snooping VLANを削除します。

項目	内容
インデックス	各バインディングの連番が表示されます。
インターフェース	VLAN インターフェースが表示されます。
ポリシー	DHCPv6 snooping ポリシーが表示されます。

■ IPv6 snooping VLANの追加／編集

インターフェース

VLAN1 ▾

ポリシー

▾

適用

クリア

キャンセル

項目	内容
インターフェース	選択した DHCPv6 snooping ポリシーを適用する VLAN インタフェースを選択します。
ポリシー	この VLAN インタフェースに適用する IPv6 snooping ポリシーを選択します。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。
クリア	フィールドが工場出荷時のデフォルトにクリアされます。

[IPv6 ソースガード] DHCPv6 信頼設定

DHCPv6 snooping で信頼するポートを指定します。

ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

セキュリティ >> IPv6ソースガード >> DHCPv6信頼設定

ポート

スイッチング

ネットワーク

セキュリティ

AAA

ACL

アンチARPスキャン

BPDUGuard

ストームコントロール

DoS攻撃防止

ErrDisable

IPv6ソースガード

IPv6ソースガード

IPv6静的バイナディング

IPv6ソースガード

IPv6 snooping

DHCPv6信頼設定

ポート認証

ポートセキュリティ

管理

DHCPv6信頼設定

Trust Setting

有効 ☐ OFF

ポート設定

ポート	信頼状態
*	Untrusted
1	Untrusted
2	Untrusted
3	Untrusted
4	Untrusted
5	Untrusted
6	Untrusted
7	Untrusted
8	Untrusted
9	Untrusted
10	Untrusted

適用 キャンセル

■ Trust setting

項目	内容
有効	有効にすると、DHCP (IPv6) snooping において各ポートを Trusted (信頼) か Untrusted (非信頼) に指定できます。 これを選択しない場合は IPv6 DHCP Trust は使用されず、すべてのポートが自動的に Trusted として扱われます。

■ ポート設定

項目	内容
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。

項目	内容
信頼状態	このポートを Trusted（信頼）か Untrusted（非信頼）に指定します。 Trusted ポートは DHCPv6 サーバまたは他のスイッチに接続されます。 Untrusted ポートは加入者（クライアント）に接続され、次の場合、スイッチは Untrusted ポートからの DHCPv6 パケットを破棄します。 ● パケットが DHCPv6 サーバ側パケット（例：ADVERTISE、REPLY、RELAY-REPLY）である。 ● パケット内の 送信元 MAC アドレスおよび 送信元 IP アドレスが、現在のバインディング のいずれとも一致しない。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

ポート認証

ポートごとに 802.1X 認証 (RADIUS 連携) の動作を設定します。

ELECOM
>> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

セキュリティ >> ポート認証 >> 802.1x

ツッシュハート
モニター
システム
ポート
スイッチング
ネットワーク
セキュリティ
AAA
ACL
アンチARPスキャン
BPDUガード
ストームコントロール
DoS攻撃防止
Errdisable
IPv6ソースガード
IPv6ソースガード
ポート認証
802.1x
ポートセキュリティ
管理

802.1x

有効
EAPOLフラッド

ポート	有効	最大リクエスト	再認証	再認証間隔 (秒)	静止間隔 (秒)	送信間隔 (秒)	サブリカントタイムアウト (秒)
*	☐		On				
1	☐	2	On	3600	60	30	30
2	☐	2	On	3600	60	30	30
3	☐	2	On	3600	60	30	30
4	☐	2	On	3600	60	30	30
5	☐	2	On	3600	60	30	30
6	☐	2	On	3600	60	30	30
7	☐	2	On	3600	60	30	30
8	☐	2	On	3600	60	30	30
9	☐	2	On	3600	60	30	30
10	☐	2	On	3600	60	30	30

適用 キャンセル

項目	内容
有効	「ON」にすると、本製品で 802.1x 認証を許可します。 各ポートに設定する前に、まず本製品で 802.1x 認証を有効にする必要があります。
EAPOL フラッド	「ON」にすると、同じ VLAN 内のすべてのポートに EAPOL パケットをフラッドします。 802.1x 認証が有効になっている場合、EAPOL フラッドは有効になりません。
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。
有効	チェックを入れると、このポートで 802.1x 認証を許可します。
最大リクエスト	応答がないポートを Guest VLAN に送る前に、クライアントの認証を試行する回数を指定します。(初期値: 2)
再認証	サブスクリババがポートへの接続を維持するために、定期的にユーザ名とパスワードを再入力する必要があるかどうかを指定します。(初期値: On)
再認証期間 (秒)	クライアントがポートへの接続を維持するためにユーザ名とパスワードを再入力するまでに必要な時間の長さを指定します。(初期値: 3600 秒)
静止期間 (秒)	認証交換に失敗した後、ポートが HELD 状態を維持し、接続されたクライアントからの認証要求を拒否する秒数を指定します。(初期値: 60 秒)

項目	内容
送信期間 (秒)	本製品がクライアントに ID 要求を再送するまでのクライアントからの応答待ち秒数を指定します。(初期値: 30 秒)
サブリカント タイムアウト (秒)	チャレンジリクエストに対するクライアントからの応答を待って再リクエストを送信する秒数を指定します。(初期値: 30 秒)
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

ポートセキュリティ

ポートセキュリティを設定します。

The screenshot shows the ELECOM web interface for Port Security configuration. The sidebar on the left contains navigation links: ダッシュボード, モニター, システム, ポート, スイッチング, ネットワーク, セキュリティ, AAA, ACL, アンチARPスキャン, BPDUガード, ストームコントロール, DoS攻撃防止, Errdisable, IPv4ソースガード, IPv6ソースガード, ポート認証, 802.1x, and ポートセキュリティ. The main content area is titled 'ポートセキュリティ' and includes a 'MACフリーズ' section with a text input field and a 'ポートセキュリティ' section with a toggle switch set to 'OFF'. Below the toggle is a table for configuring port security settings.

ポート	有効	アドレス学習	学習可能MACアドレス数
*	☐	☐	
1	☐	☒	0
2	☐	☒	0
3	☐	☒	0
4	☐	☒	0
5	☐	☒	0
6	☐	☒	0
7	☐	☒	0
8	☐	☒	0
9	☐	☒	0
10	☐	☒	0

At the bottom of the table, there are buttons for '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel).

■ MACフリーズ

項目	内容
ポートリスト	ポートセキュリティを有効化し、MAC アドレス学習を無効化したいポート番号を（カンマ区切りで）入力します。 「MAC フリーズ」をクリックすると、指定したポートでこれまでに学習された MAC アドレスはすべて静的 MAC アドレスに変換され、「スイッチング」―「静的 MAC 転送」(148 ページ) 画面に表示されます。

■ ポートセキュリティ

項目	内容
有効	ポートセキュリティ機能の有効／無効を切り替えます。
ポート	ポート番号が表示されます。 「*」の行を変更すると、すべてのポートに変更が適用されます。

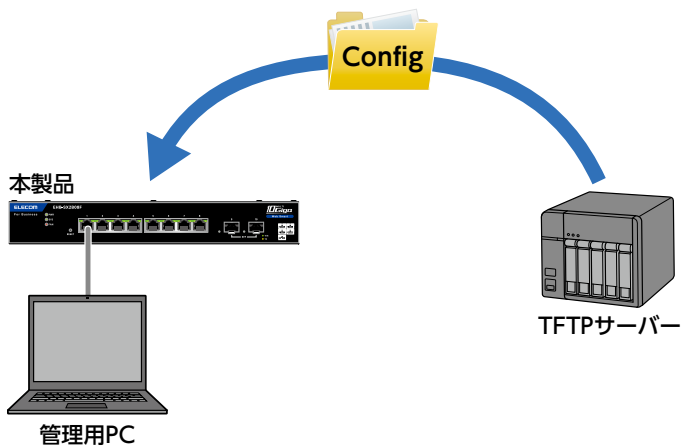
項目	内容
有効	チェックを入れると、このポートでポートセキュリティ機能を有効にします。 本製品は、このポートの MAC アドレス表に登録された MAC アドレスを持つパケットだけを転送します。一致しない MAC アドレスのパケットは破棄されます。 このチェックボックスをクリアすると、ポートセキュリティ機能を無効にし、このポートのすべてのパケットを転送します。
アドレス学習	MAC アドレス学習は、送信ブロードキャストトラフィックを削減します。 ポートで MAC アドレス学習を行うには、ポート自体がアドレス学習を有効にしてアクティブになっている必要があります。
学習可能 MAC アドレス数	ポートで学習できる（動的）MAC アドレス数の上限を設定します。 （設定範囲：0 ～ 16384） 0 にすると、この機能は無効になります。 例：ポート 2 でこの値を「5」にすると、同時にポート 2 を利用できるのは学習済みの 5 個の MAC アドレスを持つ端末だけです。 6 台目は、その 5 個のうちいずれかがエージアウトするまで待機します。 MAC アドレスのエージング時間は「システム」－「スイッチ設定」(74 ページ) 画面で設定できます。
適用	変更内容を本製品のランタイムメモリに保存します。 本製品の電源が切れると、変更内容は失われるため、「適用」をクリックしたら必ず画面上部の「保存」をクリックして、変更内容を不揮発性メモリに保存してください。

【設定】設定の復元

保存した Config ファイルで設定を復元します。

TFTPで更新する場合

TFTP サーバーに保存した Config ファイルをアドレスを指定して復元します。



ELECOM >> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

管理 >> 設定 >> 設定の復元

ダッシュボード

モニター

システム

ポート

スイッチング

ネットワーク

セキュリティ

管理

設定

設定の復元

設定のバックアップ

設定の復元

デバイス設定をファイルから復元するには、設定ファイルの場所を参照し「復元」ボタンをクリックしてください。

更新方法

TFTP

HTTP

サーバーアドレス

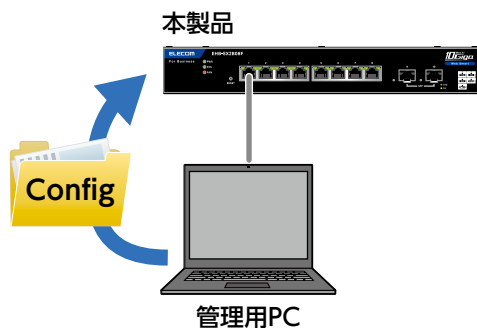
ファイル名

実行

項目	内容
更新方法	TFTP を選択します。
サーバーアドレス	TFTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。
ファイル名	復元用ファイルの名称を入力します。
実行	復元を実行します。

HTTPで更新する場合

管理用PCに保存したConfigファイルを指定して設定を復元します。



ELECOM >> Switch For Business 保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

管理 >> 設定 >> 設定の復元

ダッシュボード

モニター

システム

ポート

スイッチング

ネットワーク

セキュリティ

管理

設定

設定の復元

設定のバックアップ

設定の復元

デバイス設定をファイルから復元するには、設定ファイルの場所を参照し「復元」ボタンをクリックしてください。

更新方法 ☐ TFTP ☒ HTTP

ファイルの場所 ファイルが選択されていません。

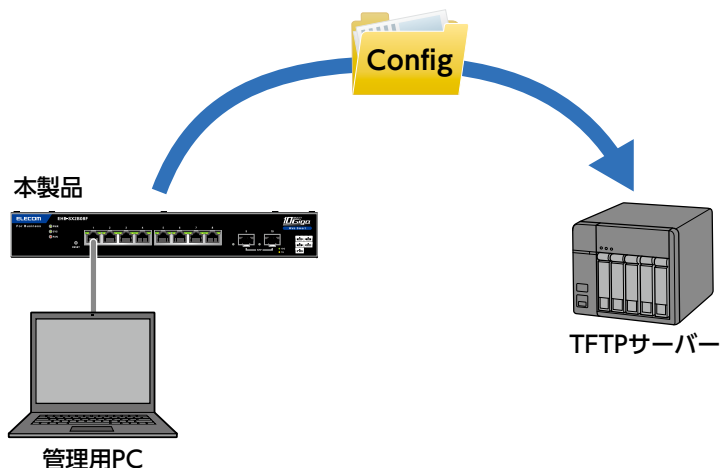
項目	内容
更新方法	HTTP を選択します。
ファイルの場所	「参照」をクリックして、バックアップで保存した復元用の config ファイルを選択します。
実行	復元を実行します。

【設定】設定のバックアップ

設定を Config ファイルにバックアップします。

TFTP でバックアップする場合

指定した TFTP サーバーに Config ファイルを保存します。



ELECOM
>> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

管理
>> 設定
>> 設定のバックアップ

ダッシュボード
モニター
システム
ポート
スイッチング
ネットワーク
セキュリティ
管理
設定
設定の復元
設定のバックアップ

設定のバックアップ

現在の設定をお使いの機器にバックアップできます。

更新方法 ☒ TFTP ☐ HTTP

サーバーアドレス

ファイル名

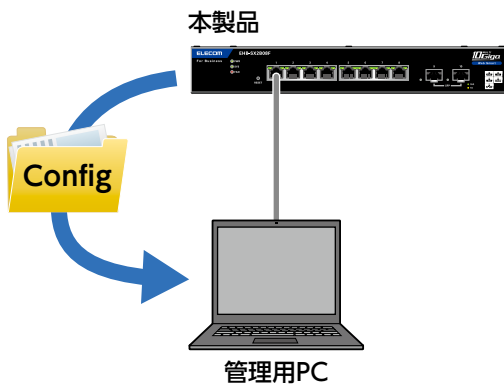
設定

項目	内容
更新方法	TFTP を選択します。
サーバーアドレス	TFTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。
ファイル名	復元用ファイルの名称を入力します。

項目	内容	
設定	バックアップする設定を選択します。	
	実行設定	実行中の設定内容をバックアップします。
	設定 1	「設定 1」に保存されている設定内容をバックアップします。
	設定 2	「設定 2」に保存されている設定内容をバックアップします。
実行	バックアップを実行します。	

HTTPでバックアップする場合

管理用PCにConfig ファイルを保存します。



ELECOM
>> Switch For Business

保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

管理 >> 設定 >> 設定のバックアップ

ダッシュボード

モニター

システム

ポート

スウィッチング

ネットワーク

セキュリティ

管理

設定

設定の復元

設定のバックアップ

設定のバックアップ

現在の設定をお使いの機器にバックアップできます。

更新方法

☐ TFTP
☒ HTTP

設定

実行設定

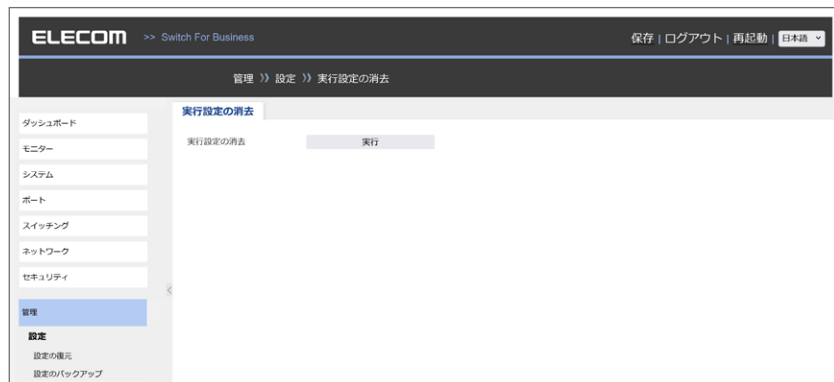
実行

項目	内容
更新方法	HTTP を選択します。

項目	内容	
設定	バックアップする設定を選択します。	
	実行設定	実行中の設定内容をバックアップします。
	設定 1	「設定 1」に保存されている設定内容をバックアップします。
	設定 2	「設定 2」に保存されている設定内容をバックアップします。
実行	バックアップを実行します。	

【設定】実行設定の消去

「実行」をクリックすると、本製品のランニングコンフィグレーションが削除されます。
工場出荷状態にリセットした場合とは異なり、ユーザ名、パスワード、システムログ、メモリログ、ボーレート、SSHサービスは削除されません。



【設定】設定の保存

「設定 1」をクリックすると、現在の設定内容が本製品の「設定 1」に永続的に保存されます。
「設定 2」をクリックすると、現在の設定内容が本製品の「設定 2」に永続的に保存されます。

The screenshot displays the ELECOM management interface. At the top, the header includes the ELECOM logo, a link to 'Switch For Business', and user options: '保存' (Save), 'ログアウト' (Logout), '再起動' (Restart), and a language dropdown set to '日本語'. Below the header, a breadcrumb trail shows '管理' (Management) > '設定' (Settings) > '設定の保存' (Save Settings). The left sidebar contains a menu with categories: 'ダッシュボード' (Dashboard), 'モニター' (Monitor), 'システム' (System), 'ポート' (Port), 'スイッチング' (Switching), 'ネットワーク' (Network), 'セキュリティ' (Security), '管理' (Management), and '設定' (Settings). The '設定' category is expanded, showing '設定の権限' (Setting Permissions) and '設定のバックアップ' (Setting Backup). The main content area is titled '設定の保存' and contains a table with two rows: '設定1' (Setting 1) with a timestamp '2022-01-01 08:39:08' and '設定2' (Setting 2) with a placeholder '--'. The table is labeled '設定の保存先' (Setting Save Destination).

設定の保存先	
設定1	2022-01-01 08:39:08
設定2	--

診断

IP アドレスの ping、tracerout、ポートテストを実行します。

■ Pingテスト

項目	内容
IPv4	IPv4 アドレスに ping を送信する場合に選択します。 それ以外の場合は「-」を選択し、本製品の全 VLAN に ping 要求を送信します。
IPv6	IPv6 アドレスに ping を送信する場合に選択します。 また、vlan を選択し、Ping 送信先の VLAN の ID 番号を指定します。 その他、本製品の全 VLAN に ping 要求を送信する場合は「-」を選択します。
IP アドレス / ホスト名	接続をテストするために ping を送信するデバイスの IP アドレスまたはホスト名を入力します。「実行」をクリックすると、本製品が IP アドレスに ping を送信します。
送信元 IP アドレス	接続をテストするために ping を送信するソース IP アドレスを入力します。 「実行」をクリックすると、本製品が IP アドレスに ping を送信します。
回数	連続して送信する ICMP エコー要求 (ping) メッセージ数を入力します。 (初期設定：3)

■ Trace Route テスト

項目	内容
IPv4	IPv4 アドレスを持つデバイスへのルートパケットをトレースする場合は、このオプションを選択します。 トレースルートを実行するデバイスは、ここで指定した VLAN に属している必要があります。
IPv6	IPv6 アドレスのデバイスへのルートパケットをトレースする場合は、このオプションを選択します。
IP アドレス / ホスト名	トレースルートを行いたい機器の IP アドレスまたはホスト名を入力します。 「実行」をクリックすると、本製品にトレースルート機能を実行させます。 これにより、パケットが指定した装置までの経路を決定します。
TTL	ICMP Echo Request パケットの TTL(Time To Live) 値を入力します。 (初期値: 30) これは、パケットが通過できるホップ（ルーター）の最大数を設定するものです。 経路上の各ルーターは TTL 値を 1 つ減らし、パケットを転送します。 TTL 値がゼロになり、宛先が見つからない場合、ルーターはパケットをドロップし、送信者に通知します。
待機時間	本製品が別のトレースルートを実行する前に、プローブに対する応答を何秒待つかを指定します。(初期値: 2 秒)
クエリ	本製品がトレースルート機能を実行する回数を指定します。(初期値: 3)

■ ケーブル診断

項目	内容
ポート	イーサネットポート番号を入力し、「実行」をクリックすると、指定したポートのイーサネット接続の物理的なワイヤペアテストを実行します。ポートを診断すると診断画面 (239 ページ) が表示されます。

● ポート診断結果画面

Port	Channel	Pair status	Cable length (m)	Distance to fault (m)
7	pairA	Ok	0.01	N/A
	pairB	Ok	1.00	N/A
	pairC	Ok	1.00	N/A
	pairD	Ok	1.18	N/A

項目	内容										
Port	本製品の物理イーサネットポートの番号です。										
Channel	ケーブル内のワイヤペアの名称が表示されます。 イーサネットケーブルには通常 4 対のワイヤがあります。10BASE-T または 100BASE-TX ポートでは 2 ペアしか使用およびテストしませんが、1000BASE-T ポートでは 4 ペアすべてが必要です。										
Pair status	<table> <tr> <td>Ok</td><td>ワイヤーペア間の物理的な接続は問題ありません。</td></tr> <tr> <td>Open</td><td>ワイヤーペア間の物理的な接続がありません（オープン回路が検出された）。</td></tr> <tr> <td>Short</td><td>ワイヤペア間の短絡が検出されました。</td></tr> <tr> <td>Unknown</td><td>本製品は、このポートに接続されたケーブルのケーブル診断の実行に失敗しました。</td></tr> <tr> <td>Unsupported</td><td>ポートがファイバーポートであるか、アクティブではありません。</td></tr> </table>	Ok	ワイヤーペア間の物理的な接続は問題ありません。	Open	ワイヤーペア間の物理的な接続がありません（オープン回路が検出された）。	Short	ワイヤペア間の短絡が検出されました。	Unknown	本製品は、このポートに接続されたケーブルのケーブル診断の実行に失敗しました。	Unsupported	ポートがファイバーポートであるか、アクティブではありません。
Ok	ワイヤーペア間の物理的な接続は問題ありません。										
Open	ワイヤーペア間の物理的な接続がありません（オープン回路が検出された）。										
Short	ワイヤペア間の短絡が検出されました。										
Unknown	本製品は、このポートに接続されたケーブルのケーブル診断の実行に失敗しました。										
Unsupported	ポートがファイバーポートであるか、アクティブではありません。										
Cable length(m)	「Pair status」が「Ok」で、本製品のチップセットがこの機能をサポートしている場合、ポートに接続されているイーサネットケーブルの全長が表示されます。 「Pair status」が「Open」または「Short」の場合、「N/A」と表示されます。障害までの距離をチェックしてください。 本製品のチップセットがケーブル長の表示をサポートしていない場合、「Unsupported」と表示されます。										
Distance to fault(m)	ポートからケーブルがオープンまたはショートしている場所までの距離が表示されます。「Pair status」が「Ok」の場合は「N/A」と表示されます。 本製品のチップセットが距離の表示をサポートしていない場合は「Unsupported」と表示されます。										

ファームウェア更新

ファームウェア更新

本製品のファームウェアをアップグレードします。

The screenshot shows the ELECOM web interface for firmware updates. The main content area is titled 'ファームウェア更新' (Firmware Update). It includes a table showing the current firmware version (1.0.0) and two available update versions (1.0.0 and 0.0.4). Below the table, there is a section for '起動ファームウェア' (Boot Firmware) with a dropdown menu set to 'ファームウェア 1'. At the bottom, there is a section for 'ファームウェアの保存先と新しいファームウェアを提供して「適用」を押してください。' (Provide the storage location for the firmware and the new firmware, and click 'Apply'). This section includes a dropdown for 'ファームウェア' (Firmware), a radio button for 'TFTP' (selected) and 'HTTP', and input fields for 'サーバーアドレス' (Server Address), 'ファイル名' (File Name), and '適用' (Apply). The '適用' button is highlighted with a red box.

新しいファームウェアをアップロードします。

→ [241 ページ](#)

■ ファームウェア更新

項目	内容
ファームウェア名	本製品の名称が表示されます。
ファームウェアバージョン	本製品には、ファームウェア 1 とファームウェア 2 の 2 つのファームウェアがフラッシュに格納されています。 現在本製品で使用しているファームウェアと、ファームウェア 1 とファームウェア 2 のバージョン番号が表示されます。

■ 起動ファームウェア

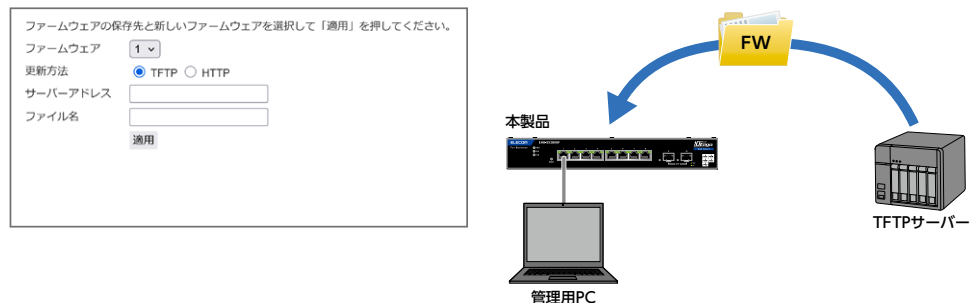
項目	内容
現在の起動ファームウェア	本製品で現在使用中のファームウェア（ファームウェア 1 またはファームウェア 2）が表示されます。
起動ファームウェアの設定	起動に使用するファームウェアを選択します。 「適用」をクリックすると、起動ファームウェアの設定が本製品の揮発性メモリに保存されます。

新しいファームウェアをアップロードする

TFTP 経由か HTTP 経由かを選択します。

■ 「更新方法」 に 「TFTP」 を選択した場合

TFTP サーバーに保存したファームウェアファイルをアドレスを指定してアップデートします。



項目	内容
ファームウェア	新しいファームウェアを、ファームウェア 1、ファームウェア 2 のどちらに適用するか選択します。
更新方法	TFTP を選択します。
サーバーアドレス	TFTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。
ファイル名	ファームウェアファイルの名称を入力します。
適用	新しいファームウェアが更新されます。 新しいファームウェアは再起動したあとに適用されます。 再起動は、「再起動」 (244 ページ) 画面からおこないます。

■ 「更新方法」に「HTTP」を選択した場合

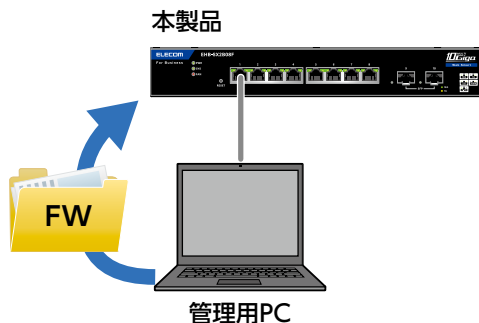
管理用PCに保存したファームウェアファイルを指定してアップデートします。

ファームウェアの保存先と新しいファームウェアを選択して「適用」を押してください。

ファームウェア 1 ▾

更新方法 ☐ TFTP ☒ HTTP

ファイルの場所 ファイルが選択されていません。



項目	内容
ファームウェア	新しいファームウェアを、ファームウェア 1、ファームウェア 2 のどちらに適用するか選択します。
更新方法	HTTP を選択します。
ファイルの場所	管理用 PC に保存しているファームウェアファイルを指定します。
適用	新しいファームウェアが更新されます。 新しいファームウェアは再起動したあとに適用されます。 再起動は、「再起動」(244 ページ) 画面からおこないます。

ファームウェア自動更新

ファームウェア自動更新機能の設定をします。

The screenshot shows the ELECOM web interface. At the top, there's a navigation bar with 'ELECOM' and '>> Switch For Business'. On the right, there are links for '保存' (Save), 'ログアウト' (Logout), '再起動' (Restart), and a language dropdown set to '日本語'. Below this is a breadcrumb trail: '管理 >> ファームウェア更新'. The left sidebar contains a menu with 'ダッシュボード', 'モニター', 'システム', 'ポート', 'スライディング', 'ネットワーク', 'セキュリティ', '管理', '設定', '診断', 'ファームウェア更新' (highlighted), and '再起動'. The main content area is titled 'ファームウェア更新' and 'ファームウェア自動更新'. It contains instructions for enabling the auto-update feature, a list of conditions (1. Product connected to the internet, 2. NTP server set in system settings), and a form to set the update frequency. The form has radio buttons for '有効' (Enabled) and '無効' (Disabled), with '有効' selected. Below this is a dropdown for '更新時刻' (Update Time) set to '自動' (Automatic). There are two informational notes: '※ファームウェア更新中は通信できません。' (Cannot communicate during update) and '※ファームウェア更新中に本体の電源を切らないでください。' (Do not power off the device during update). At the bottom of the form are '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel) buttons. Below the form, it shows '現在のファームウェアバージョン' (Current Firmware Version) as '0.0.6' and a button for '最新バージョンの確認' (Check for latest version). At the very bottom is a button for '今すぐアップデート' (Update now).

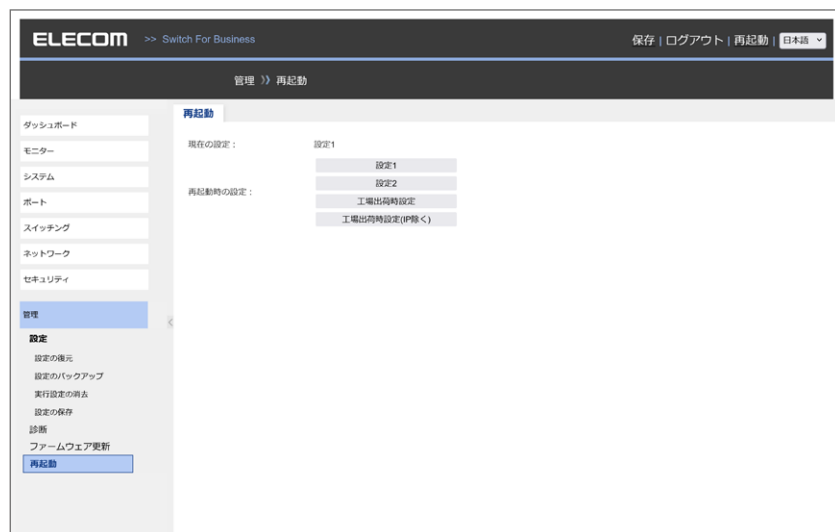
■ ファームウェア自動更新

項目	内容
ファームウェア自動更新	ファームウェア自動更新の有効 / 無効を設定します。 初期値：無効
更新時刻	自動更新の時刻を設定します。自動または 1 時間単位で設定できます。
現在のファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンが表示されます。
最新バージョンの確認	サーバーに最新ファームウェアがあるか問い合わせを行います。最新ファームウェアがあった場合、バージョンを表示してファームウェアのダウンロードを行います。
今すぐアップデート	ダウンロードしたファームウェアがあればアップデートを行います。

再起動

物理的に電源を切ることなく本製品を再起動できます。

- ① 再起動後に適用する設定プロファイルを選択します。
- ② 確認ダイアログボックスが表示されますので、「確認」をクリックします。
本製品が再起動されます（2分程度かかります）。



付録編

安全上のご注意	246
使用上のご注意	249
このマニュアルについて	250
製品の保証について	251
製品の保証とサービス	251
サポートサービスについて	252

安全上のご注意

製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

本製品は、人命にかかわる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係）への組み込みは考慮されていません。これらの機器での使用により、人身事故や財産損害が発生しても、弊社はいかなる責任も負いかねます。

■表示について

この「安全上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
 注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。
	丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されている場合があります。
	塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されている場合があります。

警告



万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

※ 万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



落雷の恐れがあるときや雷発生時は、いったん電源を切って使用を中断してください。

感電、火災、故障の原因となります。



水気の多い場所での使用、濡れた手での取り扱いはおやめください。

感電・火災の原因となります。



付属または弊社が指定する仕様・型番のACアダプター、電源ケーブルや信号ケーブル以外を本製品に使わないでください。

仕様が合わないACアダプター・ケーブル等を接続すると、本製品が故障・発煙・発火する恐れがあります。



装置の上に物を置かないでください。

本製品の上に重いものや、水の入った容器類、または虫ピン、クリップなどの小さな金属類を置かないでください。故障や感電、火災の原因になります。



揮発性液体の近くの使用は避けてください。

マニキュア、ペディキュアや除光液などの揮発性液体は、装置の近くで使わないでください。装置の中に入って引火すると火災の原因になります。



同梱の部品は、本製品でのみご使用ください。

製品に同梱されているACアダプター、あるいは電源コードは、他の電子機器では使用しないでください。仕様の違いにより、火災・故障の原因となります。



注意



通風孔はふさがらないでください。

過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。

屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。

故障や、接触不良による発火や火災の原因となります。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



電源が入っている状態で本体に長時間（10 秒以上）触れないでください。

低温やけどの原因となるおそれがあります。



地震・振動・落下対策について。

地震などによる振動で装置の落下、移動、転倒あるいは窓からの飛び出しが発生し、重大な事故へと発展するおそれがあります。これを防ぐため、必要に応じて保守会社や専門業者にご相談頂くなど、地震・振動・落下対策を実施してください。

使用上のご注意

- 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。
- 屋外で使用しないでください。
- 周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や震動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用・保管は避けてください。
- ラジオ・テレビ等の近くで使用すると、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があると、ノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。
- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告無しに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバー、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTPサイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

このマニュアルについて

- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社サポート窓口までご連絡ください。
- 本書に掲載されている商品名／社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。

製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証とご使用にあたっての注意について記載した文書「安全にお使いいただくために」が付いています。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より3年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については製品情報に記載の保証規定をご確認ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、「安全にお使いいただくために」に記載の保証規定をご確認ください。

●その他のご質問などに関して

次ページ「サポートサービスについて」をお読みください。

サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアルなどをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

詳細は…

サポートポータルサイト「えれさぽ」へ



エレコム法人様サポートセンター

TEL: **0570-070-040**

【受付時間】 9:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 18:00 （月曜日～金曜日）

※ 祝日、夏期、年末年始特定休業日を除く

ネットワークサポートにお電話される前に

お問い合わせの前に以下の内容をご用意ください。

- ・ 弊社製品の型番
 - ・ ご質問内容 (症状、やりたいこと、お困りのこと)
- ※ 可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

日本以外でご購入されたお客様は、購入国の販売店舗へお問い合わせください。

エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入・ご使用による問い合わせ・サポート対応は致しかねます。また、日本語以外の言語でのサポートは致しかねます。商品交換は保証規定に沿って対応致しますが、日本以外からの商品交換は対応致しかねます。

This product is designed for use in Japan only.

A customer who purchases outside Japan should contact the local retailer in the country of purchase for enquiries. In "ELECOM CO., LTD. (Japan)", no customer support is available for enquiries about purchases or usage in/from any countries other than Japan. Also, no foreign language other than Japanese is available. Replacements will be made under stipulation of the Elecom warranty, but are not available from outside of Japan.



レイヤー 2 10G 対応 Web スマートスイッチ EHB-SX2B08F
レイヤー 2 2.5G 対応 Web スマートスイッチ EHB-SQ2B08
レイヤー 2 10G 対応 PoE Web スマートスイッチ EHB-SX2B08F-PH
レイヤー 2 2.5G 対応 PoE Web スマートスイッチ EHB-SQ2B08F-PL

ユーザーズマニュアル

発行 エレコム株式会社

ELECOM

リモート管理サービス



AdminLink

アドミリンク

User's Manual

ユーザーズマニュアル

第5版

2026/2/17

もくじ

導入編	5
用語	6
このマニュアルで使われている用語	6
このマニュアルで使われている記号	6
本ツールの免責事項について	6
本製品の概要	7
アドミリンクに登録する	8
基本操作編	12
ログイン/ログアウト	13
ログイン方法	13
ログアウト方法	14
ホーム画面の構成	15
共通メニュー	16
デバイス一覧	17
スマートフォンでの画面表示	19
スマートフォンアクセス時の機能制限	21
設定編	22
初期設定の流れ	23
管理グループに登録する	24
ユーザーに登録する	28
権限を設定する	32
ゼロコンフィグ導入時のデバイス設定	33
デバイスをクラウドに登録する	33
設定をクラウドに保存する	36
クラウドに保存済みのデータを編集する	39
現地設定またはゼロコンフィグ非導入時のデバイス設定	41

デバイス登録コードを取得する	41
デバイス登録コードをクラウドに入力する	56
デバイスに必要情報を入力する	62
デバイス側のアドミリンク機能を確認 / 設定する	65
アクセスポイントの場合	65
スイッチングハブの場合	69
Windows NAS の場合	73
Linux NAS の場合	78
運用編	82
デバイスの情報を閲覧する	83
デバイス詳細画面の表示方法	83
デバイス詳細画面	84
グラフ画面	85
イベント一覧を見る	87
イベント一覧画面の表示方法	87
イベント一覧画面の見方	88
デバイス設定をする	90
デバイスの設定を変更する	90
デバイスの設定を復元する	93
遠隔操作をする	96
遠隔操作のタスクを登録する	96
遠隔操作一覧画面の表示方法	99
遠隔操作一覧画面の見方	100
デバイス一覧画面の表示設定をする	101
ユーザーを編集 / 削除する	105
管理グループを削除・編集する	106
デバイスを編集 / 削除する	107
サポートサービスについて	108

付録編	109
ライセンス情報.....	110

導入編

用語	6
このマニュアルで使われている用語	6
このマニュアルで使われている記号	6
本ツールの免責事項について	6
本製品の概要	7
アドミリンクに登録する	8

このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
デバイス	アドミリンクに対応するネットワーク製品を「デバイス」と表示しています。
契約者	契約者は、最初にアカウント登録するユーザーで、すべての権限を所有し、全体の管理を行うユーザーです。 アドミリンクの契約を解除できる唯一のユーザーです。
管理者ユーザー	すべての権限を所有し、全体の管理を行うユーザーです。
グループ管理者ユーザー	所属する管理グループおよびデバイスについて全権を所有し、担当するグループの管理を行うユーザーです。
一般ユーザー	与えられたデバイス操作権限の範囲でデバイスの管理を行うユーザーです。
管理グループ	複数のユーザーとデバイスをまとめたグループを指します。

このマニュアルで使われている記号

記号	意味
重要	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、故障の原因になることがあります。注意してください。
MEMO	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

本ツールの免責事項について

免責事項

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

本製品の概要

■管理対象ネットワーク機器の拡充

従来のNAS製品 (Linux NAS、Windows NAS) に加え、新たに無線アクセスポイントとWebスマートスイッチも管理対象となりました。また、特別な知識を必要とせず、視覚的に機器の動作状況を確認することができます。

最新の対象機種は下記からご確認ください。

<https://www.elecom.co.jp/r/s349>

■遠隔地から簡単にネットワーク機器の管理ができる

ネットワーク機器の遠隔操作により、現地に訪問せず自席からネットワーク機器障害の確認ができるようになりました。また、稼働状況は任意のグループで共有できるため、業務担当ごとに権限設定し、ネットワーク機器管理者の負担を軽減します。

■費用や時間をかけず、ネットワーク障害への対応が可能

ネットワーク機器管理システムの導入や維持費用はかかりません。サーバーやアプリケーションの手配およびインストールやセットアップ作業も不要です。アドミリンクに対応した当社製のネットワーク機器を購入すれば、短時間で初期設定が完了し、すぐに機器の管理を開始することができます。

■ネットワーク機器の設定を自動保存

機器の設定ファイルは、アドミリンクへ自動的に保存されます。障害による製品交換が発生しても、アドミリンクに保存された設定ファイルで復元できるため、製品交換の手間を最小限に抑えます。

※ Windows NASは非対応です。

アドミリンクに登録する

「アドミリンク」サービスを使用するためには、最初にアカウントに登録する必要があります。

- 1 Webブラウザを起動し、以下のURLにアクセスします。

<https://admin-link.net>



- 2 ログイン画面が表示されますので、「新規登録」をクリックします。

A screenshot of the AdminLink web application interface. The header features the 'ELECOM' logo on the left and a 'ヘルプ' (Help) icon on the right. The main title 'AdminLink' is centered at the top. Below the title, there are two input fields: 'メールアドレス' (Email Address) and 'パスワード' (Password) with a toggle icon. A blue 'ログイン' (Login) button is positioned below these fields. Underneath the login button, there are two links: '→ ユーザーIDでログイン' and '→ パスワードを忘れた方'. At the bottom of the login section, a '新規登録' (New Registration) button is highlighted with a red rectangular border. The footer contains a small disclaimer in Japanese: '本システムではログイン時にメール認証が必要です。ログインすると、登録済みのメールアドレスに確認コードが送信されますので、次の画面で確認コードを入力してください。' (This system requires email authentication when logging in. When you log in, a confirmation code will be sent to your registered email address, so please enter the confirmation code on the next screen.)

- 3 「アドミリンク新規登録」画面が表示されますので、メールアドレスを入力し、「送信」をクリックします。**

AdminLink ヘルプ

アドミリンク新規登録

● メールアドレス入力 ○ メール確認 ○ 契約情報入力 ○ 契約情報確認 ○ 登録完了

アドミリンクに登録するメールアドレスを入力し、「送信」ボタンを押してください。
入力されたメールアドレス宛に、アドミリンク新規登録URLが記載されたメールを送信いたしますので、
メールに記載されているURLから、登録を行ってください。

【ご登録の前にお読みください】

アドミリンクから送信されるメールの送信元アドレスは、noreply@admin-link.net です。
フリーメールアドレスをご利用の場合は、送信メール対策設定をされている場合は、「送信メール」フォルダに移り分けられたり、受信が拒否される
場合がございます。この送信元アドレスが受信拒否されないよう、メールの受信設定をご確認ください。
また、「送信メール」に移り分けられないよう、メールフィルタの設定変更や、必要に応じて「迷惑メール」等へのご登録をお願いいたします。

メールアドレスを入力してください。

確認のため、もう一度入力してください。

送信

MEMO

障害発生時や、「アドミリンク」サービスからのお知らせは、ここで登録いただいたメールアドレス宛に配信されます。

- 4 登録したメールアドレス宛に、新規登録 URL が記載されたメールが届きますので、リンクをクリックして登録ページに移動します。**

MEMO

アドミリンク新規登録用 URL の有効期限は「送信」をクリックしてから 60 分間です。
有効期限内に登録を完了できなかった場合は、新規登録作業をもう一度やり直して
いただく必要があります。

※ 本サービスでは、半角スペースのみの文字列、および半角記号の , " ' ` = \$ & / は使えません。

10

6 確認ページが表示されますので、問題なければ、「登録」をクリックします。

7 アカウント登録完了画面が表示されますので、「ログインページへ」をクリックします。

基本操作編

ログイン／ログアウト	13
ログイン方法	13
ログアウト方法	14
ホーム画面の構成	15
共通メニュー	16
デバイス一覧	17
スマートフォンでの画面表示	19
スマートフォンアクセス時の機能制限	21

ログイン／ログアウト

ログイン方法

1 ログイン画面から、各項目を入力し、ログインをクリックします。

入力したメールアドレス宛に確認コードが送付されます。

■ ユーザー ID でログインする場合

■ 契約者でログインする場合

重要

アカウントIDまたはパスワードの入力ミス等によりログインに5回失敗した場合、対象アカウントはロックされ、ログインできなくなります。

アカウントがロックされた場合は、ログインページの「パスワードを忘れた方」をクリックし、パスワードを再設定する必要があります。

項目	内容
契約者でログイン/ ユーザー ID でログイン	パネルを切り替えます。
パスワードを忘れた方	パスワードを忘れた場合にクリックします。

- 2 「確認コード入力」画面が表示されたら、メールに記載された確認コードを入力して「ログイン」をクリックします。
- 3 「お知らせ」画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。
トップページが表示されたら、アカウント登録は完了です。

ログアウト方法

- 1 管理画面右上の「ログアウト」をクリックします。



ホーム画面の構成

共通メニュー
→ [16ページ](#)

AdminLink

デバイス一覧

イベント一覧

通函操作一覧

お知らせ

ヘルプ

ログアウト

管理グループ一覧

ユーザー一覧

権限設定

デバイス一覧

画面更新

種類 すべて シリーズ すべて 製品型番 すべて ファームウェアバージョン すべて

管理グループ すべて ステータス すべて キーワード検索

デバイス登録

一括操作

表示設定

CSV出力

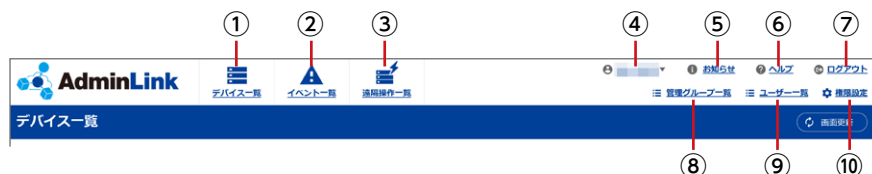
データ件数: 49件

もっと見る

すべて表示

デバイス一覧
→ [17ページ](#)

共通メニュー



項目	内容										
① デバイス一覧	デバイス一覧画面を表示します。										
② イベント一覧	イベント一覧画面を表示します。 → 88 ページ「イベント一覧画面の見方」										
③ 遠隔操作一覧	遠隔操作一覧画面が表示します。 → 100 ページ「遠隔操作一覧画面の見方」										
④ ユーザーメニュー	ユーザーメニューを表示します。 <契約者でログインしている場合> <table border="1"> <tr> <td>契約者情報</td><td>契約者情報を表示します。</td></tr> <tr> <td>メールアドレス変更</td><td>登録されているメールアドレスを変更します。</td></tr> <tr> <td>パスワード変更</td><td>ログイン時のパスワードを変更します。</td></tr> <tr> <td>サポート番号表示</td><td>サポート番号を表示します。</td></tr> </table> <契約者以外のユーザーでログインしている場合> <table border="1"> <tr> <td>パスワード変更</td><td>ログイン時のパスワードを変更します。</td></tr> </table>	契約者情報	契約者情報を表示します。	メールアドレス変更	登録されているメールアドレスを変更します。	パスワード変更	ログイン時のパスワードを変更します。	サポート番号表示	サポート番号を表示します。	パスワード変更	ログイン時のパスワードを変更します。
契約者情報	契約者情報を表示します。										
メールアドレス変更	登録されているメールアドレスを変更します。										
パスワード変更	ログイン時のパスワードを変更します。										
サポート番号表示	サポート番号を表示します。										
パスワード変更	ログイン時のパスワードを変更します。										
⑤ お知らせ	「お知らせ」画面を表示します。										
⑥ ヘルプ	本サービスの詳細ページを表示します。										
⑦ ログアウト	ログアウトします。										
⑧ 管理グループ一覧	管理グループ一覧画面を表示します。										
⑨ ユーザー一覧	ユーザー一覧画面を表示します。										
⑩ 権限設定	登録したユーザーに対して権限を設定します。 → 32 ページ「権限を設定する」										

デバイス一覧

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

デバイス	ステータス	接続状態	種類	型番	製品シリアル	管理グループ	最終ステータス取得日時	備考
☐ EHB-SG2C24F-HPL	正常	接続中	スイッチ	EHB-SG2C24F-HPL		長野支社	2025/12/23 08:16:39	
☐ EHB-SG2C24F-HPL	エラー	不明	スイッチ	EHB-SG2C24F-HPL		長野支社	2024/09/03 14:49:36	
☐ EHB-SG2C24F-PL	正常	接続中	スイッチ	EHB-SG2C24F-PL		長野支社	2025/12/23 08:14:29	
☐ EHB-SQ2A08	正常	接続中	スイッチ	EHB-SQ2A08		長野支社	2025/12/23 08:27:57	
☐ EHB-SQ2B08	正常	接続中	スイッチ	EHB-SQ2B08		長野支社	2025/12/23 09:09:49	
☐ EHB-SQ2B08	エラー	切断	スイッチ	EHB-SQ2B08		長野支社	2025/10/09 13:43:00	
☐ EHB-SQ2B08F-PL	エラー	切断	スイッチ	EHB-SQ2B08F-PL		長野支社	2025/04/15 14:15:36	

項目	内容
① フィルター	デバイス一覧表示を「すべて」または任意の情報でフィルタリングして表示します。 フィルタリング可能な任意の項目
	種類
	すべて / NAS / スイッチ / AP
	シリーズ
	すべて / 登録済みの製品名またはシリーズ名
	製品型番
	すべて / 選択中のシリーズに含まれる製品型番
	ファームウェアバージョン
	すべて / 選択中の製品型番のファームウェアバージョン
	管理グループ
	すべて / 登録済みの管理グループ名
	ステータス
	すべて / エラー・警告のみ / エラーのみ
② キーワード検索	表示するデバイスをキーワードにより検索します。 以下の項目から部分一致検索が可能です。 ・デバイス / 型番 / 製品シリアル / 管理グループ / 備考 / IP アドレス / MAC アドレス / 保守契約番号

項目	内容
③ デバイス一覧	本サービスで管理しているデバイスの一覧を表示します。 デバイス名をクリックすると、「デバイス詳細画面」が表示されます。 「接続状態」は通常、「接続中」か「切断」のどちらかが表示されますが、下記の場合に「不明」と表示されます。 ● デバイスとサーバー間で一度も接続ができていない場合。 ● デバイスが NAS みるエージェントで通信している場合 (NAS のみ)。 「不明」と表示された場合には、下記をご確認ください。 ● プロキシの設定をご確認ください。 ● NAS みるエージェントで通信している場合には、アドミリンクエージェントに更新してください。
④ デバイス登録	レジストコードを使用してデバイスを登録します。 詳しくは別冊の「アドミリンクゼロコンフィグマニュアル」を参照ください。
⑤ 一括操作	チェックボックスで選択したデバイスに対して一括で操作します。
⑥ 表示設定	デバイス一覧画面の表示方法を設定します。 → 101 ページ
⑦ CSV 出力	デバイス一覧を CSV 形式でエクスポートします。ファイル名はタイムスタンプで表示されます。例) 20220418154221.csv
⑧ 画面更新	画面表示を最新の情報に更新します。

スマートフォンでの画面表示

パソコンでアクセスする場合とスマートフォンでアクセスする場合では、表示や一部の機能に差があります。

The screenshot shows the AdminLink mobile interface. At the top, there is a header bar with the AdminLink logo on the left and a hamburger menu icon on the right. Below the header, there is a dark blue bar with the text 'デバイス一覧' (Device List) and a '画面更新' (Refresh) button. Below this is a light blue bar with the text '条件/表示設定' (Conditions/Display Settings). The main content area displays two device status cards. The first card is for device '5A1BL' and the second is for '7A4BL'. Each card shows fields for Status, Connection Status, Type, Model Number, Product Serial Number, Management Group, Latest Status, and Acquisition Date. Red arrows point to the hamburger menu icon and the dropdown arrow icon in the '条件/表示設定' bar.

AdminLink

デバイス一覧 画面更新

条件/表示設定

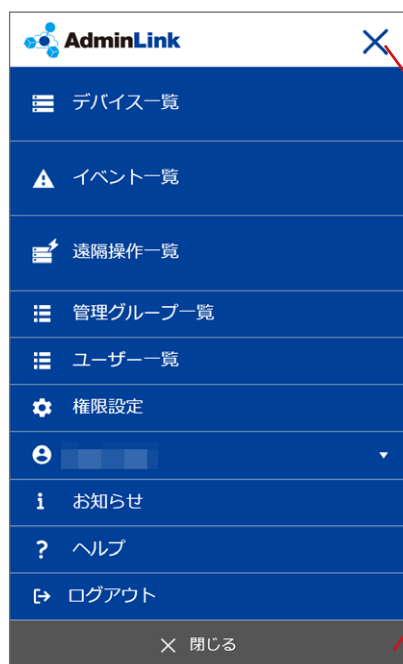
5A1BL

ステータス	正常
接続状態	接続中
種類	NAS
型番	NSB-5A1T1BL
製品シリアル	
管理グループ	長野支社
最新ステータス 取得日時	2022/04/18 20:34:03
備考	

7A4BL

ステータス	正常
接続状態	接続中
種類	NAS
型番	NSB-7A2T4BL
製品シリアル	
管理グループ	長野支社
最新ステータス 取得日時	2022/04/18 20:36:03

<メインメニュー>



メインメニューを閉じます。

スマートフォンアクセス時の機能制限

スマートフォンでアクセスしているときは、以下の機能が使用できません。

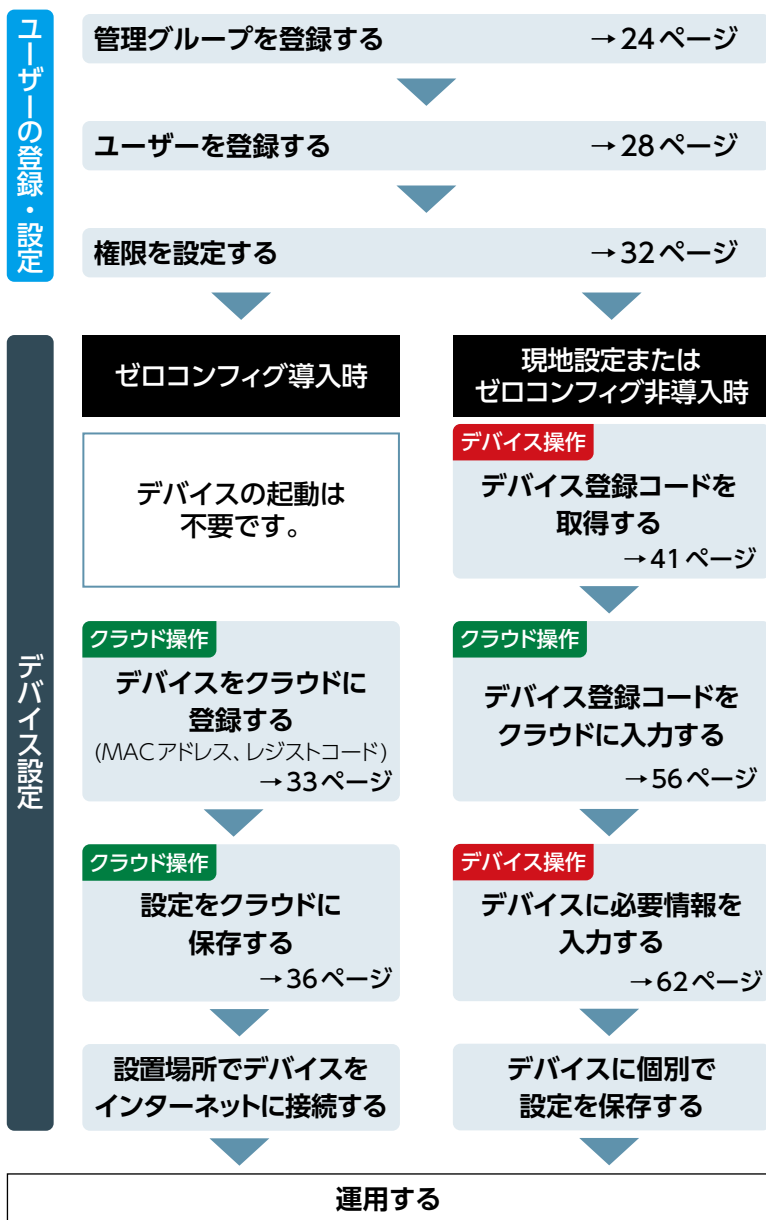
画面	スマートフォンから操作できない機能
デバイス一覧	一括操作（最新ステータス取得、遠隔操作、情報更新）、CSV 出力、ソート
デバイス情報 (NAS)	「ログ」タブ、「設定情報」タブ
デバイス情報 (スイッチングハブ)	「ログ」タブ、「設定情報」タブ、「接続クライアント」タブ
デバイス情報 (アクセスポイント)	「ログ」タブ、「設定情報」タブ、「接続クライアント」タブ
イベント一覧	CSV 出力、ソート
遠隔操作一覧	ソート切り替え
遠隔操作登録	ファームウェアアップデート
ユーザー一覧	ソート
管理グループ一覧	ソート
一般ユーザー操作権限設定	ソート

設定編

初期設定の流れ	23
管理グループを登録する	24
ユーザーを登録する	28
権限を設定する	32
ゼロコンフィグ導入時のデバイス設定	33
デバイスをクラウドに登録する	33
設定をクラウドに保存する	36
クラウドに保存済みのデータを編集する	39
現地設定またはゼロコンフィグ非導入時のデバイス 設定	41
デバイス登録コードを取得する	41
デバイス登録コードをクラウドに入力する	56
デバイスに必要情報を入力する	62
デバイス側のアドミリンク機能を確認 / 設定する	65
アクセスポイントの場合	65
スイッチングハブの場合	69
Windows NAS の場合	73
Linux NAS の場合	78

初期設定の流れ

アドミリンクをはじめて使用する場合は、以下の順番で初期設定をします。



管理グループを登録する

デバイスを登録するためには管理グループを作成する必要があります。
管理グループをまだ作成していない場合は、以下の手順で管理グループを登録します。

すでに管理グループが登録されている場合は、[33 ページ「デバイスをクラウドに登録する」](#) (ゼロコンフィグ導入時)、または [41 ページ「デバイス登録コードを取得する」](#) (ゼロコンフィグ非導入時) に進んでください。

1 共通メニューから「管理グループ一覧」を選択します。

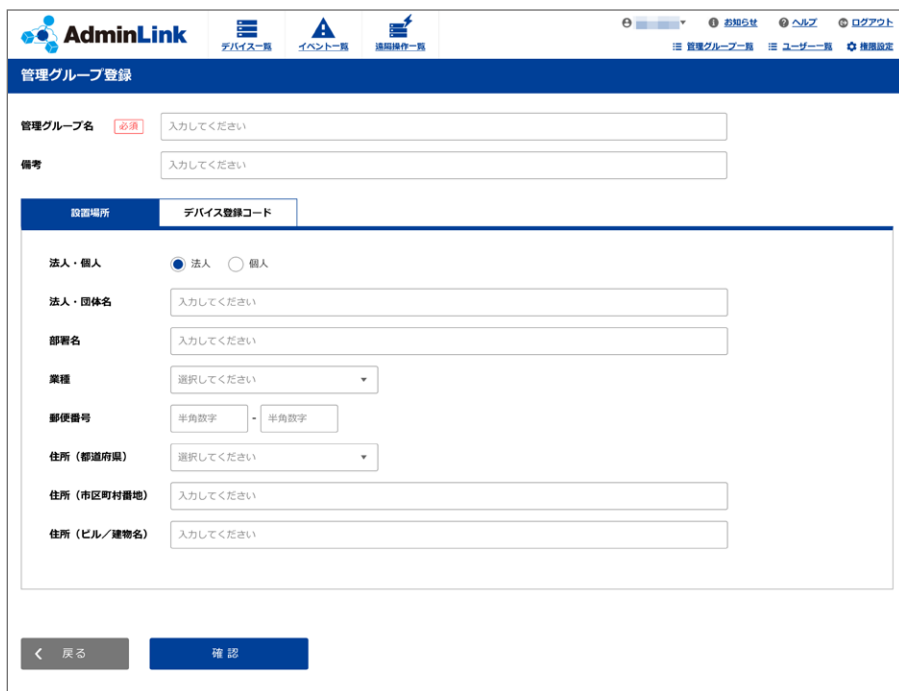


2 「管理グループ一覧」画面が表示されますので、「管理グループ登録」をクリックします。



3 「管理グループ登録」画面が表示されますので、以下の項目を入力します。

※ 本サービスでは、半角スペースのみの文字列、および半角記号の , ' ` = \$ & ¥ は使えません。



項目	内容
管理グループ名	管理グループ名を入力します。(255 字以内)
備考	備考を入力します。

■ 設置場所

項目	内容
法人・個人	法人・個人を選択します。

項目	内容
法人・団体名	「法人」を選択した場合に情報を入力します。
部署名	
業種	
郵便番号	設置場所の情報を入力します。
住所	

4 引き続きデバイスを登録するときは「デバイス登録コード」をクリックします。

→ デバイスの登録方法は [56 ページ「デバイス登録コードをクラウドに入力する」](#) をご参照ください。

5 「確認」をクリックして確認画面に進みます。











[管理グループ一覧](#)
[ユーザー一覧](#)
[権限設定](#)

管理グループ登録

管理グループ名 必須

備考

設置場所

デバイス登録コード

法人・個人

☒ 法人
☐ 個人

法人・団体名

部署名

業種

業種

▼

郵便番号

住所（都道府県）

都道府県

▼

住所（市区町村番地）

住所（ビル／建物名）

戻る

確認

6 内容を確認し、「登録」をクリックします。

AdminLink

デバイス一覧 イベント一覧 通知操作一覧

管理グループ登録

管理グループ名 東京支社

備考

設置場所 デバイス登録コード

法人・個人 法人

法人・団体名 エレコム株式会社

部署名 営業部

業種 情報通信業

郵便番号 100-0001

住所(都道府県) 東京都

住所(市区町村/番地) 千代田区千代田

住所(ビル/建物名) エレコムビル

戻る 登録

管理グループが追加され、一覧に表示されます。

AdminLink

デバイス一覧 イベント一覧 通知操作一覧

管理グループ一覧

検索

+ 管理グループ登録

データ件数: 1件

管理グループ	デバイス数	ユーザー数	備考	設置場所
東京支社	5	0		東京都千代田区千代田

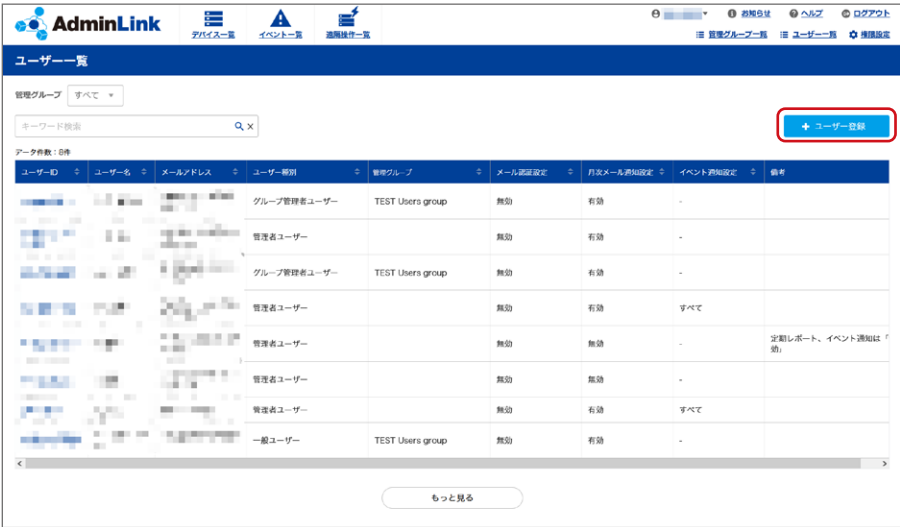
もっと見る

ユーザーを登録する

1 共通メニューから「ユーザー一覧」を選択します。



2 「ユーザー一覧」画面が表示されますので、「ユーザー登録」をクリックします。



3 「ユーザー登録」画面が表示されますので、以下の項目を設定し、「確認」をクリックします。

※ 本サービスでは、半角スペースのみの文字列、および半角記号の , ' ` = \$ & ¥ は使えません。



デバイス一覧

イベント一覧

通報案件一覧

お知らせ

ヘルプ

ログアウト

管理グループ一覧

ユーザー一覧

権限設定

ユーザー登録

ユーザーID

必須

ユーザー名

必須

メールアドレス

必須

半角

@

半角

メールアドレス確認

必須

ユーザー種別

必須

選択してください

管理グループ

必須

☐ すべて

☐ TEST Users group

☐ TEST01

メール認証設定

必須

有効

※ログイン時に、確認コードがユーザーのメールアドレス宛に送信されます。

メール認証設定は無効にすることはできません。

月次通知メール設定

☒ 登録製品の定期レポート（月次）メール送信を有効にする

イベント通知設定

必須

☐ 有効（1回のみ通知）
 ☒ 有効（対処されるまで通知）
 ☐ 無効

必須

通知フィルター：

☒ すべて
 ☐ エラー・警告のみ
 ☐ エラーのみ

通知イベントメール件名：

※以下のパラメータをメール件名に使用することができます。

#d：デバイス名

#g：管理グループ名

#s：ステータス（情報／エラー／警告）

備考

< 戻る

確認

項目	内容
ユーザー ID	ユーザー ID を入力します。すでに登録されているユーザー ID は設定できません。(255 文字以内の半角英数字)
ユーザー名	ユーザー名を入力します。(255 文字以内)

項目	内容	
メールアドレス／ メールアドレス確認	メールアドレスを入力します。	
ユーザー種別	ユーザーの種別を選択します。	
	管理者ユーザー	すべての機能を使用することができます。
	グループ管理者 ユーザー	管理グループを新規で登録したり、削除することはできません。 また、自身が所属していない管理グループの編集はできません。
	一般ユーザー	「デバイス操作権限」で権限を設定します。
デバイス操作権限	「ユーザー種別」で「一般ユーザー」を選択した場合、付与する権限を設定します。	
	なし	デバイス情報の参照、遠隔操作、デバイス登録情報の編集はできません。 アドミリンクからの月次通知メールおよびイベント通知を受け取ることもできません。
	参照	デバイス情報の参照ができます。 アドミリンクからの月次通知メールおよびイベント通知を受け取ることができます。
	参照・遠隔操作	「参照」の権限に加え、遠隔操作を実施できます。
	参照・遠隔操作・ 情報編集	「参照・遠隔操作」の権限に加え、デバイス登録情報の編集ができます。
管理グループ	所属する管理グループを選択します。 「ユーザー種別」で「管理者」を選択している場合は、グループの選択はできません。	
メール認証設定	ログイン時に毎回、メールアドレス宛に認証用の確認コードが送信されます。（無効にすることはできません）	
月次通知メール設定	チェックを入れると、毎月登録製品の定期レポートをメールアドレス宛に送信します。	

項目	内容						
イベント通知設定	イベントが発生したときの通知方法を設定します。						
	<table><tr><td>有効 (1 回のみ通知)</td><td>イベント発生後、1 回のみメールアドレス宛に通知します。</td></tr><tr><td>有効 (対処されるまで通知)</td><td>イベント発生後、対処されるまでメールアドレス宛に通知します。</td></tr><tr><td>無効</td><td>イベントが発生しても通知しません。</td></tr></table>	有効 (1 回のみ通知)	イベント発生後、1 回のみメールアドレス宛に通知します。	有効 (対処されるまで通知)	イベント発生後、対処されるまでメールアドレス宛に通知します。	無効	イベントが発生しても通知しません。
	有効 (1 回のみ通知)	イベント発生後、1 回のみメールアドレス宛に通知します。					
	有効 (対処されるまで通知)	イベント発生後、対処されるまでメールアドレス宛に通知します。					
	無効	イベントが発生しても通知しません。					
	通知フィルター						
<table><tr><td>すべて</td><td>すべてのイベントを通知します。</td></tr><tr><td>エラー・警告のみ</td><td>エラー・警告イベントのみ通知します。</td></tr><tr><td>エラーのみ</td><td>エラーイベントのみ通知します。</td></tr></table>	すべて	すべてのイベントを通知します。	エラー・警告のみ	エラー・警告イベントのみ通知します。	エラーのみ	エラーイベントのみ通知します。	
すべて	すべてのイベントを通知します。						
エラー・警告のみ	エラー・警告イベントのみ通知します。						
エラーのみ	エラーイベントのみ通知します。						
通知イベントメール件名							
イベントをメールで通知する際の件名を設定します。 「#d」にはデバイス名、「#g」には管理グループ名、「#s」にはステータス情報が入ります。 例) 【アドミリンク】からのお知らせ (#d) 「#s」 と設定すると、 【アドミリンク】からのお知らせ (営業部 NAS) 「エラー」 となります。							
備考	メモなどを入力します。						

ユーザーが追加され、一覧に表示されます。

権限を設定する

デバイスごとに一般ユーザーが操作できる権限を設定します。

1 共通メニューから「権限設定」を選択します。



2 以下の手順で権限を設定します。

- ① 権限を設定するデバイスを選択します。
- ② 操作権限を設定します。

なし	デバイス情報の参照、遠隔操作、デバイス登録情報の編集はできません。 アドミリンクからの月次通知メールおよびイベント通知を受け取ることもできません。
参照	デバイス情報の参照ができます。 アドミリンクからの月次通知メールおよびイベント通知を受け取ることができます。
参照・遠隔操作	「参照」の権限に加え、遠隔操作を実施できます。
参照・遠隔操作・ 情報編集	「参照・遠隔操作」の権限に加え、デバイス登録情報の編集ができます。

③ 「設定」をクリックします。

AdminLink

一般ユーザー操作権限設定

下の一覧表でチェックをつけたデバイスに対して、一般ユーザーに割り当てる操作権限を選択し、「設定」ボタンを押してください。

① 一般ユーザー操作権限 ③ 設定

管理グループ すべて ▼ デバイス すべて ▼ ユーザー すべて ▼

データ件数: 56件

デバイス	対象シリアル	管理グループ	一般ユーザー名	デバイス操作権限
☐ M1775-PS		長野支社	Test User1	参照・遠隔操作・情報編集
☐ M1775-PS		長野支社	Test User2	参照・遠隔操作・情報編集
☐ EHB-SG2C24F-HPL		長野支社	Test User3	なし
☐ EHB-SG2C24F-HPL		長野支社	Test User4	参照
☐ EHB-SG2C24F-HPLテスト登録		長野支社	Test User5	なし
☐ EHB-SG2C24F-HPLテスト登録		長野支社	Test User6	参照
☐ EHB-SG2C24F-PL		長野支社	Test User7	なし
☐ EHB-SG2C24F-PL		長野支社	Test User8	参照
☐ EHB-SG2A08(D0C9)		長野支社	Test User9	なし

ゼロコンフィグ導入時のデバイス設定

デバイスをクラウドに登録する

1 管理グループを登録します。

デバイスを登録するためには管理グループを作成する必要があります。
管理グループをまだ作成していない場合は、[24 ページ「管理グループを登録する」](#)の手順を参考に、管理グループを登録します。

2 共通メニューから「デバイス一覧」を選択します。



3 「デバイス一覧」画面が表示されますので、「デバイス登録」をクリックします。

デバイス一覧

画面更新

種類

すべて

シリーズ

すべて

製品型番

すべて

ファームウェアバージョン

すべて

管理グループ

すべて

ステータス

すべて

キーワード検索

Q x

デバイス登録

一括操作

▼

表示設定

CSV出力

データ件数: 49件

☐	デバイス	ステータス	接続状態	種類	型番	製造シリアル	管理グループ	最新ステータス取得日時	備考
☐	EHB-SG2C24F-HPL	正常	接続中	スイッチ	EHB-SG2C24F-HPL		長野支社	2025/12/23 08:16:39	
☐	EHB-SG2C24F-HPL	エラー	不明	スイッチ	EHB-SG2C24F-HPL		長野支社	2024/09/03 14:49:36	
☐	EHB-SG2C24F-PL	正常	接続中	スイッチ	EHB-SG2C24F-PL		長野支社	2025/12/23 08:14:29	
☐	EHB-SQ2A08	正常	接続中	スイッチ	EHB-SQ2A08		長野支社	2025/12/23 08:27:57	
☐	EHB-SQ2B08	正常	接続中	スイッチ	EHB-SQ2B08		長野支社	2025/12/23 09:09:49	
☐	EHB-SQ2B08	エラー	切断	スイッチ	EHB-SQ2B08		長野支社	2025/10/09 13:43:00	
☐	EHB-SQ2B08F-PL	エラー	切断	スイッチ	EHB-SQ2B08F-PL		長野支社	2025/04/15 14:15:36	

3 登録したいデバイスの「MACアドレス」、「レジストコード」を入力し、「登録先管理グループ」を選択します。

MACアドレスは「AA:AA:AA:AA:AA:AA」の形式で入力してください。
入力したら、「確認」をクリックします。

AdminLink

デバイス一覧

イベント一覧

通知操作一覧

お知らせ

ヘルプ

ログアウト

管理グループ一覧

ユーザー一覧

権限設定

デバイス登録

デバイス登録の手順

1. デバイス登録には管理グループが必要です。管理グループが無い場合は、先に[管理グループ登録](#)から管理グループを作成してください。

2. 本システムに新規登録するデバイスのMACアドレス、レジストコードを入力または CSV で読み込み、管理グループに紐づけてください。
対応機種とレジストコードの確認方法は[こちら](#)。

※レジストコードが無い場合は、[管理グループ一覧](#) からデバイス登録コードを使用して登録してください。

※手入力では1回に10件まで登録可能です。10件以上登録したい方はCSVアップロードをご利用ください。

登録方法

☒ 手入力
☐ CSVアップロード

MACアドレス	レジストコード	登録先管理グループ	
38:97:A4:8A:34:20	56426358	東京支社	クリア
38:97:A4:8A:35:C4	88638807	東京支社	クリア
XX:XX:XX:XX:XX:XX	8桁の数字	東京支社	クリア
XX:XX:XX:XX:XX:XX	8桁の数字	東京支社	クリア
XX:XX:XX:XX:XX:XX	8桁の数字	東京支社	クリア
XX:XX:XX:XX:XX:XX	8桁の数字	東京支社	クリア
XX:XX:XX:XX:XX:XX	8桁の数字	東京支社	クリア
XX:XX:XX:XX:XX:XX	8桁の数字	東京支社	クリア
XX:XX:XX:XX:XX:XX	8桁の数字	東京支社	クリア
XX:XX:XX:XX:XX:XX	8桁の数字	東京支社	クリア
XX:XX:XX:XX:XX:XX	8桁の数字	東京支社	クリア

戻る

確認

「登録方法」で「CSVアップロード」を選択すると、CSV ファイルから一括でデバイス登録をすることができます。

登録方法

☐ 手入力
☒ CSVアップロード

アップロードできるCSVの形式は以下の通りです。

・MACアドレス、レジストコード（8桁数字）、管理グループ名のカンマ区切り。

・文字コード：UTF-8 ※Excelで作成する場合、ファイルの種類の「CSV UTF-8（コンマ区切り）（*.csv）」を選択してください。

・テキストの読み文字：無し、もしくはダブルクォーテーション。

・ヘッダー行：あり ※CSVアップロード時、1行目は取込まれません。

※管理グループ名を確認したい場合は [こちら](#)。（「管理グループ一覧」が別タブで開きます。）

CSVファイルをドラッグ＆ドロップしてくださいまたは

ファイルを選択

戻る

確認

4 確認画面が表示されますので、「登録」をクリックします。

The screenshot shows the 'AdminLink' interface for 'デバイス登録' (Device Registration). The page includes a header with the AdminLink logo and navigation links for 'デバイス一覧' (Device List), 'イベント一覧' (Event List), and '通報操作一覧' (Reporting Operations List). The main content area displays the following information:

登録件数合計	2件
登録先管理グループ	登録件数
東京支社	2件

At the bottom, there are two buttons: a grey button labeled '戻る' (Back) and a blue button labeled '登録' (Register), which is highlighted with a red rectangular box.

デバイスが登録されると「登録が完了されました」と表示されます。

The screenshot shows the 'AdminLink' interface after successful device registration. The page displays the message 'デバイスの登録が完了しました。' (Device registration is complete). Below the message is a grey button labeled 'デバイス一覧に戻る' (Return to Device List).

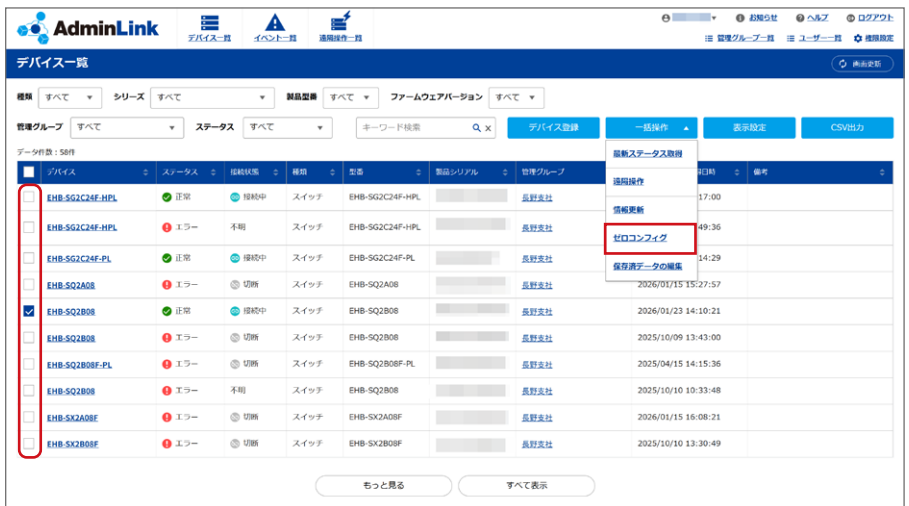
設定をクラウドに保存する

登録したデバイスをアドミリンク管理ページから一括で設定します。

1 共通メニューから「デバイス一覧」を選択します。



2 「デバイス一覧」画面が表示されますので、ゼロコンフィグで設定したいデバイスにすべてチェックを入れ、「一括操作」の「ゼロコンフィグ」を選択します。



MEMO

一括で設定可能なデバイスは「同一型番」「同一ファームウェアバージョン」のデバイスのみです。

3 「ゼロコンフィグ」画面が表示されますので、設定データの作成方法を選択し、「次へ」をクリックします。

新たに設定データを作成する

新規で設定データを作成するときに選択します。

デバイスの現在の設定を取得して作成する

選択したデバイスに現在設定されている内容を取得し、その内容を変更するかたちで設定データを作成します。

4 「設定変更」画面が表示されますので、各種設定を行い、「一時保存」をクリックします。

「確認」を選択すると、設定内容が遠隔操作で即時に反映されます。→ [90ページ](#)

MEMO

設定可能な項目は、各型番やファームウェアバージョンにより異なります。
各型番に搭載された機能で、設定可能な項目が表示されます。

5 一時保存する設定データの名前を設定し、「保存」をクリックします。

AdminLink

デバイス一覧 イベント一覧 遠隔操作一覧

設定変更

一時保存する設定データの名前を入力してください。
設置場所やデバイス名などを含めることで、後からこの設定データを再利用する際に探しやすいです。

一時保存データ

戻る 保存

6 設定が完了すると、「設定データを一時保存しました」と表示されます。

AdminLink

デバイス一覧 イベント一覧 遠隔操作一覧

設定変更

設定データを一時保存しました。

一時保存した設定データを使用して再度設定変更を行う場合は、デバイス一覧にて「一括操作」メニューから「保存済データの編集」を選択し、遷移先の画面にて編集を再開するデータを選択してください。

デバイス一覧に戻る

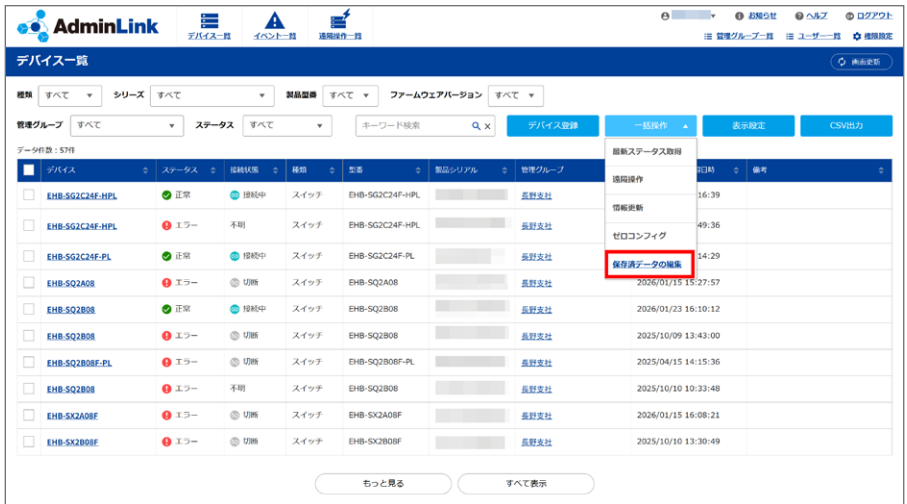
クラウドに保存済みのデータを編集する

保存した設定データを編集するときは以下の手順で行います。

1 共通メニューから「デバイス一覧」を選択します。



2 「デバイス一覧」画面が表示されますので、「一括操作」の「保存済みデータの編集」を選択します。



3 「保存済みデータの編集」画面が表示されますので、編集したい設定データの保存日時を選択します。

AdminLink

デバイス一覧 イベント一覧 通報操作一覧

保存済みデータの編集

製品型番: すべて ファームウェアバージョン: すべて 保存日時: 2025/12/23 17:17 ~ 2026/01/23 17:18 ☐ 一時保存データのみ

キーワードで検索

データ件数: 748件 (検索条件により30件に絞り込み)

保存日時	デバイス名	特保存	製品型番	ファームウェアバージョン	対象デバイス数	保存ユーザー
2026/01/23 17:17:02	WAB-BE72-M_20260123171702		WAB-BE72-M	2.0.5	1	
2026/01/23 17:04:36	WAB-BE72-M_20260123170429		WAB-BE72-M	2.0.5	1	
2026/01/23 16:43:31	EHB-SX2B08F-PH_20260123164340	☐	EHB-SX2B08F-PH	2.0.3	1	
2026/01/23 15:47:30	WAB-BE187-M_20260123154730		WAB-BE187-M	2.0.8	1	
2026/01/23 15:37:15	EHB-SQ2B08F-PL_20260123153727	☐	EHB-SQ2B08F-PL	2.0.3	1	
2026/01/23 15:35:35	WAB-BE187-M_20260123153535		WAB-BE187-M	2.0.8	1	
2026/01/23 15:33:00	WAB-BE72-M_20260123153257		WAB-BE72-M	2.0.5	1	
2026/01/23 14:59:35	WAB-BE72-M_20260123145929		WAB-BE72-M	2.0.5	1	
2026/01/23 14:48:47	WAB-BE72-M_20260123144843		WAB-BE72-M	2.0.5	1	
2026/01/23 14:35:26	WAB-BE72-M_20260123143520		WAB-BE72-M	2.0.5	1	

もっと見る

4 選択した設定データの内容が表示されますので、「設定をクラウドに保存する」手順 4 (37 ページ) 以降と同様の手順で設定します。

AdminLink

デバイス一覧 イベント一覧 通報操作一覧

設定変更

製品型番: WAB-BE72-M ファームウェアバージョン: 2.0.5

対象デバイス システム構成 無線設定 ツールボックス

設定変更の対象デバイスは以下となります。
対象デバイスごとに、個別設定する項目を以下の一覧で入力してください。
デバイス共通の設定項目は、各タブで入力してください。

なお、対象デバイスから除外したいデバイスがある場合は、削除ボタンを押してください。ボタン押下時、一覧から行が削除され、対象デバイスから除外できます。

デバイスリスト (CSV) の登録 デバイスリスト (CSV) の読み込み

階層	MACアドレス	IPアドレス	製品名	DHCPサーバー機能	入力エラー
	38:97:A4:80:51:0B	192.168.3.1	WAB3897A480510B	無効	

MACアドレス: XXXX:XX:XX:XX:XX:XX

戻る 確認 一時保存

現地設定またはゼロコンフィグ非導入時のデバイス設定

デバイス登録コードを取得する

デバイスを登録するためには、あらかじめデバイス側で「デバイス登録コード」を発行する必要があります。

デバイスを登録する前に、デバイスのシステム日時が正しいことをご確認ください。システム日時が正しくない場合、登録できなかったり、情報が更新されない等のトラブルが発生します。

■ アクセスポイントの場合

MEMO

- アドミリンク機能を利用する場合、本体の日時設定にNTPサーバーを使用してください。（日時設定はアクセスポイント本体のマニュアルをご確認ください）
- WAB-S1167IWシリーズでアドミリンク機能を利用する場合、本体の動作モードを事前にご確認ください。動作モードは本体のモード切替スイッチをご確認ください。アドミリンク設定後に動作モードを変更する場合は、アドミリンクへデバイスの再登録が必要となります。
- デバイス登録時に、デバイス側の設定画面で、旧名称「デバイスグループ」と表示される場合がありますが、新名称の「管理グループ」に読み替えて設定を行ってください。

- 1 アクセスポイントの「管理画面」にログインし、「ツールボックス」－「アドミリンク」－「基本設定」をクリックします。



2 「アドミリンク機能」で「有効」を選択し、「適用」ボタンをクリックします。

ELECOM » Wireless AP for Business ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series システム構成 無線設定 ツールボックス

ツールボックス

- 管理者
- アクセス設定
- 日時
- アドミリンク
 - 基本設定**
 - 詳細設定
- 設定を保存/復元
- 初期化
- ファームウェア更新
 - ファームウェア更新
 - ファームウェア確認
- 診断

基本設定

アドミリンク 基本設定

注意：アドミリンクサービス (<https://admin-link.net>) をご利用いただくためにはインターネット接続が必要です。アドミリンク機能を「有効」にする前に、本デバイスがインターネットに接続されていることをご確認ください。

アドミリンク機能 ☒ 有効 ☐ 無効

登録状態 未登録

デバイス登録コード発行

デバイスを登録するために必要な「デバイス登録コード」を発行します。
発行された「デバイス登録コード」、アドミリンクサービスの「デバイスグループ」へ追加してください。

3 「デバイス登録コード発行」をクリックします。

ELECOM » Wireless AP for Business ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series システム構成 無線設定 ツールボックス

ツールボックス

- 管理者
- アクセス設定
- 日時
- アドミリンク
 - 基本設定**
 - 詳細設定
- 設定を保存/復元
- 初期化
- ファームウェア更新
 - ファームウェア更新
 - ファームウェア確認
- 診断
- 再起動スケジュール
- LED設定
- 再起動

基本設定

アドミリンク 基本設定

注意：アドミリンクサービス (<https://admin-link.net>) をご利用いただくためにはインターネット接続が必要です。アドミリンク機能を「有効」にする前に、本デバイスがインターネットに接続されていることをご確認ください。

アドミリンク機能 ☒ 有効 ☐ 無効

登録状態 未登録

デバイス登録コード発行

デバイスを登録するために必要な「デバイス登録コード」を発行します。
発行された「デバイス登録コード」、アドミリンクサービスの「デバイスグループ」へ追加してください。

登録情報

アドミリンクサービスの「デバイスグループ」に登録済みの「デバイス登録コード」を入力してください。
※「デバイスグループ」に登録されていない「デバイス登録コード」は利用できません。

登録済みデバイス登録コード

シリアル番号

デバイス名 WAB04AB18CD5294

備考

- 4 デバイス登録コードが発行されますので、「コピー」をクリックします。
- 5 [56 ページ「デバイス登録コードをクラウドに入力する」](#)に進み、アドミリンクサーバーにデバイス登録コードを追加します。

■ スイッチングハブの場合

MEMO

- アドミリンク機能を利用する場合、本体の日時設定にNTPサーバーを使用してください。（日時設定はスイッチングハブ本体のマニュアルをご確認ください）
- デバイス登録時に、デバイス側の設定画面で、旧名称「デバイスグループ」と表示される場合がありますが、新名称の「管理グループ」に読み替えて設定を行ってください。

1 アクセスポイントの「管理画面」にログインし、「管理」－「アドミリンク」－「基本設定」をクリックします。



2 「アドミリンク機能」で「有効」を選択し、「適用」ボタンをクリックします。



3 「デバイス登録コード発行」をクリックします。



4 デバイス登録コードが発行されますので、「コピー」をクリックします。

5 56ページ「デバイス登録コードをクラウドに入力する」に進み、アドミリンクサーバーにデバイス登録コードを追加します。

■ Windows NASの場合

MEMO

デバイス登録時に、デバイス側の設定画面で、旧名称「デバイスグループ」と表示される場合がありますが、新名称の「管理グループ」に読み替えて設定を行ってください。

- 1 リモートデスクトップでNASの「管理画面」にログインし、「アドミリンク」を開きます。



※ アドミリンクをインストールしていない場合は、下記 URL よりアドミリンク エージェントをダウンロードしてください。

<https://www.elecom.co.jp/r/s362>

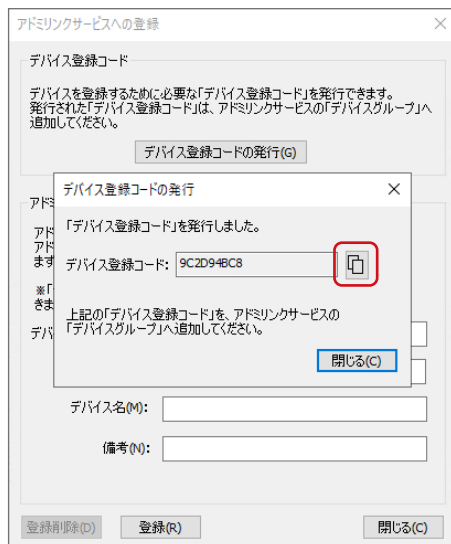
- 2 「アドミリンク設定」画面の「デバイス登録/削除」をクリックします。



3 「アドミリンクサービスへの登録/削除」画面の「デバイス登録コードの発行」をクリックします。



4 デバイス登録コードが発行されますので、コピーボタンをクリックします。



- 5 [56 ページ「デバイス登録コードをクラウドに入力する」に進み、アドミリンクサーバーにデバイス登録コードを追加します。](#)

■ Linux NASの場合

MEMO

デバイス登録時に、デバイス側の設定画面で、旧名称「デバイスグループ」と表示される場合がありますが、新名称の「管理グループ」に読み替えて設定を行ってください。

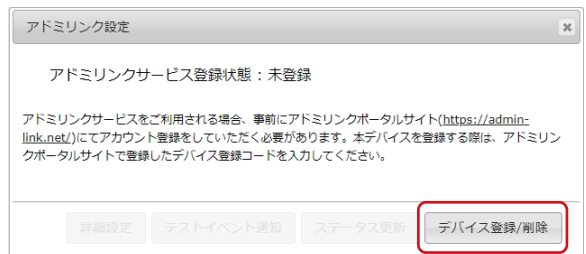
1 NASの「管理画面」へログインし、「App Center」の「マイアプリ」を開きます。

2 「アドミリンク」を開きます。

※ アプリをインストールしていない場合は、「すべてのアプリ」から「アドミリンク」をインストールしてください。



3 「アドミリンク設定」画面の「デバイス登録/削除」をクリックします。



4 「アドミリンクサービスへの登録/削除」画面の「デバイス登録コードの発行」をクリックします。

アドミリンクサービスへの登録/削除

*は必須項目です。

デバイス登録コード

デバイスを登録するために必要な「デバイス登録コード」を発行できます。発行された「デバイス登録コード」は、アドミリンクサービスの「デバイスグループ」へ追加してください。

デバイス登録コードの発行

アドミリンクサービス登録情報

アドミリンクサービスの「デバイスグループ」に登録済みの「デバイス登録コード」を入力してください。
※「デバイスグループ」に登録されていない「デバイス登録コード」は利用できません。

デバイス登録コード* :

シリアル番号* :

デバイス名* :

備考 :

登録削除 登録

5 デバイス登録コードが発行されますので、「コピー」をクリックします。

アドミリンクサービスへの登録/削除

*は必須項目です。

デバイス登録コード

デバイスを登録するために必要な「デバイス登録コード」を発行できます。発行された「デバイス登録コード」は、アドミリンクサービスの「デバイスグループ」へ追加してください。

デバイス登録コードの発行

「デバイス登録コード」を発行しました。

デバイス登録コード : 148B94D8D

上記の「デバイス登録コード」を、アドミリンクサービスの「デバイスグループ」へ追加してください。

閉じる

登録削除 登録

- 6 [56 ページ「デバイス登録コードをクラウドに入力する」に進み、アドミリンクサーバーにデバイス登録コードを追加します。](#)

■ プロキシサーバー環境でご利用の場合

プロキシ環境で使用する場合には、以下の設定が必要な場合があります。

MEMO

「ゼロコンフィグ設定」は、プロキシサーバー環境に非対応です。

<プロキシサーバー側>

例外設定が必要な場合は、プロキシサーバーへ以下の情報を設定してください。

<アドミリンクサイトをブラウザで参照するための設定>

・ アドミリンクサイト

admin-link.net

※ プロトコルはHTTPS、ポートは443

<デバイスがアドミリンクサーバーと通信するための設定>

● デバイス制御・通信用サーバー

api.admin-link.net

akdrurr5yyzrp-ats.iot.ap-northeast-1.amazonaws.com

● 認証情報取得サーバー (Windows NASのみ)

ch77szvx8i7n5.credentials.iot.ap-northeast-1.amazonaws.com

● ファイルダウンロード／アップロード用ストレージサーバー

admin-link.net (Windows NASのみ)

s3-ap-northeast-1.amazonaws.com

※ プロトコルはHTTPS、ポートは443

<デバイス側>

アクセスポイントの場合

アクセスポイントの管理画面で設定します。

- ① アクセスポイントの管理画面にログイン後、[ツールボックス]－[アドミリンク]－[詳細設定]をクリックします。
- ② 「プロキシサーバー」で「使用する」を選択し、利用されているプロキシサーバーの情報を入力し「適用」をクリックします。

The screenshot shows the management interface for an ELECOM Wireless AP. The top navigation bar includes 'ELECOM', 'Wireless AP for Business', and links for 'ホーム' (Home), 'ログアウト', and a language dropdown set to 'Japan (日本語)'. Below this is a secondary bar with 'WAB Smart Series', 'システム構成' (System Configuration), '無線設定' (Wireless Settings), and 'ツールボックス' (Toolbox). The left sidebar under 'ツールボックス' lists various settings, with '詳細設定' (Detailed Settings) selected under the 'アドミリンク' (AdminLink) section. The main content area is titled '詳細設定' and 'アドミリンク接続用プロキシ設定' (Proxy Settings for AdminLink Connection). It explains that internet connection is required for AdminLink services and asks the user to select and input proxy server information. The 'プロキシサーバー' (Proxy Server) dropdown is set to '使用する' (Use). A red box highlights the input fields for 'アドレス' (Address), 'ポート' (Port), 'ユーザー名' (Username), and 'パスワード' (Password). Below this, the '遠隔操作設定' (Remote Operation Settings) section shows several options, all set to '無効' (Disabled): '遠隔操作許可' (Remote Operation Allowed), '設定ファイルアップロード許可' (Configuration File Upload Allowed), 'ログファイルアップロード許可' (Log File Upload Allowed), '接続クライアントファイルアップロード許可' (Connected Client File Upload Allowed), and '接続クライアントファイル自動アップロード間隔' (Connected Client File Auto Upload Interval) set to '6時間' (6 hours). At the bottom right are '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

スイッチングハブの場合

スイッチングハブの管理画面で設定します。

- ① スwitchingハブの管理画面にログイン後、[管理]－[アドミリンク]－[詳細設定]をクリックします。
- ② 「プロキシサーバー」で「使用する」を選択し、利用されているプロキシサーバーの情報を入力し「適用」をクリックします。

The screenshot shows the ELECOM Switch For Business web management interface. The breadcrumb navigation is: 10Gマルチギガ対応 Web スマートスイッチ >> 管理 >> アドミリンク >> 詳細設定. The left sidebar shows the 'Switch Function' menu with '管理' (Management) selected. Under '管理', 'アドミリンク' (Admin Link) is selected, and '詳細設定' (Detailed Settings) is highlighted. The main content area is titled 'アドミリンク接続用プロキシ設定' (Proxy Settings for Admin Link Connection). It contains two sections: 'プロキシサーバー' (Proxy Server) and '遠隔操作設定' (Remote Operation Settings). In the 'プロキシサーバー' section, the '使用する' (Use) radio button is selected and circled in red. Below it, a table with a red border contains input fields for 'アドレス' (Address), 'ポート' (Port), 'ユーザー名' (Username), and 'パスワード' (Password). The '遠隔操作設定' section contains five rows of settings, each with a label and two radio buttons for '有効' (Effective) and '無効' (Ineffective). The '適用' (Apply) button is at the bottom left of the settings area.

Switch Function	
▼ ステータス	
▼ ネットワーク	
▼ ポート	
▼ VLAN	
▼ MACアドレステーブル	
▼ LLDP	
▼ マルチキャスト	
▼ セキュリティ	
▼ QoS	
▼ 診断	
▼ 管理	
ユーザーアカウント	
▲ アドミリンク	
基本設定	
詳細設定	
ファームウェア	
設定	
ループ防止	

アドミリンク接続用プロキシ設定

プロキシサーバー ☒ 使用する ☐ 使用しない

アドレス	
ポート	0
ユーザー名	
パスワード	

遠隔操作設定

遠隔操作許可	☐ 有効 ☒ 無効
設定ファイルアップロード許可	☐ 有効 ☒ 無効
ログファイルアップロード許可	☐ 有効 ☒ 無効
接続クライアントファイルアップロード許可	☐ 有効 ☒ 無効
接続クライアントファイル自動アップロード間隔	時間

適用

Windows NASの場合

デバイス側のアドミリンクエージェントの設定画面で設定します。

プロキシ経由でアドミリンクサービスへ接続する必要がある場合、「プロキシサーバーを使用する」にチェックを入れて、必要な情報を入力してください。

Linux NASの場合

NAS本体の設定画面で設定します。

- ① NAS の設定画面にログイン後、[コントロールパネル]－[ネットワーク]－[Proxy]をクリックします。
- ② 「プロキシサーバーの使用」にチェックを入れ、利用されているプロキシサーバーの情報を入力し「適用」をクリックします。

デバイス登録コードをクラウドに入力する

デバイスを登録するためには管理グループを作成する必要があります。
まだ管理グループが登録されていない場合は、[24 ページ「管理グループを登録する」](#)を参照して管理グループを登録してください。

1 共通メニューから「管理グループ一覧」を選択します。



2 「管理グループ一覧」画面が表示されますので、デバイスを登録する管理グループ名をクリックします。



3 「編集」をクリックします。

The screenshot shows the AdminLink management interface. At the top, there is a navigation bar with the AdminLink logo and several menu items: デバイス一覧, イベント一覧, 通知操作一覧, お知らせ, ヘルプ, ログアウト. Below the navigation bar, there is a section titled '管理グループ' (Management Group) with a sub-section '管理グループ名 東京支社' (Management Group Name Tokyo Branch). Underneath, there is a '備考' (Remarks) field. The main content area is divided into two tabs: '設置場所' (Installation Location) and 'デバイス登録コード' (Device Registration Code). The '設置場所' tab is active, showing a form with the following fields: 法人・個人 (法人), 法人・団体名 (エレコム株式会社), 部署名, 業種, 郵便番号, 住所（都道府県）, 住所（市区町村番地）, and 住所（ビル／建物名）. At the bottom of the form, there are three buttons: a grey button labeled '< 戻る' (Back), a blue button labeled '編集' (Edit) which is highlighted with a red rectangle, and a red button labeled '× 削除' (Delete).

4 「デバイス登録コード」をクリックします。

AdminLink | デバイス一覧 | イベント一覧 | 連絡操作一覧

お知らせ | ヘルプ | ログアウト

管理グループ一覧 | ユーザー一覧 | 権限設定

管理グループ修正

管理グループ名 必須

備考

設置場所 | デバイス登録コード

法人・個人 ☒ 法人 ☐ 個人

法人・団体名

部署名

業種

郵便番号 -

住所（都道府県）

住所（市区町村番地）

住所（ビル／建物名）

戻る
確認

5 「デバイス登録コード」欄に取得したデバイスコードを入力し、「追加」をクリックします。


AdminLink

 デバイス一覧
  イベント一覧
  連携操作一覧


 ヘルプ
  ログアウト

[管理グループ一覧](#)
[ユーザー一覧](#)
[権限設定](#)

管理グループ修正

管理グループ名 必須

備考

設置場所
デバイス登録コード

登録したいデバイスの「デバイス登録コード発行」画面にて発行したデバイス登録コードをコピーし、以下の欄に貼り付けてください。
 デバイス登録コードの有効期限は追加日より10日間です。有効期限を過ぎると自動で削除されます。

デバイス登録コード

追加

※ 追加ボタンによりデバイス登録コードを追加した後、画面下の「確認」ボタンから確認画面に進み、登録を行ってください。
 当画面での追加のみではデバイス登録コードの登録は完了しません。

デバイス登録コード	有効期限	
		削除
		削除
		削除
		削除
		削除

戻る
確認

- 6 「デバイス登録コード」が追加され、リストに表示されます。
 ここではまだ、「デバイス登録コードの」登録は完了していません。
 「確認」ボタンをクリックして確認画面へ進んでください。

デバイス一覧

イベント一覧

通帳操作一覧

お知らせ

ヘルプ

ログアウト

管理グループ一覧

ユーザー一覧

権限設定

管理グループ修正

管理グループ名 必須

東京支社

備考

入力してください

設置場所

デバイス登録コード

登録したいデバイスの「デバイス登録コード発行」画面にて発行したデバイス登録コードをコピーし、以下の欄に貼り付けてください。
 デバイス登録コードの有効期限は追加日より10日間です。有効期限を過ぎると自動で削除されます。

デバイス登録コード

デバイスで発行したデバイス登録コードを貼り付けてください

追加

※ 追加ボタンによりデバイス登録コードを追加した後、画面下の「確認」ボタンから確認画面に進み、登録を行ってください。
 当画面での追加のみではデバイス登録コードの登録は完了しません。

デバイス登録コード	有効期限	
952D30783	2024/11/28	削除
		削除
		削除
		削除
		削除

戻る

確認

- 7** 確認画面が表示されたら、「デバイス登録コード」をクリックし、追加したデバイス登録コードがリストに表示されていることを確認し、「更新」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'AdminLink' interface for 'Management Group Correction'. The page title is '管理グループ修正' (Management Group Correction). Below the title, it says '管理グループ名 東京支社' (Management Group Name: Tokyo Branch) and '備考' (Remarks). There are two tabs: '設置場所' (Installation Location) and 'デバイス登録コード' (Device Registration Code). The 'デバイス登録コード' tab is active, showing a table with two columns: 'デバイス登録コード' (Device Registration Code) and '有効期限' (Valid Period). The first row contains the code '992D30783' and the date '2024/11/28'. There are four empty rows below. At the bottom, there are two buttons: '戻る' (Back) and '更新' (Update). The '更新' button is highlighted with a red box.

デバイス登録コード	有効期限
992D30783	2024/11/28

戻る 更新

デバイスに必要な情報を入力する

■ アクセスポイントの場合

- 1 デバイス側の操作に戻り、「登録情報」に必要な情報を入力して「デバイス登録」ボタンをクリックします。

「アドミリンクサービスの登録が完了しました。」と表示されたらデバイスの登録は完了です。

ELECOM » Wireless AP for Business ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series システム構成 無線設定 ツールボックス

ツールボックス

- 管理
- アクセス設定
- 日時
- アドミリンク
 - 基本設定**
 - 詳細設定
- 設定を保存/復元
- 初期化
- ファームウェア更新
 - ファームウェア更新
 - ファームウェア確認
- 節電
- 再起動スケジュール
- LED設定
- 再起動

動作モード

- アクセスポイントモード

基本設定

アドミリンク 基本設定

注意：アドミリンクサービス (<https://admin-link.net>) をご利用いただくためにはインターネット接続が必要です。アドミリンク機能を「有効」にする前に、本デバイスがインターネットに接続されていることをご確認ください。

アドミリンク機能 ☒ 有効 ☐ 無効

登録状態 未登録

デバイス登録コード発行

デバイスを登録するために必要な「デバイス登録コード」を発行します。
発行された「デバイス登録コード」、アドミリンクサービスの「デバイスグループ」へ追加してください。

デバイス登録コード

登録情報

アドミリンクサービスの「デバイスグループ」に登録済みの「デバイス登録コード」を入力してください。

※「デバイスグループ」に登録されていない「デバイス登録コード」は利用できません。

登録済みデバイス登録コード	
シリアル番号	
デバイス名	WAB04AB18CD5294
備考	

■ スイッチングハブの場合

- 1 デバイス側の操作に戻り、「登録情報」に必要な情報を入力して「デバイス登録」ボタンをクリックします。

「アドミリンクサービスの登録が完了しました。」と表示されたらデバイスの登録は完了です。

■ Windows NASの場合

- 1 デバイス側の「アドミリンク設定」－「アドミリンクサービス登録情報」に必要な情報を入力して「登録」をクリックします。

アドミリンクサービスへの登録

デバイス登録コード

デバイスを登録するために必要な「デバイス登録コード」を発行できます。
発行された「デバイス登録コード」は、アドミリンクサービスの「デバイスグループ」へ追加してください。

デバイス登録コードの発行(G)

アドミリンクサービス登録情報

アドミリンクサービスへデバイスを登録します。
アドミリンクサービスのアカウントをお持ちでない場合には、
まず [こちらのサイト](#) で作成してください。

※「デバイスグループ」に登録されていない「デバイス登録コード」は利用できません。

デバイス登録コード(G):

シリアル番号(S):

デバイス名(M):

備考(N):

登録削除(D) 登録(R) 閉じる(C)

- 2 「登録が完了しました」と表示されたら、「OK」をクリックして画面を閉じます。

製品登録

アドミリンクサービスへの製品登録が完了しました。

OK

■ Linux NASの場合

- 1 デバイス側の「アドミリンク設定」－「アドミリンクサービス登録情報」に必要な情報を入力し「登録」をクリックします。

アドミリンクサービスへの登録/削除

*は必須項目です。

デバイス登録コード

デバイスを登録するために必要な「デバイス登録コード」を発行できます。発行された「デバイス登録コード」は、アドミリンクサービスの「デバイスグループ」へ追加してください。

デバイス登録コードの発行

アドミリンクサービス登録情報

アドミリンクサービスの「デバイスグループ」に登録済みの「デバイス登録コード」を入力してください。
※「デバイスグループ」に登録されていない「デバイス登録コード」は利用できません。

デバイス登録コード* :

シリアル番号* :

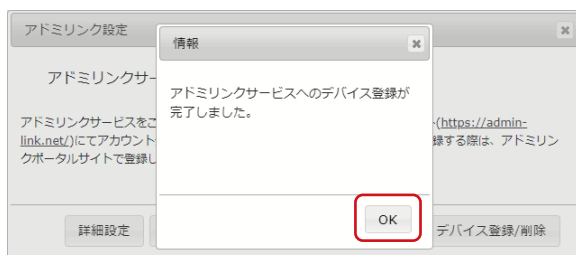
デバイス名* :

備考 :

登録削除

登録

- 2 「登録が完了しました」と表示されたら、「OK」をクリックして画面を閉じます。



デバイス側のアドミリンク機能を確認 / 設定する

アクセスポイントの場合

管理画面の「ツールボックス」－「アドミリンク」から設定を行います。

■ 基本設定

< デバイスが未登録の場合 >

基本設定

アドミリンク 基本設定

注意：アドミリンクサービス (<https://admin-link.net>) をご利用いただくためにはインターネット接続が必要です。アドミリンク機能を「有効」にする前に、本デバイスがインターネットに接続されていることをご確認ください。

アドミリンク機能

☒ 有効 ☐ 無効

登録状態

未登録

適用

デバイス登録コード発行

デバイスを登録するために必要な「デバイス登録コード」を発行します。

発行された「デバイス登録コード」、アドミリンクサービスの「デバイスグループ」へ追加してください。

デバイス登録コード

コピー

デバイス登録コード発行

登録情報

アドミリンクサービスの「デバイスグループ」に登録済みの「デバイス登録コード」を入力してください。

※「デバイスグループ」に登録されていない「デバイス登録コード」は利用できません。

登録済みデバイス登録コード

シリアル番号

デバイス名

WAB04AB18CD5294

備考

デバイス登録

< デバイスが登録済みの場合 >

基本設定

アドミリンク 基本設定

注意：アドミリンクサービス (<https://admin-link.net>) をご利用いただくためにはインターネット接続が必要です。アドミリンク機能を「有効」にする前に、本デバイスがインターネットに接続されていることをご確認ください。

アドミリンク機能

☒ 有効 ☐ 無効

登録状態

登録済み

適用

デバイス登録コード発行

デバイスを登録するために必要な「デバイス登録コード」を発行します。

発行された「デバイス登録コード」、アドミリンクサービスの「デバイスグループ」へ追加してください。

デバイス登録コード

コピー

デバイス登録コード発行

手動操作

アドミリンクサービスのステータス情報を更新します。

本デバイスの情報がアドミリンクサーバーに送信されます。

デバイス情報送信

テストイベントを発生させます。

管理者宛に通知メールが送信されます。

テストイベント発生

登録削除

本デバイスは、アドミリンクサービスに登録されています。

「デバイス登録削除」ボタンで、登録を削除できます

登録を削除すると、アドミリンクサービスに記録された情報は参照できなくなります

元に戻すことはできません。

☐ 登録を削除する事に同意します。

デバイス登録削除

項目	内容
アドミリンク基本設定	アドミリンク機能 アドミリンク機能の「有効」または「無効」を設定します。 (初期値：無効)
	登録状態 アドミリンクサービスへの製品登録状態が表示されます。
デバイス登録コード発行	クリックするとデバイス登録コードが発行されます。 表示されたデバイス登録コードをコピーして、アドミリンクサーバーの管理グループに登録を行います。 (デバイスの登録方法は「デバイス登録コードをクラウドに入力する」(→ P.56) を参照してください)

65

項目	内容	
登録情報	デバイスが未登録の場合のみ入力可能です。	
	登録済みデバイス登録コード	管理グループに登録済みの、「デバイス登録コード」を入力します。
	シリアル番号	登録する製品のシリアル番号を入力します。
	デバイス名	デバイス名を入力します。
	備考	メモなどを入力します。
手動操作	デバイスが登録済みの場合のみ表示されます。	
	デバイス情報送信	本デバイスの情報がアドミリンクサーバーに送信され、アドミリンクサービスの情報を更新します。
	テストイベント発生	テストイベントを発生させ、管理者宛に通知メールを送信します。
登録削除	アドミリンクにデバイス登録済みの場合、登録を削除します。	

MEMO

デバイス登録時に、デバイス側の設定画面で、旧名称「デバイスグループ」と表示される場合がありますが、新名称の「管理グループ」に読み替えて設定を行ってください。

■ 詳細設定

ELECOM » Wireless AP for Business
ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series
システム構成
無線設定
ツールボックス

ツールボックス
管理者
アクセス設定
日時
アドミリンク
基本設定
詳細設定
設定を保存/復元
初期化
ファームウェア更新
ファームウェア更新
ファームウェア確認
節電
再起動スケジュール
LED設定
再起動
動作モード
アクセスポイントモード

詳細設定

アドミリンク接続用プロキシ設定

アドミリンクサービスをご利用いただくためには、インターネット接続が必要です。
プロキシサーバーの使用状況に合わせて項目を選択および入力してください。

プロキシサーバー
☐ 使用する
☒ 使用しない

アドレス
ポート
ユーザー名
パスワード

通隔操作設定

通隔操作許可
☐ 有効
☒ 無効

設定ファイルアップロード許可
☐ 有効
☒ 無効
ログファイルアップロード許可
☐ 有効
☒ 無効
接続クライアントファイルアップロード許可
☐ 有効
☒ 無効
接続クライアントファイル自動アップロード間隔
6時間

適用
キャンセル

項目	内容	
アドミリンク接続用プロキシ設定	プロキシサーバー	アドミリンクサービスへの接続にプロキシサーバーを使用するか設定します。 プロキシ経由でアドミリンクサービスへ接続する必要がある場合、「使用する」を選択してください。 (初期値：使用しない)
	アドレス	プロキシサーバーのアドレスを入力します。
	ポート	プロキシサーバーのポート番号を入力します。
	ユーザー名	必要な場合、ユーザー名を入力します。
	パスワード	必要な場合、パスワードを入力します。

67

項目	内容	
遠隔操作設定	遠隔操作許可	アドミリンクサーバーからの遠隔操作を許可する場合は、「有効」を選択してください。 (初期値：無効)
	設定ファイルアップロード許可	「遠隔操作許可」で「有効」を選択すると、選択可能になります。 遠隔操作による「設定ファイル」のアップロードを許可する場合は、「有効」を選択してください。 (初期値：無効)
	ログファイルアップロード許可	「遠隔操作許可」で「有効」を選択すると、選択可能になります。 遠隔操作による「ログ」のアップロードを許可する場合は、「有効」を選択してください。 (初期値：無効)
	接続クライアントファイルアップロード許可	「遠隔操作許可」で「有効」を選択すると、選択可能になります。 遠隔操作による「接続クライアントファイル」のアップロードを許可する場合は、「有効」を選択してください。 (初期値：無効)
	接続クライアントファイル自動アップロード間隔	「遠隔操作許可」で「有効」を選択すると、選択可能になります。 「接続クライアントファイル」を自動的にアップロードする間隔を選択します。 (設定範囲：1 時間 / 3 時間 / 6 時間 / なし) (初期値：6 時間)

スイッチングハブの場合

管理画面の「管理」―「アドミリンク」から設定を行います。

■ 基本設定

< デバイスが未登録の場合 >

アドミリンク 基本設定

アドミリンク機能

☒ 有効
☐ 無効

登録状態

確認中

適用

デバイス登録コードの発行

デバイス登録コード

コピー

デバイス登録コードの発行

< デバイスが登録済みの場合 >

アドミリンク 基本設定

アドミリンク機能

☒ 有効
☐ 無効

登録状態

登録済み

適用

デバイス登録コードの発行

デバイス登録コード

コピー

デバイス登録コードの発行

手動操作

デバイス情報送信

注意：アドミリンクサーバーのステータス情報を更新します。
本デバイスの情報がアドミリンクサーバーに送信されます。

テストイベント発生

注意：テストイベントを発生させます。
管理画面に通知メールが送信されます。

登録削除

☐ 登録を削除する事に同意します。

注意：本デバイスは、アドミリンクサービスに登録されています。
「デバイス登録削除」ボタンで、登録を削除できます。
登録を削除すると、アドミリンクサービスに登録された情報は参照できなくなります。
元に戻すことはできません。

デバイス登録削除

69

項目	内容	
アドミリンク 基本設定	アドミリンク機能	アドミリンク機能の「有効」または「無効」を設定します。 (初期値：無効)
	登録状態	アドミリンクサービスへの製品登録状態が表示されます。
デバイス登録 コード発行	クリックするとデバイス登録コードが発行されます。 表示されたデバイス登録コードをコピーして、アドミリンクサーバーの管理グループに登録を行います。 (デバイスの登録方法は「デバイス登録コードをクラウドに入力する」(→ P.56) を参照してください)	
手動操作	デバイスが登録済みの場合のみ表示されます。	
	デバイス情報送信	本デバイスの情報がアドミリンクサーバーに送信され、アドミリンクサービスの情報を更新します。
	テストイベント発生	テストイベントを発生させ、管理者宛に通知メールを送信します。
登録削除	アドミリンクにデバイス登録済みの場合、登録を削除します。	

MEMO

デバイス登録時に、デバイス側の設定画面で、旧名称「デバイスグループ」と表示される場合がありますが、新名称の「管理グループ」に読み替えて設定を行ってください。

■ 詳細設定

ELECOM
>> Switch For Business
保存 | ログアウト | 再起動 | 日本語

10Gマルチギガ対応 Webスマートスイッチ
管理 >> アドミリンク >> 詳細設定

Switch Function
▼ ステータス
▼ ネットワーク
▼ ポート
▼ VLAN
▼ MACアドレステーブル
▼ LLDP
▼ マルチキャスト
▼ セキュリティ
▼ QoS
▼ 診断
▼ 管理
ユーザーアカウント
▲ アドミリンク
基本設定
詳細設定
▼ フォームウェア
▼ 設定
▼ ループ防止

アドミリンク接続用プロキシ設定

プロキシサーバー

☐ 使用する
☒ 使用しない

アドレス

ポート

ユーザー名

パスワード

遠隔操作設定

遠隔操作許可

☐ 有効
☒ 無効

指定ファイルアップロード許可

☐ 有効
☒ 無効

ログファイルアップロード許可

☐ 有効
☒ 無効

接続クライアントファイルアップロード許可

☐ 有効
☒ 無効

接続クライアントファイル自動アップロード間隔

6時間

適用

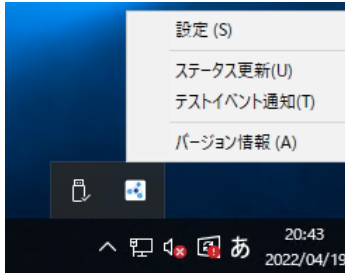
項目	内容	
アドミリンク接続用プロキシ設定	プロキシサーバー	アドミリンクサービスへの接続にプロキシサーバーを使用するか設定します。 プロキシ経由でアドミリンクサービスへ接続する必要がある場合、「使用する」を選択してください。 (初期値：使用しない)
	アドレス	プロキシサーバーのアドレスを入力します。
	ポート	プロキシサーバーのポート番号を入力します。
	ユーザー名	必要な場合、ユーザー名を入力します。
	パスワード	必要な場合、パスワードを入力します。

71

項目	内容	
遠隔操作設定	遠隔操作許可	アドミリンクサーバーからの遠隔操作を許可する場合は、「有効」を選択してください。 (初期値：無効)
	設定ファイルアップロード許可	「遠隔操作許可」で「有効」を選択すると、選択可能になります。 遠隔操作による「設定ファイル」のアップロードを許可する場合は、「有効」を選択してください。 (初期値：無効)
	ログファイルアップロード許可	「遠隔操作許可」で「有効」を選択すると、選択可能になります。 遠隔操作による「ログ」のアップロードを許可する場合は、「有効」を選択してください。 (初期値：無効)
	接続クライアントファイルアップロード許可	「遠隔操作許可」で「有効」を選択すると、選択可能になります。 遠隔操作による「接続クライアントファイル」のアップロードを許可する場合は、「有効」を選択してください。 (初期値：無効)
	接続クライアントファイル自動アップロード間隔	「遠隔操作許可」で「有効」を選択すると、選択可能になります。 「接続クライアントファイル」を自動的にアップロードする間隔を選択します。 (設定範囲：1 時間 / 3 時間 / 6 時間 / なし) (初期値：6 時間)

Windows NASの場合

エージェントの操作は、タスクトレイに登録されている「アドミリンクエージェント」プログラムをクリックし、表示されるメニューから行います。



項目	内容
設定	「アドミリンク設定」画面を表示します。
ステータス更新	クリックした時点での NAS の状態 (ステータス) をアドミリンクサーバーへ送信します。 数分後、送信した状態がアドミリンクのステータス情報へ反映されます。
イベント通知	アドミリンクサービスへ「テスト」 イベントを送信します。 テストイベントを送信することにより、アドミリンクサービスへイベントログが追加されること、メールが配信されることを確認できます。
バージョン情報	エージェントプログラムの「バージョン情報」画面を表示します。

■「アドミリンク設定」画面

アドミリンク設定

ステータス

アドミリンクサービス登録状態: 登録済み サービス停止(S)

アップデート情報

アップデート方法: 手動更新 アップデート(U)

アドミリンクエージェント Ver 1.00 [New! Ver 1.01]

デバイス登録/削除(R) 詳細設定(E) 閉じる(C)

項目	内容	
ステータス	アドミリンクサービス登録状態:	
	登録済み	製品登録されており、「アドミリンク」サービスとの確認ができています。 ※「サービス停止（開始）」をクリックすることで、ステータス監視の停止と再開が可能です
	未登録	製品登録がされていない状態です。
	確認中	製品登録はされているが、通信エラー等により「アドミリンク」サービスへの確認が完了していない状態です。
アップデート情報	アップデート方法	「アドミリンクエージェント」の更新方法が表示されます。
	アップデート	アドミリンクエージェントが新しいバージョンを検知している場合に有効化されます。 クリックすることにより、アップデートを開始します。 ※ 現在のバージョン情報と新しいバージョンの有無は、枠内下部に表示されています。
デバイス登録 / 削除	「アドミリンクサービスへの登録」または「アドミリンクサービスからの登録削除」画面を表示します。	
詳細設定	クリックすることにより、「アドミリンク詳細設定」画面が表示されます。「アドミリンク詳細設定」画面では、障害を検知する閾値、プロキシサーバーの使用、アップデート方法についての設定が可能です。	

＜デバイスが登録済みの場合＞

×

アドミリンクサービスからの登録削除

デバイス登録コード

デバイスを登録するために必要な「デバイス登録コード」を発行できます。
発行された「デバイス登録コード」は、アドミリンクサービスの「デバイスグループ」へ追加してください。

デバイス登録コードの発行(C)

アドミリンクサービス登録情報

アドミリンクサービスから「登録削除」ボタンで登録を削除できます。
登録を削除した場合、それまでにアドミリンクサービスに記録されていた情報は全て削除され、元に戻すことはできなくなります。

デバイス登録コード(E):

シリアル番号(S):

デバイス名(M):

備考(N):

登録削除(D)

登録(R)

閉じる(C)

デバイス登録時に、デバイス側の設定画面で、旧名称「デバイスグループ」と表示される場合がありますが、新名称の「管理グループ」に読み替えて設定を行ってください。

アドミンク詳細設定

間値

HDD温度(H):

60

℃以上で警告

ディスク残容量(D):

30

%以下で警告

CPUファン(F):

2000

回転以下で警告

CPU温度(T):

70

℃以上で警告

ケースファン(B):

1000

回転以下で警告

初期値へ戻す(I)

アップデート方法

☐ エージェントとイベント定義ファイルを自動的に更新する(E)

UPS設定

☒ UPSの状態を監視する(U)

遠隔操作設定

☒ 遠隔操作を許可する(M)

☒ ログファイルのアップロードを許可する(L)

プロキシ サーバー設定

☐ プロキシ サーバーを使用する(X)

アドレス(A):

ポート(R):

80

ユーザー名(U):

パスワード(P):

閉じる(C)

76

項目	内容	
UPS 設定	UPS の状態を監視する	UPS の状態監視を停止する場合は、チェックを外してください。
遠隔操作設定	遠隔操作を許可する	アドミリンクサーバーから遠隔操作を許可する場合はチェックを入れます。
	ログファイルのアップロードを許可する	遠隔操作を許可するにチェックを入れると選択可能になります。 ログファイルのアップロードを許可する場合はチェックを入れます。

Linux NASの場合

必要に応じて詳細設定を行います。

■「アドミリンク設定」画面

アドミリンク設定

アドミリンクサービス登録状態：登録済

アドミリンクサービスをご利用される場合、事前にアドミリンクポータルサイト(<https://admin-link.net/>)にてアカウント登録をいただく必要があります。本デバイスを登録する際は、アドミリンクポータルサイトで登録したデバイス登録コードを入力してください。

詳細設定

テストイベント通知

ステータス更新

デバイス登録/削除

項目	内容	
アドミリンクサービス登録状態	登録済	製品登録されており「アドミリンク」サービスとの確認ができています。
	未登録	製品登録がされていない状態です。
	確認中	製品登録はされているが、通信エラー等により「アドミリンク」サービスへの確認が完了していない状態です。

項目	内容
詳細設定※	「詳細設定」画面が表示されます。 「詳細設定」画面では、障害を検知する閾値を設定できます。
テストイベント通知※	アドミリンクサービスへ「テスト」イベントを送信します。 テストイベントを送信することにより、アドミリンクサービスへイベントログが追加されること、メールが配信されることを確認できます。
ステータス更新※	クリックした時点での NAS の状態(ステータス) をアドミリンクサーバーへ送信します。 数分後、送信した状態がアドミリンクのステータス情報へ反映されます
デバイス登録 / 削除※	「アドミリンクサービスへの登録 / 削除」画面を表示します。

※ デバイス登録済みの場合のみ選択できます。

■「アドミリンクサービスへの登録 / 削除」画面

< デバイスが未登録の場合 >

アドミリンクサービスへの登録/削除

デバイス登録コード

※は必須項目です。

デバイスを登録するために必要な「デバイス登録コード」を発行できます。発行された「デバイス登録コード」は、アドミリンクサービスの「デバイスグループ」へ追加してください。

デバイス登録コードの発行

アドミリンクサービス登録情報

アドミリンクサービスの「デバイスグループ」に登録済みの「デバイス登録コード」を入力してください。

※「デバイスグループ」に登録されていない「デバイス登録コード」は利用できません。

デバイス登録コード*

シリアル番号*

デバイス名*

備考

登録削除

登録

< デバイスが登録済みの場合 >

アドミリンクサービスへの登録/削除

デバイス登録コード

※は必須項目です。

デバイスを登録するために必要な「デバイス登録コード」を発行できます。発行された「デバイス登録コード」は、アドミリンクサービスの「デバイスグループ」へ追加してください。

デバイス登録コードの発行

アドミリンクサービス登録情報

本デバイスは、アドミリンクサービスに登録されています。

※「登録削除」ボタンで、登録を削除できます。

デバイス登録コード*

シリアル番号*

デバイス名*

備考

登録削除

登録

項目	内容
デバイス登録コード	デバイス登録コードの発行 クリックするとデバイス登録コードの発行画面が表示されます。 表示されたデバイス登録コードをコピーして、アドミリンクサーバーの管理グループに登録を行います。
アドミリンクサービス登録情報	デバイスが未登録の場合のみ入力可能です。 デバイス登録コード 管理グループに登録済みの、「デバイス登録コード」を入力します。 シリアル番号 登録する製品のシリアル番号を入力します。 デバイス名 デバイス名を入力します。 備考 メモなどを入力します。
登録削除	アドミリンクにデバイス登録済みの場合、登録を削除します。
登録	アドミリンクサービス登録情報に入力した情報を登録します。

MEMO

デバイス登録時に、デバイス側の設定画面で、旧名称「デバイスグループ」と表示される場合がありますが、新名称の「管理グループ」に読み替えて設定を行ってください。

アドミリンク詳細設定

閾値

*は必須項目です。

システム温度(上限)*:

70

℃

ハードディスク温度(上限)*:

65

℃

ボリューム残容量(下限)*:

30

%

ファン回転数(下限)*:

200

回/分

初期値へ戻す

80

項目	内容	
遠隔操作設定	遠隔操作を許可する	アドミリンクサーバーから遠隔操作を許可する場合はチェックを入れます。
	設定ファイルのアップロードを許可する	遠隔操作を許可するにチェックを入れると選択可能になります。 設定ファイルのアップロードを許可する場合はチェックを入れます。
	ログファイルのアップロードを許可する	遠隔操作を許可するにチェックを入れると選択可能になります。 ログファイルのアップロードを許可する場合はチェックを入れます。
適用	入力したしきい値の設定を適用します。	

運用編

デバイスの情報を閲覧する	83
デバイス詳細画面の表示方法	83
デバイス詳細画面	84
グラフ画面	85
イベント一覧を見る	87
イベント一覧画面の表示方法	87
イベント一覧画面の見方	88
デバイス設定をする	90
デバイスの設定を変更する	90
デバイスの設定を復元する	93
遠隔操作をする	96
遠隔操作のタスクを登録する	96
遠隔操作一覧画面の表示方法	99
遠隔操作一覧画面の見方	100
デバイス一覧画面の表示設定をする	101
ユーザーを編集／削除する	105
管理グループを削除・編集する	106
デバイスを編集／削除する	107
サポートサービスについて	108

デバイスの情報を閲覧する

デバイス詳細画面の表示方法

デバイス一覧画面からデバイス名をクリックすると、デバイスの詳細情報を閲覧できます。

デバイス一覧

種類

すべて

シリーズ

すべて

製品型番

すべて

ファームウェアバージョン

すべて

管理グループ

すべて

ステータス

すべて

キーワード検索

デバイス登録

一括操作

表示設定

CSV出力

データ件数: 49件

デバイス	ステータス	接続状態	種類	型番	製品シリアル	管理グループ	最新ステータス取得日時	備考
☐ EHB-SG2C24F-HP	正常	接続中	スイッチ	EHB-SG2C24F-HP		長野支社	2025/12/23 08:16:39	
☐ EHB-SG2C24F-HP	エラー	不明	スイッチ	EHB-SG2C24F-HP		長野支社	2024/09/03 14:49:36	
☐ EHB-SG2C24F-PL	正常	接続中	スイッチ	EHB-SG2C24F-PL		長野支社	2025/12/23 08:14:29	
☐ EHB-SQ2A08	正常	接続中	スイッチ	EHB-SQ2A08		長野支社	2025/12/23 08:27:57	
☐ EHB-SQ2B08	正常	接続中	スイッチ	EHB-SQ2B08		長野支社	2025/12/23 09:09:49	
☐ EHB-SQ2B08	エラー	切断	スイッチ	EHB-SQ2B08		長野支社	2025/10/09 13:43:00	

長野支社

NAS1

グラフ

イベント

遠隔操作

接続状態: 接続中 HDD健康レベル: --

登録日: 2022/02/28 最新ステータス取得日時: 2022/03/04 15:30:41

死活監視: 有効 遠隔操作: 無効 保守契約: なし 備考: --

メイン

CPU・ファン

ネットワーク

ストレージ

バックアップ

UPS

追加アプリ

デバイス登録情報

一覧に戻る

システム

製品シリーズ	NSB-75S4D32シリーズ
製品型番	NSB-75S4T4D32
製品シリアル	
ホスト名	NSB-75S
MACアドレス	
ネットワークグループ	ワークグループ
プロキシ設定	無効
マザーボードBIOSバージョン	Ver1.10
稼働時間	3日22時間6分

NASツール	Ver 4.91
エージェント	Ver 1.00 [最新 Ver 1.01]
Windowsアップデート	9件の更新が利用可能です。再起動が必要な場合があります。 [最終確認日時] 2022/03/04 11:25:51 [実施日] 1970/01/01

デバイス詳細画面



項目	内容				
① 管理グループ名	管理グループ名が表示されます。 クリックすると、管理グループの詳細を表示します。				
② デバイス名	デバイス名が表示されます。 クリックすると、デバイスの詳細を表示します。				
③ 状態表示	デバイスにエラーがある場合は、 ! マークが表示されます。				
④ ステータス	デバイスのステータスを表示します。 ステータス更新間隔はデバイスによって異なります。 <table border="1"> <tr> <td>通常</td><td> ・NAS：30 分間隔 ・アクセスポイントとスイッチングハブ：60 分間隔 </td></tr> <tr> <td>異常 (イベント) 検知</td><td> ・すべてのデバイス：1 分間隔で監視 </td></tr> </table>	通常	・NAS：30 分間隔 ・アクセスポイントとスイッチングハブ：60 分間隔	異常 (イベント) 検知	・すべてのデバイス：1 分間隔で監視
通常	・NAS：30 分間隔 ・アクセスポイントとスイッチングハブ：60 分間隔				
異常 (イベント) 検知	・すべてのデバイス：1 分間隔で監視				
⑤ デバイスメニュー	各項目の詳細情報を表示します。				
⑥ デバイス登録情報	デバイスの登録情報を表示します。				
⑦ 一覧に戻る	デバイス一覧画面に戻ります。				
⑧ グラフ (NAS のみ対応)	デバイスの稼働状況をグラフ表示します。 → 85 ページ				
⑨ イベント	デバイスのイベント一覧画面を表示します。 → 87 ページ				
⑩ 遠隔操作	遠隔操作の一覧画面を表示します。 → 100 ページ				

グラフ画面

※ NAS のみサポートされています。その他のデバイス(アクセスポイント、スイッチングハブ)では表示されません。



項目	内容								
① 管理グループ	グラフ表示したいデバイスが含まれる管理グループを選択します。								
② デバイス	グラフ表示したいデバイスを選択します。								
③ グラフの種別	表示したいグラフの種別を選択します。								
	<table><tr><th>グラフ種別</th><th>表示内容</th></tr><tr><td>負荷率 / 使用率</td><td>・ CPU とメモリの負荷率 ・ ストレージの使用率</td></tr><tr><td>ネットワーク</td><td>・ ログオン人数 ・ 送信パケット数 ・ 受信パケット数</td></tr><tr><td>温度</td><td>・ システム温度 ・ HDD 内部温度</td></tr></table>	グラフ種別	表示内容	負荷率 / 使用率	・ CPU とメモリの負荷率 ・ ストレージの使用率	ネットワーク	・ ログオン人数 ・ 送信パケット数 ・ 受信パケット数	温度	・ システム温度 ・ HDD 内部温度
	グラフ種別	表示内容							
	負荷率 / 使用率	・ CPU とメモリの負荷率 ・ ストレージの使用率							
	ネットワーク	・ ログオン人数 ・ 送信パケット数 ・ 受信パケット数							
温度	・ システム温度 ・ HDD 内部温度								
④ エラー	チェックを入れると、グラフ上にエラーイベントを表示します。 エラーイベントは、  マークで表示されます。								

項目	内容				
⑤ 警告	チェックを入ると、グラフ上に警告イベントを表示します。 警告イベントは、  マークで表示されます。				
⑥ 最新データ表示	グラフ表示を最新のデータに更新します。				
⑦ 表示範囲	グラフ表示する範囲を設定します。 <table border="1"> <tr> <td> 1日／10日／ 1ヶ月／3ヶ月／ 6ヶ月／1年 </td><td>現在から選択した期間までの範囲を表示します。</td></tr> <tr> <td>カスタム</td><td> 表示する範囲を任意に設定します。 「現在」をクリックすると、期間の終点を現在時刻に設定します。 </td></tr> </table>	1日／10日／ 1ヶ月／3ヶ月／ 6ヶ月／1年	現在から選択した期間までの範囲を表示します。	カスタム	表示する範囲を任意に設定します。 「現在」をクリックすると、期間の終点を現在時刻に設定します。
1日／10日／ 1ヶ月／3ヶ月／ 6ヶ月／1年	現在から選択した期間までの範囲を表示します。				
カスタム	表示する範囲を任意に設定します。 「現在」をクリックすると、期間の終点を現在時刻に設定します。				
⑧ 表示項目	グラフ表示する項目を選択します。				
⑨ グラフ表示	データの推移をグラフで表示します。				
⑩ 期間設定	表示している期間をグレー色で示しています。 左右のハンドルを動かすと、表示期間を変更することができます。				
⑪ 凡例	グラフの凡例を示します。				

イベント一覧を見る

イベント一覧画面の表示方法

共通メニューの「イベント一覧」をクリックします。

The screenshot shows the AdminLink dashboard. In the top navigation bar, the 'イベント一覧' (Event List) icon is highlighted with a red box. A red arrow points from this icon to the 'イベント一覧' page below. The page has a filter section with dropdowns for '監視グループ' (Monitoring Group), 'デバイス' (Device), 'カテゴリ' (Category), and 'ステータス' (Status). Below the filters is a table of events.

デバイス	発生日時	カテゴリ	ステータス	メッセージ	対応状況	メモ	詳細
NAS1	2022/04/22 09:20:04	管理ツール	情報	エージェントによる初動化が実行されました。			
NAS2	2022/04/21 19:03:08	管理ツール	情報	設定が保存されました。			
NAS3	2022/04/21 17:34:41	遠隔操作	情報	遠隔操作「システムログのダウンロード」が完了しました。			
NAS4	2022/04/21 17:25:11	遠隔操作	情報	遠隔操作「ステータス更新」が完了しました。			
NAS5	2022/04/21 17:16:48	遠隔操作	エラー	遠隔操作「システムログのダウンロード」でエラーが発生しました。			
NAS6	2022/04/21 17:16:23	管理ツール	情報	設定が保存されました。			

MEMO

デバイス詳細画面から「イベント」をクリックして表示することもできます。
その場合は、あらかじめそのデバイスのみのイベントがフィルタリングされて表示されます。

The screenshot shows the NAS1 device detail page. The 'イベント' (Event) tab is highlighted in the top navigation bar. The page displays system information and a list of events.

製品シリーズ	NSB-75S4DS2シリーズ	NASツール	Ver 4.91
製品型番	NSB-75S4T4DS2	エージェント	Ver 1.00 [更新 Ver 1.01]
製品シリアル		Windowsアップデート	9件の更新が利用可能です。再起動が必要な場合があります。 [開始確認日時] 2022/03/04 11:25:51 [実施日] 1970/01/01
ホスト名	NSB-75S		
MACアドレス			
ネットワークグループ	ワークグループ		
プロキシ設定	無効		
マザーボードBIOSバージョン	Ver1.10		

イベント一覧画面の見方

The screenshot shows the 'イベント一覧' (Event List) screen. Numbered callouts point to the following features:

- ① Filter buttons for Management Group, Device, Category, and Status.
- ② Filter button for '対処待ち状態のみ' (Only for waiting for response status).
- ③ 'CSV出力' (CSV Export) button.
- ④ Date range selector and search button.
- ⑤ Table header with columns: Device, Occurrence Date, Category, Status, Message, Response Status, Memo, and Action.
- ⑥ Action buttons (refresh and delete) for individual events.
- ⑦ 'もっと見る' (See more) button at the bottom.
- ⑧, ⑨, ⑩, ⑪, ⑫: Additional callouts pointing to specific data rows and table elements.

デバイス	発生日時	カテゴリ	ステータス	メッセージ	対応状況	メモ	詳細
NAS1	2022/04/22 09:20:04	管理ツール	情報	エージェントによる初期化が実行されました。			
NAS2	2022/04/21 19:03:08	管理ツール	情報	設定が保存されました。			
NAS3	2022/04/21 17:34:41	遠隔操作	情報	遠隔操作「システムログのダウンロード」が完了しました。			
NAS4	2022/04/21 17:25:11	遠隔操作	情報	遠隔操作「ステータス更新」が完了しました。			
NAS5	2022/04/21 17:16:48	遠隔操作	エラー	遠隔操作「システムログのダウンロード」でエラーが発生しました。			🔄 ✖
NAS6	2022/04/21 17:16:23	管理ツール	情報	設定が保存されました。			🔄 ✖
NAS7	2022/04/21 17:08:00	サーバー	エラー	登録製品からの定期通知が届きませんでした。	対応待ち		🔄 ✖
NAS8	2022/04/21 15:47:00	サーバー	エラー	登録製品からの定期通知が届きませんでした。	対応待ち		🔄 ✖
NAS9	2022/04/21 13:31:00	サーバー	エラー	登録製品からの定期通知が届きませんでした。	対応待ち		🔄 ✖
NAS10	2022/04/21 13:25:31	遠隔操作	エラー	遠隔操作「システムログのダウンロード」でエラーが発生しました。			🔄 ✖

項目	内容
① 管理グループ	イベントを表示したいデバイスが含まれる管理グループを選択します。
② デバイス	イベントを表示したいデバイスを選択します。
③ カテゴリ	表示するイベントの種類を選択します。
④ ステータス	表示するイベントのステータスを選択します。
⑤ 対処待ち状態のみ	チェックを入れると、「対応状況」が「対処待ち」になっているイベントのみ表示されます。
⑥ 最新データ表示	表示を最新のデータに更新します。

項目	内容	
⑦ 発生日時	一覧表示するイベントの範囲を設定します。	
	1 日 / 10 日 / 1 ヶ月 / 3 ヶ月 / 6 ヶ月 / 1 年	現在から選択した期間までの範囲を表示します。
	カスタム	表示する範囲を任意に設定します。 「現在」をクリックすると、期間の終点を現在時刻に設定します。
⑧ CSV 出力	表示中のイベント一覧を CSV ファイルでダウンロードします。	
⑨ イベント一覧	イベントの一覧を表示します。	
⑩ イベント詳細	該当イベントの詳細を表示します。	
⑪ グラフ表示	該当イベントが発生する 1 日前からの状態をグラフで表示します。	
⑫ もっと見る	表示内容を増やします。	

デバイス設定をする

デバイスの設定を変更する

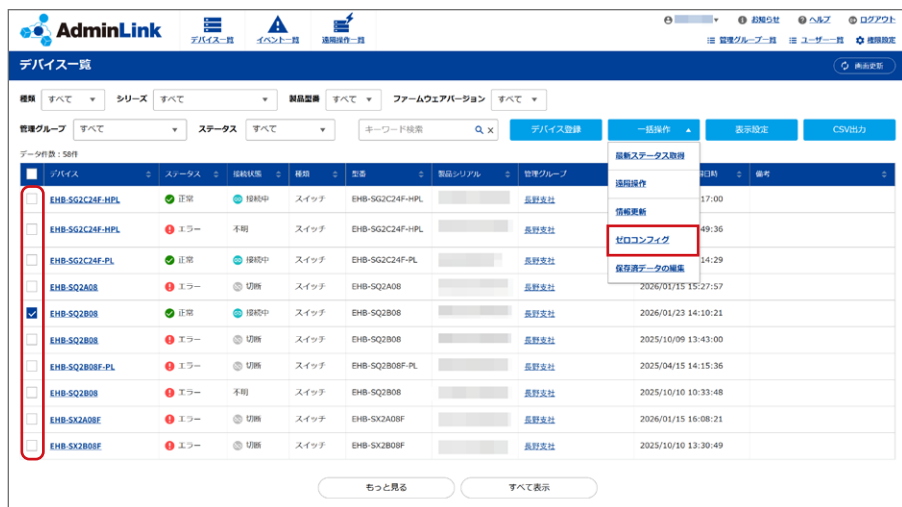
遠隔でデバイスの設定を変更することができます。

設定を変更すると、デバイスが自動的に再起動されますので、ご注意ください。

1 共通メニューから「デバイス一覧」を選択します。



2 「デバイス一覧」画面が表示されますので、設定したいデバイスにすべてチェックを入れ、「一括操作」の「ゼロコンフィグ」を選択します。



MEMO

一括で設定可能なデバイスは「同一型番」「同一ファームウェアバージョン」のデバイスのみです。

3 「ゼロコンフィグ」画面が表示されますので、設定データの作成方法を選択し、「次へ」をクリックします。

新たに設定データを作成する

新規で設定データを作成するときに選択します。

デバイスの現在の設定を取得して作成する

選択したデバイスに現在設定されている内容を取得し、その内容を変更するかたちで設定データを作成します。

4 「設定変更」画面が表示されますので、各種設定を行い、「確認」をクリックします。

5 「設定確認」画面が表示されますので、設定内容を確認し、「設定適用」をクリックします。

6 「設定変更」画面が表示されますので、「実行」をクリックします。

重要

「実行」をクリックすると、デバイスは再起動されますので、ご注意ください。

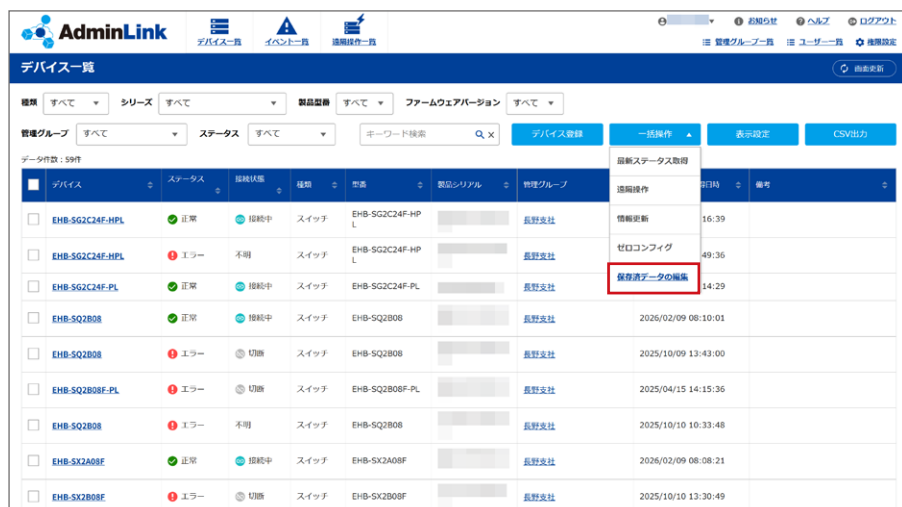
デバイスの設定を復元する

一時保存した設定をデバイスに適用し、設定を復元することができます。

1 共通メニューから「デバイス一覧」を選択します。



2 「デバイス一覧」画面が表示されますので、「一括操作」の「保存済みデータの編集」を選択します。



3 「保存済みデータの編集」画面が表示されますので、復元したい設定を選択します。

AdminLink デバイス一覧 イベント一覧 通報操作一覧

保存済みデータの編集

製品型番: すべて ファームウェアバージョン: すべて 保存日時: 2026/01/09 09:16 ~ 2026/02/09 09:17 ☐ 一時保存データのみ

キーワードで検索

データ件数: 805件 (検索条件により233件に絞り込み)

保存日時	設定データ名	一時保存	製品型番	ファームウェアバージョン	対象デバイス数	保存ユーザー
2026/02/09 08:53:47	WAB-BE187-M_20260209085344		WAB-BE187-M	2.0.10	1	elecom_sawa
2026/02/05 19:43:03	WAB-BE187-M_MACF19 (SSID15MLOWDS)		WAB-BE187-M	2.0.10	1	Hiroyuki_Kitahara@elecom.co.jp
2026/02/05 15:19:16	WAB-BE187-M_20260205151916		WAB-BE187-M	2.0.10	1	elecom_kamei
2026/02/05 14:14:44	WAB-BE187-M_20260205141444		WAB-BE187-M	2.0.10	1	elecom_kamei
2026/02/05 14:05:24	WAB-BE187-M_20260205140523		WAB-BE187-M	2.0.10	1	elecom_kamei
2026/02/05 14:04:21	WAB-BE187-M_20260205140421 (2/5/6有効のみ)		WAB-BE187-M	2.0.10	1	Hiroyuki_Kitahara@elecom.co.jp
2026/02/05 13:50:31	WAB-BE187-M_20260205135031		WAB-BE187-M	2.0.10	1	elecom_kamei
2026/02/05 13:42:01	WAB-BE187-M_20260205134201		WAB-BE187-M	2.0.10	1	elecom_kamei
2026/02/04 17:32:09	WAB-BE36-S_20260204173207		WAB-BE36-S	2.0.6	1	elecom_sawa
2026/02/04 17:23:40	WAB-BE36-M_20260204172337		WAB-BE36-M	2.0.6	1	elecom_sawa

もっと見る

4 「設定変更」画面が表示されますので、「MACアドレス」欄に設定を適用したいデバイスのMACアドレスを入力し、「デバイス追加」をクリックします。

AdminLink デバイス一覧 イベント一覧 通報操作一覧

設定変更

製品型番: WAB-BE187-M ファームウェアバージョン: 2.0.10

対象デバイス システム構成 無線設定 ツールボックス

設定変更の対象デバイスは以下となります。
対象デバイスごとに、個別設定する項目を以下の一覧で入力してください。
デバイス共通の設定項目は、各タブで入力してください。

なお、対象デバイスから除外したいデバイスがある場合は、削除ボタンを押してください。ボタン押下時、一覧から行が削除され、対象デバイスから除外できます。

削除	MACアドレス	IPアドレス	製品名	DHCPサーバー機能	入力エラー
☐	38:97:A4:00:2C:30	192.168.3.1	WAB3897A4002C30	無効	

MACアドレス: AA:AA:AA:AA:AA:AA **デバイス追加**

< 戻る 確認 一時保存

5 デバイスを追加したら、「確認」をクリックします。

デバイス一覧

イベント一覧

通知設定一覧

お知らせ

ヘルプ

ログアウト

設定グループ一覧

ユーザー一覧

権限設定

設定変更

製品型番 WAB-BE187-M ファームウェアバージョン 2.0.10

対象デバイス

システム構成

無線設定

ツールボックス

設定変更の対象デバイスは以下となります。
対象デバイスごとに、個別設定する項目を以下の一覧で入力してください。
デバイス共通の設定項目は、各タブで入力してください。

なお、対象デバイスから除外したいデバイスがある場合は、削除ボタンを押してください。ボタン押下時、一覧から行が削除され、対象デバイスから除外できます。

デバイスリスト (CSV) の登録

デバイスリスト (CSV) の出力

削除	MACアドレス	IPアドレス	製品名	DHCPサーバー機能	入力エラー
削除	38:97:A4:00:2C:30	192.168.3.1	WAB3897A4002C30	無効	
削除	38:97:A4:7D:CB:58	192.168.3.2	WAB3897A4002C25	無効	
削除	38:97:A4:00:2D:4B	192.168.3.3	WAB3897A4002C67	無効	

MACアドレス

戻る

確認

一時保存

6 確認画面が表示されたので、「設定適用」をクリックします。

デバイス一覧

イベント一覧

通知設定一覧

お知らせ

ヘルプ

ログアウト

設定グループ一覧

ユーザー一覧

権限設定

設定変更

製品型番 WAB-BE187-M ファームウェアバージョン 2.0.10

対象デバイス

システム構成

無線設定

ツールボックス

MACアドレス	IPアドレス	製品名	DHCPサーバー機能
38:97:A4:00:2C:30	192.168.3.1	WAB3897A4002C30	無効
38:97:A4:7D:CB:58	192.168.3.2	WAB3897A4002C25	無効
38:97:A4:00:2D:4B	192.168.3.3	WAB3897A4002C67	無効

戻る

設定適用

一時保存

遠隔操作をする

登録したデバイスを遠隔操作して再起動したり、ファームウェアアップデートなどを行うことができます。

日時を指定して予約実行させることも可能です。

遠隔操作のタスクを登録する

1 共通メニューから「遠隔操作一覧」を選択します。



2 「遠隔操作一覧」画面が表示されますので、「遠隔操作登録」をクリックします。



3 以下の項目を設定し、「確認」をクリックします。

The screenshot shows the 'AdminLink' interface for '遠隔操作登録' (Remote Operation Registration). The form contains the following fields:

- 管理グループ** (Management Group): A dropdown menu with a red '必須' (Required) label.
- デバイス** (Device): A dropdown menu with a red '必須' (Required) label.
- 遠隔操作** (Remote Operation): A dropdown menu with a red '必須' (Required) label.
- 実行方法** (Execution Method): Radio buttons for '即時実行' (Execute Immediately) and '予約実行' (Execute on Schedule), with a red '必須' (Required) label.

At the bottom, there are two buttons: '戻る' (Back) and '確認' (Confirm). The '確認' button is highlighted with a red rectangular box.

項目	内容
管理グループ	遠隔操作したいデバイスが所属する管理グループを選択します。
デバイス	遠隔操作したいデバイスを選択します。
遠隔操作	遠隔操作の種類を選択します。表示されるメニューは選択しているデバイスにより異なります。 再起動／シャットダウン／ファームウェアアップデート／I'm here／Windows 更新プログラムのインストール／PoE 再起動／設定変更（遠隔操作許可）／設定変更（設定ファイルアップロード許可）／設定変更（ログファイルアップロード許可）／設定変更（接続クライアントファイルアップロード許可）／設定変更（接続クライアントファイル自動アップロード間隔） ※ スマートフォンだと「ファームウェアアップデート」は選択できません。
実行方法	即時実行するか予約実行するか選択します。 「予約実行」を選択した場合は、日時を選択します。
アップデートモジュール	「遠隔操作」で「ファームウェアアップデート」を選択しているときに、アップデートファイルを指定します。
遠隔操作許可	許可する／許可しないを選択します。
設定ファイルアップロード許可	
ログファイルアップロード許可	

MEMO

「Windows 更新プログラムのインストール」の遠隔操作を実行で、更新に時間がかかる場合は、デバイスのステータスがエラーになる場合があります。その場合は時間を置いてデバイス一覧の画面更新を行ってください。

4 確認画面が表示されますので、「登録」をクリックします。

AdminLink デバイス一覧 イベント一覧 遠隔操作一覧

管理グループ 長野支社

デバイス WAB-S733MI(3830)

遠隔操作 設定変更 (ログファイルアップロード許可)

実行方法 即時実行

ログファイルアップロード許可 許可する (現在の設定値)

< 戻る **登録**

遠隔操作のタスクが追加され、一覧に表示されます。

AdminLink デバイス一覧 イベント一覧 遠隔操作一覧

遠隔操作一覧

管理グループ すべて デバイス すべて 遠隔操作 すべて 状態 すべて + 遠隔操作登録

データ件数: 1件

デバイス	遠隔操作	実行方法	状態	実行開始日時	実行完了日時	登録日時
WAB-S733MI(3830)	設定変更 (ログファイルアップロード許可)	即時	実行完了	2024/11/20 11:06:07	2024/11/20 11:06:07	2024/11/20 11:05:56

遠隔操作一覧画面の表示方法

共通メニューの「遠隔操作一覧」をクリックします。

AdminLink

デバイス一覧 イベント一覧 遠隔操作一覧

監視グループ一覧 ユーザー一覧 権限設定

画面更新

遠隔操作一覧

監視グループ: すべて デバイス: すべて 遠隔操作: すべて 状態: すべて

データ件数: 164件 (検索条件により155件に絞り込み)

デバイス	遠隔操作	実行方法	状態	実行開始日時	実行完了日時	登録日時
5A1BL	I'm here	即時	実行完了	2022/03/29 19:40:56	2022/03/29 19:40:56	2022/03/29 19:40:55
7A4BL	ログのアップロード	即時	実行完了	2022/03/29 09:27:14	2022/03/29 09:27:21	2022/03/29 09:27:12
7A4BL	ログのアップロード	即時	実行完了	2022/03/28 14:54:59	2022/03/28 14:55:06	2022/03/28 14:54:59
7A4BL	設定変更 (ログファイルアップロード許可)	即時	実行完了	2022/03/28 14:52:50	2022/03/28 14:52:50	2022/03/28 14:52:50
7A4BL	設定変更 (遠隔操作許可)	即時	実行完了	2022/03/28 14:49:47	2022/03/28 14:49:47	2022/03/28 14:49:45
5A1BL	ログのアップロード	即時	実行完了	2022/03/28 09:15:34	2022/03/28 09:15:34	2022/03/28 09:15:33
5A1BL	ステータス更新	即時	実行完了	2022/03/28 09:11:14	2022/03/28 09:11:14	2022/03/28 09:11:13
NAS1	ステータス更新	即時	実行完了	2022/03/26 14:45:14	2022/03/26 14:45:17	2022/03/26 14:45:14
NAS2	Windows更新プログラムのインストール	即時	実行完了	2022/03/26 14:43:56	2022/03/26 14:44:29	2022/03/26 14:43:55
NAS3	Windows更新プログラムのインストール	即時	実行完了	2022/03/26 14:25:56	2022/03/26 14:27:04	2022/03/26 14:25:55

もっと見る

MEMO

デバイス詳細画面から「遠隔操作」をクリックして表示することもできます。その場合は、あらかじめそのデバイスのみの遠隔操作一覧がフィルタリングされて表示されます。

是野支社

NAS1

接続状態: 接続中 HDD健康レベル: -- 登録日: 2022/02/28 最新ステータス取得日時: 2022/03/04 15:30:41

光活監視: 有効 遠隔操作: 無効 保守契約: なし 備考: --

システム

製品シリーズ	NSB-75S4DS2シリーズ	NASツール	Ver 4.91
製品型番	NSB-75S4T4DS2	エージェント	Ver 1.00 [最新 Ver 1.01]
製品シリアル		Windowsアップデート	9件の更新が利用可能です。再起動が必要な場合があります。 [開始確認日時] 2022/03/04 11:25:51 [実施日] 1970/01/01
ホスト名	NSB-75S		
MACアドレス			
ネットワークグループ	ワークグループ		
プロキシ設定	無効		
マザーボードBIOSバージョン	Ver 1.10		

デバイス登録情報

一覧に戻る

遠隔操作一覧画面の見方

The screenshot shows the '遠隔操作一覧' (Remote Operation Overview) screen. It features a header bar with filters for '管理グループ' (Management Group), 'デバイス' (Device), '遠隔操作' (Remote Operation), and '状態' (Status). A '画面更新' (Refresh) button is in the top right. Below the filters is a table listing remote operations with columns for 'デバイス' (Device), '遠隔操作' (Remote Operation), '実行方法' (Execution Method), '状態' (Status), '実行開始日時' (Start Time), '実行完了日時' (End Time), and '登録日時' (Registration Time). A '遠隔操作登録' (Remote Operation Registration) button is on the right. A 'もっと見る' (See More) button is at the bottom.

① 管理グループ
② デバイス
③ 遠隔操作
④ 状態
⑤ 画面更新
⑥ 遠隔操作登録
⑦ 遠隔操作一覧
⑧ もっと見る

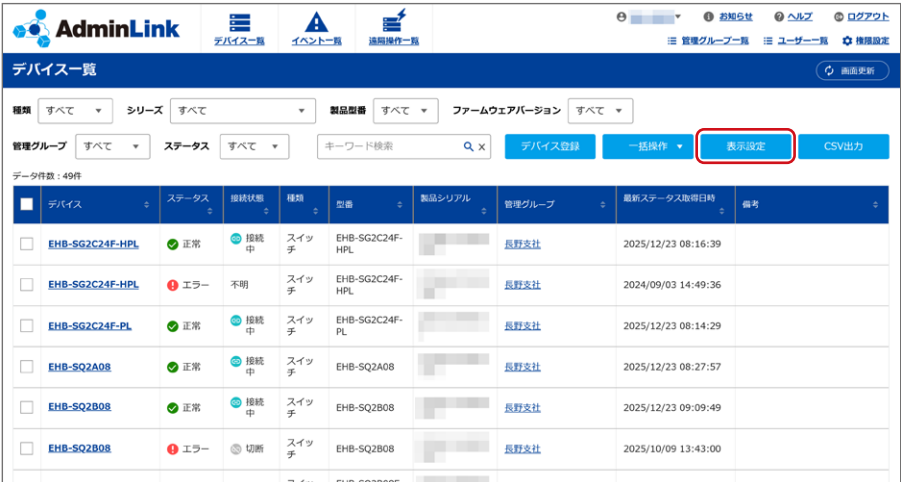
デバイス	遠隔操作	実行方法	状態	実行開始日時	実行完了日時	登録日時
5A1BL	I'm here	即時	実行完了	2022/03/29 19:40:56	2022/03/29 19:40:56	2022/03/29 19:40:55
7A4BL	ログのアップロード	即時	実行完了	2022/03/29 09:27:14	2022/03/29 09:27:21	2022/03/29 09:27:12
7A4BL	ログのアップロード	即時	実行完了	2022/03/28 14:54:59	2022/03/28 14:55:06	2022/03/28 14:54:59
7A4BL	設定変更 (ログファイルアップロード許可)	即時	実行完了	2022/03/28 14:52:50	2022/03/28 14:52:50	2022/03/28 14:52:50
7A4BL	設定変更 (遠隔操作許可)	即時	実行完了	2022/03/28 14:49:47	2022/03/28 14:49:47	2022/03/28 14:49:45
5A1BL	ログのアップロード	即時	実行完了	2022/03/28 09:15:34	2022/03/28 09:15:34	2022/03/28 09:15:33
5A1BL	ステータス更新	即時	実行完了	2022/03/28 09:11:14	2022/03/28 09:11:14	2022/03/28 09:11:13
NAS1	ステータス更新	即時	実行完了	2022/03/26 14:45:14	2022/03/26 14:45:17	2022/03/26 14:45:14
NAS2	Windows更新プログラムのインストール	即時	実行完了	2022/03/26 14:43:56	2022/03/26 14:44:29	2022/03/26 14:43:55
NAS3	Windows更新プログラムのインストール	即時	実行完了	2022/03/26 14:25:56	2022/03/26 14:27:04	2022/03/26 14:25:55

項目	内容
① 管理グループ	イベントを表示したいデバイスが含まれる管理グループを選択します。
② デバイス	イベントを表示したいデバイスを選択します。
③ 遠隔操作	表示する遠隔操作の種類を選択します。
④ 状態	表示するデバイスの状態を選択します。
⑤ 画面更新	表示を最新のデータに更新します。
⑥ 遠隔操作登録	新たな遠隔操作タスクを登録します。 → 96 ページ「遠隔操作のタスクを登録する」
⑦ 遠隔操作一覧	登録されている遠隔操作タスクの一覧を表示します。
⑧ もっと見る	表示内容を増やします。

デバイス一覧画面の表示設定をする

デバイス一覧画面の表示項目を設定することができます。

1 デバイス一覧画面から「表示設定」をクリックします。



2 「表示設定」画面が表示されますので、表示順を設定します。



<項目を非表示にしたい場合>

①「表示」欄から非表示にしたい項目を選択します。

② → をクリックします。

表示

デバイス
ステータス
接続状態
種類
型番
製品シリアル
管理グループ
最新ステータス取得日時
備考

←

→

↑

↓

非表示

ホスト名
MACアドレス
IPアドレス
Windowsアップデート
ファームウェア名称
ファームウェアバージョン
エージェントバージョン
死活監視
HDD（内蔵）健康レベル
保守契約有無
保守契約番号

選択した項目が「非表示」欄に移動します。

表示

デバイス
接続状態
種類
型番
製品シリアル
管理グループ
最新ステータス取得日時
備考

←

→

↑

↓

非表示

ステータス
ホスト名
MACアドレス
IPアドレス
Windowsアップデート
ファームウェア名称
ファームウェアバージョン
エージェントバージョン
死活監視
HDD（内蔵）健康レベル
保守契約有無

<非表示の項目を表示したい場合>

①「非表示」欄から表示したい項目を選択します。

② ← をクリックします。



選択した項目が「表示」欄に移動します。



<表示順を手動で変更したい場合>

- ①「表示」欄から表示順を変更したい項目を選択します。
- ②  または  をクリックして順番を変更します。



3 設定が終わったら、「設定」をクリックします。



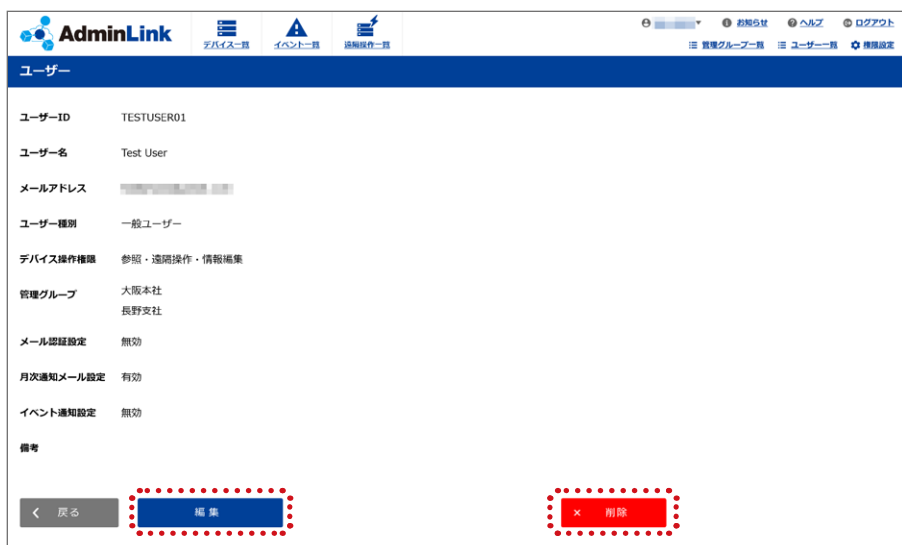
ユーザーを編集／削除する

- 1 「ユーザー一覧」画面から編集・削除したいユーザー名をクリックします。



- 2 ユーザー編集画面が表示されますので、「編集」または「削除」をクリックします。

削除する場合は、確認画面が表示されますので、「削除」をクリックします。



管理グループを削除・編集する

- 1 「管理グループ一覧」画面から編集・削除したい管理グループ名をクリックします。



- 2 管理グループ編集画面が表示されますので、「編集」または「削除」をクリックします。

削除する場合は、確認画面が表示されますので、「削除」をクリックします。

管理グループ名 大阪本社

備考

設置場所 デバイス登録コード

法人・個人 法人

法人・団体名

部署名

業種

郵便番号

住所（都道府県）

住所（市区町村・番地）

住所（ビル／建物名）

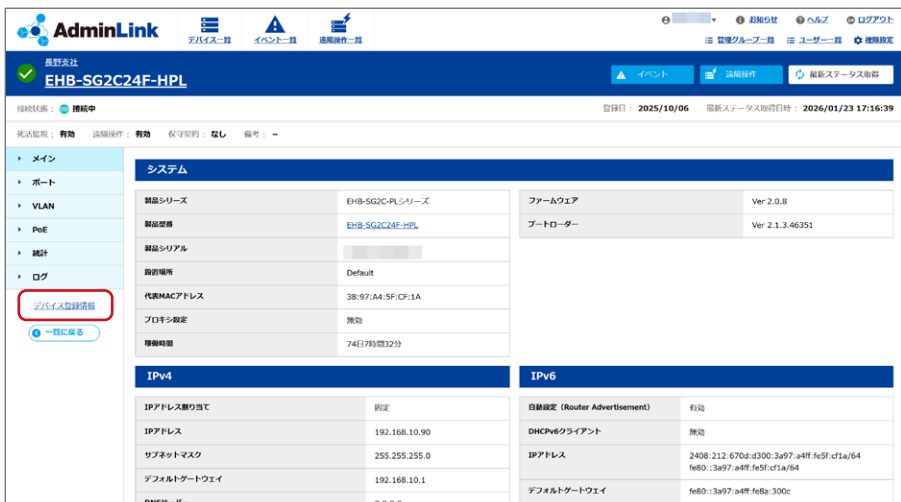
戻る 編集 削除

デバイスを編集／削除する

- 1 「デバイス一覧」画面から編集・削除したいデバイス名をクリックします。



- 2 デバイスの詳細画面が表示されますので、「デバイス登録情報」をクリックします。



サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアルなどをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

詳細は…

サポートポータルサイト「えれさぽ」へ



エレコム法人様サポートセンター

TEL: **0570-070-040**

【受付時間】 9:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 18:00 (月曜日～金曜日)

※祝日、夏期、年末年始特定休業日を除く

ネットワークサポートにお電話される前に

お問い合わせの前に以下の内容をご用意ください。

- ・ 弊社製品の型番
- ・ ご質問内容 (症状、やりたいこと、お困りのこと)

※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

日本以外でご購入されたお客様は、購入国の販売店舗へお問い合わせください。

エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入・ご使用による問い合わせ・サポート対応は致しかねます。また、日本語以外の言語でのサポートは致しかねます。商品交換は保証規定に沿って対応致しますが、日本以外からの商品交換は対応致しかねます。

This product is designed for use in Japan only.

A customer who purchases outside Japan should contact the local retailer in the country of purchase for enquiries. In "ELECOM CO., LTD. (Japan)", no customer support is available for enquiries about purchases or usage in/from any countries other than Japan. Also, no foreign language other than Japanese is available. Replacements will be made under stipulation of the Elecom warranty, but are not available from outside of Japan.

付録編

ライセンス情報	110
---------------	-----

■CodeIgniter3

The MIT License (MIT)

Copyright (c) 2014 - 2017, British Columbia Institute of Technology

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■Python2.7

A. HISTORY OF THE SOFTWARE

=====

Python was created in the early 1990s by Guido van Rossum at Stichting Mathematisch Centrum (CWI, see <http://www.cwi.nl>) in the Netherlands as a successor of a language called ABC. Guido remains Python's principal author, although it includes many contributions from others.

In 1995, Guido continued his work on Python at the Corporation for National Research Initiatives (CNRI, see <http://www.cnri.reston.va.us>) in Reston, Virginia where he released several versions of the software.

In May 2000, Guido and the Python core development team moved to BeOpen.com to form the BeOpen PythonLabs team. In October of the same year, the PythonLabs team moved to Digital Creations (now Zope Corporation, see <http://www.zope.com>). In 2001, the Python Software Foundation (PSF, see <http://www.python.org/psf/>) was formed, a non-profit organization created specifically to own Python-related Intellectual Property. Zope Corporation is a sponsoring member of the PSF.

All Python releases are Open Source (see <http://www.opensource.org> for the Open Source Definition). Historically, most, but not all, Python releases have also been GPL-compatible; the table below summarizes the various releases.

Release	Derived from	Year	Owner	GPL- compatible? (1)
0.9.0 thru 1.2		1991-1995	CWI	yes
1.3 thru 1.5.2	1.2	1995-1999	CNRI	yes
1.6	1.5.2	2000	CNRI	no
2.0	1.6	2000	BeOpen.com	no
1.6.1	1.6	2001	CNRI	yes (2)
2.1	2.0+1.6.1	2001	PSF	no
2.0.1	2.0+1.6.1	2001	PSF	yes
2.1.1	2.1+2.0.1	2001	PSF	yes
2.1.2	2.1.1	2002	PSF	yes
2.1.3	2.1.2	2002	PSF	yes
2.2 and above	2.1.1	2001-now	PSF	yes

Footnotes:

- (1) GPL-compatible doesn't mean that we're distributing Python under the GPL. All Python licenses, unlike the GPL, let you distribute a modified version without making your changes open source. The GPL-compatible licenses make it possible to combine Python with other software that is released under the GPL; the others don't.
- (2) According to Richard Stallman, 1.6.1 is not GPL-compatible, because its license has a choice of law clause. According to CNRI, however, Stallman's lawyer has told CNRI's lawyer that 1.6.1 is "not incompatible" with the GPL.

Thanks to the many outside volunteers who have worked under Guido's direction to make these releases possible.

B. TERMS AND CONDITIONS FOR ACCESSING OR OTHERWISE USING PYTHON

=====

PYTHON SOFTWARE FOUNDATION LICENSE VERSION 2

1. This LICENSE AGREEMENT is between the Python Software Foundation ("PSF"), and the Individual or Organization ("Licensee") accessing and otherwise using this software ("Python") in source or binary form and its associated documentation.
2. Subject to the terms and conditions of this License Agreement, PSF hereby grants Licensee a nonexclusive, royalty-free, world-wide license to reproduce, analyze, test, perform and/or display publicly, prepare derivative works, distribute, and otherwise use Python alone or in any derivative version, provided, however, that PSF's License Agreement and PSF's notice of copyright, i.e., "Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016 Python Software Foundation; All Rights Reserved" are retained in Python alone or in any derivative version prepared by Licensee.
3. In the event Licensee prepares a derivative work that is based on or incorporates Python or any part thereof, and wants to make the derivative work available to others as provided herein, then Licensee hereby agrees to include in any such work a brief summary of the changes made to Python.

4. PSF is making Python available to Licensee on an "AS IS" basis. PSF MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED. BY WAY OF EXAMPLE, BUT NOT LIMITATION, PSF MAKES NO AND DISCLAIMS ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE OR THAT THE USE OF PYTHON WILL NOT INFRINGE ANY THIRD PARTY RIGHTS.

5. PSF SHALL NOT BE LIABLE TO LICENSEE OR ANY OTHER USERS OF PYTHON FOR ANY INCIDENTAL, SPECIAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR LOSS AS A RESULT OF MODIFYING, DISTRIBUTING, OR OTHERWISE USING PYTHON, OR ANY DERIVATIVE THEREOF, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY THEREOF.

6. This License Agreement will automatically terminate upon a material breach of its terms and conditions.

7. Nothing in this License Agreement shall be deemed to create any relationship of agency, partnership, or joint venture between PSF and Licensee. This License Agreement does not grant permission to use PSF trademarks or trade name in a trademark sense to endorse or promote products or services of Licensee, or any third party.

8. By copying, installing or otherwise using Python, Licensee agrees to be bound by the terms and conditions of this License Agreement.

BEOPEN.COM LICENSE AGREEMENT FOR PYTHON 2.0

BEOPEN PYTHON OPEN SOURCE LICENSE AGREEMENT VERSION 1

1. This LICENSE AGREEMENT is between BeOpen.com ("BeOpen"), having an office at 160 Saratoga Avenue, Santa Clara, CA 95051, and the Individual or Organization ("Licensee") accessing and otherwise using this software in source or binary form and its associated documentation ("the Software").

2. Subject to the terms and conditions of this BeOpen Python License Agreement, BeOpen hereby grants Licensee a non-exclusive, royalty-free, world-wide license to reproduce, analyze, test, perform and/or display publicly, prepare derivative works, distribute, and otherwise use the Software alone or in any derivative version, provided, however, that the BeOpen Python License is retained in the Software, alone or in any derivative version prepared by Licensee.

3. BeOpen is making the Software available to Licensee on an "AS IS" basis. BEOPEN MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED. BY WAY OF EXAMPLE, BUT NOT LIMITATION, BEOPEN MAKES NO AND DISCLAIMS ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE OR THAT THE USE OF THE SOFTWARE WILL NOT INFRINGE ANY THIRD PARTY RIGHTS.

4. BEOPEN SHALL NOT BE LIABLE TO LICENSEE OR ANY OTHER USERS OF THE SOFTWARE FOR ANY INCIDENTAL, SPECIAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR LOSS AS A RESULT OF USING, MODIFYING OR DISTRIBUTING THE SOFTWARE, OR ANY DERIVATIVE THEREOF, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY THEREOF.

5. This License Agreement will automatically terminate upon a material breach of its terms and conditions.

6. This License Agreement shall be governed by and interpreted in all respects by the law of the State of California, excluding conflict of law provisions. Nothing in this License Agreement shall be deemed to create any relationship of agency, partnership, or joint venture between BeOpen and Licensee. This License Agreement does not grant permission to use BeOpen trademarks or trade names in a trademark sense to endorse or promote products or services of Licensee, or any third party. As an exception, the "BeOpen Python" logos available at <http://www.pythonlabs.com/logos.html> may be used according to the permissions granted on that web page.

7. By copying, installing or otherwise using the software, Licensee agrees to be bound by the terms and conditions of this License Agreement.

CNRI LICENSE AGREEMENT FOR PYTHON 1.6.1

1. This LICENSE AGREEMENT is between the Corporation for National Research Initiatives, having an office at 1895 Preston White Drive, Reston, VA 20191 ("CNRI"), and the Individual or Organization ("Licensee") accessing and otherwise using Python 1.6.1 software in source or binary form and its associated documentation.

2. Subject to the terms and conditions of this License Agreement, CNRI hereby grants Licensee a nonexclusive, royalty-free, world-wide license to reproduce, analyze, test, perform and/or display publicly, prepare derivative works, distribute, and otherwise use Python 1.6.1 alone or in any derivative version, provided, however, that CNRI's

License Agreement and CNRI's notice of copyright, i.e., "Copyright (c) 1995-2001 Corporation for National Research Initiatives; All Rights Reserved" are retained in Python 1.6.1 alone or in any derivative version prepared by Licensee. Alternately, in lieu of CNRI's License Agreement, Licensee may substitute the following text (omitting the quotes): "Python 1.6.1 is made available subject to the terms and conditions in CNRI's License Agreement. This Agreement together with Python 1.6.1 may be located on the Internet using the following unique, persistent identifier (known as a handle): 1895.22/1013. This Agreement may also be obtained from a proxy server on the Internet using the following URL: <http://hdl.handle.net/1895.22/1013>".

3. In the event Licensee prepares a derivative work that is based on or incorporates Python 1.6.1 or any part thereof, and wants to make the derivative work available to others as provided herein, then Licensee hereby agrees to include in any such work a brief summary of the changes made to Python 1.6.1.

4. CNRI is making Python 1.6.1 available to Licensee on an "AS IS" basis. CNRI MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED. BY WAY OF EXAMPLE, BUT NOT LIMITATION, CNRI MAKES NO AND DISCLAIMS ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE OR THAT THE USE OF PYTHON 1.6.1 WILL NOT INFRINGE ANY THIRD PARTY RIGHTS.

5. CNRI SHALL NOT BE LIABLE TO LICENSEE OR ANY OTHER USERS OF PYTHON 1.6.1 FOR ANY INCIDENTAL, SPECIAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR LOSS AS A RESULT OF MODIFYING, DISTRIBUTING, OR OTHERWISE USING PYTHON 1.6.1, OR ANY DERIVATIVE THEREOF, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY THEREOF.

6. This License Agreement will automatically terminate upon a material breach of its terms and conditions.

7. This License Agreement shall be governed by the federal intellectual property law of the United States, including without limitation the federal copyright law, and, to the extent such U.S. federal law does not apply, by the law of the Commonwealth of Virginia, excluding Virginia's conflict of law provisions. Notwithstanding the foregoing, with regard to derivative works based on Python 1.6.1 that incorporate non-separable material that was previously distributed under the GNU General Public License (GPL), the law of the Commonwealth of Virginia shall govern this License Agreement only as to issues arising under or with respect to Paragraphs 4, 5, and 7 of this License Agreement. Nothing in this License Agreement shall be deemed to create any relationship of

agency, partnership, or joint venture between CNRI and Licensee. This License Agreement does not grant permission to use CNRI trademarks or trade name in a trademark sense to endorse or promote products or services of Licensee, or any third party.

8. By clicking on the "ACCEPT" button where indicated, or by copying, installing or otherwise using Python 1.6.1, Licensee agrees to be bound by the terms and conditions of this License Agreement.

ACCEPT

CWI LICENSE AGREEMENT FOR PYTHON 0.9.0 THROUGH 1.2

Copyright (c) 1991 - 1995, Stichting Mathematisch Centrum Amsterdam, The Netherlands. All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Stichting Mathematisch Centrum or CWI not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

STICHTING MATHEMATISCH CENTRUM DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL STICHTING MATHEMATISCH CENTRUM BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

■ AWS IoT Device SDK for Python

Apache License

Version 2.0, January 2004

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

1. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and

2. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and

3. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

4. If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

■ AWS IoT SDK for C++ v2

Copyright Amazon.com, Inc. or its affiliates. All Rights Reserved.

SPDX-License-Identifier: Apache-2.0.

```
#####
#####
```

Apache License

Version 2.0, January 2004

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition,

"submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

1. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and

2. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and

3. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

4. If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications,

or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

#####

■ AWS C SDK for Internet of Things Service

Copyright 2010-2015 Amazon.com, Inc. or its affiliates. All Rights Reserved.

This product includes software developed by
Amazon Inc (<http://www.amazon.com/>).

THIRD PARTY COMPONENTS

This software includes third party software subject to the following licensing:

- Embedded C MQTT Client - From the Eclipse Paho Project - EPL v1.0
- mbedTLS (external library, included in tarball or downloaded separately) - Apache 2.0
- jsmn (JSON Parsing) - MIT
- cURL (hostname verification) - MIT

#####

Apache License

Version 2.0, January 2004

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an

example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

1. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
2. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
3. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
4. If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a

display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

#####

Components are made available under the terms of the Eclipse Public License v1.0 and Eclipse Distribution License v1.0 which accompany this distribution.

The Eclipse Public License is available at
<http://www.eclipse.org/legal/epl-v10.html>
 and the Eclipse Distribution License is available at
<http://www.eclipse.org/org/documents/edl-v10.php>.

```
#####
#####
```

Copyright (C) 2012, iSEC Partners.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

```
#####
#####
```

```
Project      _ _ _ _ _
              _ _ _ _ _ \
              / _ _ _ _ \
              | ( _ _ _ _ <| _ _
              \ _ _ _ _ / _ _ \ _ _ _ _
```

Copyright (C) 1998 - 2011, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>, et al.

This software is licensed as described in the file COPYING, which you should have received as part of this distribution. The terms are also available at <http://curl.haxx.se/docs/copyright.html>.

You may opt to use, copy, modify, merge, publish, distribute and/or sell copies of the Software, and permit persons to whom the Software is furnished to do so, under the terms of the COPYING file.

This software is distributed on an "AS IS" basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied.

#####

Copyright (c) 2010 Serge A. Zaitsev

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

#####



ネットワーク機器リモート管理サービス
アドミリンク ユーザーズマニュアル

発行 エレコム株式会社

ELECOM

リモート管理サービス



AdminLink

アドミリンク

設定事例集

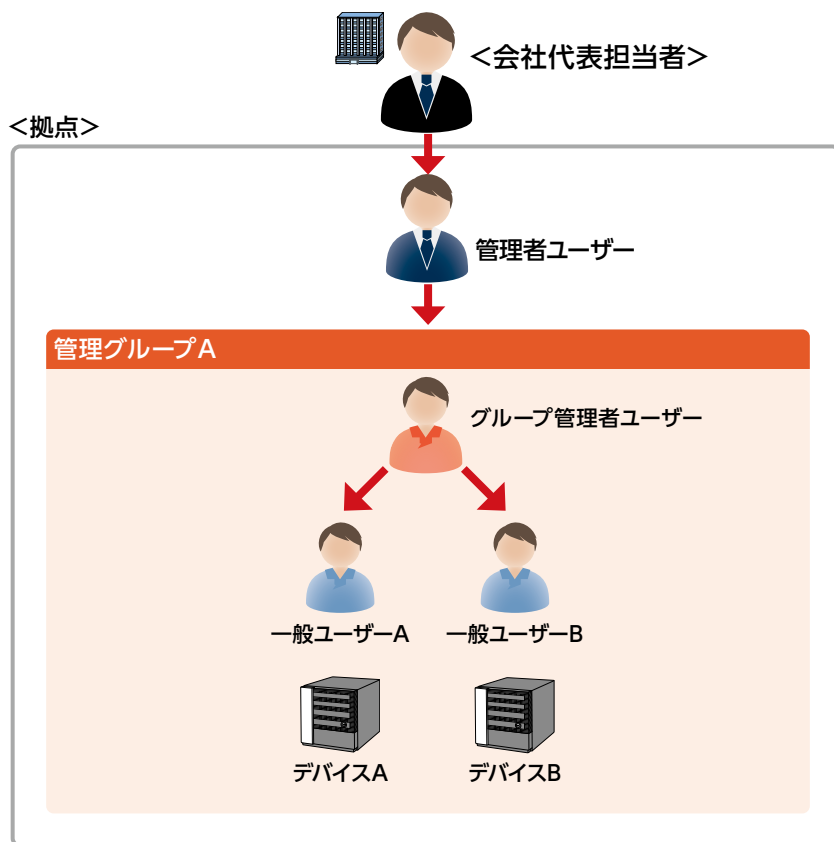
第2版

2024/11/29

もくじ

単一の拠点で運用する場合	3
複数の拠点でそれぞれ管理する場合	4

単一の拠点で運用する場合



1



会社代表担当者が以下の設定をします。

- ① 契約者アカウントを取得する。
- ② 管理者ユーザーを作成する。

2



管理者ユーザーが以下の設定をします。

- ① 管理グループを作成する。
- ② グループ管理者ユーザーを作成する。

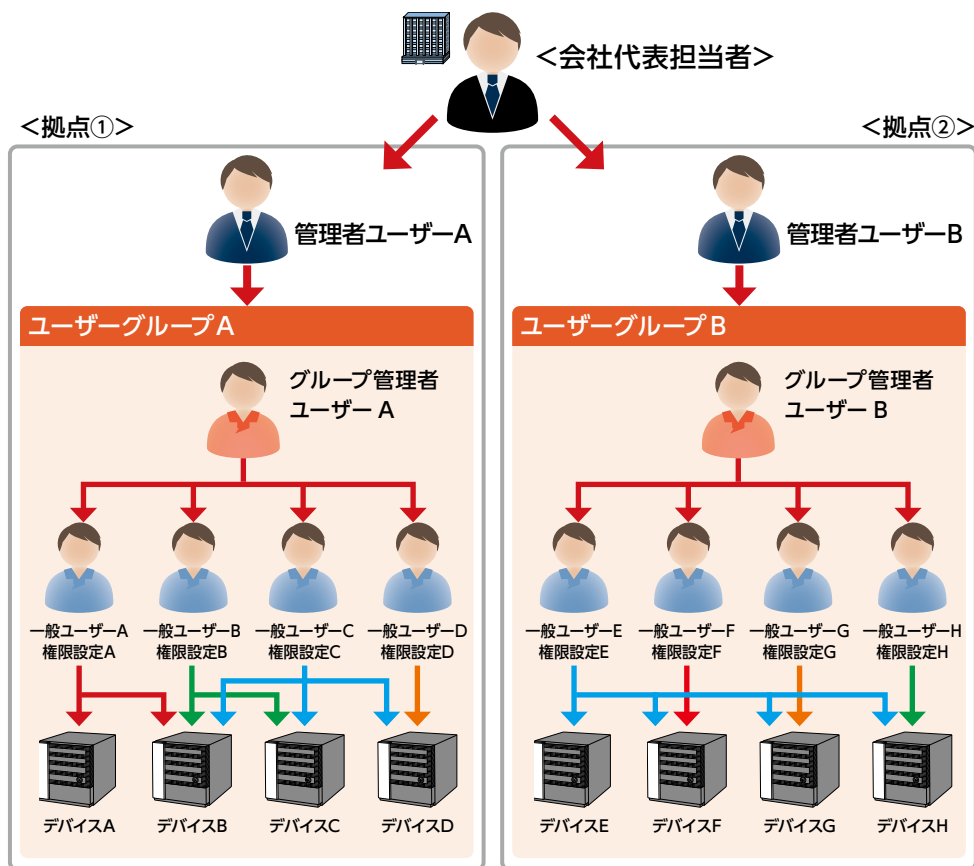
3



グループ管理者ユーザーが以下の設定をします。

- ① 一般ユーザーを作成する。
- ② 管理グループに一般ユーザーを追加する。
- ③ デバイス登録コードを発行し、デバイスを登録する。

複数の拠点でそれぞれ管理する場合



1



会社代表担当者が以下の設定をします。

- ① 契約者アカウントを取得する。
- ② 管理者ユーザーを複数作成する。

2



それぞれの管理者ユーザーが以下の設定をします。

- ① 管理グループを作成する。
- ② グループ管理者ユーザーを作成する。

3



それぞれのグループ管理者ユーザーが以下の設定をします。

- ① 一般ユーザーを作成する。
- ② 一般ユーザーごとにデバイス管理の権限設定を行う。
- ③ デバイス登録コードを発行し、デバイスを登録する。



ネットワーク機器リモート管理サービス
アドミリンク 設定事例集

発行 エレコム株式会社